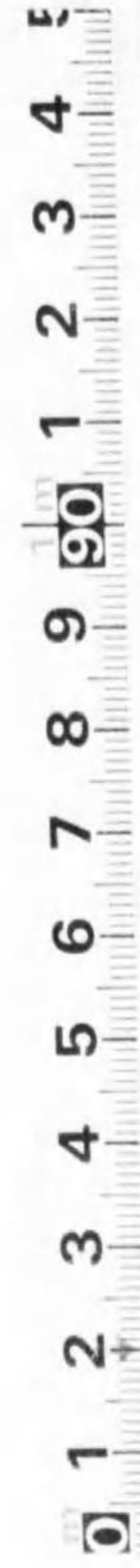
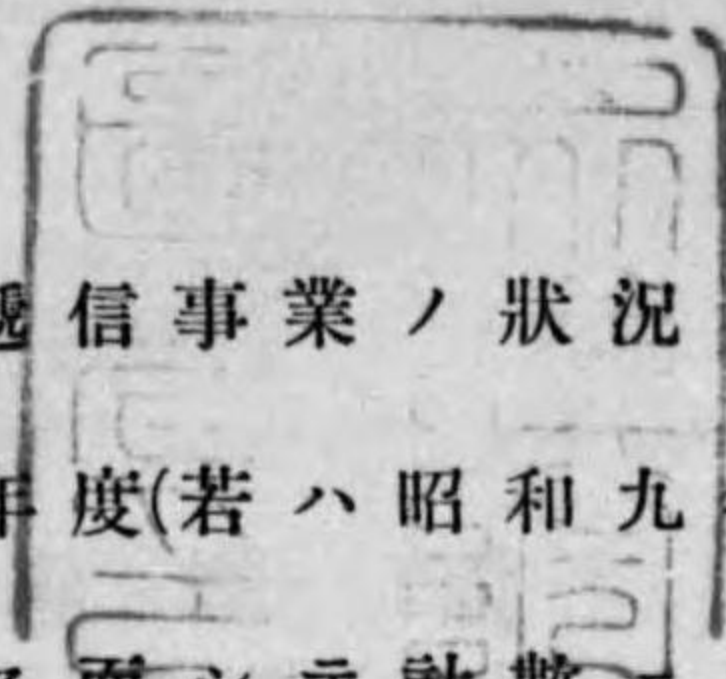




始



(日本標準規格 A4 判)



緒 言

本書ハ遞信事業ノ狀況ヲ通覽スルノ便ニ供スル爲主トシテ昭和九年度(若ハ昭和九年中)ノ本省事務ノ概要ヲ蒐録シタルモノトス而シテ計數ニ關スル詳細ハ關係各局ニ於テ發刊セル下記印刷物ヲ參照アリタシ

遞信大臣官房文書課

記

通信統計要覽	郵務、電務、工務三局共編
電氣事業要覽	電 氣 局
海 事 摘 要	管 船 局
航空統計年報	航 空 局
經理事務年報	經 理 局
貯金局統計年報	貯 金 局
簡易保險局統計年報	簡 易 保 險 局

14.4
77x

目次

CONTENTS

第一編 總說

Chapter 1. General Remarks

遞信省沿革略誌.....1

第一章 法 規.....11

Section 1. Laws and Regulations

第二章 官 制.....11

Section 2. Government Organisations etc.

第三章 遞信公報及文書.....12

Section 3. Official Gazette and Documents

遞信公報發行數(自大正十四年度)
至昭和九年度.....12

文書取扱件數(自大正十四年)
至昭和九年度.....12

第四章 職 員.....14

Section 4. Personnel

遞信省所屬職員(自大正十四年度末)
至昭和九年度末.....14

休 職 者.....16

外國留學者及出張者.....16

第五章 遞信官吏練習所.....17

Section 5. Training School of Communication
Officials

學生異動及現員(自大正十四年度)
至昭和九年度.....17

入學志願者及合格者(同上).....18

第六章 共 濟 組 合.....18

Section 6. Mutual Aid Association

事 業 成 績(自大正十四年度)
至昭和九年度.....18

第七章 遞 信 博 物 館.....19

Section 7. Communication Museum

陳列品ノ縦覽.....19

陳列品ノ増加.....19

陳列品ノ貸出及出品.....19

特別展覽會開催.....19

意匠圖案.....20

遞信「カレンダー」ノ編纂.....20

寫 眞.....20

事業用品ノ改良研究.....20

郵便車、郵便船室ノ設備改善.....20

第八章 遞信事業ノ狀況.....20

Section 8. Condition of Communications

遞信事業概括表

第九章 會 議.....21

Section 9. Conference

第十章 歲入及歲出.....22

Section 10. Revenue and Expenditure

歲入歲出豫算及決算額(昭和九年度).....23

歲入歲出決算額(自大正十四年度)
至昭和八年度.....23

第十一章 財 產.....29

Section 11. Property

土 地 面 積(自大正十四年度)
至昭和九年度.....29

建 物 面 積(自大正十四年度末)
至昭和九年度末.....30

船 舶(同 上).....31

第二編 通 信

Chapter 2. Communications

郵務、電務、工務各局沿革略誌.....33

第一章 郵便電信及電話局所.....54

Section 1. Post, Telegraph and Telephone Offices

郵便局所開廢.....54

電信及電話局所開廢.....55

郵便電信電話局所數(自大正十四年度)
至昭和九年度.....56

郵便電信及電話局所取扱事務別(自大正十四年度末)
至昭和九年度末.....58

郵便切手、收入印紙賣捌所、郵便函及郵便私書函
(同上).....60

第二章 郵便電信及電話局職員
Section 2. Personnel at Post, Telegraph and Telephone Offices

郵便電信及電話局職員(自大正十四年度末至昭和九年度末).....61

第三章 郵便業務ニ關スル施設
Section 3. Institutions for Postal Services

選舉無料郵便關係規定改正.....63
小型記念通信日附印使用制度創設.....63
通信日附印形式中改正.....63
郵便切手賣捌規則中改正.....63
記念郵便切手通信賣捌制度創設.....63
「カイロ」締結萬國郵便條約及關係諸約定ノ實施.....64
本邦及「ポーランド」國間ニ代金引換郵便物ノ交換開始.....64
「ニュージーランド」ニ於ケル小形包裝物業務開始ニ伴フ措置.....64
印度「アラビア」及阿弗利加方面宛郵便物ノ航空運送開始.....64
名古屋郵便局ヲ外國郵便交換局ニ指定.....64
外國ニ於ケル價格表記、別配達及代金引換郵便物ノ取扱局開發ニ伴フ措置.....65
無集配三等郵便局ニ於ケル中華民國及滿洲國宛小包引受事務開始.....65
關東廳管内宛小包ノ保管料徵收實施.....65
本邦重要輸出品ノ取締.....65
陶磁器輸出統制ニ伴フ該物品包有小包ノ取締.....65
記念郵便切手發行.....65
特殊記念通信日附印.....66

第四章 郵便線路
Section 4. Mail Routes

内地郵便線路(自大正十四年度末至昭和九年度末).....71

第五章 郵便物數
Section 5. Number of Mail Matters

内地郵便局取扱通常郵便物數(自大正十四年度末至昭和九年度末).....72
同 小包郵便物數(同上).....74

通常郵便物不能還付數(同上).....76
小包郵便物不能還付數(同上).....77
特殊取扱通常郵便物亡失毀損數(同上).....78
小包郵便物亡失毀損數(同上).....79

第六章 電信業務ニ關スル施設
Section 6. Institutions for Telegraph Services

軍用電氣通信法施行.....80
請願通信施設關係規定中改正.....80
年賀電報規則制定.....80
日滿電報規則等中改正.....80
日滿間電信通信ニ關スル協定.....80
滿洲國宛氣象局報ノ取扱.....80
選信講習所規程等中改正.....80
電信事務ノ開發.....81
電信擴張及改良計畫改定.....82
關西風水害ニ伴フ電報疏通狀況.....82

第七章 電信線路、電報氣送管及障礙並機械
Section 7. Telegraph Lines, Pneumatic Tubes, Faults and Apparatus

内地電信線路(自大正十四年度末至昭和九年度末).....83
電報氣送管所在地別(昭和九年度末).....84
内地電信障礙度數及時數(自大正十四年度末至昭和九年度末).....86
内地郵便電信局所用電信機械及電池數(昭和九年度末).....88

第八章 電報通數
Section 8. Number of Telegrams

内地郵便電信局取扱電報通數(自大正十四年度末至昭和九年度末).....90
無線電信、無線電話局取扱(同上).....91
在中華民國本邦電信局取扱(同上).....92

第九章 電話業務ニ關スル施設
Section 9. Institutions for Telephone Services

電話規則中改正.....93
外地電話規則制定並同規則中改正.....93
加入申込者所在等屆出.....93
電話特別開通申請受理及開通.....93

第一章 郵便爲替業務ニ關スル施設
Section 1. Institutions for Postal Money Order

「チエツコ、スロヴァキア」ト郵便爲替ノ直接交換開始.....123
日滿小爲替業務開始.....123
再度證書請求料金免除.....123
希臘ト郵便爲替交換再開.....123
「カイロ」締結郵便爲替約定ノ公布及實施ニ伴フ諸法規ノ改正.....123
萬國郵便聯合爲替約定加入五十周年記念.....123
郵便爲替受拂高(自大正十四年度末至昭和九年度末).....124

第二章 郵便貯金業務ニ關スル施設
Section 2. Institutions for Postal Savings

再度通帳等請求料金免除.....125
郵便貯金原簿所管廳ノ増設.....125
郵便貯金預拂及現況(自大正十四年度末至昭和九年度末).....126
郵便貯金地方別(昭和八年度).....128

第三章 證券業務ニ關スル施設
Section 3. Institutions for public Bonds

證券所持保管事務一部復舊.....131
保管證券(自大正十四年度末至昭和九年度末).....131

第四章 國庫金業務ニ關スル施設
Section 4. Institutions for transacting service of Treasury receipts and discharges

健康保險歲入金取扱廢止.....132

第五章 郵便振替貯金業務ニ關スル施設
Section 5. Institutions for Postal Check and Transfer

「カイロ」締結郵便振替約定ノ公布及實施ニ伴フ諸法規改正.....133
口座所管廳ノ増設.....133
郵便振替貯金口座加入者及受拂高(自大正十四年度末至昭和九年度末).....134

電話擴張及改良計畫改定.....95
電話擴張及改定計畫實施.....95
局分課設置.....98
岸壁等ニ繫留スル船舶ト陸上トノ電話.....98
小自働式交換電話取扱.....99
都市近接地間市外電話改善.....99

第十章 電話線路障礙及機械
Section 10. Telephone Routes, Faults and Apparatus

内地電話線路(自大正十四年度末至昭和九年度末).....100
内地市內電話障礙度數(同上).....102
内地市外電話障礙度數及時數(同上).....104
内地郵便電信電話局所用電信機械及電池數(同上).....104

第十一章 電話加入者及電話通話數
Section 11. Number of Telephone Subscribers and Messages

内地電話加入者(自大正十四年度末至昭和九年度末).....108
内地電話通話數(同上).....108

第十二章 無線電信無線電話業務ニ關スル施設
Section 12. Institutions for Wireless Telegraph and Wireless Telephone Services

日滿電話通話規則制定.....109
國際電話通話規則等制定.....109
私設無線電信無線電話規則中改正.....109
那霸鹿兒島間無線電話連絡.....109
船舶無線電信局ノ設置替.....109
船舶遭難通信措置.....109
短波私設無線電話ニ依ル滿洲並臺灣向放送ノ認可.....109
對外無線電信連絡開始.....110

第三編 郵便爲替及貯金

Chapter 3. Postal Money Order and Postal Savings

貯金局沿革略誌.....111

第六章 年金恩給.....135

Section 6. Annuity and Pension

年金恩給給與金拂渡高(自大正十四年度至昭和九年度).....135

第四編 簡易生命保險及郵便年金

Chapter 4. Post Office Life Insurance and Post Office Life Annuities

簡易保險局沿革略誌.....137

第一章 簡易生命保險事務ニ關スル施設.....143

Section 1. Institutions for Post Office Life Insurance Services

被保險者ニ對スル保健施設.....143

函館市ニ於ケル火災罹災契約者救済施設.....143

石川、富山兩縣下水害罹災契約者救済施設.....143

關西地方ニ於ケル風水害罹災契約者救済施設.....143

東北地方ニ於ケル震災罹災契約者救済施設.....143

簡易生命保險積立金ノ自作農創設維持資金ニ對スル貸付ニ關スル施設.....143

第二章 保險事業成績.....144

Section 2. Summary of Post Office Life Insurance Business

事業成績(自大正十四年度至昭和九年度).....144

同地方別(昭和九年度).....148

被保險者職業別(昭和七年度末).....152

第三章 審査會.....153

Section 3. Meeting of Investigation

審査會ノ審査.....153

審査會ノ審査狀況.....153

第四章 積立金ノ運用.....153

Section 4. Investment of the Fund

積立金ノ運用範圍.....153

積立金ノ運用狀況.....153

積立金貸付狀況(自昭和二年度至同九年度).....154

積立金府縣別貸付狀況(昭和九年度末現在).....157

積立金運用狀況(同上).....159

第五章 年金事業成績.....160

Section 5. Summary of Post Office Life Annuities Business

事業成績(自昭和四年度至同九年度).....160

同地方別(昭和九年度).....162

年金受取人職業別(昭和四年四月末現在).....182

第六章 審査會.....183

Section 6. Meeting of Investigation

審査會ノ審査.....183

審査會ノ審査狀況.....183

第七章 積立金ノ運用.....183

Section 7. Investment of the Fund

積立金ノ運用範圍.....183

積立金ノ運用狀況.....183

積立金貸付狀況(自昭和五年度至同九年度).....184

積立金運用狀況(昭和九年度末現在).....185

第五編 電氣

Chapter 5. Electrical Undertakings

電氣局沿革略誌.....187

電氣試験所沿革略誌.....193

第一章 電氣事業ニ關スル施設.....196

Section 1. Institutions for Electrical Undertakings

發電及送電豫定計畫ノ樹立.....196

電氣事業ノ許可、認可其他ノ處分.....199

第二章 事業數及發電力數.....197

Section 2. Number of Undertakings and Kilowatt Capacities

原動力別事業數(自大正十四年度至昭和九年度末).....197

原動力別發電力(同上).....198

第三章 電線路、電氣鐵道及車輛.....199

Section 3. Electric Line, Electrical Railway and Car

電線路互長及回線延長(自大正十四年度末至昭和九年度末).....199

電氣鐵道互長、延長、車輛數及運轉狀況(自大正十四年度末至昭和九年度末).....200

第四章 電燈及電力.....201

Section 4. Electric Lamp and Power

電燈(自大正十四年度末至昭和九年度末).....201

電力(同上).....202

用途別電力使用高(昭和九年度末).....203

第五章 資本及收支.....204

Section 5. Capital, Revenue and Expenditure

資本金、社債及積立金(自大正十四年度末至昭和九年度末).....204

收入、支出、利益及利益處分(自大正十四年度末至昭和九年度末).....205

第六章 主任技術者.....206

Section 6. Chief Electrical Engineer

主任技術者資格檢定申請人及合格者(自大正十四年度末至昭和九年度末).....206

主任技術者數(自大正十四年度末至昭和九年度末).....208

第七章 事故.....210

Section 7. Obstacles

電氣工作物故障ニ因ル供給支障件數(昭和九年度).....210

感電死傷數(同上).....210

第八章 電氣試験.....212

Section 8. Electro-Technical Inspection

電氣計器ノ檢定.....212

電氣用品ノ試験.....212

本省購入物品試験.....212

研究並調査及發明.....212

第一部.....212

第二部.....214

第三部.....217

第四部及平磯出張所.....225

第五部.....229

試作課.....231

特許及考案.....231

電氣用品試験數(自大正十四年度末至昭和九年度末).....236

電氣計器檢定數(同上).....236

第六編 海事

Chapter 6. Maritime Affairs

管船局沿革略誌.....237

燈臺局沿革略誌.....248

第一章 海事業務ニ關スル施設.....254

Section 1. Institutions relating to Maritime Affairs

鐵道船舶通シ運送規則中改正.....254

遠洋航路補助法施行細則中改正.....254

船員職業紹介法施行規則及同法取扱心得中改正.....254

船員法ノ事務ヲ行フ市町村長ノ追加及削除.....254

船舶檢査執行地ノ指定.....254

第二章 船舶.....255

Section 2. Shipping

登簿船異動(自大正十四年度末至昭和九年度末).....255

船舶現在數(自大正十四年度末至昭和九年度末).....258

登簿船積量及年齡別(同上).....259

造船所及造船(自大正十四年度末至昭和九年度末).....260

檢査船舶(同上).....260

遭難船舶(同上).....261

遭難船舶遭難地方別(自昭和四年度末至同九年度末).....262

遭難船舶月別(昭和九年度).....264

遭難船死傷人員及遭難種類別(自大正十四年度末至昭和九年度末).....266

遭難救助者(同上).....267

第三章 船燈、信號器及救命具製造人及請賣人.....268

Section 3. Number of Licensed Manufacturers and Resalesmen of Ship's Lights, Signals and Life Saving Apparatus

船燈、信號器、救命具免許製造人及認可請賣人
(自大正十四年度至昭和九年度).....268

第四章 船 員.....269
Section 4. Mariners

船員手帳受有者(自大正十四年度至昭和九年度).....269
海技免狀受有者(同上).....269
同 種類別(同上).....270

第五章 水 先 人.....271
Section 5. Pilot

水先人免狀受有者水先區別(自大正十四年度末至昭和九年度末).....271

第六章 海 員 審 判.....272
Section 6. Marine Court of Inquiry

高等海員審判所取扱件數及人員(自大正十四年度末至昭和九年度末).....272
地方海員審判所取扱件數及人員(同上).....274

第七章 船員職業紹介.....276
Section 7. Finding Employment for Seamen

求人數及求職者數對照(自大正十四年度末至昭和九年度末).....276

第八章 開港場下船舶ノ出入.....278
Section 8. Vessels Entered or Cleared at Open Port

開港場則施行各港出入船舶(自大正十四年度末至昭和九年度末).....278

第九章 航 路 標 識.....279
Section 9. Light-House, Buoys, Beacons, etc.

航 路 標 識 數(自大正十四年度末至昭和九年度末).....279
航路標識種類別(昭和九年度末).....280
燈臺構造及其ノ高光達距離(自大正十四年度末至昭和九年度末).....281

第十章 命 令 航 路.....282
Section 10. Subsidized Lines

遞信省命令航路.....282
地方廳命令航路.....287

第十一章 保護會社及團體.....293
Section 11. Subsidized Concerns

日本郵船株式會社營業概況.....293

大阪商船株式會社營業概況.....294
日清汽船株式會社營業概況.....295
南洋郵船株式會社營業概況.....296
北日本汽船株式會社營業概況.....296
近海郵船株式會社營業概況.....296
原田汽船株式會社營業概況.....297
栗林商船株式會社營業概況.....297
各汽船會社營業狀況一覽表(昭和九年度).....298
日本海員救濟會事業成績(自大正十四年度末至昭和九年度末).....299
帝國水難救濟會事業成績(同上).....299

第七編 航 空
Chapter 7. Civil Aviation

航空局沿革略誌.....301

第一章 航空業務ニ關スル施設.....305
Section 1. Institutions relating to Civil Aeronautical Service

航空機乗員ノ養成.....305
航空機乗員技備證明書及航空免狀ノ交付.....305
航空機ノ檢査及登録.....306
飛行機ノ拂下及拂下斡旋.....306
定期航空輸送ニ對スル保護獎勵.....307
航空機維持獎勵金ノ支給.....309
帝國飛行協會及其ノ他ニ對スル補助.....309
航空路ノ施設.....309
民間飛行機數(自大正十四年度末至昭和九年度末).....312
航空機乗員技備證明書及航空免狀受有者(自大正十四年度末至昭和九年度末).....313

第八編 臺灣、樺太、朝鮮、關東州及滿鐵附屬地及南洋通信事項

Chapter 8. Communications in Formosa, Saghalien, Korea, Kwantung and the Attached Zones of the Manchurian Railway and South Seas

郵 便(昭和九年度).....315
電 信(同上).....315
電 話(同上).....316
爲替、貯金及振替貯金(同上).....316
年金恩給及保管證券(同上).....317

總 說
GENERAL REMARKS

第一編 總說

CHAPTER 1. GENERAL REMARKS

遞信省沿革略誌

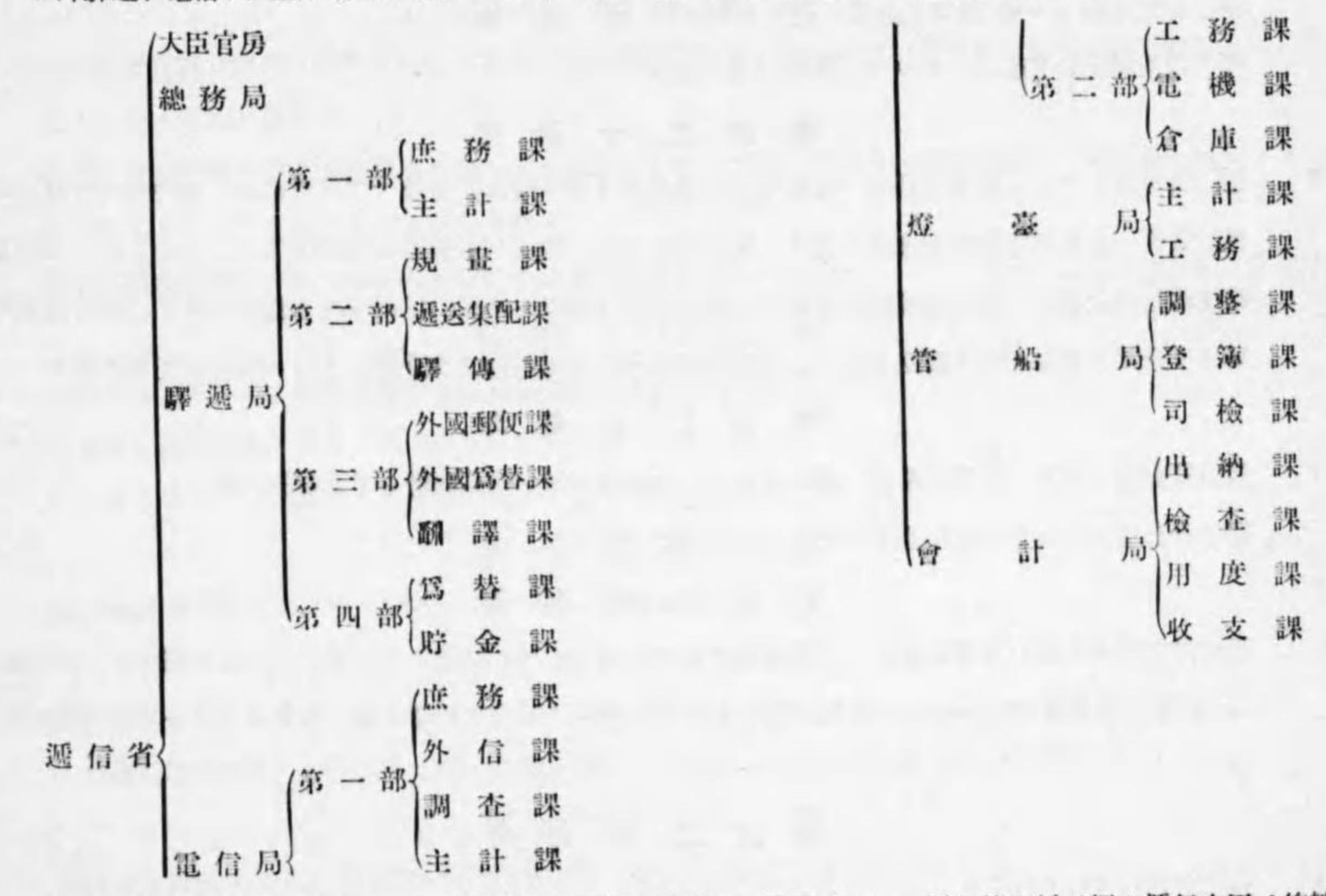
本省各局及所屬所ニ關スル沿革略誌ニ就テハ關係各編ニ譲リ、今立省後ニ於ケル主ナル官制其ノ他ノ沿革ヲ摘録スレハ次ノ如シ

明治十八年

十二月 二十二日遞信省ヲ創立シ農商務省ヨリ驛遞、管船ノ兩事務ヲ、工部省ヨリ電信、燈臺ノ兩事務ヲ承繼シ本省ヲ東京ニ置キ假ニ之ヲ驛遞、電信、燈臺、管船、會計、庶務ノ六局ニ分ツ而シテ驛遞、電信、燈臺、管船ノ各局ハ本省構外ナリシヲ以テ之ヲ外局ト謂ヒ庶務、會計ノ二局ハ構内ニアリシヲ以テ之ヲ内局ト稱セリ

明治十九年

二月 遞信省官制ヲ公布シ遞信大臣ハ驛遞、電信、燈臺、浮標、船舶及海員ニ關スル事務ヲ管理シ大臣官房及總務局ノ外驛遞、電信、燈臺、管船、會計ノ六局ヲ置カル而シテ當時ニ於ケル所屬各局分課次ノ如シ



三月 地方遞信官署官制ヲ公布シ地方郵便電信ノ事務ヲ管理スル爲須要ノ地ニ遞信管理局ヲ置キ遞信大臣ノ管轄ニ屬セシム而シテ遞信管理局ハ七月一日ヨリ開局ス

四月 本省ヲ東京木挽町八丁目一番地ニ設置シ在來ノ電信局舍ヲ流用シテ之ニ充ツ

同 二十六日ヨリ遞信公報ヲ發行シ遞信事務ニ關係アル勅令、閣令及本省ノ令達、告示ハ總テ公報ヲ以テ下達ス

同 商船學校及電信修技學校官制ヲ定メ遞信大臣ノ管理ニ屬セシム

八月 電信建築官制ヲ公布ス

十一月 地方郵便局及電信分局ハ土地ノ情況ニヨリ之ヲ合併シテ郵便電信局ト爲スノ方針ヲ定ム

明治二十年

- 二月 八日付ヲ以テ「丁」字形ヲ逓信省全般ノ徽章ト定ム
- 三月 逓信省官制ヲ改正シ驛遞、電信ノ二局ヲ廢シテ内信、外信、工務、爲替貯金ノ四局ヲ置キ郵便事務ヲ内信、外信ノ二局ニ、爲替事務ヲ外信、爲替貯金ノ二局ニ、貯金事務ヲ爲替貯金局ニ、電信事務ヲ内信、外信、工務ノ三局ニ屬セシム
- 同 地方電信分局ヲ電信局ト改稱シ、驛遞貯金所ヲ郵便貯金預所ト改稱ス
- 五月 電信修技學校ヲ廢シ東京電信學校官制ヲ公布ス
- 六月 電信建築官官制ヲ廢ス

明治二十二年

- 七月 地方逓信官署官制ヲ廢シ郵便及電信局官制ヲ公布シ逓信管理局ヲ廢シテ其ノ事務ヲ本省並各一等郵便局及電信局ニ分屬セシム

明治二十三年

- 三月 東京電信學校官制ヲ廢シ東京郵便電信學校官制ヲ制定ス
- 六月 逓信省官制ヲ改正シ總務局ヲ廢シ其ノ事務ヲ大臣官房ニ屬セシメ内信、外信、工務ノ三局ヲ廢シテ郵務、電務ノ二局ヲ置キ爲替貯金局ヲ本省ヨリ分離シテ郵便爲替貯金局ト改稱シ同時ニ外信事務ノ一部ヲ郵便爲替貯金局ニ、會計事務ノ一部(豫算及決算ニ關スル事務)ヲ大臣官房ニ屬セシム
- 七月 郵便電信局官制ヲ改正シ始メテ書記補ノ官ヲ置ク

明治二十四年

- 七月 逓信省官制ヲ改正シ所管事務中へ電氣事業監督事務ヲ加ヘ燈臺、會計ノ二局及郵便爲替貯金局ヲ廢シテ郵便爲替貯金管理所及航路標識管理所ヲ置キ、航路標識事務ヲ管船局及航路標識管理所ニ、會計事務ヲ大臣官房ニ、郵便爲替貯金事務ヲ郵便局及郵便爲替貯金局管理所ニ屬セシメ又船舶司檢所ヲ管船局ヨリ、電話交換局ヲ電務局ヨリ分離シテ各々之ヲ獨立セシメ、電信建築事務ヲ亦電務局ヨリ分離シテ別ニ電信建築署ヲ置ク

明治二十五年

- 七月 逓信省官制ヲ改正シ所屬事務中へ鐵道ヲ加ヘ、内務省所轄ノ鐵道廳轉シテ逓信省ニ屬ス
- 同 逓信省官制ヲ改正シ郵務局管掌事務中へ小包郵便ヲ加フ

明治二十六年

- 十月 逓信省官制ヲ改正シ所管事務中へ水陸運輸ノ監督ヲ加ヘ郵務、電務ノ二局ヲ合セテ通信局トナシ鐵道廳ヲ鐵道局ト改稱シテ本省中ノ一局トシ、電信建築署ヲ廢シテ其ノ事務ヲ逓信大臣ノ指定シタル一等郵便電信局ニ屬セシム

明治二十九年

- 四月 海員審判所官制ヲ制定ス
- 十月 在外郵便電信局、郵便局官制ヲ公布シ逓信大臣ノ管理ニ屬セシム

明治三十年

- 四月 各省官制通則中ヲ改正シ參事官ハ一人ヲ限リ勅任トス
- 八月 逓信省官制ヲ改正シ通信局ヲ分テテ再ヒ郵務、電務ノ二局トシ、大臣官房中財務、調度ノ二課及電信燈臺用品製造所軍務並鐵道、通信、兩局會計事務ノ一部ヲ分離シテ新ニ監査局ヲ置キ、鐵道局事務中作業ニ關スル事務ヲ分離シテ本省以外別ニ鐵道作業局ヲ置ク

明治三十一年

- 五月 月ノ十九日日本省炎上ス
- 七月 港務局官制ヲ制定シ逓信大臣ノ管理ニ屬セシム
- 十月 各省官制通則中ヲ改正シ次官ノ次ニ參與官(勅任)ヲ加フ
- 同 逓信省官制ヲ改正シ郵務、電務ヲ廢シテ再ヒ通信局ヲ置キ、監査局ヲ廢シ、官房會計課及電信燈臺用品製造所ヲ置キ、所管事務中ニ北海道官設鐵道ノ監督事務ヲ加フ

明治三十二年

- 六月 海軍局官制ヲ公布シ逓信大臣ノ管理ニ屬セシメ、船舶司檢所官制ヲ廢止ス

明治三十三年

- 四月 各省官制通則中ヲ改正シ大臣官房事務中職員、文書及會計事務ヲ割キテ總務局ヲ置キ、次官ヲ總務長官トシ參與官ヲ廢シテ官房長ヲ置ク

明治三十五年

- 三月 港務局官制ヲ廢止ス
- 六月 二十日萬國郵便聯合加盟二十五年紀念祝典ヲ東京ニ開ク
- 同 從來ノ郵便器具陳列所ヲ郵便博物館ト稱シ翌月ヨリ一般公衆ノ縦覽ニ供ス

明治三十六年

- 三月 通信官署官制ヲ公布シ郵便及電信局官制、在外郵便電信局、郵便局官制及電話交換局官制ヲ廢止ス
- 同 三十一日日本省新築落成ス
- 十二月 各省官制通則中ヲ改正シ總務局ヲ廢シ新ニ經理局ヲ置キ總務局事務中文書課事務ヲ大臣官房ニ屬セシメ同時ニ總務長官ヲ改メテ次官トナシ官房長ヲ廢ス
- 同 通信官署官制中ヲ改正シ郵便爲替貯金管理所ヲ通信官署中ニ包含セシムルト同時ニ該管理所官制ヲ廢止ス

明治三十八年

- 三月 逓信省官制ヲ改正シ所管事務中北海道官設鐵道ノ監督ヲ廢ス
- 同 東京郵便電信學校ヲ廢止シ通信官吏練習所ヲ設ク
- 七月 朝鮮通信事業ヲ帝國政府ニ引繼キ内地ト共通ノ通信制度ヲ布ク

明治三十九年

- 五月 臨時鐵道國有準備局官制ヲ制定シ逓信大臣ノ管理ニ屬ス

明治四十年

- 一月 二十二日日本省再ヒ火災ニ罹リシヲ以テ麹町區吳服橋内ニ假廳舎ヲ急造シ同舍内ニテ事務ヲ處理ス
- 三月 帝國鐵道廳官制ヲ公布シ逓信大臣ノ管理ニ屬セシメ同時ニ鐵道作業局官制ハ之ヲ廢止ス

明治四十一年

- 五月 萬國電信會議ヲ里斯本ニ開催本邦委員參列ス
- 十月 鐵道局所掌事務中へ軌道ニ關スル事項ヲ加フ
- 十二月 逓信省官制ヲ改正シ所管事項中官設鐵道ノ管理及私設鐵道ノ監督ヲ廢シ鐵道局ヲ削ル(鐵道局ハ鐵道院トシテ内閣ニ直屬ス)

- 同 鐵道院官制公布ト共ニ帝國鐵道廳官制ハ廢止サル

明治四十二年

- 七月 逓信省官制ヲ「逓信大臣ハ郵便、小包郵便、電信、電話及航路標識ヲ管理シ發電水力ニ關スル事務ヲ掌リ電氣、

造船、水陸運輸=關スル事業及航路、船舶、海員ヲ監督ス」ト改メ、通信局所掌事務中郵便爲替、郵便貯金及電氣事業ノ監督=關スル事項ヲ削リ電氣局ヲ新設シテ電氣事業=關スル事項ヲ掌ラシメ又電氣局=電氣試驗所ヲ置キ電氣試驗=關スル事項ヲ掌ラシム

同 郵便貯金局官制ヲ公布シ通信官署官制中郵便爲替貯金管理所ヲ廢止ス

同 臨時鐵道國有準備局官制ヲ廢止ス

同 通信官署職員共済組合ヲ設ク

十月 萬國郵便聯合紀念碑落成式ヲ「ベルン」ニ舉行シ本邦官吏參列ス

十一月 通信官吏練習所ヲ通信官吏練習所ト改稱シ大臣官房ノ一所トス

明治四十三年

三月 郵便貯金局所管事務中へ年金恩給ノ給與=關スル事項ヲ加フ

同 通信管理局官制ヲ設ケ監督及現業事務ヲ掌ラシム

同 郵便博物館ヲ通信博物館トシテ大臣官房ニ屬セシム

同 三十一日新築中ノ本省落成ス

四月 逓信省内ニ臨時發電水力調査局ヲ設置ス

明治四十四年

一月 逓信省内ニ郵便保險年金制度調査會ヲ置ク

明治四十五年

大正元年

一月 逓信選獎規程ヲ制定シ主トシテ現業吏員、傭人ニシテ勤勞及功績アル者ニ對シ旌表スルコトトシ二月ヨリ施行ス

五月 十三日 大正天皇東宮ニ在セントキ本省ニ行啓アラセラル

大正二年

六月 逓信省官制ヲ改正シ經理局ヲ廢シ大臣官房ノ一課トス

同 爲替貯金局官制ヲ公布シテ郵便貯金局官制ハ之ヲ廢止ス

同 臨時發電水力調査局ヲ廢止ス

同 地方逓信官署官制ヲ公布シ逓信管理局官制ヲ廢止シ從來ノ十三逓信管理局ヲ五逓信局ニ改ム

大正三年

十月 各省官制通則中ヲ改正シ各省ニ參政官、副參政官ヲ置ク

大正四年

二月 爲替貯金局所管事務中ニ各官廳ノ徵收スル歳入金ノ受入及歳出金ノ繰替拂渡ニ關スル事項ヲ加フ

大正五年

三月 逓信省官制ヲ改正シ電信燈臺用品製造所ヲ廢止シ經理課ニ製機係ヲ置キ同製造所作業ノ一部ヲ承繼ス

四月 本省内ニ簡易生命保險事務準備委員會ヲ設ク

七月 逓信省官制ヲ改正シ管船局ニ船用品検査所ヲ設置ス

同 爲替貯金局所管事務中ニ簡易生命保險ヲ加フ

大正六年

二月 逓信省臨時調査局官制ヲ制定シ電氣及海事ニ關スル調査事務ヲ掌ラシム(大正九年五月同局官制廢止)

九月 戰時船舶管理局官制ヲ制定シ戰時船舶ニ關スル事務ヲ掌ラシム(大正九年六月同局官制廢止)

十一月 三等郵便局又ハ三等電信局ニハ各局一人ヲ限リ通信手ヲ置クコトヲ得セシム

大正七年

六月 逓信省官制中ヲ改正シ逓信監察事務ヲ掌ラシムル爲大臣官房ニ監察課ヲ設ク

同 電氣試驗所官制ヲ制定シ電氣局ヨリ分離シ逓信大臣ノ管理ニ屬セシム

大正八年

五月 逓信省官制ヲ改正シ本省ニ再ヒ經理局ヲ設置ス

同 地方逓信官署官制中ヲ改正シ逓信局ヲ七局トシ別ニ逓信大臣ハ郵便局ヲ指定シ區域ヲ定メテ現業監察ノ事務ヲ掌ラシム

大正九年

五月 各省官制通則中ヲ改正シ參政官、副參政官ヲ廢シ各省一人ニ限リ勅任參事官ヲ置クコトヲ得セシム

同 逓信部内臨時職員設置制ヲ公布ス

同 海事委員會官制ヲ公布シ逓信大臣ノ監督ニ屬セシム

九月 逓信官署現業員共済組合ヲ逓信部内職員共済組合ト改稱シ救助ノ種目ヲ増シ三等郵便局員モ之ニ加入セシムルコトトシ十一月ヨリ施行ス

十月 貯金局及簡易保險局官制ヲ公布シ爲替貯金局官制ヲ廢止ス

同 臨時電信電話建設局官制ヲ公布ス

同 萬國郵便會議ヲ西班牙馬德里ニ開催本邦委員參列ス

大正十年

四月 二十日通信事業創始五十年紀念祝賀會ヲ開催ス

十月 逓信官吏練習所技術補習科規程ヲ制定ス

十二月 逓信省官制中ヲ改正シ所管事務中ニ空中ノ運輸ニ關スル事項ヲ加フ

大正十一年

一月 逓信部内職員共済組合診療所規程ヲ設ケ組合員ノ傷疾又ハ疾病ノ診療治療ヲ爲ス

二月 逓信官吏練習所規則中ヲ改正シ行政科ヲ第一行政科ニ、電信科ヲ第二行政科ニ改ム

同 逓信官吏練習所專修科規程ヲ制定ス

十二月 逓信部内職員共済組合規則中ヲ改正シ傷疾給與金ノ額ヲ增加ス

大正十二年

四月 逓信省官制中ヲ改正シ所管事務中空中ノ運輸ニ關スル事項ヲ削除ス

同 陸軍省所轄ノ航空局轉シテ逓信省ニ屬ス

同 三等郵便局及三等電信局ニハ各一人ニ限ラレル通信手ヲ二人置クコトヲ得セシム

同 逓信博物館ヲ麵町區富士見町五丁目ニ移轉ス

八月 三等郵便局長及三等電信局長ニシテ引續キ二十五年以上在職シ事務熟練ノ若ハ特ニ之ヲ奏任官ノ待遇トナスノ途ヲ開ク

九月 逓信部内職員共済組合財産管理規程ヲ制定ス

同 未曾有ノ震火災ノ爲本省、臨時電信電話建設局、貯金局、簡易保險局、電氣試驗所及高等海員審判所燒失セシニ付假事務所ヲ下記ノ通開設セリ

本省}東京驛前東京中央郵便局内
臨時電信電話建設局}

貯金局……………麻布區富士見町内閣統計局内
 簡易保険局……………芝區芝浦日出町分室内
 電氣試験所……………芝區芝浦理立地同所分室内

十月 逓信部内職員共済組合積立金貸付規程ヲ制定シ震災ニ伴フ組合員ノ保護救済ニ勉ム

大正十三年

- 四月 大震災ノ際部内従事員ニシテ身命ヲ賭シ其ノ職責ヲ全フシタル者或ハ多數人命救助ニ從事シタルモノ等ノ内特ニ一般ノ儀表トナスヘキ者ヲ表彰ス
- 五月 十一日新築假廳舎竣工ニ付本省ハ麹町區大手町ニ移轉ス
- 七月 部内現業員ノ衛生及保健ニ關ル状態ヲ調査シ之カ施設ニ關スル事項ヲ審議スル爲現業員保健調査會ヲ設ク
- 八月 各省官制通則中ヲ改正シ政務次官、參與官ヲ加ヘ參事官ヲ削ル
- 同 逓信局官制並逓信官署官制ヲ制定シ地方逓信官署官制ヲ廢止ス
- 同 逓信省分課規程中ヲ改正シ、大臣官房ニ保健課ヲ新設ス
- 同 萬國郵便會議ヲ瑞典國「ストックホルム」ニ開催本邦委員參列ス
- 十月 逓信部内職員共済組合規則中ヲ改正シ組合加入六ヶ月未滿ノモノニモ給與金ヲ與フルノ途ヲ開ク
- 十一月 逓信省官制中ヲ改正シ所管事務中「發電水力ニ關スル事務」ヲ「發電水力及航空ニ關スル事務」ニ改メ航空局ヲ本省中ニ加フ
- 同 行政整理ニ伴ヒ中央官廳ニ於テ十一課二所、地方部局ニ於テハ課ヲ減少シタルカ本省ニ於ケル分課ノ廢止併合又ハ改正シタルモノ下記ノ如シ

廢止	大臣官房監察課	併合並改正	通信局外國郵便課、外國電信課ヲ併セテ外信課トス
	電氣局水力課		航空局第一課、第二課、第三課ヲ監理課、技術課トス
	管船局調査課		
	同 登錄課		
經理局製機課	各課間ノ事務ノ分合ヲ行フト共ニ經理局調度課ヲ需品課ニ改ム		

其ノ他臨時電信電話建設局第四課及同局東京大阪以外ノ出張所ノ材料課ヲ廢止ス

同 逓信省分課規程中ヲ改正シ大臣官房ニ業務監察並事務審査委員ヲ置ク

大正十四年

- 四月 商船學校ヲ文部省ニ移管ス
- 五月 逓信省官制中ヲ改正シ所管事務中「日本無線電信株式會社ニ關スル事項」ヲ加ヘ通信局ヲ廢シテ郵務、電務、工務ノ三局ヲ置キ臨時電信電話建設局官制ヲ廢止ス而シテ本官制改正後ニ於ケル本省各局分課次ノ如シ

逓信省	大臣官房	秘書課	電務局	規畫課	管船局	船舶局		
		文書課		外國電信課		海員課		
		保健課		庶務課		船用品検査所		
		逓信官吏練習所		工務局		電信課	監理課	
		逓信博物館		電話課		技術課	主計課	
		業務監察		監理課		需品課	經理局	
		業務課		電氣局		業務課		營業課
		郵務局		技術課		技術課		監査課
		外國郵便課		庶務課		庶務課		大阪出張所
				業務課		監理課		

- 九月 萬國電信會議ヲ佛國巴里ニ開催本邦委員參列ス
- 同 逓信部内職員共済組合規則中ヲ改正シ救済金請求期間ヲ延長ス
- 同 航路標識管理所ヲ廢シ燈臺局ヲ置ク

大正十五年
昭和元年

- 一月 逓信部内從業員會規程ヲ制定ス
- 四月 勞働爭議調停法公布(大正十五年七月一日ヨリ施行)
- 五月 瑞西國「ジュネーヴ」市ニ於テ第八回國際勞働總會開催セラレ本邦委員參列ス
- 六月 逓信官吏練習所特別科規程ヲ制定ス
- 同 瑞西國「ジュネーヴ」市ニ於テ第九回國際勞働總會開催セラレ本邦委員參列ス
- 同 勞働爭議調停法施行令ヲ公布ス(大正十五年七月一日ヨリ施行)
- 八月 簡易保險局官制中ヲ改正シ所管事務中「郵便年金ニ關スル事務」ヲ加フ
- 同 逓信局官制中ヲ改正シ所管事務中「郵便年金ノ管理ニ關スル事務」ヲ加フ
- 同 通信官署官制中ヲ改正シ「郵便年金ノ現業事務」ヲ加フ
- 十二月 逓信部内共済組合規則中ヲ改正シ救済金中ニ特給給與金ヲ加ヘ廢疾年金ノ給與額等ヲ増額シ甲種特別組合員ノ制ヲ設ク

昭和二年

- 二月 傭人扶助金支給手續中ヲ改正シ傭人ノ重大ナル過失ニ因ル傷害ニ對シテモ扶助金ヲ支給スルコトトス
- 四月 勅令第九六號ヲ以テ私法上ノ金貸債務ノ支拂延期及手形等ノ權利保存行爲ノ期間延長ニ關スル件ヲ公布シ同日ヨリ施行ス
- 七月 逓信省官制中ヲ改正シ管船局ニ設置ノ船用品検査所ヲ船舶試驗所ニ改メ船舶ノ試驗並船用品ノ検査及試験ニ關スル事項ヲ掌ラシム
- 八月 雇員及各種傭人ノ職名中ヲ改正ス
- 九月 第七回萬國度量衡總會ヲ巴里ニ開催本邦委員參列ス
- 同 萬國飛行郵便會議ヲ蘭國海牙ニ開催本邦委員參列ス
- 十一月 萬國無線電信會議ヲ「ワシントン」ニ開催本邦委員參列ス

昭和三年

- 一月 大禮使ノ設置ニ伴ヒ内國旅費ノ特例ニ關スル件並工事等ノ隨意契約ニ依ルコトヲ得ル件ヲ公布セラル
- 六月 雇員扶助令ニ關スル勅令公布セラル
- 同 傭人扶助令中改正ノ件公布セラル
- 七月 雇員扶助金支給手續ヲ制定シ六月九日ヨリ之ヲ適用ス
- 八月 萬國電信會議ヲ「ブラッセル」ニ開催本邦委員參列ス
- 同 萬國船舶信號書改訂會議ヲ「倫敦」ニ開催本邦委員參列ス
- 十一月 雇員、傭人又ハ之ニ準スヘキ者ノ懲戒免除ニ關スル件公布セラル
- 同 逓信省官制中ヲ改正シ所管事務中「水陸運輸ニ關スル事業」ヲ「水運ニ關スル事業」ニ改ム

昭和四年

- 一月 臨時電氣事業調査會官制ヲ公布ス
- 三月 英國倫敦ニ於テ開催ノ國際海上人命安全條約改訂會議ニ本邦委員參列ス

- 三月 瑞西國「ジュネーヴ」=於テ開催ノ第十二回國際勞働總會=本邦委員參列ス
- 同 英國倫敦=於テ開催ノ萬國郵便聯合大會議=本邦委員參列ス
- 四月 資源調査法公布セラル而シテ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトセリ
- 五月 逓信部内職員共済組合格則中ヲ改正シ六月一日ヨリ施行ス
- 六月 天皇陛下 潮岬燈臺、櫻野崎燈臺及潮岬無線電信局ニ行幸アラセラル
- 七月 傭人扶助令中ヲ改正シ葬祭料ヲ増額ス
- 同 逓信省被服類規程ヲ制定シ従前ノ規程、指令及通牒等ヲ廢止ス
- 同 逓信省分課規程中ヲ改正シ大臣官房ニ監察課ヲ置ク
- 八月 逓信省分課規程中ヲ改正シ東京、大阪兩逓信局ニ用品課ヲ置ク
- 同 瑞西國「ジュネーヴ」=於テ開催ノ第十三回國際勞働總會=本邦委員參列ス
- 九月 ポーランド國「ワルソー」=於テ開催ノ第二回國際航空私法會議=本邦委員參列ス
- 十一月 資源調査法施行期日ニ關スル勅令公布セラレ十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和五年

- 二月 逓信官吏練習所規則中ヲ改正ス其ノ要旨ハ各科ノ授業科目ニ變更ヲ加ヘ入學試験ニ應シ得ル範圍ヲ限定セル等ナリ
- 四月 英國倫敦=於テ開催ノ國際船舶滿載吃水線會議=本邦委員參列ス
- 五月 逓信部内職員共済組合格則中ヲ改正シ六月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 逓信省内國旅費規程中ヲ改正ス
- 七月 臨時電氣事業調査會官制ヲ廢止ス
- 同 逓信部内ニ在職スル者ノ爲シタル發明又ハ考案ニ關スル特許權又ハ實用新案權ノ歸屬ニ關スル件ヲ制定公布ス
- 同 瑞西國「ジュネーヴ」=於テ開催ノ國際聯盟總會第十一回會議=本邦委員參列ス
- 同 旅費減額支給ニ關スル件ヲ制定シ本月十五日ヨリ之ヲ施行ス
- 八月 日支通信問題交渉ニ關シ本邦委員參列ス
- 九月 ポルトガル國「リスボン」=於テ開催ノ國際航路標識會議=本邦委員參列ス
- 十月 臨時海運調査會ヲ設置ス

昭和六年

- 三月 逓信省分課規程中ヲ改正ス官印ノ管守事項ニ關スル改正ナリ
- 同 郵便切手類及收入印紙賣捌規則、印紙切手類出納規程中ヲ改正ス其ノ要旨ハ賣捌割引歩合引下ニ依ル
- 四月 逓信省分課規程中ヲ改正ス管船局分課掌理事項ニ關スル改正ナリ
- 五月 官吏減俸ニ關スル勅令公布セララル六月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 六月 物品會計規則中改正ノ件公布セラル
- 同 二以上ノ俸給ヲ受クル官吏及待遇官吏ノ減俸ニ關スル勅令公布セララル
- 九月 瑞西國「ジュネーヴ」=於テ開催ノ交通及通過ニ關スル第四回總會=本邦委員參列ス
- 十月 入營者職業保障法施行規則ヲ制定公布シ十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年

- 一月 供給勞働者扶助令公布セララル
- 同 逓信官吏練習所規則中ヲ改正ス其ノ要旨ハ修業費用ヲ減額セン等ナリ
- 二月 瑞西國「ジュネーヴ」=於テ開催ノ第十六回國際勞働總會=本邦委員參列ス

- 二月 臨時海難防止調査會ヲ設置ス
- 四月 郵便電信及電話官署渡切經費施行規程中ヲ改正ス
- 同 臨時海運調査會ヲ廢止ス
- 五月 海事審議會ヲ設置ス
- 六月 恩給ノ減額補給及停止ニ關スル法律公布セラル而シテ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトセリ
- 同 「マドリッド」=於ケル萬國電信會議及國際無線電信會議=本邦委員參列ス
- 七月 國際聯盟交通專門委員會=本邦委員參列ス
- 同 恩給ノ減額補給及停止ノ法律施行期日ニ關スル勅令公布セラレ八月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 九月 文官分限令中改正ノ件及文官分限委員會官制ニ關スル勅令公布セラレ本月二十四日ヨリ之ヲ施行ス
- 十月 郵便切手類及收入印紙賣捌規則中ヲ改正ス
- 同 臨時海難防止調査會ヲ廢止ス
- 十一月 電氣委員會官制ヲ公布シ十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 十二月 逓信省分課規程中ヲ改正シ電氣局ニ検査課ヲ設置ス
- 同 逓信省内國旅費規程及昭和五年公達第六二六號旅費減額支給ニ關スル件中ヲ改正シ即日之ヲ施行ス

昭和八年

- 一月 國際航空委員會=本邦委員參列ス
- 三月 伊國「ローマ」=於テ開催ノ第三回國際航空私法會議=本邦委員參列ス
- 四月 法律第四一號ヲ以テ通信事業特別會計法ヲ公布ス本法ハ昭和九年度ヨリ之ヲ施行セララル
- 同 恩給法中改正法律ヲ公布シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 「オタワ」=於テ開催ノ萬國郵便聯合大會議=本邦委員參列ス
- 七月 佛國巴里=於テ開催ノ第八回萬國度量衡總會=本邦委員參列ス
- 九月 恩給法施行令中ヲ改正シ十月一日(一部分ハ昭和九年四月一日)ヨリ之ヲ施行ス
- 十一月 エジプト國「カイロ」=於テ開催ノ萬國郵便聯合大會議=本邦委員參列ス

昭和九年

- 二月 雇員、傭人又ハ之ニ準スベキ者ノ懲戒免除ニ關スル件公布セラレ即日施行セララル
- 同 官吏、官吏待遇者等ノ懲戒及懲罰ノ免除、海技免除狀ヲ受有スル者及水先人ノ懲戒免除、出納官吏等ノ辨償責任ノ免除ニ關スル勅令公布セラレ即日施行セララル
- 三月 事業用物品規程中ヲ改正シ本月二十六日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 通信事業特別會計歳入歳出科目解疏ヲ定メ四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 通信事業特別會計規則、逓信省所管經費取扱規程、逓信省一般會計事務規程、通信事業特別會計事務規程、簡易生命保險及郵便年金特別會計事務規程、逓信省一般會計物品事務規程、通信事業特別會計物品事務規程、簡易生命及郵便年金特別會計物品事務規程、物品會計官吏及物品保管主任配置任命規程、切手類及印紙出納規程、逓信省國有財産事務規程及一般會計歳入歳出科目解疏等ヲ公布シ四月二日ヨリ之ヲ施行ス同時ニ舊令ハ之ヲ廢止ス
- 同 郵便電信電話官署現金受拂規則、郵便切手類及收入印紙賣捌規則、出納官吏及出納員配置任命規程、郵便電信電話現金出納計算規程、北米航路船舶内郵便局現金受拂規程、公衆電話料金取扱集規程、逓信省契約事務規程、逓信省入札者規程及契約書案、國有財産法施行令、同施行規則、逓信局通信官署雇員規程、郵便電信及電話官署現業傭人規程、逓信局通信官署技工傭人規程、同普通傭人規程、雇員及傭人給料支給規程、簡易生命保險取

扱規程及郵便年金取扱規程中ヲ改正シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス以上孰レモ通信事業特別會計法施行ニ伴フ改正ナリ

- 四月 毎年四月一日ヲ以テ遞信記念日トナスヘキ旨部内一般ニ達示セラル
- 五月 通信事業改良調査會ヲ設置ス
- 同 遞信省分課規程中ヲ改正シ即日之ヲ施行ス經理局主計課、需品課及監査課ノ掌理事務ニ關スル改正ナリ
- 六月 遞信省分課規程中ヲ改正シ電務局ニ無線課ヲ、工務局ニ線路課、機械課及無線課ヲ置ク

第一章 法 規

Section 1. Laws and Regulations

本年度中ニ於テ當省主管事項ニ關シ公布セラレタル法規類ハ法律1件、勅令19件、條約6件、省令51件、告示3,389件、公達970件、訓示2件ニシテ之ヲ前年度ニ比スレバ條約5件、告示98件、公達50件、訓示1件ヲ増加シ法律5件、勅令11件、省令61件、訓令1件ヲ減少セリ而シテ其ノ公布ニ係ル法規類中主ナルモノノ内容ニ關シテハ之ヲ關係各篇ニ於テ架設セリ

第二章 官 制

Section 2. Government Organisations etc.

本年度中ニ於ケル官制及俸給令等ノ改正ニシテ當省職員ニ關係アルモノ次ノ如シ

昭和九年六月二十日勅令第一七六號ヲ以テ遞信省官制中ヲ改正シ第八條中「技師專任62人」ヲ「技師專任67人」ニ、第九條中「屬專任285人」ヲ「屬專任318人」ニ、第十條中「技手專任117人」ヲ「技手專任129人」ニ以上孰レモ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル
同月同日勅令第一七七號ヲ以テ遞信部内臨時職員設置制中ヲ下記ノ通り改正シ公布ノ日ヨリ施行セラル

第一條第一號(電信及電話建設ノ事務ニ従事スル者)中「技師專任41人内三人ヲ勅任トナスコトヲ得」ヲ「技師專任33人内三人ヲ勅任トナスコトヲ得」ニ、「屬專任75人」ヲ「屬專任81人」ニ、「技手專任258人」ヲ「技手專任193人」ニ、同條第三號(郵便局々合共ノ他ノ震災復舊及新營事務ニ従事スル者)中震災復舊及ヲ削ル、同條第四號(民設無線電話連絡通話施設ノ事務ニ従事スル者)中「技手專任2人」ヲ「技手專任1人」ニ、第二條(電氣試驗所ニ左ノ職員ヲ増置ス)ニ次ノ一號ヲ加フ

- | | | |
|---------------------|---|-----------|
| 3. 電信及電話建設ノ事務ニ従事スル者 | } | 技師 專任 4人 |
| | | 書記 專任 3人 |
| | | 技手 專任 69人 |

第三條第一號(電信及電話建設ノ事務ニ従事スル者)中「事務官專任4人」ヲ「事務官專任6人」ニ、「技師專任16人」ヲ「技師專任18人」ニ、「書記專任68人」ヲ「書記專任91人」ニ、「技手專任233人」ヲ「技手專任253人」ニ、書記補專任13人ヲ以上孰レモ増員ス

同月同日勅令第一七八號ヲ以テ電氣試驗所官制中ヲ改正シ第二條中「技師專任23人」ヲ、「技師專任24人」ニ、「書記專任15人」ヲ「書記專任16人」ニ、「技手專任104人」ヲ「技手專任107人」ニ以上孰レモ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月同日勅令第一七九號ヲ以テ貯金局官制中ヲ改正シ第二條中「書記專任678人」ヲ「書記專任718人」ニ、「書記補專任1,155人」ヲ「書記補專任1,215人」ニ、以上孰レモ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月同日勅令第一八〇號ヲ以テ簡易保險局官制中ヲ改正シ第二條中「事務官專任17人」ヲ「事務官專任18人」ニ、「書記專任1,409人」ヲ「書記專任1,435人」ニ、「技手專任23人」ヲ「技手專任25人」ニ、「書記補專任1,799人」ヲ「書記補專任1,850人」ニ以上孰レモ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月同日勅令第一八一號ヲ以テ遞信局官制中ヲ改正シ第四條中「技師專任130人」ヲ「技師專任131人」ニ、「書記專任1,980人」ヲ「書記專任2,100人」ニ、「技手專任1,684人」ヲ「技手專任1,754人」ニ、「書記補專任1,241人」ヲ「書記補專任1,340人」ニ以上孰レモ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月同日勅令第一八二號ヲ以テ通信官署官制中ヲ改正シ第九條中「通信事務官專任119人」ヲ「通信事務官專任123人」ニ、「通信技師專任31人」ヲ「通信技師專任33人」ニ、「通信書記專任6,931人」ヲ「通信書記專任7,088人」ニ、「通信技手專任626人」ヲ「通信技手專任647人」ニ、「通信書記補11,714人」ヲ「通信書記補專任11,986人」ニ以上孰レモ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同年十二月二十二日勅令第三三二號ヲ以テ貯金局官制中ヲ改正シ第二條中「事務官專任21人」ヲ「事務官專任22人」ニ、「書記專任718人」ヲ「書記專任723人」ニ、「書記補專任1,215人」ヲ「書記補專任1,216人」ニ以上孰レモ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月同日勅令第三三三號ヲ以テ通信官署官制中ヲ改正シ第九條中「通信書記專任7,088人」ヲ「通信書記專任7,117人」ニ、「通信書記補專任11,986人」ヲ「通信書記補專任12,019人」ニ以上孰レモ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

第三章 通信公報及文書

Section 3. Official gazette and Documents.

通信公報發行數

Number of Official gazette issued.

年次 Year	種別 Description	發行回数 Times	發行部數 No.	印刷頁數 Pages	印刷費 (円) Expence (En)	平均一部 = 付 One Copy Average	
						頁數 Page	印刷費 (圓) Expence (Sen)
九年度 1934-35		321	5,893,625	35,240,068	43,169	6.0	0.73
八年度 1933-34		297	5,935,390	45,660,556	75,340	7.7	1.27
七年度 1932-33		298	5,741,533	37,464,232	61,816	6.5	1.07
六年度 1931-32		324	5,597,481	35,332,164	58,298	6.3	1.04
五年度 1930-31		297	5,548,183	38,195,950	76,392	6.8	1.38
四年度 1929-30		297	5,550,224	39,044,302	78,089	7.3	1.43
三年度 1928-29		296	5,160,817	28,441,442	56,883	5.5	1.10
二年度 1927-28		299	5,049,554	31,334,610	62,669	6.2	1.24
元年度 1926-27		293	4,946,744	28,623,852	57,248	6.2	1.16
大正十四年度 1925-26		296	4,790,869	24,654,056	49,308	5.1	1.03

文書取扱件數

Number of documents transacted.

昭和九年
1934

部 Section	種別 Description	局	收受文書通數 Number of documents received	回議文書通數 Number of drafts of official letters	淨書文書通數 Number of official letters Copied fair
大臣 官房 Ministers Secretariate	秘書課	Section of Personnel	33,451	129	123
	文書課	Section of Archives	36,951	524	900
	保健課	Section of Health and Welfare	16,518	4,106	5,365
	監察課	Section of Inspections	3,714	265	576
	官吏練習所	School of Communications Officials	-	35	5
博物館	Museum of Communication		222	382	535

文書取扱件數 (續)

Number of documents transacted.

昭和九年
1934

部 Section	種別 Description	局	收受文書通數 Number of documents received	回議文書通數 Number of drafts of official letters	淨書文書通數 Number of official letters Copied fair
郵務局	Direction General of Posts		43,592	9,030	12,906
電報局	Direction General of Telegraphs and Telephones		83,027	34,030	34,159
工務局	Direction General of Telegraph and Telephone Engineering		30,145	4,912	5,259
電氣局	Direction General of Electric Exploitation		82,483	12,741	18,359
船舶局	Direction General of Mercantile Marines		63,777	15,329	46,806
航空局	Civil Aviation Bureau		18,629	1,865	8,912
經理局	Direction General of General Accounts and Supplies		62,351	15,083	23,412
貯金局	Direction General of Postal Money Orders and savings bank		2,920	876	1,894
簡保局	Bureau of Post Office Life Insurance		8,252	16,094	34,941
電氣試驗所	Electro Technical Laboratory		1,274	483	418
合計	Grand Total	計	492,306	115,888	194,570
昭和八年	1933	年	449,899	111,750	202,708
昭和七年	1932	年	675,922	101,295	221,092
昭和六年	1931	年	443,475	104,405	253,080
昭和五年	1930	年	443,006	114,258	283,050
昭和四年	1929	年	427,148	132,851	320,969
昭和三年	1928	年	397,251	119,436	273,982
昭和二年	1927	年	383,662	128,813	235,222
昭和元年	1926	年	387,720	128,033	200,780
大正十四年	1925	年	395,760	120,442	238,140

備考 本表ハ毎週木曜日毎ニ調査シタル計數ヲ基礎トシ當該年中ノ取扱數ヲ計算セルモノニシテ推算ナリ
Note. This table makes a presumptive estimate of the number of transaction during the year concerned on the basis of calculation made every thursday

第四章 職
Section 4.
遞 信 省
Officiale,

部 局 Section	種 別 Description	親 任 Sinnin Rank	勳 任 Tyokunin Rank	奏 任 Sonin Rank	列 任 Hannin Rank		
					男 Male	女 Female	計 Total
本 省 Mdn Office	大臣官房 Ministers Secretariate	1	4	16	76	-	76
	郵務局 Direction General of Posts	-	1	5	48	-	48
	電務局 Direction General of Telegraphs and Telephones	-	1	8	75	1	77
	工務局 Direction General of Telegraph and Telephone Engineering	-	4	39	142	-	142
	電氣局 Direction General of Electric Exploitation	-	2	32	61	-	61
	管船局 Direction General of Mercantile Marines	-	3	28	43	-	43
	航業局 Civil Aviation Bureau.	-	1	14	22	-	22
	經理局 Direction General of General Accounts and Supplies	-	2	19	176	1	177
	計 Total	1	18	161	643	2	645
	貯金局 Direction General of Postal Money Orders and Savings Bank	-	1	24	1,396	248	1,644
	簡易保險局 Bureau of Post Office Life Insurance	-	2	27	2,426	233	2,659
	電氣試驗所 Electro Technical Laboratory	-	1	25	146	-	146
	燈臺局 Lighthouse Bureau	-	1	6	483	-	483
	海員審判所 Marine Court Inquiry	-	-	-	18	9	9
遞信局 Direction of Communication	-	7	206	4,143	44	4,187	
郵便電信電話局 Post, Telegraph and Telephone Office	-	-	156	26,547	1,526	28,073	
從軍 Attend to the Army	-	-	3	2	-	2	
合 計 Grand Total	計	1	30	626	35,796	2,053	37,849
昭和八年度末 March 31, 1934	1	30	613	34,965	2,096	37,061	
昭和七年度末 March 31, 1933	1	30	593	34,410	2,086	36,496	
昭和六年度末 March 31, 1932	1	29	552	32,369	1,920	34,289	
昭和五年度末 March 31, 1931	1	30	574	33,628	2,108	35,736	
昭和四年度末 March 31, 1930	1	30	572	32,900	2,138	35,038	
昭和三年度末 March 31, 1929	1	28	565	31,345	2,059	33,404	
昭和二年度末 March 31, 1928	1	28	532	30,228	1,962	32,190	
昭和元年度末 March 31, 1927	1	28	519	29,584	2,030	31,614	
大正十四年度末 March 31, 1926	1	28	512	28,564	1,932	30,496	

備考 本表ニハ嘱託員及臨時雇人ヲ包含セス
Note. This list excludes non official Staffs and those employed Temporaly.

員
Personnel.
所 屬 職 員
Employees etc.

昭和九年度末
March 31, 1935

通 信 手 (列任得遇) Post office clerk (Ranking as a Hannin official)			所 長 Chief of Postal agencies	雇 員 (high class) Employee (high class)			雇 員 (low class) Employee (low class)			合 計 Grand Total
男 Male	女 Female	計 Total		男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	
-	-	-	-	94	18	112	9	-	9	218
-	-	-	-	22	14	36	-	-	-	90
-	-	-	-	82	70	152	-	-	-	238
-	-	-	-	93	21	114	279	-	279	578
-	-	-	-	59	7	66	1	-	1	162
-	-	-	-	38	2	40	26	2	28	142
-	-	-	-	31	7	38	16	-	16	91
-	-	-	-	395	42	437	514	57	571	1,206
-	-	-	-	814	181	995	845	59	904	2,724
-	-	-	-	1,811	1,897	3,708	569	345	914	6,291
-	-	-	-	2,589	1,971	4,560	355	96	451	7,699
-	-	-	-	713	39	752	137	39	176	1,100
-	-	-	-	36	6	42	168	4	172	704
-	-	-	-	2	-	2	1	-	1	30
-	-	-	-	5,539	826	6,365	14,251	333	14,584	25,349
5,789	578	6,367	721	34,899	49,009	83,908	63,883	1,114	64,997	184,222
5,789	578	6,367	721	46,403	53,929	100,332	80,209	1,990	82,199	228,124
5,566	532	6,098	633	45,311	51,498	96,809	77,680	1,940	79,620	220,865
5,029	445	5,474	571	44,478	50,438	94,916	76,307	1,848	78,155	216,236
2,412	87	2,499	618	45,399	47,359	92,668	73,523	1,591	75,114	205,770
2,412	95	2,507	515	45,925	46,782	92,707	75,533	1,755	77,288	209,358
2,208	77	2,285	449	45,191	48,079	93,270	75,061	1,721	76,782	208,427
2,101	70	2,171	376	43,554	45,428	88,982	72,738	1,561	74,299	199,826
1,879	48	1,927	243	41,952	43,285	85,237	70,177	1,442	71,619	191,777
1,774	30	1,804	132	44,917	34,937	79,854	67,809	1,392	69,201	183,153
1,731	21	1,752	-	38,546	37,001	75,547	65,701	1,222	66,923	175,259

休職者 本省所屬官吏ニシテ本年度末現在ニ於ケル休職者ハ奏任官3人判任官75人(内三等局長39人)ナリ

外國留學者及出張者

外國留學者

官 職 名	人 員	在 留 國	研 究 科 目	在 留 期 間
遞信書記官	1	佛 國	遞信事業	一ケ年
試験所技師	1	獨 國	電信電話事業	同
遞信局書記官	1	英 國	通信事業	同
遞信局事務官	1	瑞 西	遞信事業	同
遞信局技師	1	獨 國	電信電話事業	同

外國出張者

官 職 名	人 員	出 張 國 名	調 査 事 項
遞信技師	1	英 國、米 國	電信電話技術ニ關スル事項調査
航空官	1	瑞 西	國際航空委員會ニ於ケル帝國代表者顧問

第五章 遞信官吏練習所

Section 5. Training School of Communication Officials

本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

無線通信從事員養成 昭和九年五月對外無線通信路擴張並短波長無線電信電話監督取締要員三十九名(内三名ハ退學)ノ養成ヲ開始シ十二月之ヲ了ス

遞信官吏練習所學生異動及現員

Number of Students of the Training School of Communication Officials

昭和九年度
1934-35

種 別 Description	學 科 Course	第一部行政科 Administration	第二部行政科 Telegraph	技 術 科 Technique	無 線 通 信 科 Radio Communication	合 計 Total
前年度ヨリ繰越在學 Being at school since the Preceding fiscal year	學	65	64	51	40	220
入 學 Admittance	學	37	33	27	20	117
入 學 取 消 Withdrawal of Admittance	消	-	-	2	-	2
退 學 Leaving	學	-	2	1	-	3
死 亡 Death	亡	-	-	-	-	-
卒 業 Graduation	業	28	31	25	20	104
年 度 末 現 員 At the end of the fiscal year 1933-34		74	64	50	40	228
昭和 八 年 度 1933-34		65	64	51	40	220
七 年 度 1932-33		61	63	51	40	215
六 年 度 1931-32		64	62	58	49	233
五 年 度 1930-31		67	68	70	57	262
四 年 度 1929-30		62	68	83	54	267
三 年 度 1928-29		64	67	107	63	301
二 年 度 1927-28		74	67	139	65	345
元 年 度 1926-27		81	72	155	68	376
大 正 十 四 年 度 1925-26		94	76	138	36	344

逓信官吏練習所入學志願者及合格者
Applicants and Successors for Admittance to the
Training School of Communication Officials

昭和九年度
1934-35

學科 Course	種別 Description	部内 Those in the Service	部外 Those not in the Service	依託 Entrusted	合計 Total
第一部行政科 Administration	入學志願者 Applicants	678			678
	合格者 Successors	37			37
第二部行政科 Telegraph	入學志願者 Applicants	251			251
	合格者 Successors	33			33
技術科 Technique	入學志願者 Applicants	1,365			1,365
	合格者 Successors	27			27
無線通信科 Radio Communication	入學志願者 Applicants	161			161
	合格者 Successors	20			20
合計 Total	入學志願者 Applicants	2,455			2,455
	合格者 Successors	117			117
昭和 八年度 1933-34	入學志願者 Applicants	2,619			2,619
	合格者 Successors	119			119
七年度 1932-33	入學志願者 Applicants	2,376			2,376
	合格者 Successors	115			115
六年度 1931-32	入學志願者 Applicants	2,976			2,976
	合格者 Successors	106			106
五年度 1930-31	入學志願者 Applicants	816	3,049	259	4,124
	合格者 Successors	81	39	14	134
四年度 1929-30	入學志願者 Applicants	1,047	2,795	244	4,086
	合格者 Successors	76	49	19	144
三年度 1928-29	入學志願者 Applicants	571	1,681	163	2,415
	合格者 Successors	79	57	3	139
二年度 1927-28	入學志願者 Applicants	526	1,714	161	2,401
	合格者 Successors	69	120	9	198
元年度 1926-27	入學志願者 Applicants	395	1,421	90	1,906
	合格者 Successors	57	139	6	202
大正 十四年度 1925-26	入學志願者 Applicants	364	1,196	95	1,655
	合格者 Successors	71	150	17	238

本年度中ノ返済 Redemption during present fiscal year	件數 Cases	金額 Amount	本年度貸付金現在高 Standing loans in present fiscal year	件數 Cases	金額 Amount
	75,029	376,063		7,237	273,251
69,164	333,082	6,137	184,228		
62,614	298,259	5,849	168,771		
49,436	223,411	4,959	149,569		
36,941	164,803	3,780	111,730		
26,050	120,144	2,650	77,359		
10,660	88,436	2,033	57,994		
13,999	60,165	1,508	42,528		
7,092	28,102	1,054	27,107		
4,077	11,579	358	6,052		

備考 本表中括弧内ノ数字ハ完済人員ヲ示ス
Note Bracketed figures indicate those who have completely redeemed their debts.

第七章 通信博物館

Section 7. Communication Museum

本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

陳列所ノ縦覧

本年度ニ於ケル開館日數 260日(九月二十三日ヨリ十月末日迄館内陳列模様替ノ爲臨時休館)ニシテ縦覧者總數 47,880人

内團體ノ主ナルモノハ東京市立第一高等女學校、三輪田高等女學校、東京府立中野家政女學校、牛込高等女學校、實踐

高等女學校、海城中學校其他市内各小學校生徒及東京、大阪、仙臺、札幌各通信講習所生等ナリ

陳列品ノ増加

「ケーブル」見本外166點ナリ

陳列品ノ貸出及出品

各種ノ博覽會、展覽會等ニ出品シタルモノ 23件出品總數 5,500餘點、展示延日數 439日ニ上リ其ノ主ナルモノハ國際産業

觀光博覽會、通信文化展覽會、國防と教育博覽會、朝鮮通信文化展覽會、日露開戦三十年記念展覽會、海と空の燈臺展

覽會、輸出品包裝展覽會、飛彈産業共進會及航空博覽會等ニシテ事業周知上不尠效果ヲ收メタリ

特別展覽會開催

通信記念日制定記念施設ノ一トシテ四月二十日ヨリ同二十七日迄八日間日本橋三越ヲ第一會場ニ當館ヲ第二會場トシ第

一會場(約200坪)ニハ通信事業ニ關スル各種機械ヲ陳列實驗ヲ行ヒ事業周知ノ表示ハ總テ動的施設トナシ又第二會場(約

100坪)ニハ故前島男爵ノ遺品並全國通信職員ノ餘技作品 800餘點ヲ陳列シ尙兩會場ニ於テ通信記念日制定記念ノ爲特ニ

四枚ノ切手ヲ組合セ「シート」ニ製造シタル「シート」切手ヲ發賣セリ會期中ニ於ケル來觀者第二會場 12,000餘人、第一

會場 430,000人ノ多數ニ上リ郵便局臨時各出張所ニ於ケル記念消印捺數 60,000、切手「シート」賣捌 15,000餘枚切手收入

1,900餘圓ニ達シタリ又全國博物館週間施設トシテ十一月一日ヨリ同十一日迄十一日間「郵便繪葉書ノ展覽會」ヲ當館ニ

於テ開催シ各方面ノ出品 3,408 點ヲ階上三壘及階下ノ一部ニ陳列シ尙開會ニ先テ館内全部ニ涉リ陳列模様替ヲ行ヒ事業用現行參考品ヲモ蒐集陳列ノ上會期中通信機械ノ實演及會場内ニ於テ原色版印刷機械ヲ運轉シ簡易保險勸奨用繪葉書ヲ印刷、貯金勸奨繪葉書ト共ニ入場者ニ配付スル等 逓信事業ニ關スル知識ノ普及並利用者勸奨ニカメ會期中ノ入場者ハ 24,000 餘人郵便局臨時出張所ニ於ケル記念消印ハ實ニ 50,600 餘ノ多數ニ上リ何レモ豫期以上ノ效果ヲ收メタリ

意匠圖案

義勇機九州逓信號命名記念、靖國神社臨時大祭記念、陸軍特別大演習記念、行幸記念(四ヶ所)、日露戰役三十周年記念、萬國郵便聯合爲替約定加入五十周年記念ノ各特殊通信日附印、圖案文字入日附印甲74個、同乙 155 個及統計圖表共他110餘種ノ圖案ヲ作成セリ

逓信「カレンダー」編纂

逓信事業ノ周知並利用者勸奨ニ資スル爲事業全般ニ涉リ共ノ施設ノ狀況及案内ヲ寫眞、圖表等ヲ以テ理解シ易ク表示シ夫々意匠ヲ加ヘ編纂ノ上逓信協會ヲシテ發行セシメタリ

寫 眞

事業周知及參考資料トシテ撮影シタルモノ 2,000 餘種印畫ノ作成 31,000 餘枚外ニ引伸 700 餘枚ニ上レリ

事業用品ノ改良研究

押印機ノ研究改造、切手貼付器ノ研究試驗品ノ調製、事業用品ノ改良仕様作成等 10 餘種其他各局使用ノ押印機ノ検査、修繕並取扱指導及郵便用品ノ依託検査押印機外二點共ノ數量器具 7,000 餘個皮革 100,000 坪ニ上レリ

郵便車、郵便船室ノ設備改善

稚内大泊間連絡船郵便室新設、私設鐵道郵便車改造其他電氣扇設備等 290 餘輛ナリ

第八章 逓信事業ノ狀況

Section 8. Condition of Communications

山	佐
熊	本
Kumamoto	大
	宮
	M
	鹿
	K
	沖
	O
總	Grand T
備考	1
	2
	3
	4
	5

第九章 會議 第十議

Section 9. Conference

逓信局長會議

各逓信局長ヲ召集シ昭和九年四月三十日ヨリ五月四日迄第二十回逓信局長會議ヲ、又同年十一月十日ヨリ同月十一日迄第二十一回逓信局長會議ヲ本省會議室ニ於テ開催ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

諮問事項 1件 會議事項 11件

而シテ第二十一回逓信局長會議ニ於テハ各局長ヨリ所管事業一般ニ對スル意見ヲ聽取ス

工務課長會議

各逓信局工務課長ヲ召集シ昭和九年十一月五日ヨリ同月八日迄本省會議室ニ於テ工務課長會議ヲ開催ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

諮問事項 2件 協議事項 35件

地方海事官會議

各逓信局海事部長並技術官ヲ召集シ昭和十年一月二十三日ヨリ同月二十五日迄本省會議室ニ於テ地方海事官會議ヲ開催ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

諮問事項 1件 協議事項 2件

保險課長會議

各逓信局保險課長ヲ召集シ昭和十年三月十一日ヨリ同月十六日迄芝區赤羽町分室內會議室ニ於テ第十八回保險課長會議ヲ開催ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

協議事項 6件 打合事項 20件

監督課長會議

各逓信局監督課長ヲ召集シ昭和十年三月二十六日ヨリ同月二十八日迄本省會議室ニ於テ監督課長會議ヲ開催ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

會議事項 7件

第十章 歳入及歳出

Section 10. Revenue and Expenditure

昭和九年度一般會計豫算トシテ第六十五回帝國議會ニ提出シタル歳入ハ經常部(印紙收入ヲ除ク)78,123,427圓、臨時部1,646,449圓、計79,769,876圓ニシテ歳出ハ經常部172,817,623圓、臨時部17,008,141圓、計189,825,764圓ナリ、之ニ追加豫算トシテ第六十六回及第六十七回帝國議會ニ提出シタル歳入臨時部180,851圓、歳出經常部1,414,747圓、臨時部2,403,808圓、計3,818,555圓ヲ加ヘ歳入總額79,950,727圓、歳出總額193,644,319圓ナリトス、其ノ他第一豫備金支出29,246圓、第二豫備金支出62,300圓アリ、又特別會計ニ於テ

(1) 通信事業特別會計豫算トシテ第六十五回帝國議會ニ提出シタル歳入ハ資本勘定35,813,338圓、用品勘定34,472,677圓、業務勘定273,324,351圓、計343,610,366圓ニシテ歳出ハ資本勘定35,813,338圓、用品勘定34,472,677圓、業務勘定264,126,331圓、計334,412,396圓ナリ、之ニ追加豫算トシテ第六十六回帝國議會ニ提出シタル歳入資本勘定3,058,153圓、用品勘定1,225,948圓、業務勘定4,493,894圓、計8,777,995圓、歳出資本勘定731,140圓、用品勘定1,225,948圓、業務勘定1,435,741圓、計3,392,829圓ヲ加ヘ歳入總額352,388,361圓、歳出總額337,805,225圓ナリトス

(2) 簡易生命保險特別會計豫算トシテ第六十五回帝國議會ニ提出シタルモノハ歳入223,532,638圓、歳出156,237,911圓ナリトス

(3) 郵便年金特別會計豫算トシテ第六十五回帝國議會ニ提出シタルモノハ歳入13,620,447圓、歳出5,718,761圓ナリトス而シテ之カ内譯ヲ示セハ次表ノ如シ

歳入歳出豫算及決算額

Estimates and Settlement of

Annual Receipts and Expenditure

昭和九年度
(1934-35)

科	Item	目	豫算 Estimates	決算 Settlement	
歳入 Revenue	經常部 Ordinary	印紙收入 Stamps	72,969,331	77,273,968	
		官業及官有財産收入 Receipt from public undertakings and State Property	348	113,645	
		郵便電信及電話收入 Post, Telegraph & Telephone Service		113,280	
		官有物貸下料 Rent of the Government-Property	348	365	
		通信事業特別會計納付金 Transfers from the special account for the postal, telegraph and telephone services	78,000,000	78,000,000	
		雑收入 Miscellaneous	123,079	148,476	
		合計 Total	151,092,758	155,536,088	
		臨時部 Contingent	官有物拂下代 Proceeds of Sale of the Government-Property	8,825	9,493
			特別會計ヨリ繰入 Transferred from Special Account	1,818,475	1,235,731
			合計 Total	1,827,300	1,245,223
總計 Grand Total		152,920,058	156,781,311		
經常部 Ordinary	経常部	逓信本省 Main Office	1,037,435	1,030,575	
		逓信費 Direction of Communications	1,237,317	1,222,323	
		電氣試験所 Electro-Technical Laboratory	340,352	339,397	
		燈臺局 Lighthouse Bureau	1,066,375	1,063,478	
		年金及恩給 Annuities and Pensions	170,513,337	170,070,880	
		諸支出金 Miscellaneous	36,554	45,697	
		合計 Total	174,232,370	173,775,351	

歲入歲出豫算及決算額 (續)

Estimates and Settlement of (Continued)

Annual Receipts and Expenditure

昭和九年度
(1934-35)

科	Item	目	豫算 Estimates	決算 Settlement
	補助及獎勵費	Subsidies and Bounties	16,194,356	16,504,638
	海員被濟補助	Subsidies for the welfare of Seamen	16,000	16,000
	水難救濟補助	To rescue from Sea-Casualties	56,000	56,000
	航路 Steamship 補助	To extend Steamship	9,995,764	10,263,354
	電氣用品標準仕様制定補助	To standardize Electrical Articles	2,720	2,720
	船員職業紹介事業補助	To facilities for finding Employment for Seamen	94,100	94,100
	航空獎勵金	To encourage civil Aviation	199,837	173,983
	航空輸送補助	To facilities for air transport	1,260,000	954,042
	海員社會事業補助	To Social enterprises for Seamen	935	935
	船員授職事業補助	Subsidies to relieve unemployed officers	319,000	-
	失業船員救濟施設補助	Subsidies for the relief facilities for the unemployed seamen	-	209,697
	船舶改善助成費	Subsidies to improve merchant fleet	4,250,000	4,733,858
歲出 Expenditure	航路標識建設及改修費	Expenses for building and repairing beacons	208,125	206,971
臨時部 Contingent	管 繕及修費	Building & Repairing	59,110	44,064
	造船鐵材調査費	Expenditure for the recognition of exemption from Customs duty on ship-building materials	36,779	36,065
	電氣試驗所臨時研究費	Electro-Technical Laboratory research expenses for the limited term	24,246	24,186
	船舶改善施設費	Expenditure for merchant fleet improvement scheme	61,154	60,651
	臨時船舶検査其他諸費	Special Marine Surveying Expenses and Others	36,585	35,023
	航空路施設費	Expenditure on establishment of airways	390,145	68,088
	震災復舊及新營費	Restoration expenditures for services damaged by earthquake-fire and new services expenditures	27,641	18,725
	災害費	Calamities	66,741	125,817

歲入歲出豫算及決算額 (續)

Estimates and Settlement of (Continued)

Annual Receipts and Expenditure

昭和九年度
(1934-35)

科	Item	目	豫算 Estimates	決算 Settlement
	通信事業特別會計へ繰入	Transfers to the special account for the postal, telegraph and telephone services	2,307,067	2,307,067
	合 計	Total	19,411,949	19,431,344
總	Grand Total	計	193,644,319	193,206,695
通	通信事業	Communication service		
	業務勘定過剩金繰入	Transfer of the surplus belonging to the business account	12,256,123	25,955,580
	事業設備補充費繰入	Transfer of the supplying expenses for service equipments	1,550,000	1,549,171
	電信電話建設寄付及設備負擔金	Contributions to the construction of telephone and telegraph equipments and allotments for the equipments	9,907,487	10,580,359
	公債	Public loans	15,000,000	9,850,000
	雜收	Other incomes	157,881	122,393
	用品勘定過剩金繰入	Transfer of the surplus belonging to plant and equipment account	-	56,534
	計	Total	35,871,491	45,114,036
歳入 Revenue	一般會計ヨリ受入	Receipts from the general account	-	2,307,067
	合 計	Total	38,871,491	50,421,103
資本勘定 Capital account	電信電話設備擴張改良及補充費	Expenses for extension improvement and supply of telephone and telegraph equipments	31,519,500	25,984,964
	電信電話管繕費	Building and Repairing of Telegraph and Telephone	711,718	587,188
	管 繕	Building and Repairing	832,820	806,146
	諸 支	Miscellaneous	23,179	17,755
歳出 Expenditure	一般會計へ繰入	Carried over to general Account	1,140,618	631,844
	國債整理基金特別會計繰入	Transfer of the sinking funds to the special account	1,346,291	1,346,291
	豫 備 金	Emergency Fund	420,000	-

歳入歳出豫算及決算額 (續)

Estimates and Settlement of (Continued)
Annual Receipts and Expenditure

昭和九年度
(1934-35)

科	Item	目	豫算 Estimates	決算 Settlement	
特別會計 Special Account	用品勘定 Plant and equip- ment account	災 害 費 Calamities	550,239	336,125	
		震 災 復 舊 及 新 營 費 Restoration expenditures for services dama- ged by earthquake-fire and new services- expenditures	-	11,898	
		合 計 Total	36,544,478	29,722,212	
	用品勘定 Plant and equip- ment account	通信事業用品及工作收入 Communication plants and their operating revenues	用品及工作收入 Plants and their operating revenues	35,549,138	27,920,590
			雜 收 入 Other Incomes	149,487	612,960
			合 計 Total	35,698,625	28,533,550
	用品勘定 Plant and equip- ment account	通信事業用品及工作費 Communication plants and their operating expences	通信事業用品及工作費 Communication plants and their operating expences	34,678,625	33,555,451
			歲 出 豫 備 金 Emergency Fund	1,020,000	-
			合 計 Total	35,698,625	33,555,451
	業務勘定 Business account	業務收入 Revenues from communication service	業 務 收 入 Revenues from the service	268,366,754	269,575,999
大藏省預金部特別會計ヨリ繰入 Transfers from the special account for the Deposit Bureau of the De- partment of Finance			9,100,000	9,100,000	
利 子 收 入 Revenues from interest			1,000	1,362	
雜 收 入 Other Incomes			350,491	583,679	
合 計 Total			277,818,245	279,261,039	
業務勘定 Business account	業務支出 Expenses for communication service	通 信 業 務 費 Expenses for communication service	180,193,408	175,300,316	
		一 般 會 計 納 付 金 Transfers to the general account	73,000,000	78,000,000	
		歲 出 豫 備 金 Emergency Fund	7,368,714	-	
		合 計 Total	265,562,122	253,360,316	

歳入歳出豫産及決産額 (續)

Estimates and Settlement of (Continued)
Annual Receipts and Expenditure

昭和九年度
(1934-35)

科	Item	目	豫算 Estimates	決算 Settlement
簡 易 生 命 保 險 Post Office Life Insurance	歳 Revenue 入	保 險 料 Premium Income	180,763,310	196,418,043
		運 用 收 入 Interest Income	42,349,534	42,462,694
		雜 收 入 Other Incomes	419,794	708,088
		合 計 Total	223,532,638	239,588,825
	歳 Expenditure 出	簡 易 生 命 保 險 費 Total Outgo of Post Office Life Insurance	152,350,117	113,921,397
		營 繕 費 New Office Building Account	10,000	2,342
		一 般 會 計 へ 繰 入 Carried over to General Account	677,794	603,887
		豫 備 金 Emergency Fund	3,200,000	-
	合 計 Total	156,237,911	114,527,626	
	郵 便 年 金 Post Office Life Annuities	歳 Revenue 入	掛 金 Considerations	10,168,850
運 用 收 入 Interest Income			3,444,024	3,897,857
雜 收 入 Other Incomes			7,573	11,818
合 計 Total			13,620,447	16,424,975
歳 Expenditure 出		郵 便 年 金 費 Total Outgo of Post Office Life Annuities	5,618,761	4,362,578
歳 Expenditure 出	豫 備 金 Emergency Fund	100,000	-	
	合 計 Total	5,718,761	4,362,578	

備 考 本表中合計(又ハ總計)ト其ノ内容ト符合セサルモノアルハ圓未満ノ端數ヲ四捨五入シタルニ依ル

Nota. Some of the totals (or grand totals) in this table do not coincide with the actual summing up of the numbers, which is due to fractions of 1 yen not less 50 sen being counted as 1 yen and the rest disregarded.

歲入歲出決算額

The Settled Accounts of the Revenue and Expenditure

年次	經 常 部	臨 時 部	計
Year	Ordinary	Contingent	Total
八 年 度 1933-34	Revenue 335,369,372 Expenditure 309,863,816	Revenue 1,454,284 Expenditure 43,307,950	Revenue 336,823,656 Expenditure 353,171,766
七 年 度 1932-33	Revenue 309,707,273 Expenditure 302,665,989	Revenue 664,842 Expenditure 41,242,257	Revenue 310,372,115 Expenditure 343,908,246
六 年 度 1931-32	Revenue 294,728,353 Expenditure 297,308,346	Revenue 355,218 Expenditure 31,508,725	Revenue 295,083,571 Expenditure 328,817,071
五 年 度 1930-31	Revenue 299,280,656 Expenditure 296,218,812	Revenue 238,667 Expenditure 39,277,096	Revenue 299,519,323 Expenditure 335,495,908
四 年 度 1929-30	Revenue 318,974,007 Expenditure 296,046,667	Revenue 300,374 Expenditure 60,877,341	Revenue 319,274,381 Expenditure 356,924,008
三 年 度 1928-29	Revenue 320,391,517 Expenditure 287,072,261	Revenue 368,468 Expenditure 53,686,589	Revenue 320,759,985 Expenditure 340,758,850
二 年 度 1927-28	Revenue 318,627,713 Expenditure 280,407,178	Revenue 313,051 Expenditure 70,944,278	Revenue 318,940,764 Expenditure 351,351,456
元 年 度 1926-27	Revenue 306,491,863 Expenditure 262,785,437	Revenue 307,644 Expenditure 89,919,067	Revenue 306,799,507 Expenditure 352,704,504
大 正 十 四 年 度 1925-26	Revenue 301,970,174 Expenditure 254,717,236	Revenue 692,905 Expenditure 81,122,878	Revenue 302,663,079 Expenditure 335,840,114

第十一章 財產

Section 11. Property

土地面積

Area of Land

昭和九年度末
March 31, 1935

會計別	本 省	管 船 局	航 空 局	貯 金 局	電 氣 試 驗 所	簡 易 保 險 局	通 信 局	在 中 華 民 國 電 信 局	燈 臺 局	合 計
Classification of Accounts	Main Office	Direction of Mercantile Marine	Civil Aviation Bureau	D. G. of P. Money Orders and Savings Bank	Electro Technical Laboratory	Bureau of Post Office Life Insurance	Direction of Communication	Telegraph Office in Middle Republic	Lighthouse Bureau	Total
一 般 會 計 所 屬	4,495	16,145	2,117,773	-	17,024	-	11,111	-	2,829,613	4,996,161
通 信 事 業 特 別 會 計 所 屬	69,183	-	-	44,175	63,799	-	1,604,992	2,100	-	1,784,249
簡 易 生 命 保 險 特 別 會 計 所 屬	-	-	-	-	-	50,622	6,909	-	-	57,531
合 計	73,678	16,145	2,117,773	44,175	80,823	50,622	1,623,012	2,100	2,829,613	6,837,941
八 年 度 1931	165,680	-	2,117,510	44,175	-	50,622	1,554,424	2,099	2,824,062	6,758,572
七 年 度 1933	175,852	-	2,076,614	44,175	-	58,999	1,526,301	2,099	2,750,168	6,634,208
六 年 度 1932	178,903	-	565,930	44,175	-	58,999	1,582,748	2,099	2,730,855	5,163,709
五 年 度 1931	178,460	-	565,953	44,175	-	49,081	1,556,360	2,099	2,729,655	5,125,783
四 年 度 1930	178,457	-	565,969	44,123	-	49,081	1,541,967	2,099	2,723,258	5,104,954
三 年 度 1929	214,242	-	-	25,845	-	49,081	1,477,025	2,099	2,647,806	4,416,152
二 年 度 1928	198,374	-	-	25,845	-	49,081	1,433,122	3,803	2,639,932	4,350,162
元 年 度 1927	170,057	-	-	21,978	-	45,842	1,370,396	3,812	2,625,932	4,237,917
大 正 十 四 年 度 1926	199,428	-	-	21,127	-	22,344	1,307,820	3,808	2,587,634	4,142,161

建築物面積

Area of Buildings

昭和九年度末
March 31, 1935

會計別 Classification of Accounts	部 Section	局 Bureau	本 省										合 計 Total	
			本 省 Main Office	管船局 Direction General of Mercanti- le Marines	航空局 Civil Aviation Bureau	貯金局 D. G. of P. Money Orders & Savings Bank	電氣試驗所 Electro Technical Labora- tory	簡易保險局 Bureau of Post Office Life In- surance	遞信局 Direction of Con- muni- cation	在中華民國 電信局 Office in Middle Re- public	燈臺局 Light- house Bureau	合 計 Total		
			平方メートル Sq. metre	平方メートル Sq. metre	平方メートル Sq. metre	平方メートル Sq. metre	平方メートル Sq. metre	平方メートル Sq. metre	平方メートル Sq. metre	平方メートル Sq. metre	平方メートル Sq. metre	平方メートル Sq. metre	平方メートル Sq. metre	平方メートル Sq. metre
一般會計所屬 General Account			15,115	7,339	2,007	-	7,985	-	7,542	-	-	50,375	90,863	
通信事業特別會計所屬 Communication Services Special account			72,553	-	-	51,620	21,130	-	9,260	54	3,401	-	1,074,758	
簡易生命保險特別會計所屬 Post office Life Insurance Special account			-	-	-	-	-	56,009	3,529	-	-	-	59,538	
合 計 Total			87,668	7,339	2,007	51,620	29,115	56,009	937,125	3,401	50,375	1,225,159		
八 年 度 末 March 31, 1934			93,754	-	1,722	14,995	-	14,555	493,755	1,580	48,611	-	672,972	
七 年 度 末 March 31, 1933			92,146	-	1,726	15,448	-	17,071	493,743	1,580	47,755	-	668,469	
六 年 度 末 March 31, 1932			91,392	-	280	15,434	-	17,071	485,838	1,580	45,888	-	657,483	
五 年 度 末 March 31, 1931			92,020	-	350	24,542	-	17,071	468,422	1,580	43,626	-	647,611	
四 年 度 末 March 31, 1930			91,808	-	350	16,648	-	17,071	451,027	1,580	43,899	-	621,383	
三 年 度 末 March 31, 1929			88,532	-	-	16,605	-	17,239	429,235	1,580	41,326	-	594,567	
二 年 度 末 March 31, 1928			88,062	-	-	16,591	-	8,406	419,946	1,580	40,765	-	575,350	
元 年 度 末 March 31, 1927			90,162	-	-	16,185	-	8,410	395,592	1,570	40,433	-	552,352	
大 正 十 四 年 度 末 March 31, 1926			107,921	-	-	29,851	-	14,654	555,799	3,389	33,740	-	750,354	

船舶

Shipping

昭和九年度末
March 31, 1935

會計別 Classification of Accounts	部 Section	局 Bureau	本 省				遞 信 局 Direction of Commu- nication	燈 臺 局 Lightho- use Bureau	合 計 Grand Total		
			理 理 局 Direction General of Accounts and Supplies	工 務 局 Direction General of Telegraph and Telephone Engineering	管 船 局 Direction General of Marcantile Marines	航 空 局 Civil Aviation Bureau				合 計 Total	
			船 數 No.	總 噸 數 Gross Tonnage	船 數 No.	總 噸 數 Gross Tonnage	船 數 No.	總 噸 數 Gross Tonnage	船 數 No.	總 噸 數 Gross Tonnage	
一般會計所屬 General Account	汽 船 Steamers		1	-	4	-	-	1	11	23	35
	雜 船 Other Ships		-	-	-	1	-	1	4	35	40
通信事業特別會計所屬 Communication Services Special Account	汽 船 Steamers		1	3	-	-	-	4	25	-	29
	雜 船 Other Ships		3	7,196	-	-	-	7,199	380	-	7,579
合 計 Total	汽 船 Steamers		1	3	1	1	6	81	58	145	
	雜 船 Other Ships		3	7,196	4	-	7,203	461	2,503	10,167	
八 年 度 末 March 31, 1934	汽 船 Steamers		-	-	-	-	-	5	81	60	146
	雜 船 Other Ships		-	-	-	-	7,200	495	2,497	10,192	
七 年 度 末 March 31, 1933	汽 船 Steamers		-	-	-	-	-	4	99	57	160
	雜 船 Other Ships		-	-	-	-	7,196	490	2,485	10,171	
六 年 度 末 March 31, 1932	汽 船 Steamers		-	-	-	-	-	4	101	61	166
	雜 船 Other Ships		-	-	-	-	7,193	502	2,481	10,176	
五 年 度 末 March 31, 1931	汽 船 Steamers		-	-	-	-	-	3	106	61	170
	雜 船 Other Ships		-	-	-	-	7,186	479	2,475	10,140	
四 年 度 末 March 31, 1930	汽 船 Steamers		-	-	-	-	-	3	109	60	172
	雜 船 Other Ships		-	-	-	-	7,186	479	2,500	10,165	
三 年 度 末 March 31, 1929	汽 船 Steamers		-	-	-	-	-	3	110	58	171
	雜 船 Other Ships		-	-	-	-	7,183	479	2,491	10,153	
二 年 度 末 March 31, 1928	汽 船 Steamers		-	-	-	-	-	4	108	58	170
	雜 船 Other Ships		-	-	-	-	11,245	473	2,496	14,214	
元 年 度 末 March 31, 1927	汽 船 Steamers		-	-	-	-	-	4	108	56	168
	雜 船 Other Ships		-	-	-	-	11,245	509	2,459	14,213	
大 正 十 四 年 度 末 March 31, 1926	汽 船 Steamers		-	-	-	-	-	24	108	57	189
	雜 船 Other Ships		-	-	-	-	11,236	402	2,460	14,098	

通 信
COMMUNICATIONS

第二編 通信

Chapter 2. Communications

郵務、電務、工務各局沿革略誌

郵務、電務、工務ノ三局ハ孰レモ元通信局ノ一分課ナリシカ大正十四年五月逓信省官制改正ノ結果夫々本省内ノ一局トナリタルモノニシテ内郵務、電務兩局ノ如キハ從來屢々離合ヲ繰返シテ今日ニ至レリ而シテ右三局ノ所掌事項ハ通信事務運行上相互密接ノ關係ヲ有スルモノナルヲ以テ本沿革ニ於テモ特ニ三局ヲ分掲セス而シテ郵便、電信事務ニ至リテハ其ノ濫觴ヲ遠クニ發スト雖制度トシテ之ヲ認メラレタルハ電信ニ在リテハ明治二年、郵便ニ於テハ明治四年トス爾後幾多ノ所管廳省等ノ變遷ヲ經テ今日ニ至レルカ以下年ヲ逐フテ之カ沿革中主ナルモノヲ摘録スレバ次ノ如シ

明治元年

- 一月 三職ノ職制分課ヲ定メラレ諸國水陸運輸驛路ノ事務ハ内國事務總督ノ所管ニ屬ス
- 二月 改メテ八局ヲ置キ上記ノ事務ハ内國事務局ノ所管ニ屬ス
- 閏四月 内國事務局ヲ廢シテ會計官ヲ置キ七司ヲ管シ驛遞司其ノ一ニ屬ス
- 七月 各地飛脚賃錢ノ制ヲ定ム
- 九月 驛遞規則ヲ定メ驛遞ノ法ハ驛遞司之ヲ裁定シ府藩縣之ヲ遵守シ驛卿ノ組替、訴訟請願、各驛ノ配置等凡テ驛遞司ノ管理ニ屬セシム
- 十月 車駕東遷ニ際シ驛遞司ヲ東京(七月江戸ヲ東京ト改稱)ニ置ク
- 同 諸官司ノ發スル公狀、諸荷物ハ一切各驛傳馬所ニ於テ遞傳セシメ驛遞官吏一名ヲ出シテ監督セシム

明治二年

- 四月 民部官ヲ置カレ驛遞司ハ其ノ所管ニ屬ス
- 七月 官ヲ改メ省トナシ民部省廢セラレ驛遞司ハ民部大藏省ニ屬ス
- 八月 驛遞司ヲ驛遞寮ニ改ム
- 同 始メテ電信事業開設ノ事ニ著手セルモ事草創ニ係リ所管廳ヲ建ツルニ至ラス假ニ燈臺事務ニ附屬シテ外務省ノ管理ニ屬セシカ翌月燈臺事務ノ大藏省ニ移サルルニ及ヒ電信事務モ亦之ニ屬ス
- 同 横濱燈明臺役所及同港裁判所間ニ電信線ヲ架設シテ指字機ヲ裝置シ專ラ官用通信ノ用ニ供ス
- 同 神奈川縣ヲシテ横濱裁判所、東京運上所間電信線建設事務ヲ處理セシメ横濱裁判所内ニ傳信機役所ヲ置ク
- 九月 傳信機取扱規則(十三項ヨリ成ル)ヲ設ク
- 同 東京横濱間ニ電信線ヲ架設ス
- 十月 東京運上所内ニ傳信機役所ヲ置ク
- 十一月 傳信機ニ關スル七項ヲ規定シテ各省及近傍府縣内ニ布告ス
- 十二月 傳信機役所ヲ傳信局ト改稱ス

明治三年

- 四月 歐文通信ノ取扱ヲ開始ス
- 七月 民部大藏省ヲ民部省及大藏省ニ分ツニ方リ、驛遞及電信事務ハ民部省ニ屬シ省中四司(土木、驛遞、鑛山、通商)六掛(聽訟、社寺、鐵道、傳信機、燈臺、横須賀製鐵所)ヲ置キ電信ニ對シテハ始メテ傳信機ノ名アルニ至ル然レトモ實際ハ尙舊例ニヨリ燈臺掛ニ於テ之ヲ處理セリ

- 八月 大阪、神戸間=電信線ヲ架設シ大阪川口、神戸大手町=傳信局ヲ置キ事務ヲ開始ス
- 同 大北電信會社=上海長崎間及浦鹽長崎間ノ兩海底線ヲ長崎=陸揚シ及長崎横濱間=海底線ヲ布設スルコトヲ許可シ丁抹公使ト之=關スル條約ヲ交換ス(長崎横濱間ハ起工=至ラス明治十五年其ノ許可ヲ廢止ス)
- 同 工部省ヲ置キ電信事務ハ同省=屬ス
- 同 兵庫縣=於テ日曜日其ノ他公休日ヲ廢シテ公業ノ利便ヲ圖リ十一月五日ヨリ年中晝夜ノ別ナク電信ヲ取扱ヒ午後七時ヨリ午前七時=至ル間ハ料金ヲ倍課シ且公用通信ノ無料ヲ改メテ一般通信料ノ半額ヲ徵スルコトヲ令ス
- 十二月 郵便開設=關シテ十二藩六縣=令シ東海道品川ヨリ大津=至リ、城州伏見ヨリ河州守口=至ル管内各驛皆書狀集函及切手賣捌所ヲ設ケシム

明治四年

- 一月 飛脚便法ヲ設ケ公私通信ヲシテ自在ナラシムルコトヲ令シ三月以降東京ヨリ大阪=至ル三十九時間飛脚ヲ廢シ東海道各驛四里四方各村及勢州、美濃路モ右幸便ヲ以テ達スルコトシ諸官省發公信モ亦定費ヲ以テ貨錢切手ヲ購買シ發送スルコトトス
- 二月 書狀貨錢切手四十八文、百文、二百文、五百文ノ四種發行=付各管内便宜ノ地及資産アル者ヲ選ヒテ切手ノ發賣ヲ命シ、百文=付四文ノ手数料ヲ給スルコトトス
- 同 郵便差出方心得及時間貨錢表ヲ布告ス
- 三月 東京大阪間=新式郵便ヲ實施シ兩地=郵便役所ヲ設ク
- 四月 民部省ヨリ電信事務ノ繼承ヲ完了ス依テ工務省=傳信掛ヲ置ク
- 五月 官用傳信機規則ヲ定メ公信ト雖有料トス
- 六月 上海長崎間海底線成リ海外ト通信ヲ開始ス
- 七月 民部省廢セラレテ驛遞司ハ大藏省=屬シ翌八月驛遞寮ト改稱ス
- 同 八月=涉リ横濱、神戸、長崎、函館、新潟ノ五港へ郵便役所ヲ設ケ其ノ貨錢表ヲ發行ス
- 八月 工部省官制ヲ定メ電信寮ヲ置ク
- 同 大阪以西ノ書狀發行法ヲ定ム
- 同 東京長崎間(三百五十七里)陸線架設ノ工ヲ起ス
- 十月 「モールス」印字機始メテ渡來ス

明治五年

- 三月 増補郵便規則(四年十一月制定)ヲ頒布ス、其ノ要旨ハ書狀ノ外新聞雜誌、書籍見本、書留郵便ノ差出方ヲ定メ、官廳宛公益=關スル建白書又ハ願書等開封ノモノハ無料トシ、貨幣封入書狀、危險物等ヲ郵便禁制品トシ、外國郵便差出ノ手續等ヲ定メタルコト等ナリ
- 同 東京市内=一日三回ノ郵便集配ヲ開ク
- 四月 傳信局ヲ電信局ト改稱シ西京=モ電信局ヲ開ク
- 同 東京長崎間通信料ヲ定ム
- 五月 東京横濱間=一日五回往復便ヲ開キ且郵便切手ヲ貼付セザル書狀ノ遞送ヲ營業トスルヲ禁シ郵便ヲ政府ノ專掌=屬セシム
- 六月 金子入書狀遞送規則ヲ發布シテ東京横濱間=實施ス
- 七月 國內(後志、膽振ヲ除ク)本支道ノ別ナク縣廳所在地及港、津、市、驛等公私用務繁多ノ地=凡テ信書ノ遞送ヲナサシム
- 同 海外通信内地傳送料額ヲ定ム

- 八月 赤間關海島=一線ヲ沈設ス之ヲ第一線海底線トス
- 九月 十錢、二十錢及三十錢郵便切手ヲ發行ス
- 同 東京府内各局通信料額ヲ定ム
- 同 一般私線ノ架設ヲ許ササルコトトス
- 十一月 各府縣=告諭シ電報ハ創業ノ際工事多端通信停滯ノ虞ナシトセザル=付中間局=於テ通信杜絶シタルトキハ郵便ヲ以テ送達スヘク其ノ延滯=對シテハ損害賠償ノ責=任セザルコトヲ明カニス

明治六年

- 二月 東京長崎間架線ノ工竣ハリ沿道ノ地=順次電信局ヲ開ク
- 三月 四錢郵便切手ヲ發行ス
- 四月 郵便役所ヲ分チテ一等乃至四等トス
- 同 郵便貨錢ノ稱呼ヲ廢シテ郵便稅ト改稱シ量目等一ノ信書ハ里程ノ遠近=係ハラス均一郵稅トス、但シ市内郵便、地方郵便、市外増稅ハ尙舊=依ル
- 五月 東京長崎間各電信局ヲ事務ノ繁閑=ヨリ一等乃至三等=分ツ
- 同 信書遞送ノ業務ハ驛頭頭ノ特任=歸シ茲=本邦郵便制度始メテ定マル
- 同 同文電報ノ取扱ヲ開始ス
- 八月 大日本政府電信取扱規則ヲ制定シ、通信ノ方法順序ヲ示シ、語字及符號ノ計算並郵便配達、返送料前納、報知依頼、校正、符號各電報ノ種別ヲ明カニス
- 十二月 郵便葉書、封皮、帶紙ヲ發行シ其ノ用方規則ヲ頒布ス

明治七年

- 一月 驛遞寮ハ内務省所管トナル
- 同 六錢郵便切手ヲ發行ス
- 二月 飛信遞送規則ヲ制定シ非常ノ通信=限リテ用フルコトトス
- 同 海外電信料ヲ改正ス
- 三月 琉球=郵便局ヲ開ク
- 六月 北米合衆國ト郵便交換條約ヲ締結シ八年一月ヨリ實施ス
- 八月 電信私線規則ヲ定メ官線ナキ地=私線ノ架設ヲ許シ之=關スル條項ヲ規定ス
- 九月 日本帝國電信條例ヲ制定シ電信=關スル諸般罰則等ヲ規定ス
- 十二月 在本邦米國郵便局ヲ撤退ス

明治八年

- 一月 米國トノ郵便交換條約ヲ實施ス
- 同 郵便役所ヲ郵便局ト改稱シ且同一市内=數個ノ郵便局アルモノハ其ノ一局ヲ本局トシ其ノ他ハ總ヘテ分局トシ郵便局又ハ分局ト隔絶セル土地=郵便受取所ヲ設置ス
- 十月 電信各局ノ開閉時限ヲ一定シ午前六時ヨリ午後十時マテトス

明治九年

- 一月 局待電報ノ制ヲ定ム
- 三月 追尾電報ノ制ヲ定ム
- 四月 上海=本邦郵便局ヲ開キ芝罘、鎮江等八港=郵便受取所ヲ設置ス
- 六月 火災報ヲ一定シ出火=關スル揭示ヲナスコトトス

- 九月 五厘郵便切手及一錢通常葉書ヲ發行ス
- 十二月 朝鮮釜山ニ本邦郵便局ヲ設置ス

明治十年

- 一月 各省諸寮ヲ廢シテ局ヲ設クルコトトナリ驛遞寮、電信寮ヲ驛遞局又ハ電信局ニ改メ地方電信局ハ之ヲ電信分局ト改稱ス
- 二月 萬國聯合郵便條約ニ加盟シ六月ヨリ之ヲ實施ス
- 六月 外國郵便葉書ヲ發行ス
- 十一月 八錢郵便切手ヲ發行ス

明治十一年

- 三月 東京本町ニ電信中央局ヲ設置シテ全國電信ノ中心トシ二十五日電信開業式ヲ舉行ス
- 同 海外通信ハ萬國電信公法ニヨリ取扱フコトトス
- 同 内國及文通信ハ住所姓名等ノ數字ヲ音信文ニ通算シテ料金ヲ徵スルコトトナル(十一月住所姓名ヲ一通五錢ニ改ム)
- 五月 佛國巴里ニ開催ノ萬國郵便聯合會議ニ本邦委員ヲ出席セシメ六月其ノ決議ニ依ル萬國聯合郵便條約ニ加盟シ翌年四月ヨリ之ヲ實施ス

明治十二年

- 一月 萬國電信條約ニ加盟調印了ス
- 四月 倫敦ニ開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 五月 電信取扱規則ヲ改定シ七月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ秘密ヲ嚴守シ安寧秩序ヲ害スル電報ノ取扱ヲ禁シ、通信上ノ責任ヲ明シ、取扱ヲ便利ニシテ改追尾電報ヲ設ケ、至急電報ノ制ヲ開キ、照校、受信報知電報ヲ定メ、同文電報ヲ連名電報トシタルコト等トス
- 六月 二錢葉書、五十錢郵便切手及三錢萬國郵便聯合葉書ヲ發行ス
- 七月 著信電報ハ凡テ炭酸紙ヲ以テ謄寫スルコトトス
- 十二月 在本邦英國郵便局ヲ撤去セシメ同時ニ英領香港郵政廳ト小包交換條約ヲ締結シ翌年一月ヨリ實施ス
- 同 工部省製機掛ニ於テ始メテ「モールス」印字機十臺ヲ製出ス

明治十三年

- 三月 在本邦佛國郵便局ヲ撤去セシム茲ニ於テ本邦郵便事業ハ舉ケテ我カ統管ニ歸ス
- 同 地震報知方法ヲ設ケ横濱、東京近傍十四局ニ達示シテ之ニ依ラシム
- 五月 朝鮮元山津ニ本邦郵便局ヲ開設ス
- 十月 海外ニ發スル電報文中ニ邦語ヲ用フルコトヲ認ム

明治十四年

- 四月 農商務省ヲ置カレ驛遞局ハ其ノ所管ニ屬ス
- 七月 郵便支局ノ制ヲ設ケ(十六年五月廢ス)
- 八月 清國芝罘、鎮江等八ヶ所ニ設置セル本邦郵便受取所ハ收支償ハス且取扱人共ノ人ヲ得難キニ依リ悉ク之ヲ閉鎖ス
- 同 地方人民ヨリ興業費及局舎等ヲ獻納シ電信置局ヲ請願スルトキハ必要ト認ムルモノハ之ヲ許可ス

明治十五年

- 六月 電信取扱規則ヲ改正シ、島嶼配達ノ制ヲ加ヘ、内國至急官報料金ヲ通常信ノ二倍トシ閉局時限後ト雖之カ取扱

ヲナシシメ其ノ他諸般ノ事項ヲ改正ス

- 十月 海底線保護萬國會議ニ我在佛公使館員ヲ參列セシム
- 十一月 郵便條例ヲ制定シ從來ノ諸法規ヲ統一改正シテ郵便物ヲ第一種乃至第四種ニ分テ郵便料額ヲ全國均一トス

明治十六年

- 一月 五錢郵便切手ヲ發行ス
- 三月 朝鮮ト日朝間海底線布設ニ關スル條約ヲ締結ス
- 同 驛遞區編制法ヲ定メ全國ヲ劃シテ驛遞區トシ、驛遞區ヲ劃シテ郵便區トス而シテ每驛遞區ニ一驛遞出張局ヲ設ケ、每郵便區ニ郵便局ヲ置キ驛遞出張局ヲシテ其ノ驛遞區内ノ郵便局ヲ管理シ、郵便局ヲシテ其ノ郵便區内ノ郵便受取所及切手賣下所ヲ管理セシム
- 十月 海底線保護萬國聯合會議ニ再ヒ在佛公使館員ヲ參列セシム
- 十一月 大阪梅田電信分局ヲ西部電信中央局トシ大阪以西各分局ニ發着スル音信ノ繼送ヲ掌ラシム

明治十七年

- 六月 郵便徽章ヲ定ム
- 十二月 電信披閱手續ヲ設ケ犯罪事件檢察上ノ必要ニ應セシム

明治十八年

- 一月 二錢内國郵便往復葉書及六錢萬國郵便聯合往復葉書ヲ發行ス
- 三月 葡國里斯本府ニ開催ノ萬國郵便聯合會議ニ本邦委員ヲ參列セシメ其ノ決議ニ依ル追加條約ニ同盟シ翌年四月ヨリ實施ス
- 五月 電信條例ヲ改正シ電信取扱規則ヲ改定ス、其要旨ハ專掌ノ趣旨ヲ明ニシ、料金ヲ均一ニシ、住所氏名料ヲ廢シ、受取證書ヲ差出スノ方法ヲ設ケ、連名電報ヲ同文電報トシ、受信電報ノ稱ヲ定メ、尋問改正手續ヲ明ニシ、閱覽正寫ノ方法ヲ創メ、電信切手ヲ發行シタルコト等トス
- 七月 電信機施設法ヲ定メ電信建築ニ關スル方法ヲ明ニス
- 八月 伯林ニ開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十二月 逓信省創設セラレ驛遞局ハ農商務省ヨリ、電信局ハ工部省ヨリ移ルニ及ヒ郵便電信事務ハ逓信省ノ所管トナル

明治十九年

- 二月 逓信省官制ヲ公布シ六局ヲ置キ驛遞、電信二局共ノ内ニ含マル
- 同 郵便條例ヲ改正シ流動或ハ腐敗シ易キ物品等ノ郵送ヲ禁ヲ寬ニス
- 三月 地方逓信官署官制ヲ公布シ郵便電信事業管理ノ爲須要ノ地下記十三ヶ所ニ逓信管理局ヲ置キ又地方郵便電信ノ事務ヲ掌理スル爲郵便局及電信分局ヲ置キ逓信管理局ノ管理ニ屬セシメ、郵便局及電信分局ヲ各一等、二等、三等トス
- 東京、大阪、岡山、赤間關、仙臺、金澤、名古屋、熊木、松江、函館、福島、丸龜、新潟
- 五月 海底線保護萬國聯合會議ニ三度在佛公使館員ヲ參列セシム
- 八月 電信建築官制ヲ公布シ電機ノ施設及修築ノ工事ヲ處理スル爲逓信管理區ヲ分テ電信局長ノ管理ニ屬セシム

明治二十年

- 三月 官制改正ノ結果驛遞、電信ノ二局ヲ廢シ内信、外信、工務、爲替貯金ノ四局ヲ設ケ内國郵便、内國電信ノ事務ハ内信局、外國郵便、外國電信、外國爲替ノ事務ハ外信局、電信工事ニ關スル事務ハ工務局ニ於テ分掌ス
- 同 郵便電信業務ノ聯帶セル郵便ハ之ヲ免稅トシ電報ハ局報トス
- 六月 電信建築官制ヲ廢止ス

十月 英國ト書狀郵便ヲ以テ交換スル商品見本ノ重量及積量ノ制限ニ關スル約定ヲ締結シ翌年六月ヨリ實施ス

明治二十一年

三月 二十五錢及一圓郵便切手ヲ發行ス

四月 三等郵便局長採用規則ヲ定ム

五月 新ニ改追尾電報ノ方法ヲ設ク

十二月 電話通信手續ヲ設ケ翌年一月ヨリ試験ヲ兼ネ東京熱海兩電信局間ニ於テ電話通信ヲ開ク

明治二十二年

一月 電話取扱心得ヲ設ケ東京熱海間ノ電話ニ使用セシム

三月 電信電話線私設條規ヲ定メ、出願ノ手續、工事起竣ノ報告、公私兩線ノ關係等ヲ規定ス

四月 地方部局ニ訓示シテ通信秘密ノ保護ヲ嚴ニシ公衆ニ接スルニ親切丁寧ヲ以テシ又取扱上ニ不都合アル場合何人ニテモ本省ニ申告セシムルノ途ヲ開ク

七月 地方通信官署官制ヲ廢シ郵便及電信局官制ヲ公布シ通信管理局ヲ廢シ郵便電信局、郵便局、電信局ヲ各一等、二等、三等トシ、一等局ハ各指定區域内各局業務ノ監督ヲ兼スルコトトシ九月一日ヨリ施行ス

八月 郵便條例ヲ改正シ第三種ニ屬スル定時印刷物ノ郵便ヲ半減シ、第四種ニ屬スル書籍、圖書、見本、雛形等ノ重量ヲ増加シ且農産物種子ヲ第四種ニ編入シ各共ノ郵便ノ割合ヲ輕減ス

十一月 電報受付時限ヲ改定シ三月十一日——十月八午前六時ヨリ午後十時迄トス
十一月——二月八午前七時

十二月 電信切手ノ使用ヲ翌年二月限リ禁止スルコトトス

明治二十三年

三月 本省各局、郵便及電信局並爲替貯金局、出納所ニ於テ相互ニ往復スル公務ノ内地郵便及電信ヲ郵便事務又ハ局報トシテ取扱ハシム

四月 電話交換規則ヲ定メ電話通信ノ手續順序ヨリ電話器使用料金及其ノ方法等ヲ明ニシ電話交換加入ノ申込ヲ爲サシム

五月 巴里開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム

六月 逓信省官制ヲ改正シ内信、外信、工務ノ三局ヲ廢シテ郵務、電務ノ二局ヲ置キ郵便ニ關スル事務ハ郵務局、電信ニ關スル事務ハ電務局ニテ掌ル

八月 電信電話建築條例ヲ制定シ電信電話ノ建築ニ就キ民有土地營造物供用等ノ場合損害賠償及補償評定等ノ事ヲ規定ス

同 電報局渡規則ヲ定メ局渡證票ヲ交付シ電信局所ニ就キ電報ヲ受取ラシムル事トシ十月ヨリ施行ス

九月 英領加奈陀ト小包郵便交換條約ヲ締結シ十月ヨリ實施ス

十二月 東京横濱兩市ニ電話交換ヲ開始ス

明治二十四年

四月 埃國維也納ニ於ケル萬國郵便會議ニ委員ヲ派遣シ其ノ決議事項ヲ翌年七月ヨリ實施ス

同 大北電信會社ヨリ肥前呼子、對島嚴原間ノ海底線ヲ買収シ之ニ關聯シテ登岐、對島ニ發着スル電報料ヲ内地ト同一ニシ蓋山迄ノ電報料ヲ低減ス

六月 訴訟書類特別送達ノ手續ヲ定ム

七月 逓信省官制ヲ改正シ電務局ニ於テハ電信ノ外電話及電氣事業監督ニ關スル事項ヲ掌ル

同 電信建築官制ヲ公布シ東京外五ヶ所ニ電信建築署ヲ設ク

同 電話交換局官制ヲ公布シ電話交換ノ業務ヲ執行ス

七月 萬國電信條例ニ附隨シ各國適宜ニ規定スル得ル事項ニ關シ本邦ニ於テ施行スヘキ規定ヲ公示ス、本文ナキ電報ヲ認メ、句讀點ノ類ヲ傳送セザルコト、無絨配達ヲ認メザルコト、至急私報及返信料前納ニ關スル規則ノ全部ヲ施行スルコト等ヲ主ナルモノトス

明治二十五年

二月 第三種郵便物認可規則ヲ定ム

三月 配達證明郵便ノ制ヲ設ク

五月 三錢郵便切手ヲ發行ス

六月 小包郵便法ヲ公布シ十月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ種類ヲ通常及價格登記ノ二種トシ、郵便料ハ運送距離ト重量トニ依リテ區別シ、郵便區ノ市外ニ配達スルモノハ別ニ料金ヲ加徴スルコト等ナリ

十月 特別氣象電報ノ制ヲ設ク

明治二十六年

三月 大阪神戸ニ電話交換ヲ開始ス

六月 本邦發萬國郵便聯合外諸國宛郵便物ノ稅率ヲ改定シテ凡テ同一稅額トス

十月 官制ヲ改正シ郵務、電務ノ二局ヲ合セテ通信局トス

同 郵便及電信局官制ヲ改正シ郵便及電信局ヲ分チテ一等郵便電信局、二等郵便電信局、二等郵便局、二等電信局、三等郵便電信局及三等郵便局トシ、一等郵便電信局ハ管内各局ノ監督ヲ兼スルコトトシ次ノ各地ニ之ヲ置ク

東京、大阪、京都、横濱、神戸、長崎、札幌、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、宇都宮、長野、青森、金澤、多度津、鹿兒島

同 電話交換局ニ支局ヲ設置シ得ルコトトス

同 第三種及第四種郵便物自體及上封ニ筆書シ得ル事項ヲ定ム

明治二十七年

六月 軍事郵便ニ關スル規定ヲ設ケ戰時若ハ時變ニ際シ軍隊、軍艦、軍衙、其ノ他軍人軍屬ヨリ發スル郵便物ハ軍事郵便物トシテ無料トシ是等ニ對シテ宛テタルモノハ完納稅郵便物ニ限ルコトトス

九月 特別警報氣象電報ノ制ヲ設ク

十二月 獨逸ト小包郵便交換約定ノ件ヲ公布シ翌年一月ヨリ實施ス

明治二十八年

三月 第五種郵便物ヲ設ケ第四種中農産物種子ヲ以テ之ニ充テ料率ヲ低減ス

十二月 臺灣、威海衛各野戰局ニ軍事郵便物ノ外平時完納稅郵便物ノ取扱ヲ開始ス

明治二十九年

四月 臺灣ニ郵便、電信、爲替貯金等ニ關スル規定ヲ施行ス

同 小包郵便料ヲ改正シ市外ニ加徴料ヲ廢シ、容積制限ヲ擴メ、料金ノ基準タル里程階級ヲ減シ百里以上ハ均一率ヲ採用ス

六月 「ブタベスト」開催萬國電信會議ニ委員ヲ參列セシメ其ノ決議事項ハ翌年七月ヨリ施行ス

九月 代金引換小包ノ制ヲ設ク

同 英國ト締結セル小包郵便交換ニ關スル約定ヲ公布ス

十月 鹿兒島、那覇間固定軍用電信ヲ公衆電信用ニ供スルコトトス

同 在外郵便電信局、郵便局官制ヲ公布ス

明治三十年

- 五月 米國華盛頓開催ノ萬國郵便會議ニ委員ヲ參列セシメ其ノ決議事項ハ明治三十二年一月ヨリ施行ノコトトス
- 六月 外國新聞電報規則ヲ制定シ料金ヲ低減ス
- 八月 官制ヲ改正シ通信局ヲ郵務、電務ノ二局ニ分ツ
- 同 郵便及電信局官制ヲ改正シ郵便及電信局ヲ分チテ一等郵便電信局、二等郵便電信局、二等郵便局、二等電信局、三等郵便電信局、三等郵便局、三等電信局トシ一等郵便電信局ハ管轄區内各局ノ監督ヲ兼スルモノトシ次ノ十八局ヲ置ク
東京、大阪、京都、横濱、神戸、長崎、札幌、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、宇都宮、長野、青森、金澤、多度津、鹿兒島
- 十月 諸國宛郵便稅率ヲ改正ス
- 十一月 在韓國本邦郵便局ト本邦トノ間及在韓本邦局相互間ノ郵便稅ハ內國郵便稅率ニ依ル旨ヲ明ニス
- 十二月 電話交換規則ヲ改正シ、加入期ヲ短縮シ、加入權讓渡ニ關スル事項ヲ規定シテ手續ヲ鄭重ニシ、急設ノモノハ讓渡ヲ禁シ加入登記料ヲ徵收シ、料金ヲ高メ別ニ電話依託電報規則ヲ制定ス

明治三十一年

- 二月 電話交換規則ヲ改正シ官廳ノミナラス公署其ノ他公益ニ關スルモノニ對シテハ特別架設ヲ認メ、使用料ヲ改正シ現金納付ヲ原則トスルコトニ改ム
- 三月 萬國郵便聯合四錢葉書及同八錢往復葉書ヲ發行ス
- 四月 電話加入申込讓渡ヲ許可スルコトトス
- 八月 佛國トノ價格表記小包郵便物交換條約ヲ公布ス
- 十月 官制ヲ改正シ郵務局、電務局ヲ廢シテ再ヒ通信局ヲ置ク

明治三十二年

- 一月 電話依託電報用語ノ制限ヲ廢シ、依託料額ヲ改正シ、電話交換規則中長距離電話ニ關スル事項ヲ追加ス
- 二月 郵便條例ヲ改正シ郵便物容積制限ヲ寬ニシ、第一種及第二種郵便物料金ヲ引上ケ、第一種ハ單位當重量ヲ増加シ、葉書ノ紙質ヲ改良シ四月一日ヨリ施行ス
- 三月 郵便切手ノ賣下ヲナス局所ニ於テハ收入印紙ノ賣下ヲモ爲スコトニ定メラル
- 同 加入登記料並市内外電話料金ヲ改正ス
- 同 內國電信料金ヲ引上ケテ一音信ノ字數ヲ増加シ、發信人氏名ヲ有料字數ニ算入スルコトトシ、市内電報同文電報、追尾電報等ノ料金ヲ改正シ、受信人連記ヲ禁シテ一名ニ限ルコトトシ四月一日ヨリ施行ス
- 五月 郵便博物館ヲ逡信省構内ニ置ク
- 同 一錢五厘葉書ヲ發行ス
- 同 固定軍用電信公衆通信取扱規則ヲ制定ス
- 十月 三錢往復葉書ヲ發行ス

明治三十三年

- 三月 郵便法、電信法及鐵道船舶郵便法ヲ發布シ、韓國發及韓國宛小包ノ規定ヲ設ク
- 八月 電話呼出規程ヲ制定シ加入者又ハ電話所ニ來ル者ヨリ電話所所在地ノ者ヲ呼出シ對話スルコトヲ得セシム
- 九月 郵便規則ヲ制定シ郵便法實施ニ伴ヒ十月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ郵便禁制品ノ種類ヲ改正シ、價格表記トナスヘキ物件ノ種類ヲ限定シ、私製葉書ヲ認メ、業務用書類ヲ設ケ、通常郵便ニモ價格表記及代金引換ノ制ヲ認メ、現金取立ニ關スル規定ヲ設ケ、損害賠償ノ標準ヲ定メタルコト等トス

- 九月 鐵道船舶郵便規則ヲ制定シ鐵道船舶郵便法實施ニ伴ヒ十月一日ヨリ施行ス、同法ハ鐵道及船舶運送業者ノ郵便物運送ニ關スル諸般ノ事項ヲ規定スル所アリ、本則ハ之ニ關聯シ是等ノ郵便物運送ノ爲ニスル設備、運送料金等ヲ定ム
- 同 外國郵便規則ヲ定メ十月一日ヨリ施行シ之ニ關聯シテ名宛變更及取戻ニ關スル事項代金引換交換局名、代金引換書留取立制限額等ヲ告示ス
- 同 郵便局所收入印紙賣下規則、郵便切手類賣下規則及第三種郵便物認可規則ヲ定メ十月一日ヨリ施行ス
- 同 電報規則ヲ制定シ電信法實施ニ伴ヒ十月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ官報及局報ノ範圍ヲ改正シ、局報ノ發送ヲ制限シ、本文ナキ電報ヲ認メ、無絨配達ノ制ヲ設ケ、直配達區域ヲ擴張シ、在韓本邦局相互間ノ電報ハ內國電報ニ準セシムルコト等トス
- 同 私設電信規則、私設電信ニ依ル公衆通信取扱規則、官廳用電信電話規程ヲ制定シ略號登記料、配達先登記料、局渡料ノ金額及其ノ納付手續ヲ定メ及本邦ト韓國本邦局所間直發著電報取扱規則ヲ改正シ各十月一日ヨリ施行ス
- 同 自働電話ノ設備ニ伴ヒ其ノ通話料ノ差入方及通話方法制限ニ關スル事項ヲ定メ又官廳ニ對スル加入區域外加入ノ制ヲ設ク
- 十月 郵便法、電信法及鐵道船舶郵便法ヲ臺灣ニ施行ス
- 同 三錢封緘葉書、同往復葉書及一錢五厘郵便切手ヲ發行ス
- 同 電信法ハ一定ノ條項ヲ除キ無線電信ニ準用スルノ件ヲ定ム
- 十二月 年賀郵便ノ特別取扱ヲ開始ス

明治三十四年

- 一月 集合電報規則ヲ定メ在清本邦軍人軍屬ト本國親戚間トノ間ニ往復スル電報ニ便シ二月ヨリ施行ス
- 十二月 郵便物包裝規則ヲ定メ價格表記其ノ他郵便物ノ包裝ヲ完全ナラシムルコトヲ期シ、價格表記郵便物封皮及同封緘紙ヲ發行ス

明治三十五年

- 七月 特設電話加入規則ヲ制定シ加入區域外ニ在ル電話所所在地及其ノ附近ニ在ル者ハ通話ニ必要ナル一切ノ設備及維持費等ヲ負擔シ電話ニ加入シ得ルノ途ヲ開ク
- 九月 集合電報規則ヲ廢止シ、從來內地臺灣間ニ發著スル私報ハ至急報ニ限リタルヲ通常報ヲモ取扱フコトトシ料金ヲ定メ翌年一月ヨリ施行ス
- 十二月 華盛頓ニ於テ締結シタル價格表記書狀及箱物交換約定並小包郵便交換條約ニ加盟シタル結果外國通常郵便ハ相當表記金額ヲ保險シテ貴重品及有價證券等ヲ外國ニ郵送スルノ途ヲ開キ、小包條約ハ文明諸國(英國及其ノ殖民地ヲ除ク)ハ概ネ加盟セルヲ以テ其ノ送受スル小包郵便物ハ相當料金ニ依リ直接適當ノ線路ヲ選擇シ得ルコトトナレリ
- 同 小包郵便料金ノ遠近均一ノ制ヲ改メ同一郵便區内ニ發著スルモノハ量目ニ係ハラステ低料トシ、同時ニ日清韓三國相互間ニ發著スル小包料金ヲ改定シ翌年一月ヨリ施行ス

明治三十六年

- 三月 逡信官署官制ヲ公布シ逡信官署ハ逡信管理局、郵便局、電信局、電話局及鐵道郵便局トシ郵便局ハ一等、二等、三等トシ郵便、爲替、貯金事務ノ外電信、電話事務ヲ、電信局ハ電信ノ外電話事務ヲ兼掌スルヲ得而シテ逡信管理局ハ東京及大阪ノ二局トシ一等郵便局ハ次ノ十六局トシテ管理事務ヲ兼掌ス
京都、横濱、神戸、長崎、札幌、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、宇都宮、長野、青森、金澤、高松、鹿兒島

- 而シテ上記通信官署官制公布ト共ニ郵便及電信局官制、在外郵便電信局、郵便局官制及電話交換局官制ハ之ヲ廢止ス
- 三月 新ニ特定三等郵便局ノ制ヲ設ク
- 同 町村ノ請願電信施設ノ件ヲ定メ創業費全部及維持費一部ヲ負擔シテ局所ヲ新設スルノ途ヲ開キ四月一日ヨリ施行ス
- 七月 日清郵便約定同小包郵便約定ヲ實施シ清國內何レノ地ヘ宛ツル通常郵便物モ内地ト同一料金ヲ以テスルノ便ヲ得又清國ヨリ發スル郵便物ヲ各國ヘ媒介運送シ且清國輸出入ノ小包郵便ニ對シ關稅ノ賦課ヲ受クルコトヲ承認ス
- 十一月 取扱時間外電報ノ制ヲ設ク
- 十二月 通信管理局ヲ廢シテ東京及大阪郵便局ニ改メ鐵道郵便局ヲ廢シ郵便爲替貯金管理所ヲ通信官署ニ加フ
- 同 私製葉書製式規則ヲ定ム

明治三十七年

- 二月 軍事郵便ノ取扱ヲ開始ス
- 三月 俘虜郵便ノ制ヲ設ク
- 七月 米國ト小包交換條約ヲ締結シ翌月一日ヨリ實施ス

明治三十八年

- 四月 郵便電信受取所及郵便受取所ヲ郵便局ニ改定シ從來官設ノモノハ二等局ニ、受負ノモノハ三等局トス
- 同 特設電話規則ヲ制定ス
- 六月 通信日附印規程ヲ定メ各種日附印ヲ統一シ其ノ製式ヲ改ム
- 七月 朝鮮通信事業ヲ帝國政府ニ引繼キ内地ト共通ノ通信制度ヲ布クニ至ル
- 十二月 鑛業特設電話ノ制ヲ設ク

明治三十九年

- 四月 羅馬開催萬國郵便會議ニ本邦委員ヲ參列セシメ其ノ決議事項ハ翌年十月ヨリ實施ス
- 五月 樺太ト本邦各地間ニ公衆通信ヲ開ク
- 六月 電話規則ヲ制定シテ電話料金ヲ低減シ、至急通話ノ制ヲ設ケ、新ニ共同線加入及連接加入ノ方法ヲ設ケ申込ノ不正變更ヲ禁ス
- 七月 郵便葉書表面ノ輪廓及注意文ヲ除去ス
- 八月 東京「グワム」島間ニ、翌月佐世保大連間ニ何レモ海底線通信ヲ開始ス
- 同 關東都府府内ニ於ケル郵便、電信及電話ノ業務ニ關シテハ内地各通信法規ノ規定ヲ準用スルコトトス
- 十月 伯林開催ノ國際無線電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十一月 年賀郵便規則ヲ制定シ十二月十五日ヨリ二十九日迄年賀郵便トシテ差出シタルモノノ特別取扱方ヲ定ム
- 十二月 新聞電報規則ヲ制定シ新聞掲載ノ爲ニスル電報料金を半減ス

明治四十年

- 二月 請願電信規則ヲ改定シテ維持費ノ免除及輕減ノ途ヲ開ク
- 三月 郵便法及郵便規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ命令ヲ以テ郵便料ヲ低減シ得ルコトトシ小包郵便物ノ重量制限ヲ寬メシ、無封書狀ノ料金ヲ特定シ、繪葉書ノ下部ニ通信文記載ヲ認メ、小包ニ普通取扱ノ方法ヲ設ケ、代金引換及現金取立制限金額ヲ高メ、廣告郵便ノ制ヲ設ケ、無料郵便ハ一般ニ通信事務ト表記スルモノトシタルコト等ニシテ四月一日ヨリ實施セリ

- 四月 郵便法其ノ他通信法規ヲ樺太ニ施行ス
- 五月 内國郵便用及外國郵便用切手帖ヲ發行ス
- 同 印刷シタル無封書狀及第三種以外ノ定時刊行物ヲ約束郵便トナシ得ルコトトシ低料郵送ノ途ヲ開キ、新聞電報豫約及料金後納ノ方法ヲ設ク
- 六月 電話開通物件ヲ無償ニテ提供スル場合ニ於テハ優先開通ノ途ヲ開ク
- 八月 豫約新聞電話規則ヲ制定施行ス
- 九月 船舶通報規則ヲ定メ通過報及信號報ノ取扱ヲ開始ス
- 同 地方廳ニ於テ警察用電話ヲ無償ニテ引渡シタル場合ニ於テハ該線ニ依ル電話料ニ限リ半減スルコトトス
- 十月 國際返信切手券ヲ發行ス

明治四十一年

- 二月 五圓及拾圓郵便切手ヲ發行ス
- 同 引受時刻證明郵便ノ制ヲ設ケ四月一日ヨリ施行ス
- 四月 無線電報規則ヲ定メ五月一日ヨリ施行ス
- 同 豫約新聞電話規則ヲ改正シ長距離ニ限リタル制限ヲ撤シ利用範圍ヲ擴ム
- 五月 里斯本開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 同 電話規則ヲ改正シテ寄附金受理ノ途ヲ開キ物件受理ニ代フ
- 八月 豫約新聞電報規則ヲ制定シ在來個個ニ申請者ニ命令シタルヲ一律ニ取扱フコトトス
- 九月 郵便切手類記號規則ヲ制定シ切手類多數使用者ノ保管出納ニ便ス
- 同 特設電話規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ加入區域ヲ制定シ、加入申請ヲ一等局長ニ於テ認可シ、加入設備ヲ通信官署ノ名ニ於テナスコト等ナリ
- 十月 通信官署ト海軍艦船間ノ無線電信ニ依リ發受スル電報ニ無線電報規則ヲ準用ス
- 十一月 郵便函製式ヲ改正シ鐵製朱塗トス
- 十二月 鑛業特設電話規則ヲ改正シ一定ノ場合私設電信電話ヲ施設シ得ルコトトス

明治四十二年

- 三月 氣象通知電報規則ヲ制定シ公衆ノ請求ニ基キ中央氣象臺又ハ測候所ニ於テ公示スル事項ヲ電信局所ニ於テ取扱フコトトス
- 五月 地方廳引繼電話ノ通話料減額ヲ他ノ電話線ニ依リ連絡スル通話區域ノ通話ニモ及ホシ優先接續等ノ特例ヲ開ク
- 同 電話至急開通規則ヲ制定シ特ニ指定スル土地(六大都市ヲ指定ス)ニ於テ一定ノ料金ヲ納ムルトキハ加入申込登記順番ニ係ハラズ年度内ニ開通ヲナスコトトス
- 六月 新聞電報ヲ内地、臺灣、樺太相互間ニ及ホスコトトス
- 七月 通信官署官制中郵便爲替貯金管理所ヲ削ラレタル結果從來通信局ノ管掌シタル内外郵便爲替、郵便貯金及附帶業務ノ規畫、監督事務ヲ貯金局ニ移ス
- 十月 繪葉書ハ紙質ニ限リタルヲ改メテ寫眞又ハ織物、木、羽類ノ貼附ヲ認メ其ノ重量及製作上ノ標準ヲ明示ス
- 十一月 特許審判書類特別取扱ノ制ヲ設ク
- 同 市内特別郵便ノ制ヲ定メ同一郵便區内ニ多數發信スルモノノ爲ニ特ニ低料取扱ヲ爲スコトトス
- 十二月 東京神田兩局間ニ氣送管ニ依ル電報送受ヲ開始ス

明治四十三年

- 一月 通貨以外ノ貴重品ヲ書留郵便物トシテ差出シ得ルコトトス

- 三月 逓信管理局官制ヲ設ケ逓信管理局ヲ東京、大阪、横濱、神戸、長崎、札幌、長野、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、金澤ニ置キ監督及現業事務ヲ掌リ又通信官署官制ヲ改正シ通信官署ヲ郵便局、電信局及電話局トシ郵便局ヲ分テ一等、二等、三等トシ電信局及電話局ヲ分テ一等、二等トス
- 同 郵便切手其ノ他證券徽章類取締方ヲ規定シ切手類偽造、變造、通信日附印類似ノモノ、逓信省徽章ノ濫用等ヲ取締ルコトトス
- 四月 清韓郵便規則ヲ制定施行ス
- 五月 航行中ノ船舶無線電信局及艦船ト中央氣象臺間ニ氣象報ノ交換ヲ開始ス
- 同 電話規則ヲ改正シ長距離電話料ヲ低減シ夜間通話ノ制ヲ設ク
- 九月 同報電信ヲ創始シ東京局及東京株式取引所間ニ施設ス
- 十月 郵便法其ノ他各通信法規ヲ朝鮮ニ施行ス
- 十一月 内容證明郵便ノ取扱ヲ開始ス
- 同 内地、朝鮮、樺太、滿洲相互間電報料ヲ低減シ、日清電報規則及日清無線電報規則ヲ制定施行ス

明治四十四年

- 二月 速達郵便ノ制ヲ設ケテ東京市内及東京横濱間ニ施行シ、四月大阪市内及大阪、神戸、京都相互間ニ施行ス
- 十月 現金取立郵便ヲ集金郵便ト改稱シ、取立證券ノ種類ヲ増加シ、料金を改正シ尙集金郵便振替貯金拂込規則ヲ設ケ取立金を振替貯金口座ニ拂込ミ得ルコトトス
- 十二月 内國郵便用切手帖ヲ改メ三錢、一錢五厘各別冊トシ價格ヲ切手料金ト同シクス

明治四十五年

大正元年

- 四月 官公署ヨリ發スル無封書狀ニシテ特ニ多數ナルモノハ約東郵便トシテ低料郵送ノ方法ヲ設ク
- 同 市内専用電話規則ヲ施行シ政府ノ施設スル電話線ヲ個人ニ専用セシムルノ方法ヲ設ク
- 五月 乗客宛電報及停車場揭示電報ノ特別取扱ヲ開始ス
- 六月 帝國艦船ト米國觀測所トノ間ニ氣象電報ヲ交換スルコトトス
- 同 倫敦開催ノ國際無線電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十一月 水底線不通等ニ因ル場合陸上相互間無線電信ノ媒介ニ依リ無線電報トシテ取扱ノ方法ヲ設ク

大正二年

- 二月 電話規則ヲ改正シ電話番號簿及機械移轉ニ關スル事項並制裁規定等ヲ改ム
- 六月 地方逓信官署官制ヲ公布シ逓信管理局官制及通信官署官制ヲ廢止シ、地方逓信官署ヲ逓信局、郵便局、電信局及電話局トシ、逓信局ヲ次ノ五ヶ所ニ置ク而シテ郵便局以下ノ等級及其ノ所掌事務ハ従前ノ例ニ依ル東部(東京市)西部(大阪市)北部(仙臺市)九州(熊本市)北海道(札幌區)尙下記各地ニ分掌局ヲ置キ管理事務ヲ分掌セシム
長野、新潟(以上東部逓信局所管)名古屋、金澤、廣島(以上西部逓信局所管)
- 七月 銚子無線電信局ニ於テ中央氣象臺ト直接電線ノ連絡ヲ圖リ自働的ニ中央標準時ヲ航行中ノ船舶ニ發信スルコトトス

大正三年

- 二月 官公署ニ對シ電話加入區域外加入ヲ認ム
- 五月 電信法規ヲ無線電話ニ準用スルコト、短期豫約新聞電話ノ方法ヲ設ク
- 八月 軍事郵便ノ取扱ヲ開始ス

- 十月 電話通話規則ヲ制定シ定時通話、通話取消料ノ方法ヲ設ケ、夜間通話ヲ非加入者ニ及ホシ、豫約取引所電話ノ制ヲ設ケ十二月ヨリ施行ス
- 十二月 書留郵便物ニ對シ代金引換ノ取扱ヲ施行シ得ルコトトシ又其ノ引換代金ヲ直チニ差出人ノ振替貯金口座ニ拂込ミ得ルコトトス
- 同 集金郵便トシテ取扱フ證券ノ種類ヲ増加シ、委託料金を加徴シ、委託用紙ノ私製ヲ認メ、取立期間ヲ短縮ス
- 同 交通不便ノ地ニ宛テタル年賀郵便ハ十二月五日ヨリ其ノ引受ヲ開始スルコトトス
- 同 銚子、富貴角及大連灣海岸局ヲシテ中央氣象臺ヨリ發スル暴風雨警報ヲ無線電信ヲ以テ英文ニヨリ發信スルコトトス

大正四年

- 一月 長崎上海間海底線工事完成ニ付本線ニ依リ日支間和文電報取扱ヲ開始ス
- 三月 配達日時指定電報ノ制ヲ設ク
- 同 代金引換郵便物居宅引換及取立金居宅拂ノ制度ヲ開始シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 六月 無線電信法ヲ制定シ十月ヨリ實施ス、其ノ要旨ハ陸上無線施設ハ最少限度ニ於テ之ヲ認メ、船舶内ニ於ケルモノハ可成便宜ヲ附與シ、私設無線電信ヲ公衆又ハ軍事ニ使用シ又ハ軍事等ノ必要ニ基キ私設設備ヲ制限撤廢スルコト、無線電信電話ニ使用スル爲政府ハ船舶ノ一部ヲ使用スルコト等トス尙之ニ關聯シテ諸規則ノ制定及改廢アリ
- 同 本邦ト露領勘察加間ニ無線電信ニ依ル通信ヲ開始ス
- 八月 豫約新聞電報ヲ臺灣及樺太ニ施行ス
- 十一月 御大禮ニ關シテ御舉行地タル京都及其ノ附近ニ於テ速達郵便、官報號外特別取扱、電報特別取扱、郵便局所ノ臨時増置、電信回線ノ臨時施設等諸般ノ措置ヲ爲セリ
- 十二月 請願通信施設ニ關スル件ヲ公布シテ明治三十六年町村請願電信施設ノ件ヲ廢止セリ其ノ要旨ハ請願事項ヲ次ノ如クニ擴メ町村ノミナラス個人ノ請願ヲモ認メ維持費ヲ前納トシタルコト等トス
無集配局新設、無線電信局新設、自働電話所新設、電信事務開始、無線電信事務開始、電報配達事務開始、電話通話事務開始、電話呼出事務開始
- 同 日支郵便規則ヲ改正シ小包郵便物ニシテ再輸出スルモノハ其ノ旨表示スルコトトシ及其ノ小包郵便料金を改正シ翌年一月ヨリ施行ス

大正五年

- 二月 電話郵便規則ヲ制定シ加入者ヨリ非加入者ヘ又ハ非加入者相互間ノ通信ヲ媒介スルコトトシ三月ヨリ施行ス
- 三月 郵便法ヲ改正シ八月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ信書送達ノ營業禁止條項中法人代表者ニ關スル事項ヲ明定シ、無料郵便物ノ範圍ヲ改定シ、賠償及諸般制裁規定ヲ明ニシタルコト等トス
- 同 鐵道船舶郵便法ヲ改正シ八月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ運送方法、賃率、制裁規定ノ改正等トス
- 三月 電信法ヲ改正シ八月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ配達又ハ交付スルコトヲ得サル電報ハ電信官署ニ保管スルニ止ムルコト、無線電信ニ關スル通信ヲ無料トシ得ルコト及諸般制裁規定ニ關スル改正等トス
- 同 電話規則ヲ改正シ使用料階級五種ヲ六種トシ加入者數ヲ以テ其ノ區別ノ標準トシ四月ヨリ施行ス
- 四月 地方逓信官署官制ヲ改正シ電信局等級ヲ一等、二等、三等トス
- 五月 間送電報ノ制度ヲ施行シ夜間閉散時低料ヲ以テ一定ノ局ニテ之ヲ取扱ヲ開始ス
- 七月 帝國占領南洋「ヤップ」島海軍電信所ニ公衆通信ノ取扱ヲ開始ス
- 十二月 青島守備軍管内ト帝國電信系トノ間及守備軍管内相互間ニ發著スル電報ハ日支電報規則又ハ同無線電報規則ニ

依ルコトトス

大正六年

- 三月 無線電信 = 依ル海軍艦船發着電報ノ託送取扱ヲ定メ四月ヨリ施行ス
- 四月 配達日時指定電報ノ取扱範圍ヲ擴張ス
- 同 電話 = 依ル火災報知制度ヲ新設シテ東京市内 = 施行ス
- 五月 盲人用點字ノ無封書狀及印刷物 = 對シ料金ノ割合ヲ低減ス
- 十月 特設電話規則ヲ改正シ十一月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ同一邸宅内 = 限り施設シタルモノヲ交換線 = 接続シ得ルコト、維持料ヲ線路町程 = 依ルコト = 改メタルコト、不用 = 歸シタル線路ヲ豫備トシテ存置スルコト等トス

大正七年

- 三月 郵便規則ヲ改正シ四月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ通貨ヲ價格表記ト爲サスシテ差出シタル者 = 對スル不足料金額ヲ定メ、無封書狀ノ約束郵便差出ノ條件ヲ變更シ、繪葉書表面通信文記載欄ヲ擴張シ、閉塞配達ノ方法ヲ認メタルコト等トス
- 四月 郵便受付時間ヲ改正シ比較的閑散ナル局 = アリテハ之ヲ短縮ス
- 同 帝國占領南洋諸島 = 無線電報ノ取扱ヲ開始ス
- 六月 内地、青島守備軍管内間 = 豫約無線電報取扱ヲ開始ス
- 同 電話規則及電話至急開通規則ヲ改正シテ申込取消及其ノ至急開通申請受理方法等 = 關スル事項ヲ改ム

大正八年

- 三月 警入通信日附印ヲ主要局 = 於テ使用ス
- 四月 小包郵便料金ヲ改正シ及切手別納郵便ノ制ヲ設ク
- 同 電話規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ區域外加入ヲ一般 = 擴メ、増設電話施設ノ範圍ヲ擴張シ、私設電話取締ノ途ヲ設ケタルコト等トス
- 五月 地方通信官署官制ヲ改正シ通信局ヲ東京、名古屋、大阪、廣島、熊本、仙臺、札幌ノ七局トシ別 = 通信大臣ハ郵便局ヲ指定シ區域ヲ定メテ現業監察ノ事務ヲ掌ラシム
- 八月 參拾錢郵便切手ヲ發行ス
- 十月 約束郵便物及切手別納郵便物ヲ年賀郵便トシテ差出シ得ルコトトス

大正九年

- 三月 各種電話料金ヲ改正シ、東京、大阪等六大都市 = 度數制ヲ實施ス
- 四月 消防電話ノ制ヲ設ク
- 五月 各種電報料金ヲ改正シ八月ヨリ施行ス
- 六月 電話至急開通規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ至急開通申込 = 加入申込登記ヲ要セサルコト、至急開通受理方法ヲ變更シタルコト等トス
- 九月 馬德里開催萬國郵便會議、華盛頓開催國際通信會議 = 本邦委員ヲ參列セシム
- 十月 私書函使用 = 關スル規定ヲ改正シ利用 = 便ス
- 十一月 官廳用無線電信及無線電話規則ヲ制定ス

大正十年

- 四月 二十日通信事業創始五十年記念祝典ヲ東京 = 開催シ勤績者、優良三等局及功績者ヲ表彰シ、通信事業殉難者ノ追悼法要ヲ營ム
- 同 通信講習所規則ヲ制定シ従事員ノ素質能率ノ向上ヲ圖ル

- 四月 無線電信法中ヲ改正シ航空機 = 施設スル無線電信及無線電話 = 關スル事項ヲ設ク
- 七月 始メテ通信官署従事員狀勢調査ヲ施行ス
- 同 封滅葉書様式ヲ改正ス
- 九月 分課規程中ヲ改正シ從來ノ外信課ヲ外國郵便、外國電信ノ二課トシ調査課ヲ設置ス
- 十二月 新 = 外國郵便規則、外國郵便爲替規則ヲ制定シ各種料金ヲ増額シ、特許審判及審査書類特別取扱郵便規則ヲ制定シ何レモ翌年一月一日ヨリ施行ス
- 同 電信監督機 = 依ル監査規程ヲ設ケ通信能率ノ向上ヲ企圖ス
- 同 西班牙國馬德里 = 於テ萬國郵便條約、同價格表記書狀及箱物交換約定並小包郵便物交換條約ヲ締結シ翌年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年

- 一月 八錢萬國郵便聯合葉書及拾六錢萬國郵便聯合葉書ヲ發行ス
- 四月 電信現業檢定規程、郵便局監査規程ヲ制定ス
- 七月 南洋廳 = 於ケル郵便及電信ノ業務 = 關シテハ内地各通信法規ノ規定ヲ準用スルコトトス
- 九月 陸軍動員令電報取扱規程、海軍充員令電報取扱規程ヲ制定ス
- 十月 北滿州方面軍事郵便物取扱ヲ廢止ス
- 同 海軍電報取扱規約ヲ定ム
- 十一月 内地朝鮮間豫約新聞電報ノ取扱ヲ開始ス
- 同 在支那國帝國郵便官署區内 = 於テ使用スル二錢葉書、四錢往復葉書及四錢封滅葉書ノ發行ヲ中止ス
- 十二月 野戰郵便局 = 關スル規定ヲ軍事郵便局 = 準用ノ件ヲ廢止ス
- 同 青島守備軍管内發着郵便物ノ取扱ヲ廢止ス
- 十二月 本年限リ在支那本邦郵便局所ヲ廢止ス

大正十二年

- 一月 上海、芝罘 = 一等電信局ヲ設置ス
- 二月 約束郵便取扱承認規則ヲ制定シ、電話便規則ヲ廢止ス
- 同 植民地宛代金引換郵便物ノ居宅引換ノ取扱ヲ廢止ス
- 三月 新 = 郵便切手類及收入印紙賣捌規則ヲ設ク
- 四月 大阪無線電信局ヲ設置ス
- 同 價格表記郵便物封皮一枚壹錢ヲ貳錢 = 改メ一日ヨリ實施ス
- 六月 電話至急開通規則ヲ新 = 制定ス
- 十月 郵便切手類及收入印紙買受代金延納規則ヲ制定シ大正十二年度末迄之ヲ施行ス
- 同 震災 = ヨル應急用トシテ五厘、一錢五厘、二錢、三錢、四錢、五錢、八錢、十錢、二十錢ノ各種暫定郵便切手ヲ發行ス
- 十一月 年賀郵便物ノ特別取扱ヲ中止ス
- 同 震災 = ヨリ應急用トシテ通常葉書及往復葉書ヲ發行ス
- 同 臨時市内特設電話規則ヲ設ク
- 十二月 放送用私設無線電話規則ヲ制定ス

大正十三年

- 四月 放送無線電報規則ヲ制定ス

- 四月 市内電話通話一度ノ料金二錢ヲ三錢ニ改メ、市外電話一通話時分五分ヲ三分ニ改ム
- 七月 漁船級私設無線電信通信従事者資格ヲ制定ス
- 八月 瑞典國「ストックホルム」ニ開催ノ第八回萬國郵便會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十一月 年賀郵便物ノ特別取扱ヲ再開ス
- 同 東京放送局ノ設立ヲ許可ス之レ本邦ニ於ケル放送無線局ノ嚆矢トス
- 同 行政整理ノ爲調査課ヲ廢止シ外國郵便課、外國電信課ヲ併合シテ外信課トナシ東京、大阪兩遞信局ノ都市課ヲ廢止ス

大正十四年

- 三月 書留郵便料金七錢ヲ十錢ニ改メ四月一日ヨリ實施ス
- 四月 震災ニヨル應急用トシテ發行セル暫定郵便切手ヲ廢止ス
- 同 日本無線電信株式會社ヲ公布ス
- 五月 遞信省官制ヲ改正シ通信局ヲ廢シテ郵務、電務、工務ノ三局ヲ置キ郵便及陸運ノ監督ニ關スル事務ハ郵務局、電信電話並日本無線電信株式會社ニ關スル事務ハ電務局、電信電話ノ建設及保存ノ工事ニ關スル事務ハ工務局ニテ掌ル而シテ本改正ニ伴ヒ臨時電信電話建設局官制ハ之ヲ廢止セラル
- 同 通常葉書、往復葉書及封緘葉書ノ様式ヲ改正ス
- 同 電話特別開通規則ヲ制定ス
- 六月 西比利亞方面トノ軍事郵便物取扱ヲ廢止ス
- 八月 新聞電報認可規則ヲ制定ス
- 九月 十三錢郵便切手ヲ發行ス
- 同 「ストックホルム」締結ノ英國郵便條約、同價格表記書狀及箱物交換約定並小包郵便物交換條約ヲ公布ス
- 同 佛國巴里ニ開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシメ其ノ決定事項ハ十一月一日ヨリ實施スルコトトス
- 十月 萬國郵便聯合往復葉書ノ様式ヲ改正ス
- 同 外國通常郵便料金ヲ引下ク
- 十一月 外國電報帝國電信系内分送規則ヲ廢止ス
- 十二月 萬國郵便聯合葉書及萬國聯合往復葉書ノ様式ヲ改正ス

大正十五年

昭和元年

- 一月 遞信部内従業員會規程ヲ制定ス
- 二月 選舉無料郵便規則、選舉無料郵便物特別取扱規程等ヲ制定ス
- 四月 岸壁又ハ棧橋ニ繫留スル船舶ト陸上トノ間ノ電話連絡制度ヲ制定施行ス
- 同 飛行郵便ヲ開始ス
- 九月 郵便取扱所規則ヲ制定ス
- 十月 外國電報規則ヲ改定シ翌十一月一日ヨリ施行ス
- 十二月 「クリスマス」及新年祝賀特別外國電報規則ヲ制定ス

昭和二年

- 一月 陸軍々用電報取扱規約ヲ改定ス
- 二月 市内専用電話規則中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ法人ニ非サル團體ニ對シテモ同電話ノ使用ヲ認ムルコトトス
- 三月 放送用私設無線電話規則中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ全國礦石化ノ實現ヲ圖ル爲メ從來ノ最大電力制限「キロワ

ット」ヲ「キロワット」ニ擴大スルヲ要シ又放送電波長ニ付テモ其ノ制限ヲ若干緩和スルヲ必要トス其ノ他聴取特許料徵收事務ノ簡捷ヲ期スル爲メ一部ヲ郵便切手ヲ以テ收納スル事トシ尙科學ノ進歩及放送業務ノ實況ニ應ジニ、三改正ヲ要スル廉アルニ因ル

- 五月 無線方位測定通信規則ヲ制定ス
- 同 私設無線電信規則及無線電報規則ヲ改正ス
- 六月 萬國郵便聯合加盟五十年紀念トシテ一錢五厘、三錢、六錢、十錢ノ各郵便切手ヲ發行ス
- 八月 警城無線電信局ヲ廢止ス
- 九月 索道事業規則ヲ制定ス
- 同 蘭國海牙ニ開催ノ國際飛行郵便會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十月 電報規則及同取扱規程中ヲ改正シ電報料金ノ切手別納制ヲ制定シ又同文電報及配達日時指定電報制中ヲ改正ス
- 十一月 「ワシントン」ニ開催ノ國際無線電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 同 町村電話ト電話官署トヲ連絡スル電話ニ關スル件ヲ制定ス
- 同 市内専用電話規則中ヲ改正シ専用者ニ對スル料金ノ特定又ハ免除ヲ爲スヘキ場合ヲ規定シ昭和三年一月一日ヨリ施行ス
- 同 臨時市内特設電話規則ヲ廢止ス
- 同 無線電報規則及私設電信、私設無線電信公衆通信取扱規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ航行中ノ各艦船ニ對シ極東各重要港ニ於ケル傳染病情報ノ放送ヲ取扱フコトトス
- 十二月 特設電話規則中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ特設局漸次普及セルニ付加入區域ヲ異ニスル他局ヘ加入申請ヲ爲シ得ルコトトス
- 同 條約第二號ニ依リ日本帝國遞信省及海峽植民地郵政廳間小包郵便約定ヲ修正スル追加條款ヲ公布ス

昭和三年

- 一月 通常郵便物市内特別取扱規則中ヲ改正ス
- 二月 豫約新聞電話規則中ヲ改正ス
- 三月 昭和三年度ヨリ「メートル」法實施ニ伴ヒ關係電信、電話諸規則中ヲ改正ス
- 同 私設無線電信規則中ヲ改正ス
- 同 陸軍勳員令電報取扱規程中ヲ改正ス
- 同 放送用私設無線電話規則ヲ改正ス
- 五月 名古屋無線電信局ヲ設置ス
- 六月 電話特別開通規則中ヲ改正ス
- 七月 専用寫眞電信ニ關スル規則ヲ制定ス
- 八月 「ブラウセル」ニ開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 九月 請願通信施設規則中ヲ改正ス
- 同 無線電話通話規則ヲ制定ス
- 同 私設電信、私設無線電信公衆通信取扱規則中ヲ改正ス
- 同 私設電信規則、私設電信規則料金額及其ノ納付手續及官廳用電信電話規則中ヲ夫々改正シ公布ノ日ヨリ施行ス
- 十月 御大禮紀念トシテ一錢五厘、三錢、六錢、十錢ノ各郵便切手ヲ發行シ十一月十日ヨリ賣捌クコトトセリ
- 十一月 東京神戸間長距離電話「ケーブル」敷設工事完了シ本月ヨリ當該線路ニ依ル通話ヲ實施ス
- 同 電報取扱規程及外國電報取扱規程中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ印刷電信機ニ依ル通信上ノ實績漸次良好トナリ之カ

取扱ニ關スル規定ノ統一ヲ要スルト又「タイプライター」ニ依ル受信紙ハ中繼及著信共共用紙ニ改刷スルコトトナリシ等ニ因ル

- 十一月 年賀特別郵便規程中ヲ改正ス
- 同 年末年首普通*常郵便物特別取扱規程ヲ制定シ公布ノ日ヨリ施行ス
- 十二月 無線電報規則及私設電信、私設無線電信公衆通信取扱規程中ヲ夫々改正シ昭和四年一月一日ヨリ施行ス
- 同 國際無線電信條約公布セラル
- 同 外國無線電報規則及同取扱規程中ヲ改正ス
- 同 私設無線電信規則及無線電報取扱規程中ヲ改正ス

昭和四年

- 三月 航空郵便規則及同取扱規程ヲ制定シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 速達郵便規則中及同取扱規程中ヲ改正ス
- 同 英國倫敦ニ於テ開催ノ萬國郵便聯合大會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 四月 法律第四十五號ヲ以テ無線電信法中改正法律公布セラル而シテ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトトセリ
- 同 名古屋無線電信局ヲシテ本邦ト歐羅巴各國トノ間ニ發着スル外國電報ノ取扱ヲ爲シシム
- 同 軍事郵便物直接交換局指定ニ關スル件(公達第五四五號)ヲ廢止ス
- 五月 支那方面ト帝國郵便系トノ間ニ發着スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件(昭和三年五月省令第三〇號)及濟南事件ニ對アル軍事郵便取扱開始ノ件(告示第一二七五號)ヲ廢止ス
- 六月 外國航空郵便取扱規程ヲ制定シ二十一日ヨリ之ヲ施行ス
- 八月 郵便規則中ヲ改正シ十一月ヨリ之ヲ施行ス
- 同 九月一日ヨリ四錢、八錢等各郵便切手ノ刷色ヲ改正ス
- 九月 神宮式年遷宮記念トシテ一錢五厘、三錢ノ記念郵便切手ヲ發行シ十月二日ヨリ之ヲ賣捌ク
- 同 訴訟審判及審査書類郵便規則、同取扱規程ヲ制定公布シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 十月 航空用郵便切手トシテ八錢五厘外三種ノ切手ヲ發行ス
- 十一月 條約第二號ニ依リ日本帝國遞信省及香港郵政廳間小包郵便約定ヲ修正ス追加條款公布セラル
- 同 明治四十年九月告示第五二二號日本帝國遞信省及香港郵政廳間ニ締結セル小包郵便物交換ニ關スル約定ノ施行細則ヲ修正ス追加條款ヲ公布十一月十日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 神戸郵便局ヲ神戸中央郵便局ト改稱ス
- 同 神戸中央電信局ヲ設置ス
- 十二月 電話規則中及特設電話規則中ヲ改正ス
- 同 無線電信法中改正法律施行期日ニ關スル勅令公布セラレ同改正法律ハ一月一日ヨリ之ヲ施行セラル
- 同 高周波電流ヲ使用スル通報信號施設ニ無線電信法準用ニ關スル件並無線電信法第二八條ノ三ニ依ル費用補償ニ關スル件ヲ制定シ、私設無線電信規則中、私設電信規則中、放送用私設無線電話規則中ヲ改正シ法律四五號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和五年

- 四月 電話規則中、特設電話規則中及電話通話規則中ヲ改正ス
- 五月 日滿郵便規則中ヲ改正ス
- 六月 萬國郵便聯合ニ關スル諸條約及關係規定等ヲ公布シ七月一日ヨリ施行ス

- 七月 通常往復葉書ノ様式並紙質及封緘葉書ノ紙質ヲ改正シ八月一日ヨリ之ヲ賣捌クコトトセリ
- 八月 寫真電報規則ヲ制定ス
- 同 日華通信問題交渉ニ關シ本邦委員ヲ參列セシム
- 九月 第二回國勢調査記念トシテ一錢五厘、三錢郵便切手ヲ發行ス
- 同 外國電報規則中ヲ改正ス
- 十月 航空郵便規則中及速達郵便規則中ヲ改正ス
- 同 明治神宮鎮座十年記念トシテ一錢五厘、三錢郵便切手ヲ發行ス
- 十二月 七錢郵便切手ヲ發行ス

昭和六年

- 三月 郵便法、鐵道船舶郵便法中改正法律公布セラル而シテ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトトセリ
- 四月 無線通信士資格檢定規則ヲ制定公布シ七月一日ヨリ之ヲ施行ス同時ニ大正四年十月省令第四八號私設無線電信通信從事者資格檢定規則ハ之ヲ廢止ス
- 五月 電話番號簿廣告掲載規程ヲ制定公布シ十五日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 昭和六年法律第四號(郵便法中改正)同第五號(鐵道船舶郵便法中改正)施行期日ニ關スル勅令公布セラレ同改正法律ハ八月一日ヨリ之ヲ施行セラル
- 六月 私設無線電信規則中ヲ改正シ七月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 船舶通報規則中、同取扱規程中ヲ改正シ七月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 電報取扱規程中ヲ改正シ七月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 七月 名勝史蹟ニ因メル圖案ヲ挿入シタル通信日附印ヲ十日ヨリ使用ス
- 同 郵便規則中、通常郵便物市内特別取扱規則中、速達郵便規則中、航空郵便規則中、郵便切手類記號規則中、私設郵便函規則中、鐵道船舶郵便規則中、外國郵便規則中及日滿郵便規則中ヲ夫々改正シ何レモ八月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 郵便線路規程ヲ制定公布シ八月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 無線電報規則中ヲ改正シ八月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 郵便規則中改正(簡易生命保險及郵便年金事務ニ關スル無料郵便取扱ニ關スル改正)シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 八月 福岡電話局ヲ設置ス
- 九月 電話番號簿廣告掲載規程中ヲ改正シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 十一月 電話規則中及特設電話規則中ヲ改正シ十月ヨリ之ヲ施行ス
- 同 滿洲方面事變ニ伴ヒ軍事郵便ノ取扱ヲ開始シ十三日ヨリ之ヲ施行ス
- 十二月 放送用私設無線電話規則中ヲ改正シ同七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年

- 二月 揚子江方面事變ニ伴ヒ軍事郵便ノ取扱ヲ開始シ十九日ヨリ之ヲ施行ス
- 三月 特設電話規則中ヲ改正シ三十一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ特設電話ヲ普通電話ニ變更スル場合加入者ヘノ豫告期間短縮ニ關スル改正ナリ
- 六月 私設無線電信規則中ヲ改正シ二十日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ船舶ニ無線電信ヲ施設セムトスルキノ出願事項ニ關スル改正ナリ
- 同 「マドリッド」ニ於ケル萬國電信會議及國際無線電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 七月 通信手規程ヲ制定公布シ六月ヨリ之ヲ施行ス同時ニ大正六年十一月省令第四六號通信手銜規程ハ之ヲ廢止ス

- 七月 無線通信士資格検定期則中ヲ改正シ二十二日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ第一級資格銜範圍擴張ニ關スル改正ナリ
- 八月 外國郵便規則中及同取扱規程中ヲ改正シ二十三日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ日ソ兩國間小包郵便約定實施ニ關スル改正ナリ
- 九月 電報規則中、同取扱規程中、日華電報規則中、新聞電報認可規則中、同規程中、無線電報規則中、同取扱規程等中ヲ夫々改正シ二十六日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 電話規則中及電話通話規則中ヲ改正シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ特設電話及町村電話制度ノ廢止ニ伴フ改正ナリ
- 同 郵便規則中ヲ改正シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ヲ東京市域擴張ニ伴フ速達郵便ノ郵便區維持ニ關スル改正ナリ
- 同 電報規則中ヲ改正シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ役場専用電話廢止ニ伴フ改正ナリ
- 同 電話通話取扱規程及市内専用通話事務規程中ヲ改正シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ特設及町村兩電話制度廢止ニ伴フ改正ナリ
- 十月 外國無線電報規則及同取扱規程中ヲ改正シ十四日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ外國放送電報ノ受信業務取扱開始ニ伴フ改正ナリ
- 十一月 外國郵便規則中ヲ改正シ三日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ日滿連絡航空郵便取扱開始ニ伴フ改正ナリ
- 同 私設電信規則中、私設電信規則ニ依ル料金額及其ノ納付手續ノ件中、官廳用電信電話規程等中ヲ夫々改正シ十二月一日ヨリ之ヲ施行ス、其要旨ハ電氣工作物規程ノ改正ニ伴フ改正ナリ

昭和八年

- 一月 内鮮電話通話規則ヲ制定公布シ十五日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 私設無線電信規則中ヲ改正シ十七日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 通常葉書及往復葉書ノ様式ヲ改正シ二月十五日ヨリ之ヲ賣捌クコトトセリ
- 二月 請願通信施設規則中ヲ改正シ十一月ヨリ之ヲ施行ス
- 三月 外國電報規則中ヲ改正シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 四月 「オタワ」ニ於テ開催ノ萬國郵便聯合大會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 五月 電話規則中ヲ改正シ十五日ヨリ之ヲ施行ス
- 六月 郵便規則中、速達郵便規則中ヲ改正シ七月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 七月 外國電報規則中及同取扱規程中ヲ改正シ八月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 八月 日滿電報規則、同取扱規程、日滿無線電報規則、同取扱規程等ヲ制定公布シ九月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 十二月 「クリスマス」及新年祝賀特別外國電報規則中ヲ改正シ十四日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 外國祝賀無線電報規則ヲ制定公布シ十四日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 外國郵便規則及日滿郵便規則中ヲ改正シ翌年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 外國電報規則、同取扱規程、外國無線電報規則、同取扱規程、私設無線電信無線電話規則、無線方位測定規則等ヲ制定公布シ翌年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 無線電報規則中同取扱規程中ヲ改正シ翌年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和九年

- 一月 寫真電報規則中ヲ改正シ二月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 二月 通信手規程中ヲ改正シ八月ヨリ之ヲ施行ス

- 二月 無線通信士資格検定期則中ヲ改正シ十日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 航空郵便料金ノ改正ニ伴ヒ九錢五厘郵便切手ヲ發行シ三月一日ヨリ之ヲ賣捌クコトトセリ
- 三月 日滿電報規則中、同無線電報規則中ヲ改正シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 法律第三九號ヲ以テ軍用電氣通信法公布セラル而シテ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトトセリ
- 同 日滿郵便規則中ヲ改正シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 四月 寫真電報規則中ヲ改正シ十二日ヨリ之ヲ施行ス
- 五月 日滿郵便規則中、同取扱規程中ヲ改正シ六月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 「ブラウグ」ニ開催セル第四回國際電信諮問委員會ニ本邦委員參列セシム
- 六月 外地電話通話規則ヲ制定公布シ二十日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 廣島電話局ヲ設置ス
- 同 日滿電話通話規則ヲ制定公布シ八月二日ヨリ之ヲ施行ス
- 九月 國際電話通話規則及同取扱規程ヲ制定公布シ二十七日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 「プタベスト」ニ開催第十回國際電話諮問委員會ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 同 「リスボン」ニ開催セル第三回國際無線通信諮問委員會ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十月 大阪通信講習所姫路支所ハ十月末日限り廢止セラル
- 同 軍用電氣通信法施行期日ニ關スル勅令公布セラル本法ハ十月一日ヨリ之ヲ施行セラル
- 同 軍用電氣通信ヲ公衆通信ノ用ニ供スル勅令公布セラレ十一月一日ヨリ之ヲ施行セラル
- 同 軍用電氣公衆通信取扱規則ヲ制定シ十一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 十二月 外地電話通話規則中ヲ改正シ十二日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 電話規則中ヲ改正シ十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 日滿電報規則中及同無線電報規則中ヲ改正シ十五日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 私設無線電信無線電話規則中ヲ改正シ十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 「カイロ」締結萬國郵便條約其ノ他ノ約書並施行規則等ヲ公布シ十年一月一日ヨリ之ヲ施行セラル

第一章 郵便電信及電話局所

Section 1. Post, Telegraph and Telephone Offices

郵便電信及電話局所ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

A. 郵便局所開廢

- 1. 一等郵便局改稱並分室開廢 神戸鐵道郵便局ヲ大阪鐵道郵便局ニ改稱シ新潟郵便局保險分室、名古屋郵便局飛行場分室、濱松郵便局保險分室、神戸中央郵便局取引所内分室、福岡郵便局保險支局内分室及笹島郵便局北彌宜町分室ヲ設置シ笹島郵便局保險分室ヲ廢止ス
2. 郵便局等級改定 京橋、小石川、大阪西各集配二等郵便局ヲ一等郵便局ニ、池田、瀬戸、熱海各集配三等局ヲ二等集配郵便局ニ、柳河集配三等郵便局ヲ特定集配三等郵便局ニ、赤松無集配三等郵便局ヲ郵便取扱所ニ執レモ改定ス
3. 分課設置 本年度ニ於テ分課設置方決定セルモノ下記ノ如シ

Table with 4 columns: 局名, 設置分課名, 實施月日. Rows include 京橋郵便局, 小石川郵便局, 大阪西郵便局.

- 4. 二等郵便局分室開廢 板橋郵便局保險分室、赤坂郵便局葵町分室、本郷郵便局春木町分室及住吉郵便局保險分室ヲ設置シ神田郵便局分室及淺草、神奈川ノ各郵便局保險分室ヲ廢止ス
5. 三等郵便局開廢 高梁驛前、廣島東雲町、岡山南方、四井手、刈田、吳川原石、岡山花畑、田端臺通、豐島辻町通、天森千代田、名古屋大和田、大森雪ヶ谷、荏原戸越銀座、野方驛前、王子神谷橋、東大久保一、日吉、府中驛前、野々口、澗野、水澤横町、越後吉田、久保田、福島渡利、名古屋新榮町六、名古屋石川橋、伏木古國府、岐阜縣廳内、長濱宮、伏見竹田口、神足天王寺六萬體、大阪中野町、上野芝、和泉府中、神戸旭通、小宅、丹波市天理、和歌山岡町、和佐、徳島驛前、留萌開運、新小岩驛前、白鬚、靜岡太田町、筑後北山、長尾、福岡南小路、門司丸山、長崎中川町、泊、川内町驛前、佐世保港町、吾嬬西四、川崎旭町、向島驛前、名瀬永田橋通、熱田尾頭、船橋一、人吉新町、準人驛前、小倉日明、棚尾、糞谷驛前、日立木町、館山柏崎、島田一、津上濱、高松花園町、池袋三、八幡昭和町、楠見、岸和田北町、宇部錦橋通、横須賀山崎、名古屋石佛、南鎌早、桐生本町二、中野宮園通、大分上野、大庄、高岡寺驛南口通、前橋岩神町、徳山櫻馬場園分、赤間驛前、名古屋志賀、神戸戸政、名古屋山田、半田西勘内、姫路福澤牧野、天沼、南庭岡、淀橋十二社、代々木山谷、京都谷口、赤羽驛前通、市邊、熱海驛前、京都吉田中阿達、甲子園、旭大宮、長洲、東淀川元今里、帶廣東二條、廣島金星町、小樽入船八、靜岡西門町、神戸二番町、京都下鴨芝木、號外線、旭新喜多、甘木東町、立川南口、五箇庄、本莊驛前、東淀川十三東、住吉山王、名古屋白山、名古屋六反、水前寺通、函館松川、名古屋仲田、名古屋中川口、名古屋大正町、仙臺越路、名古屋重畑ノ各無集配三等郵便局ヲ設置ス
6. 郵便取扱所設置並改定 三郷、丹比、北、廣瀬、川根、袋田、稻生、坂祝、黒川渡、小齋、兩鹿瀬、針、中山路、朝酌、國府、朱鞠内、柏、四ツ合、干潟驛前、中丸、室場、北般若、倉石、羽前西根、高久、貝野、布崎、用上、夏海、山名、與布土、師木野、田尻、渡場、錢塘、南瀬、西谷、西山、北浦驛前、網地島、西春別、應來、三和、比良、生路、鬼籠野、廣丘、曾木、阿曾、陸中岩崎、色利、麻機、伊那佐、總元、社臺、排斐北方、成美、佐多浦、排宿大川、藏木、上沼、橋、七合、砥川、福田、王越、藏館、富士見、忍野、舍川、幸久、門島、下三力、土萬、西栗柄、蒲生、永野、布津、大和、北多磨、細野、糠、吉津、宇佐明治、大山、富倉、西分、上内田、長谷、三郷、上之郷、水代、菅原、青野原、宇津、甲奴、筑渡、現和、霧島神宮前、志地、東中筋、斗賀野、木間ヶ

瀬、東相ノ内、中夜久野、新改、古川、喜舎場、崎山、戸田小濱驛前、南櫻井、東島、備中美川、神戸、千町、小河内、北下浦、天見、櫻樹、父二峰、山田、敷屋、大泊、八重畑、社、生板、八雲、幸浦、越來、木山、山田莊、船坂、東瓜幕、木新島、立花、長井、渡川、京ヶ瀬、眞津山、作萬別、茶津、伊佐、秋津川、江釣子、富澤源、小谷石、谷内、外丸、春木、奥内ノ各郵便取扱所ヲ設置シ眞山、玉里、北河原、三好、鶴巢、南橋岡、羽後田、西五百川、東谷、七谷、兩郷、北山、中川、志支内ノ各郵便取扱所ヲ集配三等郵便局ニ湯里、口南、毛呂、富岡、戸馳、千田、豊崎、夜明、細山田、坂本、下廣川、上溪河、上龍門、横尾、名荷、上徳富、中藻壺、見立磯山、常盤、漁、南美咲、海瀉、岡山、福富、駒場、田渡、長濱、大草、座間見、阿那賀、中士別、郷田、中西別、日進、脇方、山内、大久保、今田、三郷、八名加茂、堺、西石原、加斗、赤羽、山田、三根、南高湯江、古里、東平内、陸奥野澤、三好、内瀉、豊間、敷玉、羽前廣野、濱中、中ノ澤温泉、佐倉、北杵築、麻機、茂呂、菖蒲、謝花、上朝日奈、昭和、八木、倉田、三花、南方、酒谷、國上、上牧、花之木ノ各郵便取扱所ヲ無集配三等郵便局ニ改定ス

B. 電信及電話局所開廢

- 1. 一等電話局設置 廣島電話局ヲ設置ス
2. 二等電信局開廢 永川丸、熱田丸、秩父丸、さんとす丸ノ各二等電信局ヲ設置シ三島丸、安藝丸、香港丸ノ各二等電信局ヲ廢止ス
3. 電信取扱所開廢 白瀧、上白瀧、上川、作並新前橋、政和、朱鞠内、幌成、沼午、中越、雨煙別、天幕、上更別、忠類、駒場、野塚、濱厚真、勇拂、茶屋川、西別、上札鶴、猿間川、上頓別、小石、奥白瀧、種川、美留川、遠矢、磯分内、細岡、五十石、南弟子屈、慶能舞、波惠、鹽狩、苦小牧、斜里、豊後森ノ各普通電信取扱所及片岡灣、柏原灣、摺鉢灣、戸畑ノ各無線電信取扱所並岐阜丸、康福丸、銅山丸、新潟丸、月洋丸、永保丸、白令丸、東亞丸、蛟龍丸、「エル、シッド」丸、「エル、アルバ」、浦潮丸、「ベンチュラ」丸、鹿野丸、「シイラ」丸「エル、シグロ」、「エル、ノート」、長良丸、「フオウト、ウエイン」、「ソノマ」丸、「シツク」丸、博愛丸、清澄丸、能登丸、那古丸、「アンタークチック」、幸生丸、石見丸、海平丸、「クレオル」、能代丸、「モウマズ」、「シッカ」、鳴門丸、極東丸、阿蘇山丸、「アドミラル、デウエイ」、「アドミラル、スクレー」、「アドミラル、フアラガット」、「フィスケ」、「ワットソン」、第八十八播州丸、「バラオ」丸、「コウマタ」、「サルバージャ」、吉林丸、野島丸、湊丸、金剛丸、宏山丸、天洋丸、熱河丸ノ各船舶無線電信取扱所ヲ設置シ花泉、安積永盛、關郡、利府、拜島、靜狩、舍熊、日名、本輪西、坂本、厚川、喜々津、木幡、澤入、吹上、四辻、鴨川、庶路、小頓別、敏音知、有珠、間寒別、新田原、園分寺、日暮里、佐屋、高藏寺、東風平、網田、日野春、釜戸、川添、萬富、宮床、遠賀川、奈多、稚井、天道、中泉、下山田、古賀、南風崎、重富、次郎ヶ別府、飯野、生保内、鹿又、中新田、越河、岩切、坂元、伊達、釜山、草野、糠ノ目、百間町、山仁、上富良、江部乙、横濱、東神奈川、札鶴、茶志内、紅葉山、登川、石切山、兜沼、熱郭、中士幌、笹子、初鹿野、花輪、譽田、日向、深日、棚倉、石原、稻枝、北宇智、香久山、相野、寺前、長谷、古庄ノ各普通電信取扱所及加賀丸、八幡丸、「ババスイ」、「バレオラ」、永川丸、最上丸、熱田丸、天津丸、成鏡丸、江原丸、漢城丸、これや丸、妙大安丸、「ブリリ」、永保丸、浦潮丸、白海丸、蛟龍丸、あんです丸、「ベンチュラ」丸、「エル、シッド」、「エル、アルバ」、「エル、ノート」、「シイラ」丸、宇佐丸、淀丸、「エル、シグロ」、英丸、「ソノマ」、讃岐丸、あるたい丸、あまぞん丸、「シツク」丸、「フオウトウエイン」、英龍丸、菊桐丸、神光丸、「アドミラル、デウエイット」、「クレオル」、喜久丸、銀泉丸、紀洋丸、龍王丸、龍威丸、「サルバージャ」、アドミラル、スクレー」、秩父丸、さいべりや丸、北滿丸、第十一平榮丸、「モウマズ」、「ワットソン」、さんとす丸、「フィスケ」、高野山丸、春日丸、「シッカ」、美春丸、「コウマタ」ノ各船舶無線電信取扱所ヲ廢止ス
4. 電話所開廢 淺原、山田、川治温泉、丹庄、八代、原田、美久里、岩宿、麻機、昭和、新屋、足柄、堀ノ内、吉田、老川、大山寺、田野畑、中呂、志染、鬼籠野、金田、中谷、西浦上、張碓、中東條、中川、天ヶ瀬、鳴門公園、一ノ橋、上各寄ノ各普通電話所及持越、天龍、角田、三井珊瑚、新幌内、日石院内、新沖山炭鑛、入野炭鑛、岩崎炭鑛、大日本石油小園、阿川、勝香金山、夏梅、岩戸鑛山、阿久根、谷所、東松島、北之王金山、札幌、赤石鑛山、遠賀、惠須取空知鑛、三盛、魚貫、大金鑛山ノ各鑛業特設電話所ヲ設置シ大草、中笹間、山田、金田、古里、羽後田、中川、昭和ノ各電話所及岩崎、相知、大君、水巻、安部城ノ各鑛業特設電話所ヲ廢止ス

郵便電信
Number of Post, Telegraph

Table with columns for '種別 Detached Office', '郵便局 Post Office' (First, Second, Third Class), and '電信局 Telegraph Office' (First Class). Rows represent fiscal years from 1926 to 1935.

備考 1. △印ハ在中華民國本省所轄局所 ※船舶局 □陸上無線電信取扱所
Note. The mark △shows Japanese offices in Middle Republic ※Post office on board ships □Radio telegraph station on land
2. 本表ニハ定期開局ノモノヲ算入ス
This table includes offices opened during fixed period
3. 括弧内ノ數字ハ内譯ナリ
The figures in the parenthesis are items

電話局所數
and Telephone Offices

Table with columns for '電信局 Telegraph Office', '電話局 Telephone Office', '電信取扱所 Station (Telegram)', and '電話所 Station (Telephone)'. Rows represent fiscal years from 1926 to 1935.

郵便電信及電話局所取扱事務別

Number of Post, Telegraph and Telephone Offices Classified by Services

昭和九年度末
March 31, 1935

種別 Description	郵便 Post	電信 Telegraph	電話 Telephone		
			交換 Exchange	通話 Message	
郵便局 Post Office	一 等 First Class	87	83	66	89
	二 等 Second Class	222	201	116	199
	三 等 Third Class	9,929	6,199	4,694	6,283
	計 Total	10,238	6,483	4,876	6,571
郵便取扱所 Station (Post)	653	-	-	-	-
電信局 Telegraph Office	一 等 First Class	-	(△ 10 3)	1	4
	二 等 Second Class	-	44	-	(※ 7 5)
	計 Total	-	(△ 54 3)	1	(※ 11 5)
電話局 Telephone Office	一 等 Main Office	-	-	8	-
	分 局 Branch Office	-	-	45	-
	二 等 Second Class	-	-	2	1
	計 Total	-	-	55	1
電信取扱所 Station (Telegram)	-	1,680	-	-	-
電信電話取扱所 Station (Telegram & Telephone)	-	-	1	-	1
電話所 Station (Telephone)	-	-	58	(※ 7 6)	-
總計 Grand Total	10,891	(△ 8,218 3)	4,990	(※ 6,662 11)	-

郵便電信及電話局所取扱事務別

Number of Post, Telegraph and Telephone Offices Classified by Services

(續)
(Continued)

種別 Description	郵便 Post	電信 Telegraph	電話 Telephone	
			交換 Exchange	通話 Message
昭和八年度末 March 31, 1934	10,611	(△ 7,945 3)	4,739	(※ 6,400 12)
七 年 度 末 March 31, 1933	10,322	(△ 7,816 3)	4,393	(※ 6,123 12)
六 年 度 末 March 31, 1932	10,208	(△ 7,712 3)	3,308	(※ 5,873 12)
五 年 度 末 March 31, 1931	9,954	(△ 7,634 3)	3,118	(※ 5,608 12)
四 年 度 末 March 31, 1930	9,690	(△ 7,458 3)	2,967	(※ 5,305 12)
三 年 度 末 March 31, 1929	9,393	(△ 7,283 3)	2,697	4,952
二 年 度 末 March 31, 1928	9,114	(△ 7,145 3)	2,450	4,650
元 年 度 末 March 31, 1927	8,916	(△ 7,012 3)	2,263	4,430
大正十四年度末 March 31, 1926	8,705	(△ 6,797 3)	2,079	4,223
備考 △印ハ在中華民國本省所轄局所 Note. The mark △ shows Japanese offices in Middle Republic ※印ハ船舶局トス The mark ※ Post office on board ships. 括弧内ノ數字ハ内譯ナリ The figures in the parenthesis are items				

郵便切手、收入印紙賣捌所、郵便函及郵便私書函
Postage and Revenue Stamp Sale Agencies and Post Boxes

種 別 Description	郵便切手 賣捌所 Postage stamp sale agency	收入印紙 賣捌所 Revenue stamp sale agency	郵 便 函 Post Box			私 書 函 Private Box	
			柱 Pillar Box	掛 Receptacle	合 計 Total	設 備 數 Arranged	貨 與 數 Used
昭和九年度末 March 31, 1935	(※ 70,195 245) 7	465	(△ 26,713 221) 161	(△ 50,756 227) 204	(△ 77,469 448) 161 204	20,054	14,667
八年度末 March 31, 1934	(※ 69,654 243)	474	(△ 25,837 200)	(△ 50,259 228)	(△ 76,096 428)	18,714	13,431
七年度末 March 31, 1933	(※ 69,091 244)	464	(△ 24,112 178)	(△ 51,299 220) 205	(△ 75,411 220) 383	17,532	12,295
六年度末 March 31, 1932	(※ 68,397 239)	485	(△ 23,359 187)	(△ 50,831 200) 204	(△ 74,190 200) 391	16,313	11,388
五年度末 March 31, 1931	(※ 67,935 238)	490	(△ 22,791 190)	(△ 50,922 199) 202	(△ 73,713 199) 392	15,204	10,561
四年度末 March 31, 1930	(※ 67,151 233)	562	(△ 22,347 132)	(△ 50,699 227) 182	(△ 73,046 227) 314	14,112	9,805
三年度末 March 31, 1929	(※ 66,525 224)	567	(△ 20,950 120)	(△ 50,431 239) 190	(△ 71,431 239) 310	13,288	9,046
二年度末 March 31, 1928	(△ 65,697 185) 2	572	(△ 19,860 99)	(△ 50,493 186) 149	(△ 70,353 186) 248	12,479	8,810
元年度末 March 31, 1927	(△ 65,217 181) 2	647	(△ 19,029 87)	(△ 50,617 195) 177	(△ 69,646 195) 264	11,781	8,087
大正十四年度末 March 31, 1925	(△ 64,467 137) 2	703	(△ 18,516 80)	(△ 50,442 79) 165	(△ 68,958 79) 245	10,785	7,662

備考 1. * 船内 △ 私設 ※ 列車 × 航空
Note. * On board ships △ Private ※ In trains × In aircrafts
2. 括弧内ノ数字ハ内課ナリ
The figures in the Parenthesis are items

第二章 郵便電信及電話局職員
Section 2. Personnel at Post, Telegraph and Telephone Offices

郵便電信及電話局職員
Personnel at Post, Telegraph and Telephone Office

昭和九年度末
March 31, 1935

種 別 Description	一 等 局 First Class	二 等 局 Second Class	三 等 局 Third Class			郵 便 取 扱 所 Station (Post)	電 話 所 Station (Tele- phone)	總 計 Grand Total	
			特 定 Special	集 配 Delivery	無 集 配 Non- Delivery				計 Total
奏 Sonin Rank 任	(△ 142 3)							(△ 142 3)	
判 Hannin Rank 任	男 Male (△ 10,809 46)	5,402	54	5,090	4,785	9,929		26,140 (△ 46)	
	女 Female 1,370	198						1,568	
	計 Total (△ 12,179 46)	5,600	54	5,090	4,785	9,929		27,708 (△ 46)	
通 信 手 Post office clerk	男 Male		265	4,075	549	5,789		5,789	
	女 Female			7	311	260	578	578	
	計 Total			272	5,286	809	6,367	6,367	
所 Chief of Postal agency 長						652	69	721	
雇 Employee 員 (High class)	男 Male (△ 9,866 15)	6,363	1,080	12,990	4,914	18,984		35,213 (△ 15)	
	女 Female 21,221	6,173	1,649	13,549	6,793	21,991		49,385	
	計 Total (△ 31,087 15)	12,536	2,729	26,539	11,707	40,975		84,598 (△ 15)	
備 Employee 人 (Low class)	男 Male (△ 14,713 75)	14,071	1,513	3,458	1,417	35,388		64,172 (△ 75)	
	女 Female 737	333	45			45		1,115	
	計 Total (△ 15,450 75)	14,404	1,558	3,458	1,417	35,433		65,287 (△ 75)	
總 Grand Total 計	58,858 (△ 139)	32,540	4,613	69,373	18,718	92,704	652	69	184,823 (△ 139)

郵便電信及電話局職員
Personnel at Post, Telegraph and Telephone Office

續
(Continued)

種別 Description	一等局 First Class	二等局 Second Class	三等局 Third Class				郵便取扱所 Station (Post)	電話所 Station (Telephone)	總計 Grand Total
			特 定 特 殊 Spec ial	集 配 集 配 Del ivery	無 集 配 無 集 配 Non. Del ivery	計 Total			
八年度末 March 31, 1934	(△)	88,616 (135)	4,423	67,448	17,927	89,798	589	44	179,047 (135)
七年度末 March 31, 1933	(△)	87,194 (132)	4,280	66,889	17,027	88,196	527	44	175,991 (132)
六年度末 March 31, 1932	(△)	81,723 (123)	3,948	65,172	16,501	85,621	575	43	167,962 (123)
五年度末 March 31, 1931	(△)	86,008 (123)	4,092	64,324	15,943	84,359	282	33	170,882 (123)
四年度末 March 31, 1930	(△)	86,643 (121)	4,218	62,704	15,227	82,149	449	32	169,273 (121)
三年度末 March 31, 1929	(△)	80,590 (120)	4,333	61,201	14,892	80,426	376	16	161,408 (120)
二年度末 March 31, 1928	(△)	77,754 (126)	4,337	58,926	14,179	77,442	243	1	155,440 (126)
元年度末 March 31, 1927	(△)	73,561 (119)	4,202	57,265	13,842	75,309	132	1	149,003 (119)
大正十四年度末 March 31, 1926	(△)	69,109 (94)	4,035	56,173	13,470	73,678	-	1	142,788 (94)

備考 1. 表中△印ハ在中華民國本省所轄局員トス
Note. The mark shows officials etc. at Japanese Post offices in Middle Republic.
2. 括弧内ノ數字ハ内課ナリ
The figures in the parenthesis are items.

第三章 郵便業務ニ關スル施設
Section 3. Institutions for Postal Services

郵便業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

選舉無料郵便關係規定改正 衆議院議員選舉法及同施行令中選舉無料郵便物ニ關スル規定改正セラレタルニ伴ヒ選舉無料郵便規則並同取扱規程中關係ノ部分夫々改正セラレ、其ノ要項ヲ擧ケテハ下記ノ如シ

記

- 選舉無料郵便物差出人ハ從來議員候補者又ハ推薦届出者ナリシ改正法ニ於テハ候補者ヲ原則トシ推薦届出者カ議員候補者ノ承諾ヲ得シテ選舉事務長ノ選任ヲナシタル場合ニ限り選舉事務長ノ差出ヲナシ得ルコトトセラレ
- 選舉無料郵便物中無封ノ書狀ノ重量制限トスル郵便規則第十四條ノ二ノ無封書狀ト同様「三五瓦」ニ改メラル
- 選舉無料郵便規則中改正ノ主ナルモノ
 - (イ) 從來選舉無料郵便物差出届出書等ニ爲シタル選舉事務長ノ連署ハ之ヲ廢止ス
 - (ロ) 届書ニハ差出期日別ニ郵便物通數、種類等ヲ記載セシムルコトトス
 - (ハ) 差出届書ニ添付スル證明書ハ差出人ノ資格ニ應ジ差異ヲ設ケ
 - (ニ) 差出期日及通數ヲ變更スル場合ノ便法ヲ認メラル
 - (ホ) 小區域分割差出ノ承認ハ市ニ限り町村ニ付テハ之ヲ廢止ス
 - (ヘ) 分割差出ノ場合一區域ニ差出シタル後差出人ニ異動ヲ生シタルトキハ殘存部分ニ差出スモノハソノ區域ヲ通シ同文タルヲ以テ足ルコトトス
- 選舉無料郵便物取扱規程中改正ノ主ナルモノ
 - (イ) 選舉無料郵便物差出届受理ノ場合ハ其ノ旨逓信局ニ通報スルコトトス
 - (ロ) 從來ノ謄本調製及選舉無料郵便物郵送票ノ取扱者印押捺ヲ廢止ス
 - (ハ) 選舉無料郵便物ハ原則トシテ配達局區分トシ唯二以上ノ郵便區ニ分屬スル市町村ニ達スルモノニ限り特定ノ繼越局ニ區分スルコトヲ得ル旨規定シ受渡局區分ハ之ヲ廢止ス
 - (ニ) 選舉無料郵便物ノミヲ納メタル大行囊ノ記票ニハ日附印押捺ヲ要スルコトトス
 - (ホ) 配達又ハ交付シ能ハサル郵便物ハ引受局ニ返送スルコトニ規定ス

小型記念通信日附印使用制度創設 風景入通信日附印使用ニ關スル告示ヲ改正シ地方的公ノ式事若ハ催物等ノ際記念「スタンプ」使用方要望アル場合ハ從來ノ特殊通信日附印(大サ徑三十六耗)ニ比シ稍小型(徑三十二耗)ノ圖案並記念事項ノ文字ヲ挿入セル特別ノ記念「スタンプ」ヲ使用シ得ル制度ヲ設ケタリ

通信日附印形式中改正 從來歐文通信日附印中ニ表示ノJapanノ文字ヲNipponニ、又北米航路船舶内ニ設置ノ郵便局ニ於テ使用ノ風景入通信日附印中I. J. Sea postトナルヲSea post Nipponニ改メ昭和九年四月二十日ヨリ實施セリ

郵便切手賣捌規則中改正 執務能率ノ向上ヲ圖ル爲從來一定セラレタル印紙切手類買受請求書様式ヲ各局ノ實情ニ應ジ適宜調製セシムルコトニ昭和九年三月三十一日省令第四三號ヲ以テ郵便切手賣捌規則中ヲ改正シ同年四月一日ヨリ實施セリ

記念郵便切手通信賣捌制度創設 滿洲國皇帝陛下御來訪記念切手發行ニ際シ新ニ通信賣捌ノ制度ヲ設ケタリ、其ノ要項下記ノ如シ

記

1. 通信賣捌ヲ爲スヘキ郵便切手ハ滿洲國皇帝陛下御來訪記念郵便切手ニシテ二十面刷ノモノ額面總額二十圓以上買受タル場合ニ限ル
2. 賣捌ニ關スル一切ノ直接事務ハ逓信省構内郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ
3. 買受申込締切期日ハ昭和九年三月二十五日限リトス
4. 買受人ハ買受數量ヲ明記シタル申込書ト切手類代金、切手類送付ニ要スル料金(價格表記郵便料、封緘紙代ヲ含ム)ヲ郵便爲替又ハ郵便振替貯金ニ依リ逓信省構内郵便局長宛送付スルモノトス
5. 現品ハ昭和十年四月二日價格表記郵便ヲ以テ買受人ニ發送ス

「カイロ」締結萬國郵便條約及關係諸約定ノ實施 昭和九年三月二十日「エジプト」國「カイロ」ニ於テ締結セラレタル萬國郵便條約、航空路ニ依ル通常郵便物ノ遞送ニ關スル規定、價格表記ノ書狀及箱物ニ關スル約定、小包郵便物ニ關スル約定並航空路ニ依ル小包郵便物ノ遞送ニ關スル規定ハ同年十二月五日樞密院ニ於テ可決セラレ同月七日御批准アリタルヲ以テ關係施行規則ト共ニ同月二十六日之ヲ公布ノ上昭和十年一月一日ヨリ實施セリ尙之ニ伴ヒ外國郵便規則其ノ他外國郵便關係規定類ノ全般ノ改正ヲ行ヒタリ右條約類ノ實施ニ依リ改善セラレタル事項中其ノ主要ナルモノヲ擧ケレハ下記ノ如シ

- (1) 通常郵便物ノ寸尺制限ノ統一
- (2) 小形包裝物ノ料金引下
- (3) 課税品ヲ包有シ得ル郵便物ノ範圍擴張
- (4) 開囊郵便物繼越料及閉囊保管料ノ廢止
- (5) 小包郵便物ノ容積制限ノ擴大
- (6) 小包差出後ニ於ケル課金別納請求規定ノ新設
- (7) 小包閉囊遞送ニ關スル規定ノ新設
- (8) 小包再裝料徵收規定ノ新設
- (9) 小包ノ亡失又ハ毀損ニ對スル責任ノ規定中一部改正

本邦及「ポーランド」國間ニ代金引換郵便物ノ交換開始 從來本邦ト「ポーランド」國トノ間ニハ代金引換郵便物ノ交換ナカリシ處同國郵政廳ト協議ノ結果昭和九年八月十五日ヨリ之カ交換ヲ開始スルコトトシ諸般ノ必要條件ヲ公示セリ

「ニュージーランド」ニ於ケル小形包裝物業務開始ニ伴フ措置 從來「ニュージーランド」ニ於テハ小形包裝物ノ業務ヲ施行シ居ラザリシ處昭和九年七月一日ヨリ之ヲ施行スルコトトナリタルニ付右ニ關スル諸般ノ必要ナル條件ヲ公示シタリ

印度、「アラビヤ」及阿弗利加方面宛郵便物ノ航空遞送開始 印度、「アラビヤ」及阿弗利加方面宛郵便物ノ航空遞送方ニ關シテハ大阪商工會議所其ノ他關係貿易業等ヨリ屢々陳情ノ次第モアリタルニ付之カ實現方關係郵政廳ト協議ヲ重ネタル結果同方面宛通常郵便物ヲ新嘉坡又ハ西比利亞經由航空遞送スルコトトシ昭和九年七月二十五日附右航空遞送ニ關スル告示ヲ改正セリ

名古屋郵便局ヲ外國郵便交換局ニ指定 昭和九年十月一日ヨリ日本航空輸送株式會社航空機ハ名古屋ニ寄港スルコトトナリタルヲ以テ名古屋郵便局ヲ外國郵便交換局ニ指定シ同局ヲシテ外國宛航空郵便物ノ差立ヲ開始セシメタリ

外國ニ於ケル價格表記、別配達及代金引換郵便物ノ取扱局開廢ニ伴フ措置 下記諸國ニ於ケル右特殊取扱通常郵便物ノ取扱郵便局ハ最近ニ於テ開廢セラレタルモノ頗ル多キヲ以テ右取扱局名ヲ公示セリ

記

滿洲國、中華民國、印度支那、「アフリカ」、「アジア」及「オセアニア」ノ「ポルトガル」國殖民地並「ポルトガル」領印度、「テヌニス」國、「モロッコ」國(西班牙地帯ヲ除ク)、「ロシアニア」國、「マダガスカル」及屬地、希臘國、蘭領印度、「トルコ」國

無集配三等局ニ於ケル中華民國及滿洲國宛小包引受事務開始 年度中中華民國及滿洲國宛小包郵便物ノ取扱ヲ開始シタル無集配三等郵便局下記ノ如シ

記

名古屋末廣町、名古屋松原、名古屋東門前町、岡本、名古屋押切、名古屋本町、名古屋江川、名古屋新榮町二、名古屋鶴舞、山吹、東成鶴橋驛前、東成舍利寺、塙東雲、京都紫竹、京都下立賣千本、神戸下山手三、神戸相生

關東廳管内宛小包ノ保管料徵收實施 滿洲國獨立以來關東廳管内宛小包激増シタル爲到著局ニ於テ保管ヲ要スル小包多數ニ上リ郵便局ノ手數並費用増大スルニ至リタルニ付之カ緩和ヲ計ル爲關東廳ヨリノ協議ニ基キ保管開始ノ日ヨリ七日ヲ經過シテ交付スル小包ニ付テハ此ノ期間ヲ經過スル一日ニ付金五錢ノ保管料ヲ徵收シ該料金ハ小包ヲ關東廳管内ヨリ帝國内ニ轉送又ハ返送スル場合ニモ之ヲ取消サス名宛人又ハ差出人ヨリ徵收スルコトトシ日滿郵便規則及日滿郵便取扱規程中相當改正ノ上昭和九年六月一日ヨリ實施シタリ

本邦重要輸出品ノ取締 「フェルト」帽子及同帽體、護謄玩具、護謄運動具、縮「タオル」ハ本邦重要輸出品トシテ政府ニ於テ其ノ輸出ヲ取締ルコトトナリ昭和九年二月商工省令第四號及同年九月同第一七號ヲ以テ重要輸出品取締規則中改正アリタルヲ以テ小包郵便ニ依ル此等物品ノ輸出取締方ニ關シ關係取扱規程中相當改正ヲ加ヘタリ

陶磁器輸出統制ニ伴フ該物品包有小包ノ取締 本邦内地ヨリ世界主要市場ニ輸出スル陶磁器ハ大日本陶磁器輸出組合ノ定ムル取締及制限ニ從フヲ要スルコトトナリ昭和九年九月商工省告示第六一號ヲ以テ其ノ旨公示アリタルヲ以テ小包郵便ニ依ル該物品ノ輸出取締方ニ關シ外國郵便取扱規程中ニ相當改正ヲ加ヘタリ

記念郵便切手發行 第十五回赤十字國際會議記念トシテ下記ノ郵便切手ヲ發行シ昭和九年十月一日ヨリ之カ賣捌ヲ爲セリ



日本赤十字社ノ徽章ヲ表ハシタルモノトス
壹錢五厘 刷色 綠色 金額ハ各相當額ヲ記ス
六 錢 刷色 紅色



會議々場タル日本赤十字社ノ前景ヲ描キタルモノトス
三 錢 刷色 紫色 金額ハ各相當額ヲ記ス
十 錢 刷色 青色

特殊記念通信日附印

A. 皇太子殿下御誕生記念非常時國防博覽會記念



博覽會々場内ノ建物ノ一部ヲ描キ非常時國防博覽會記念ノ意ヲ表ハシタルモノトス

使用局 東成郵便局非常時國防博覽會場内臨時出張所

使用期間 昭和九年四月一日ヨリ同年五月二十日迄

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ書狀ハ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル、使用期間中料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

B. 義勇機九州通信號命名記念



上部ニ獻納機ヲ描キ之ニ九州地方ノ地圖ヲ配シタルモノトス

使用局 東京中央郵便局飛行場分室、熊本郵便局及熊本坪井郵便局

使用期日 東京中央郵便局飛行場分室ニ於テハ義勇機九州通信號命名式當日

熊本及熊本坪井郵便局ニ於テハ義勇機九州通信號報告式當日

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ書狀ハ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル、使用當日及其ノ後三日間料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

C. 通信記念日制定記念



中央ニ鳩ヲ描キ通信省ノ徽章ヲ配シタルモノトス

使用局 一、二等郵便局(鐵道郵便局、鐵道船舶郵便局及船舶内ニ設置ノ郵便局ヲ除ク)、特ニ指定シタル三等郵便局及新潟縣前島記念池部郵便局

使用期日 昭和九年四月二十日

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ書狀ハ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル、使用當日及下記ノ期間料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

下記以外ノ局所 四月二十一日ヨリ同月十三日迄

通信文化展覽會場内日本橋郵便局臨時出張所 四月二十一日ヨリ同月二十七日迄

通信文化展覽會場内麹町郵便局臨時出張所 四月二十一日ヨリ同月二十七日迄

D. 靖國神社臨時大祭記念



櫻ノ間ヨリ社殿ヲ現ハシ境内ノ石像狛犬ヲ配シタルモノトス

使用局 麹町郵便局及九段郵便局

使用期間 昭和九年四月二十五日ヨリ同月二十八日迄

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ書狀ハ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル、使用期間中及其ノ後三日間料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印(使用期間以外ハ使用最終日ノ日附ヲ使用ス)ノ需ニ應ス

E. 第十五回赤十字國際會議記念



中央ニ會議參列代表委員ノ佩用スル徽章ヲ描キ左右ニ菊花ヲ配セルモノトス

使用局 東京市内一、二等郵便局(鐵道郵便局ヲ除ク)及帝國ホテル内郵便局

使用時間 昭和九年十月二十日ヨリ同月二十九日迄

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル、使用期間中料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

F. 陸軍特別大演習記念



タンク、馬蹄、傳書鳩ヲ描キ、飛行機、星、菊ヲ配シタルモノトス

使用局 陸軍特別大演習大本營内、前橋、高崎、伊勢崎、桐生、熊谷、足利、栃木、佐野、群馬縣澁川、同安中、同富岡、同藤岡、同新町、同境、同大間々、同館林、埼玉縣本庄、同深谷、同寄居、同行田、同松山、同鴻巣、同羽生、同加須、同栗橋、同久喜、栃木縣小山、茨城縣結城、同下館、同筑波、同下妻、同古河、同水海道ノ各郵便局

使用期間 陸軍特別大演習大本營内局 昭和九年十一月十日ヨリ同月十四日迄
上記以外ノ局 昭和九年十一月九日ヨリ同月十四日迄

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便納書ノ引受ニ使用ス但シ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル、使用期間中料金完納ノ郵便納書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

G. 群馬縣、栃木縣及埼玉縣行幸記念



赤城山ヲ背景トシ鳳凰、小暮種畜場、群馬縣廳前景ヲ描キ左右ニ糸袴ト蘭、生絲トヲ配シ地方産業ヲ表ハセルモノ



鳳凰、桐生高等工業學校々舎、水道山、「プロペラー」ヲ描キ左右ニ織物ヲ配シ地方産業ヲ表ハセルモノ



鳳凰、國幣中社貫前神社々殿、高崎十五聯隊ヲ表ハス旗章ヲ描キ左右ニ糸袴ト蘭、生絲トヲ配シ地方産業ヲ表ハセルモノ



鳳凰、官幣大社氷川神社々殿、埼玉縣廳ヲ描キ左右ニ麥ヲ配セルモノ

使用局 前橋、高崎、浦和、大宮、桐生、足利、群馬縣小暮、同太田、同一ノ宮及同富岡ノ各郵便局

使用期日 前橋及小暮局 昭和九年十一月十五日

桐生、足利及太田局 昭和九年十一月十六日

高崎、一ノ宮及富岡局 昭和九年十一月十七日

大宮及浦和局 昭和九年十一月十八日

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便納書ノ引受ニ使用ス但シ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル、使用當日及其ノ後三日間料金完納ノ郵便納書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印(日附ハ使用當日ノモノヲ使用ス)ノ需ニ應ス

H. 日露戰役三十周年陸軍記念日記念



奉天城ヲ中央ニ日露戰役從軍記念章ト陸軍ノ星章トヲ描キ左右ニ小銃彈ヲ配シタルモノトス

使用局 東京、名古屋、大阪、京都、廣島及熊本ノ各市内一、二等郵便局(鐵道郵便局ヲ除ク)、宇都宮、金澤、姫路、善通寺、高松、久留米、仙臺、弘前、札幌、旭川ノ各郵便局

使用期日 昭和十年三月十日

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便納書ノ引受ニ使用ス但シ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル、使用當日及其ノ後三日間料金完納ノ郵便納書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

I. 萬國郵便聯合爲替約定加入五十周年記念



貯金局廳舎ト地球ヲ描ケルモノトス

使用局 貯金局構内、東京中央、横濱、敦賀、大阪中央、京都、神戸中央、下關、門司、長崎、函館ノ各郵便局

使用期日 昭和十年三月二十一日

使用方法 料金ヲ完納シタル書状(無封ノ書状ヲ除ク)及郵便簡葉書ノ引受=使用ス但シ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口=差出シタルモノ=限ル使用當日及其ノ後三日間料金完納ノ郵便簡葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件=對シ消印ノ需=應ス

第四章 郵便線路

Section 4. Mail Routes

内地郵便線路

Inland Mail Routes

年度末 At the 31st March of:-	種別 Class	陸 Route by land キロメートル(Km)				水 Route by water キロメートル(Km)				航空路 Route by air
		通常道路 Road	鐵道線路 Railway	面積百平方呎=付 Per 100 square (Km ²)		海 Sea	川 River	湖 Lake	計 Total	
				通常道路 Road	鐵道線路 Railway					
昭和九年 1935	年度	△ 33,150 80	21,352	9	6	27,460	59	59	27,578	3,160
八 1934	年度	△ 33,246 82	20,769	9	5	32,830	196	46	33,122	3,038
七 1933	年度	△ 33,307 65	20,178	9	5	35,927	152	94	36,173	3,038
六 1932	年度	△ 32,637 83	19,897	9	5	37,546	152	94	37,792	3,005
五 1931	年度	△ 28,064 108	18,996	7	5	21,820	204	28	22,052	3,005
四 1930	年度	△ 28,229 118	17,882	7	5	20,669	161	247	21,077	1,455
三 1929	年度	△ 27,620 118	17,778	7	5	20,521	247	161	20,929	1,215
二 1928	年度	△ 26,185 118	16,962	7	4	20,077	228	128	20,433	-
元 1927	年度	△ 27,170 111	20,139	7	5	20,127	230	126	20,483	-
大正十四年 1926	年度	△ 27,209 134	16,337	7	4	18,871	232	134	19,237	-

備考 1. △印ハ鐵索道路ニシテ内課ナリ
Note: △Iron-rope ways included in the above figures

第五章 郵

Section 5. Number

内地郵便局 常 取 扱 通 常

Numbers of Ordinary Mails

種 別 Description	年 次 Year	年 度			
		九 年 度 1934-35	八 年 度 1933-34	七 年 度 1932-33	六 年 度 1931-32
引 受 Acceptance	受	4,674,986,977 x 38,876,094	4,357,325,600 x 30,147,919	4,253,759,031 x 24,703,934	4,490,202,875 x 24,698,728
人口十ニ對スル物數 Acceptance Per 10 of population		686	648	642	687
留 置 Registration	留	6,319,339	6,543,739	58,085,809	57,566,778
價 格 表 記 Declaration of value	記	2,790,737	2,649,711	2,530,284	2,436,916
代 金 引 換 Cash-on delivery	換	463,902	426,203	398,491	424,145
別 配 Special delivery	送	271,499	245,216	230,730	212,020
引受時刻證明(有料) Certificate of time of posting (Charged)	明	8,021	5,957	4,675	3,215
配 送 證 明 Delivery certificate	明	2,722,096	2,655,833	2,511,714	2,346,599
内 容 證 明 Certification of letters documents	明	1,297,015	1,370,794	1,546,123	1,596,506
留 置 Post restante	置	-	-	-	-
訴 訟 書 類 Special service of judicial documents	類	2,268,216	2,442,101	2,538,676	2,638,667
特 許 審 判 書 類 Documents of patents	類	-	-	-	-
速 達 郵 便 Quick delivery	便	6,673,044	5,471,984	4,244,681	4,157,107
航 空 郵 便 Air mail	便	1,107,486	484,203	234,665	149,876
約 束 郵 便 Contract mail	便	224,587,726	218,140,320	211,903,586	217,443,926
市 内 特 別 郵 便 Special urban mail	便	148,824,264	140,743,130	132,712,375	124,198,731
切 手 別 納 郵 便 Mail without stamps affixed	便	284,659,430	270,979,399	253,290,233	272,206,715
配 送 Delivery	送	4,772,863,449 x 40,394,743	4,402,200,835 x 35,344,548	4,294,100,596 x 34,213,102	4,532,477,443 x 38,805,324
上掲ノ外引受 Acceptance except the above	集 金 郵 便 Collection of cash	7,015,143	6,628,468	6,419,795	6,557,614

備 考 1. x印ハ外國郵便ニシテ内課ナリ
Note. 1. The mark *Shows Foreign Ordinary mails included

便 物 數

of Mail Matter

郵 便 物 數

at Inland Post Offices

種 別 Description	年 次 Year	年 度					
		五 年 度 1930-31	四 年 度 1929-30	三 年 度 1928-29	二 年 度 1927-28	元 年 度 1926-27	大 正 四 年 度 1925-26
引 受 Acceptance	受	4,409,551,651 x 26,380,272	5,096,611,368 x 25,806,686	4,764,671,266 x 24,564,036	4,863,287,510 x 22,236,780	3,974,192,623 x 22,584,405	4,266,410,278 x 20,954,554
人口十ニ對スル物數 Acceptance Per 10 of population		684	809	767	793	665	714
留 置 Registration	留	59,403,748	60,976,478	60,525,084	59,133,051	58,407,054	57,366,271
價 格 表 記 Declaration of value	記	2,389,524	2,440,732	2,347,334	2,231,735	2,020,498	1,965,053
代 金 引 換 Cash-on delivery	換	533,501	617,430	592,180	628,195	716,187	818,974
別 配 Special delivery	送	211,512	208,481	220,702	226,649	206,694	198,391
引受時刻證明(有料) Certificate of time of posting (Charged)	明	3,709	3,028	3,414	2,649	2,571	2,661
配 送 證 明 Delivery certificate	明	2,334,384	2,263,047	2,376,761	2,353,431	2,286,155	2,170,910
内 容 證 明 Certification of letters documents	明	1,427,379	1,166,009	1,093,073	1,118,058	958,556	904,986
留 置 Post restante	置	-	941,209	733,286	603,856	636,686	621,431
訴 訟 書 類 Special service of judicial documents	類	2,440,117	2,000,045	1,663,415	1,711,002	1,483,201	1,386,904
特 許 審 判 書 類 Documents of patents	類	-	6,699	7,786	-	-	-
速 達 郵 便 Quick delivery	便	4,311,511	4,554,084	4,727,931	4,370,620	4,127,066	3,958,195
航 空 郵 便 Air mail	便	94,089	-	-	-	-	-
約 束 郵 便 Contract mail	便	232,945,584	236,217,065	234,485,974	227,990,852	221,733,652	203,131,894
市 内 特 別 郵 便 Special urban mail	便	107,228,611	128,139,301	112,097,838	104,340,587	81,095,571	74,712,454
切 手 別 納 郵 便 Mail without stamps affixed	便	246,399,062	278,583,893	252,012,761	287,640,027	227,518,853	222,607,616
配 送 Delivery	送	4,437,939,812 x 44,410,764	5,046,099,425 x 38,164,157	4,716,170,378 x 38,707,802	4,833,723,104 x 36,507,308	3,906,474,525 x 35,091,708	4,270,172,210 x 29,553,318
上掲ノ外引受 Acceptance except the above	集 金 郵 便 Collection of cash	7,148,651	7,394,272	7,747,874	7,851,118	7,630,137	6,540,330

内地郵便局 小包
Number of Parcels at

種 別 Description	年 次 Year	昭和	昭和	昭和	昭和
		九 年 度 1921-35	八 年 度 1933-34	七 年 度 1932-33	六 年 度 1931-32
引 受 Acceptance	有 料 Charged	62,265,483	58,520,698	55,834,140	55,575,465
	無 料 Free	2,807,946	2,719,644	2,638,173	2,626,466
	計 Total	65,073,429	61,240,342	* 58,472,313 430,377	* 58,201,931 357,873
人 口 十 分 之 一 對 ス ル 物 數 Acceptance pre 10 of population		9.5	9.1	8.8	8.9
前 掲 中 再 掲 Items of the abovementi- oned	書 留 Registration	23,162,726	22,531,130	21,945,295	21,526,203
	價 格 表 記 Declaration of value	2,227	2,080	2,313	1,988
	代 金 引 換 Cash-on-delivery	7,985,659	7,884,555	7,694,074	7,359,620
	別 配 達 Special Delivery	18,908	18,483	17,768	13,617
	配 達 證 明 Delivery Certificate	334,982	267,655	186,751	156,738
	留 置 Post restante	?	?	?	?
	速 達 郵 便 Quick delivery	277,454	225,481	166,529	181,062
	航 空 郵 便 Air mail	21,967	19,473	6,307	3,091
	配 達 Delivery	* 61,847,673 161,881	* 57,762,972 140,047	* 54,849,774 140,133	* 55,054,599 208,845

備 考 1. ×印ハ外國郵便ニシテ内課ナリ
Note. 1. The mark * Shows Foreign parcel included.

郵 便 物 數
Inland Post Offices

五 年 度 1930-31	四 年 度 1929-30	三 年 度 1928-29	二 年 度 1927-28	元 年 度 1926-27	大 正 四 年 度 1925-26
57,490,526	61,013,967	60,781,930	58,043,856	55,964,225	53,311,919
2,577,227	2,636,616	2,553,099	2,512,031	2,294,419	2,229,637
* 60,067,753 437,616	* 63,650,583 479,119	* 63,335,039 490,510	* 60,555,887 460,978	* 58,258,644 443,674	* 55,541,556 476,746
9.3	10.1	9.8	9.8	9.7	9.3
23,106,871	25,348,108	25,776,100	25,013,917	25,117,738	24,274,334
2,661	3,033	5,205	7,579	7,137	7,808
7,620,814	8,107,929	7,911,127	7,573,564	7,459,572	6,990,419
13,569	14,386	17,694	15,468	16,393	17,911
150,782	181,030	211,616	203,257	242,960	242,129
?	66,143	61,383	62,736	63,417	62,288
196,115	215,960	212,123	183,484	157,039	126,072
1,606	-	-	-	-	-
* 57,748,881 249,540	* 60,654,644 265,980	* 60,465,163 259,788	* 57,657,320 248,348	* 55,852,079 268,607	* 53,225,423 274,123

通常郵便物不能還付數
Disposition of irregularities of the Ordinary mails

種別 Description 年次 Year	箇數 No.			左箇數中 Disposed			配達郵便物一箇 對スル不能配達還付 No. of the impossible compared with 10,000 delivered	外國郵便 Foreign Mails	
	前年度越高 Carried over from preceding year	本年度分 In the present year	合計 Total	配達還付 Delivered or returned	不能配達還付 The impossible to deliver or to return	處分未済 Not yet disposed with		外國へ 返 Returned to	外國ヨリ 返 Returned from
昭和九年 1934-35	320,713 (Δ 93)	794,090 (Δ 5,753)	1,114,803 (Δ 5,846)	198,145 (Δ 5,484)	603,634 (Δ 235)	313,024 (Δ 127)	1.26	81,342	149,417
八年 1933-34	335,523 (Δ 94)	869,146 (Δ 4,402)	1,204,669 (Δ 4,496)	189,536 (Δ 4,168)	694,420 (Δ 235)	320,713 (Δ 93)	1.58	84,954	154,773
七年 1932-33	314,750 (Δ 85)	940,569 (Δ 3,982)	1,255,319 (Δ 4,067)	217,944 (Δ 3,778)	701,852 (Δ 195)	335,523 (Δ 94)	1.63	106,867	172,973
六年 1931-32	389,983 (Δ 68)	892,828 (Δ 5,020)	1,282,811 (Δ 5,088)	161,630 (Δ 4,728)	806,431 (Δ 275)	314,750 (Δ 85)	1.78	111,758	133,936
五年 1930-31	369,896 (Δ 201)	1,013,620 (Δ 4,837)	1,383,516 (Δ 5,038)	156,689 (Δ 4,508)	836,844 (Δ 462)	389,983 (Δ 68)	1.89	108,547	127,699
四年 1929-30	359,126 (Δ 175)	976,487 (Δ 4,731)	1,335,613 (Δ 4,906)	165,766 (Δ 4,336)	799,951 (Δ 369)	369,896 (Δ 201)	1.58	99,373	136,569
三年 1928-29	357,193 (Δ 204)	1,133,643 (Δ 4,937)	1,490,836 (Δ 5,141)	160,048 (Δ 4,437)	971,662 (Δ 529)	359,126 (Δ 175)	2.06	108,818	129,237
二年 1927-28	155,922 (Δ 213)	907,016 (Δ 4,585)	1,062,938 (Δ 4,798)	160,293 (Δ 4,169)	545,452 (Δ 425)	357,193 (Δ 204)	1.13	90,294	135,646
元年 1926-27	369,912 (Δ 277)	753,440 (Δ 4,669)	1,123,352 (Δ 4,946)	127,211 (Δ 4,240)	840,219 (Δ 493)	155,922 (Δ 213)	2.16	88,636	107,462
大正四年 1925-26	354,741 (Δ 316)	987,216 (Δ 4,001)	1,341,957 (Δ 4,317)	128,050 (Δ 3,494)	843,995 (Δ 546)	369,912 (Δ 277)	1.98	139,911	106,751

備考 1. Δ 印ハ書留及價格表記トス又外國郵便ニ關スルモノハ再掲ナリ
Note. Δ Registered or with declared value. The figures of foreign mails are reproduced.
2. 括弧内ノ數字ハ内課ナリ
The figures in the parenthesis are items.

小包郵便物不能還付數
Disposition of irregularities of Parcels

種別 Description 年次 Year	箇數 No.			左箇數中 Disposed			配達小包十萬箇 對スル不能配達還付 No. of the impossible compared with 100,000 delivered	外國小包 Foreign parcels	
	前年度越高 Carried over from the preceding year	本年度分 In the present year	合計 Total	配達還付 Delivered or returned	不能配達還付 The impossible to deliver or to return	處分未済 Not yet disposed with		外國へ 返 Returned to	外國ヨリ 返 Returned from
昭和九年 1934-35	941 (Δ 117)	16,600 (Δ 13,785)	17,541 (Δ 13,902)	14,669 (Δ 13,705)	1,706 (Δ 93)	1,766 (Δ 104)	2.76	958	13,738
八年 1933-34	1,138 (Δ 67)	13,460 (Δ 11,197)	14,598 (Δ 11,261)	11,446 (Δ 11,037)	2,211 (Δ 110)	941 (Δ 117)	3.83	704	11,100
七年 1932-33	1,148 (Δ 62)	7,857 (Δ 5,547)	9,005 (Δ 5,609)	5,779 (Δ 5,438)	2,088 (Δ 104)	1,138 (Δ 67)	3.81	1,107	5,449
六年 1931-32	1,971 (Δ 120)	8,209 (Δ 5,393)	10,180 (Δ 5,513)	5,872 (Δ 5,308)	3,160 (Δ 143)	1,148 (Δ 62)	5.68	1,567	5,327
五年 1930-31	2,098 (Δ 101)	9,311 (Δ 6,139)	11,409 (Δ 6,240)	6,461 (Δ 5,998)	2,977 (Δ 122)	1,971 (Δ 120)	5.16	1,890	6,029
四年 1929-30	3,060 (Δ 127)	11,210 (Δ 7,106)	14,270 (Δ 7,233)	7,581 (Δ 6,996)	4,591 (Δ 136)	2,098 (Δ 101)	7.57	1,871	7,001
三年 1928-29	2,772 (Δ 130)	8,862 (Δ 4,618)	11,634 (Δ 4,754)	5,073 (Δ 4,475)	3,429 (Δ 152)	3,132 (Δ 127)	5.67	1,910	4,468
二年 1927-28	2,973 (Δ 230)	10,143 (Δ 6,065)	13,116 (Δ 6,295)	6,440 (Δ 5,935)	3,903 (Δ 224)	2,773 (Δ 136)	6.77	1,724	5,954
元年 1926-27	2,242 (Δ 415)	11,130 (Δ 5,283)	13,372 (Δ 5,698)	5,765 (Δ 5,262)	4,730 (Δ 215)	2,877 (Δ 221)	8.47	2,095	5,291
大正四年 1925-26	2,767 (Δ 404)	9,867 (Δ 4,773)	12,634 (Δ 5,177)	4,847 (Δ 4,342)	5,545 (Δ 430)	2,242 (Δ 415)	10.42	2,229	4,612

備考 1. Δ 印ハ書留及價格表記トス又外國郵便ニ關スルモノハ再掲ナリ
Note. Δ Registered or with declared value. The figures of foreign parcels are reproduced.
2. 括弧内ノ數字ハ内課ナリ
The figures in the parenthesis are items.

特殊取扱通常郵便物亡失毀損數
Irregularities of the Ordinary mails of special Service

種 別 Description	前年度 Carried over from the preceding year	本 年 分 In the pre- sent year	合 計 Total	上 中								處 未 Not yet dispo- sed with	郵 便 物 十 萬 箇 亡 失 毀 損 Rate in 100,000 mails
				亡 失				毀 損					
				Lose		Lapse		Damage		Lapse			
				賠 償 Compensated	不 賠 償 Uncom- pensated	求 償 權 消 滅 Lapse of the claim	求 償 權 消 滅 Lapse of the claim	賠 償 Compensated	不 賠 償 Uncom- pensated	求 償 權 消 滅 Lapse of the claim	求 償 權 消 滅 Lapse of the claim		
箇 數 No.	金 額 Amount	箇 數 No.	金 額 Amount	箇 數 No.	金 額 Amount	箇 數 No.	金 額 Amount	箇 數 No.	金 額 Amount				
九 年 度 1934-35	29	110	139	46	597	63	6	-	-	-	-	24	0.17
八 年 度 1933-34	24	161	185	23	343	132	1	-	-	-	-	29	0.26
七 年 度 1932-33	52	281	333	50	671	254	5	-	-	-	-	24	0.47
六 年 度 1931-32	97	336	426	167	1,962	205	2	-	-	-	-	52	0.56
五 年 度 1930-31	93	314	407	97	1,152	194	26	-	-	-	-	90	0.51
四 年 度 1929-30	42	290	332	75	876	162	-	2	40	-	-	93	0.46
三 年 度 1928-29	146	270	416	108	1,329	263	1	2	70	-	-	42	0.43
二 年 度 1927-28	40	303	343	87	1,340	105	5	-	-	-	-	146	0.49
元 年 度 1926-27	154	276	430	184	3,436	203	-	1	80	2	-	40	0.46
大 正 四 年 度 1925-26	106	437	543	201	3,408	188	-	-	-	-	-	154	0.74

小包郵便物亡失毀損數
Irregularities of Parcels

種 別 Description	前年度 Carried over from the preceding year	本 年 分 In the pre- sent year	合 計 Total	上 中								處 未 Not yet dispo- sed with	引 受 小 包 十 萬 箇 亡 失 毀 損 Rate in 100,000 parcels accept- ed
				亡 失				毀 損					
				Lose		Lapse		Damage		Lapse			
				賠 償 Compensated	不 賠 償 Uncom- pensated	求 償 權 消 滅 Lapse of the claim	求 償 權 消 滅 Lapse of the claim	賠 償 Compensated	不 賠 償 Uncom- pensated	求 償 權 消 滅 Lapse of the claim	求 償 權 消 滅 Lapse of the claim		
箇 數 No.	金 額 Amount	箇 數 No.	金 額 Amount	箇 數 No.	金 額 Amount	箇 數 No.	金 額 Amount	箇 數 No.	金 額 Amount				
九 年 度 1934-35	53	307	360	184	724	65	10	-	-	-	-	101	1.35
八 年 度 1933-34	48	220	268	110	349	105	-	-	-	-	-	53	1.01
七 年 度 1932-33	68	177	245	153	726	44	-	-	-	-	-	48	0.84
六 年 度 1931-32	133	143	276	146	618	62	-	-	-	-	-	68	0.66
五 年 度 1930-31	229	238	467	177	781	63	94	-	-	-	-	133	1.03
四 年 度 1929-30	128	348	476	183	850	63	1	-	-	-	-	229	1.37
三 年 度 1928-29	316	158	474	188	1,271	158	-	-	-	-	-	128	0.71
二 年 度 1927-28	91	765	856	398	1,978	142	-	-	-	-	-	316	3.06
元 年 度 1926-27	81	303	384	253	929	40	-	-	-	-	-	91	1.21
大 正 四 年 度 1925-26	66	343	409	279	1,110	49	-	-	-	-	-	81	1.39

第六章 電信業務ニ關スル施設

Section 6. Institutions for Telegraph Services

電信業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

軍用電氣通信法施行 昭和九年三月二十八日法律第三九號ヲ以テ軍用電信法ヲ廢シテ新ニ軍用電氣通信法制定セラレタルトコロ昭和九年十一月一日ヨリ施行セリ

請願通信施設關係規定中改正 從來請願通信施設ノ爲ニスル創設費ハ請願者ヲシテ直接ニ之ヲ支辨セシメ其ノ設備ニ係ル物件ハ局所新設又ハ事務開始ト同時ニ國庫ノ所有ニ歸屬セシムルコトニナリ居リタル處通信特別會計ノ實施ニ伴ヒ電信電話ノ擴張改良ニ要スル創設費ハ資本勘定ノ歳出ニ屬スルコトトナレルヲ以テ經理方法ノ統一ト簡捷トヲ期スル爲メ請願施設ニ在リテモ一定ノ施設局數ヲ電信電話擴張改良計畫中ニ豫定シ置キ之カ創設ニ要スル費用ヲ本會計ノ歳出ニ含メ支辨スルコトトシ之ニ對應スル相當額ヲ歳入トシテ請願者ヨリ納付セシムルコトニ改ムルノ要アル爲メ關係勅令省令並處理規程ノ改正ヲ爲シ昭和九年八月二十日ヨリ施行セリ

年賀電報規則制定 社交上ノ儀禮ニ關スル電報トシテ特殊制度ヲ設ケ公衆ノ利便増進ト事業收入ノ増加トヲ圖ル爲メ新クニ年賀電報規則ヲ制定シ昭和九年十二月一日ヨリ施行セリ

日滿電報規則等中改正 日滿間電報ノ料金ヲ全般的ニ低減スルコトニ關シ昭和九年三月二十日滿洲電信電話株式會社トノ間ニ之ニ關スル協定成立シタルヲ以テ同年三月二十八日日滿電報規則、日滿無線電報規則及日滿無線電報取扱規程等ニ必要ナル改正ヲ加ヘ同年四月一日ヨリ實施セリ

日滿間電信通信ニ關スル協定 日滿間電信通信ニ關シ滿洲電信電話株式會社トノ間ニ次ノ通協定セリ

- (一) 日滿連絡電信回線ノ保守費等ニ關スル協定
(二) 日滿小爲替ノ事務ニ關シ照復スル局報ニ關スル協定
(三) 日滿間無線電信連絡開設ニ關スル協定
(四) 日滿年賀電報ノ取扱開始ニ關スル協定

滿洲國宛氣象局報ノ取扱 滿洲國ニ於テハ新京其ノ他ノ要所ニ於テ氣象觀測機關ヲ設置シ業務ヲ開始スルコトトナリタルニ伴ヒ其ノ資料トシテ東京外二十一箇所ヨリ滿洲國中央觀象臺宛氣象電報ヲ受ケタキ趣ヲ以テ之ヲ局報トシテ無料取扱方申出アリタルヲ以テ氣象觀測上ノ觀點ヨリ其ノ緊要程度ニ關シ充分ノ考究ヲ加ヘ已ムヲ得サルモノト認メラルルモノノミニ付承認セリ

逓信講習所規程中改正 通信事業特別會計制度實施ニ伴ヒ逓信講習所生徒ノ養成ヲ一層適實ナラシムル爲メ逓信講習所規程等ヲ次ノ如ク改正

- (一) 普通科「事業經營」高等科「會計法規」ノ科目ヲ新設シテ特別會計制度ノ趣旨精神ヲ體得セシムルコトトシ、事業衛生ノ科目ニ於テ教授セシ事項ハ體操及其他ノ科目中ニ於テ教授スルコトトシ事業衛生ノ科目ハ廢止スルコト
(二) 普通科生トシテノ年齢ハ一率ニ十四年以上二十年以下トシ三等局長推薦ニ限リ二十五年以下ヲ認メタル例外ヲ削除セルコト
(三) 中學校若ハ高等女學校三學年以上ノ修了者ニ對シテハ入學試験ヲ省略シ得ルコトトナリ居リシモ普通科生トシテ入學セシムルニハ知識考査、特殊性能考査及人物考査ヲ行フノ要アルニ付此ノ例外ヲ撤去セルコト
(四) 入學試験ニ於ケル「讀書」及「作文」ヲ「國語」ト改メ且ツ各科目ノ出題範圍ノ制限ヲ削リ試驗官ノ諸考査ヲ行フニ便ナラシメタルコト

以上昭和九年八月一日ヨリ施行ノコトトセリ

電信事務ノ開展

(一) 電信事務開始(勅令請願ヲ除ク)

各逓信局ヨリノ提案ニ基キ電信事務開始方決定セルモノ下記ノ如シ

Table with 4 columns: 逓信局別, 開始決定局數. Rows include 東京, 名古屋, 大阪, 廣島, 熊本, 仙臺, 札幌, 合計.

(二) 勅令請願ニ依ル電信事務開始 勅令請願通信施設規則ニ依リ本年度電信事務開始セルモノ下記ノ如シ

Table with 5 columns: 逓信局別, 事務開始局數, 前年度受理, 本年度受理. Rows include 東京, 名古屋, 大阪, 廣島, 熊本, 仙臺, 札幌, 合計.

(三) 請願電信事務開始局維持費免除又ハ改定 請願通信施設規則及同處理規程ニ依リ本年度ニ於テ維持費ノ免除又ハ改定セルモノ下記ノ如シ

Table with 4 columns: 逓信局別, 免除局數, 改定局數. Rows include 東京, 名古屋, 大阪, 廣島, 熊本, 仙臺, 札幌, 合計.

(四) 電信取扱所開廢 本年度中ノ電信取扱所ノ設置又ハ廢止ヲ決定セルモノ下記ノ如シ

遞信局別	設置又ハ廢止			配達事務開始		
	設置	廢止	差引計	開始	廢止	差引計
東京	1 [△]	13 [△]	12	- [△]	5 [△]	5
名古屋	- [△]	4 [△]	4	- [△]	1 [△]	1
大阪	- [△]	3 [△]	3	- [△]	-	-
廣島	- [△]	3 [△]	3	- [△]	2 [△]	2
熊本	1 [△]	18 [△]	17	- [△]	3 [△]	3
仙臺	1 [△]	15 [△]	14	- [△]	1 [△]	1
札幌	35 [△]	20 [△]	15	- [△]	2 [△]	2
合計	38 [△]	76 [△]	38	- [△]	14 [△]	14

(五) 臨時=設置シタル電信取扱所 本年度中臨時=設置シタル電信取扱所下記ノ如シ

遞信局名	一等局	二等局	特定三等局	普通三等局	出張所	分室	電信取扱所	件數
東京	-	2	-	1	7	2	5	17
名古屋	-	-	-	-	5	-	-	5
大阪	-	-	-	1	5	-	-	6
廣島	-	-	-	-	38	-	-	38
熊本	-	-	-	3	6	-	-	9
仙臺	-	-	-	-	1	-	-	1
札幌	-	-	-	-	3	-	-	3
合計	-	2	-	5	65	2	5	79

電信擴張及改良計畫改定 第六十五議會ノ協賛ヲ經テ成立シタル昭和九、十、二ヶ年繼續ノ電信擴張改良計畫ハ當時國家財政上長期ノ公債計畫ヲ困難トシタル爲己ムヲ得ス義ニ特別會計實施準備ニ際シ作成セル昭和九年度以降十ヶ年繼續基本計畫中最初ノ二ヶ年度分ニ對スル豫算ヲ要求スルニ止メタルモノナルカ擴張改良ノ必要ニ迫マレル事項由積セル電信事業トシテハ固ヨリ之ヲ以テ満足スルコト能ハサルヲ以テ之カ計畫改良ヲ爲スコトシ右十ヶ年繼續基本計畫中既ニ實施セル九年度ヲ除キ昭和十年度以降ノ五ヶ年分ヲ以テ更ニ繼續事業費豫算ヲ編成シ第六十七議會ニ提案セリ

關西風水害ニ伴フ電報疏通狀況 昭和九年九月二十一日夜半ヨリ中國、近畿地方ニ颱風襲來ノ爲同地方ニ於ケル被害甚大ニシテ從業員及通信設備ノ被害モ不尠モ一面電報ノ取扱ハ激増セルヲ以テ回線ヲ活用シテ之カ疏通ヲ計ルノ外或ハ無線局ヲ臨時連絡センメ或ハ飛行便、郵送、使送等ノ方法ニ依ラシムル等措置セリ尙之カ取扱ノ簡略ヲ計ル爲著信紙ノ廢止ヲ特ニ承認シテ關係通信疏通遺憾ナキヲ期シタリ

災害繁忙狀況

局名	災害當時(1)	平日(2)	災害關係(1)-(2) (3)	增加割合
東京	436,909	299,603	137,306	4.58%
名古屋	202,724	125,841	76,883	6.11%
大阪	676,125	259,107	417,018	16.09%
廣島	257,247	124,653	132,594	10.64%
熊本	259,530	172,706	86,824	5.03%
仙臺	142,341	106,996	35,345	3.30%
札幌	123,376	110,621	12,755	1.15%
合計	2,098,252	1,199,527	898,725	7.49%

第七章 電信線路、電報氣送管及障礙竝機械

Secton 7. Telegraph Lines, Pneumatic Tubes, Faults and Apparatus.

内地電信線路

Number of Length of Inland Telegraph Lines.

年度末 At the 31st March of :-	種別 Class	陸上線 Land lines キロメートル Km				地下ケーブル Underground Cables キロメートル (Km)		合計 Total キロメートル (Km)		百平方軒=付 Per 100 Square (Km)		水底ケーブル Submarine Cables キロメートル (Km)	
		架空線 Aerial lines		架空ケーブル Over head Cables		線路 Routes	心線 Cores	線路 Routes	線路 Lines	線路 Routes	線路 Lines	線路 Lines	心線 Cores
		線路 Routes	線路 Lines	線路 Routes	心線 Cores								
昭和九年 1935	度	35,241	234,594	90	22,233	794	99,316	36,125	356,143	9	93	15,274	18,342
昭和八年 1934	度	35,583	234,188	87	21,839	724	97,519	36,394	353,546	10	92	15,271	18,331
昭和七年 1933	度	35,713	235,079	74	20,302	707	94,892	36,494	350,273	10	92	15,286	18,357
昭和六年 1932	度	35,772	236,348	69	19,692	690	93,604	36,531	349,644	10	91	15,283	18,413
昭和五年 1931	度	35,935	235,040	77	17,306	501	87,605	36,513	339,951	10	89	15,324	18,390
昭和四年 1930	度	35,955	235,716	71	15,370	424	76,155	36,450	327,241	10	86	15,314	18,286
昭和三年 1929	度	35,647	233,568	78	14,738	317	56,420	36,042	304,726	9	80	15,298	18,248
昭和二年 1928	度	35,609	232,593	63	14,322	275	45,894	35,947	292,809	9	77	15,324	18,140
昭和元年 1927	度	35,586	230,955	51	14,035	255	35,052	35,892	280,042	9	73	15,314	18,123
大正十四年 1926	度	35,444	230,382	39	10,698	181	24,541	35,664	265,621	9	66	15,810	16,906

備考 架空「ケーブル」中架空線=添架シタル部分ノ線路ハ計上セズ
Note. * Exclusive of parts of cables laid along with aerial lines.

電 報 氣 送

Pneumatic

所 在		Section laid down with Pneumatic Tubes	
東京中央電信局	東京中央電信局受配課間	Between	Tokyo Central Telegraph office
同	同 受 付 配 達 課	"	Section of Acceptance and Delivery Tokyo Central Telegraph office
東京中央電信局	蕎麥町郵便局間	"	Tokyo Central Telegraph office
同	芝 郵 便 局 間	"	"
同	新 橋 郵 便 局 間	"	"
同	京 橋 通 郵 便 局 間	"	"
同	京 橋 郵 便 局 間	"	"
同	深 川 郵 便 局 間	"	"
同	日 本 橋 通 郵 便 局 間	"	"
同	本 所 郵 便 局 間	"	"
同	兩 國 郵 便 局 間	"	"
同	小 傳 馬 町 郵 便 局 間	"	"
同	日 本 橋 室 町 電 信 局 間	"	"
同	下 谷 郵 便 局 間	"	"
同	本 郷 郵 便 局 間	"	"
同	牛 込 郵 便 局 間	"	"
同	麴 町 郵 便 局 間	"	"
豫			Spare
東京中央電信局	東京中央郵便局間	Between	Tokyo Central Telegraph office
同	日 本 橋 郵 便 局 間	"	"
同	日 本 橋 郵 便 局 麴 町 分 室 間	"	"
同	日 本 橋 郵 便 局 兜 町 分 室 間	"	"
同	神 田 郵 便 局 間	"	"
同	淺 草 郵 便 局 間	"	"
同	京 橋 郵 便 局 築 地 分 室 間	"	"
豫			Spare
大阪中央電信局	梅 田 郵 便 局 間	Between	Osaka Central Telegraph office
同	北 濱 郵 便 局 間	"	"
同	中 央 市 場 分 室 間	"	"
豫			Spare
大阪中央電信局	西 郵 便 局 間	Between	Osaka Central Telegraph office
同	大 阪 中 央 郵 便 局 間	"	"
大阪中央電信局内	受 付 室 寫 眞 電 信 室 間		for phototelegraphic service
大阪中央電信局内	寫 眞 電 信 室 受 配 室 間		
大阪中央電信局内	受 付 室 配 達 室 間	Between	Accepting and Delivering of Telegram
神戸中央電信局	神 戶 中 央 郵 便 局 間	"	Kobe Central Telegraph office
同	兵 庫 郵 便 局 間	"	"
豫			Spare
總	計		Total

管 所 在 地 別

Tubes

昭和九年度末
March 31, 1935

地	管ノ種類	管 數	長	延 長
	Kind of tube	No. of tube	Length of routes メートル(m)	Length of tube メートル(m)
Section of Acceptance and Delivery Tokyo Central Telegraph office	小	2	58	116
Foreign Traffic Section, Tokio Central Telegraph office	"	"	62	136
Old Aoiyo Post office	"	"	3,924	7,848
Siba Post office	"	"	3,446	6,892
Sinbasi Post office	"	"	2,647	5,294
Kyobasitori Post office	"	"	1,839	3,678
Kyobasi Post office	"	"	2,939	5,878
Hukagawa Post office	"	"	2,764	5,528
Nihonbasitori Post office	"	"	1,271	2,542
Honjo Post office	"	"	3,462	6,924
Ryogoku Post office	"	"	2,011	4,022
Kodenmatyo Post office	"	"	1,308	2,616
Nihonbasi Muromati Telegraph office	"	"	601	1,202
Sitaya Post office	"	"	3,320	6,640
Hongo Post office	"	"	3,069	6,138
Usigome Post office	"	"	4,010	8,020
Kojimati Post office	"	"	3,178	6,356
	"	"	817	1,634
Tokyo Central Post office	大	2	1,022	2,044
Nihonbasi Post office	"	"	1,204	2,408
Kakigaratyo branch, of Nihonbasi Post office	"	"	1,599	3,198
Kabutotyo branch, of Nihonbasi Post office	"	"	1,378	2,756
Kanda Post office	"	"	1,806	3,612
Asakusa Post office	"	"	4,218	8,436
Tukizi branch of Kyobasi Post office	"	"	3,857	7,714
	"	"	387	774
Umeda Post office	小	2	810	1,620
Kitahama Post office	"	"	1,897	3,794
Osaka Central market	"	"	1,521	3,042
	"	"	1,008	2,016
Nisi Post office	大	2	1,916	3,832
Osaka Central Post office	"	"	812	1,624
at Osaka Central Telegraph office	"	1	55	55
	"	"	67	67
at Osaka Central Telegraph office	"	"	22	22
Kobe Central Post office	"	2	1,273	2,546
Hyogo Post office	"	"	3,493	6,986
	"	"	107	214
			69,178	140,352

內地電信障礙

Frequencies and Hours of

種別 Description	年次 Year	昭和九年	昭和八年	昭和七年	昭和六年
		1934-35	1933-34	1932-33	1931-32
混線 Contacts	度數 Frequency	4,573	4,750	4,557	4,278
	時數 Hour	23,426	22,760	22,104	19,571
地氣 Earth	度數 Frequency	4,214	3,985	3,305	3,376
	時數 Hour	40,803	21,874	17,021	13,009
斷線 Disconnection	度數 Frequency	2,535	2,566	2,134	2,190
	時數 Hour	14,617	9,722	7,737	7,482
陸上及地下ケーブル Land and Underground Cables	度數 Frequency	235	499	220	185
	時數 Hour	3,181	7,074	2,570	2,441
其他 Others	度數 Frequency	759	790	889	948
	時數 Hour	1,311	1,663	1,602	1,644
合計 Total	度數 Frequency	12,316	12,590	11,105	10,977
	時數 Hour	83,338	63,093	51,034	45,047
水底線 Submarine Cables	度數 Frequency	102	97	76	104
	時數 Hour	144,001	139,622	194,074	226,980

度數及時數

Faults of Inland Telegraph.

五年度	四年度	三年度	二年度	元年度	大正四年度
1930-31	1929-30	1928-29	1927-28	1926-27	1925-26
5,634	5,390	5,655	6,392	7,598	6,777
33,652	29,174	32,959	37,347	59,387	51,052
5,212	4,751	5,114	5,504	5,656	5,751
36,209	22,071	30,375	47,175	43,572	32,952
2,799	2,939	2,863	3,022	2,923	2,947
12,002	10,407	12,476	13,069	15,814	17,785
253	346	633	631	1,541	1,885
3,770	4,532	20,790	18,672	57,854	56,345
1,172	1,129	1,193	936	800	791
2,528	2,318	3,180	2,068	2,139	2,777
15,070	14,555	15,458	16,485	18,518	18,151
88,161	68,502	99,780	118,331	178,766	160,211
77	48	88	46	45	42
139,233	125,205	149,538	29,933	51,727	52,531

内地郵便電信機
Number of Telegraph apparatuses and Batteries

種別 Description	通信局 Direction of Commu- nications		東	京	名	古	屋	大	阪
			Tokyo		Nagoya		Osaka		
電話 Telephone for Teleg. Service	機			753			879		854
現字機 Ink writer	單	Simplex	信	1					
	二	Duplex (D. C)	重	2					
音響機 Sounder	單	Simplex	信	974			643		956
	二	Duplex	重	121			73		173
	交	直	四	24			10		14
自動機 Automatic Telegraph, Duplex	單	Simplex	信	43			5		43
	二	Duplex	重						
現波自動機 Undulator and Siphon recorder	單	Simplex	信	1					
	二	Duplex	重	2					
印字二重機 Printing Duplex Telegraph for Japanese characters	手	manual	送	2			2		11
	自	Automatic	機	12			1		9
歐文自動印字二重機 Printing Automatic Duplex Telegraph for alphabet				2			2		3
二路二重歐文印字機 Double-Duplex Printing Telegraph				2					3
寫真電信機 Phototelegraph				2					2
單信自動中繼裝置 Telegraphic Repeater Simplex									2
電信中繼盤 Telegraphic Repeater				4			19		11
同上(振動式) Telegraphic Repeater (by Vibrating Circuit)									13
同上(二式) Telegraph Repeater (metallic circuit to Earth Return circuit)							15		21
寫真電信中繼器 Phototelegraphic Repeater							1		1
電信集信機 Telegraph Concentrator				1					1
電信自動交換機 Automatic Telegraph Switchboard				1					2
電信用電話交換機 Telephone Exchange Board							1		2
電信監督機 Inspection Apparatus				7			14		12
報時機 Automatic Time Switch				17			13		14
合計				1,971			1,678		2,129
電池 Batteries	一	Primary	次	16,086			14,481		18,694
	二	Secondary	次	1,214			606		728
	合計	Total	計	17,300			15,087		19,424

備考 音響機單信中ニハ從來結合重單信ノ中ニ揚上セラレタルモノノ中ヨリ單信ヲ加ヘ、二重ハ結合重單信ノ二重ト交直雙信ノ内ヨリ
Note: The above figures of "Sounder Simplex" are included those reckoned in "Single and Duplex combined System" the figures of "Sounder Quadruplex (A.C.&D.C.," those reckoned in "Duplex (A.C.&D.C.)"

械及電池數
used at Inland Post and Telegraph Offices

昭和九年度末
March 31, 1935

廣	島	熊	本	仙	臺	札	幌	計
Hirosima		Kumamoto		Sendai		Sapporo		Total
	344		891		141		417	4,279
								1
								2
	686		750		724		492	5,225
	81		99		56		34	637
	14		16		5		5	88
	21		22		14		22	170
				2				3
				1				12
	5		3				4	27
								28
								7
								8
								4
								2
	51		9		42		22	158
	10		3					13
								36
								1
								1
								2
								3
	13		14		12		12	84
	9		14		12		10	89
	1,236		1,838		1,007		1,021	10,880
	11,119		13,544		8,088		12,204	94,218
	1,218		1,360		1,745		1,128	7,999
	12,337		14,904		9,833		13,332	102,217

直流及交流二重ヲ加ヘ、交直四重ハ交直雙信ノ内ヨリ四重ヲ加ヘタリ
figures of "Sounder Duplex" those reckoned in "Single and Duplex combined System" and "Duplex (A.C.&D.C.)", and the

第八章 電報通數

Section 8. Number of Telegrams

内地郵便電報通數

Number of Telegrams dealt with at Inland Post and Telegraph Offices

種別 Description	内國電報 Domestic			外國電報 Foreign			中繼電報 Transit
	有料 Charged	無料 Free	合計 Total	有料 Charged	無料 Free	合計 Total	
九年度 1931-35	發信 53,437,542	著信 5,736,364	59,173,906	1,163,123	99,416	1,262,539	114,464,900
八年度 1933-34	發信 51,025,842	著信 5,504,079	56,529,921	1,140,182	97,011	1,237,193	
七年度 1932-33	發信 48,492,354	著信 5,572,692	54,065,046	1,157,747	96,683	1,254,430	101,297,228
六年度 1931-32	發信 46,844,342	著信 5,662,938	52,507,280	1,093,956	99,698	1,193,654	
五年度 1930-31	發信 51,262,221	著信 6,120,285	57,382,506	1,083,436	100,425	1,183,861	107,287,804
四年度 1929-30	發信 57,241,974	著信 6,664,003	63,905,977	1,183,544	111,284	1,294,828	
三年度 1928-29	發信 58,599,456	著信 6,728,316	65,327,772	1,154,504	101,691	1,256,195	120,407,374
二年度 1927-28	發信 59,657,039	著信 6,745,184	66,402,223	1,153,942	113,318	1,267,260	
元年度 1926-27	發信 59,423,634	著信 6,726,475	66,150,109	1,164,910	115,317	1,279,927	116,328,004
大正十四年度 1925-26	發信 60,229,027	著信 7,654,102	67,883,429	1,109,944	115,239	1,225,183	
	發信 60,298,108	著信 9,322,788	69,620,896	1,142,093	122,786	1,264,879	116,796,804

備考 内國電報中ニハ日華電報規則ニ據リテ取扱ヒタルモノヲ包含ス
Note. Domestic Telegrams include those treated in accordance with Japan and Middle Republic Teleg. Regulations.

前表中無線電信、無線電話局ニ於テ取扱ヒタルモノヲ再掲スレハ次表ノ如シ

Telegrams handed at the wireless telegraph, wireless telephone office shown in the said table is as follow—

無線電信、無線電話局取扱電報通數

Number of Telegrams dealt with at Wireless Telegraph, Wireless Telephone Offices

種別 Description	内國電報 Domestic			外國電報 Foreign		
	有料 Charged	無料 Free	合計 Total	有料 Charged	無料 Free	合計 Total
九年度 1931-35	發信 354,636	著信 170,438	525,074	31,614	32,242	63,856
八年度 1933-34	發信 307,978	著信 146,217	454,195	30,587	23,412	53,999
七年度 1932-33	發信 276,131	著信 130,719	406,850	30,540	19,863	50,403
六年度 1931-32	發信 284,109	著信 130,740	414,849	33,804	20,125	53,929
五年度 1930-31	發信 276,649	著信 122,571	399,220	36,939	19,748	56,687
四年度 1929-30	發信 302,487	著信 125,820	428,307	35,432	13,981	49,413
三年度 1928-29	發信 291,456	著信 110,183	401,639	36,052	12,251	48,303
二年度 1927-28	發信 246,517	著信 91,657	338,174	30,403	9,152	39,555
元年度 1926-27	發信 196,371	著信 75,191	271,562	25,037	7,145	32,182
大正十四年度 1925-26	發信 149,471	著信 61,260	210,731	19,325	6,106	25,431
				8,165	3,030	11,195

在中華民國本 電 報 通 數
邦電信局取扱

Number of Telegrams dealt with at Japanese Telegraph Offices in Middle Republic

種 別 Description	内 國 電 報 Domestic			外 國 電 報 Foreign			中 繼 電 報 Transit
	有 料 Charged	無 料 Free	合 計 Total	有 料 Charged	無 料 Free	合 計 Total	
昭和九年度 1934-35	26,559	1,972	28,531	153,062	8,602	161,664	1
著 信 Arrival	29,101	1,099	30,200	134,961	7,549	142,510	
八年度 1933-34	24,431	2,592	27,023	140,371	7,908	148,279	3
著 信 Arrival	30,660	861	31,521	122,414	6,457	128,871	
七年度 1932-33	20,328	1,520	21,848	158,226	9,172	167,398	2
著 信 Arrival	26,238	874	27,112	147,782	7,737	155,519	
六年度 1931-32	20,749	1,507	22,256	183,040	17,355	200,395	2
著 信 Arrival	26,412	875	27,287	163,324	15,672	178,996	
五年度 1930-31	32,025	1,607	33,632	219,638	12,695	232,333	1
著 信 Arrival	34,840	1,106	35,946	193,821	11,558	210,379	
四年度 1929-30	32,884	1,696	34,580	262,536	23,509	286,045	4
著 信 Arrival	34,393	1,114	35,507	222,691	22,894	245,585	
三年度 1928-29	29,688	1,773	31,461	257,009	21,757	278,766	1
著 信 Arrival	30,738	1,206	31,944	212,448	21,307	233,755	
二年度 1927-28	30,265	1,687	31,952	277,533	30,098	307,631	1
著 信 Arrival	33,362	1,311	34,673	226,512	31,711	258,223	
元年度 1926-27	28,629	1,871	30,500	274,265	27,835	302,100	1
著 信 Arrival	30,866	1,273	32,139	230,251	29,235	259,486	
大正十四年度 1925-26	26,247	2,214	28,461	220,426	27,589	248,015	3
著 信 Arrival	28,832	1,627	30,459	198,449	28,397	226,846	

第九章 電話業務ニ關スル施設

Section 9. Institutions for Telephone Services

電話業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

電話規則中改正 昭和七年十月一日ヨリ在來ノ特設電話ハ總テ普通電話ニ變更セラレタル處普通電話ノ料金ハ均一制ノ建前ナルモ之ヲ適用スルキハ約十五萬ノ舊特設電話加入者中其ノ七割ニ相當スル十萬餘名ハ負擔ノ増加ヲ來スコトトナリ不況時ノ措置トシテ適當ナラサル爲既往加入者ニ對シテハ特設電話當時ト同一ノ率ニ依ル料金ヲ課シ七年度以降ノ新規加入者ニ限リ均一料金ヲ課スコトトセリ右ハ過渡的便法ニシテ永ク放置ヲ許ササル狀況ニアリタルヲ以テ九年十二月十四日省令第七〇號ヲ以テ改正シ壬地以下加入者ノ料金ヲ整理低減シ昭和十年一月一日ヨリ實施ノコトトセリ尙之ニ附隨シテ從來懸案ノ規則一部ノ改正ヲ行ヒタリ

外地電話規則制定並同規則中改正 内地臺灣間通話取扱開始ニ際シ兩當局間ノ協定事項ヲ基礎トシ關係規定制定スルノ必要アル處内地臺灣間ノ電話通話ハ兼ニ取扱ヲ開始シタル内地朝鮮間ノモノト大體、同一ノ步調ニ依リ取扱フコトトナリタル結果其ノ取扱ニ關スル規定事項ニ殆ント同一ナルヲ以テ法規ノ整理、統一並通話制度ノ統一、單純化ヲ圖ル必要上兩者ニ共通的ニ適用スヘキ外地電話通話規則ヲ制定、昭和九年六月二十日ヨリ之ヲ施行シ内鮮電話通話規則ハ之ヲ廢止セリ而シテ其ノ内地樺太間電話通話取扱開始ニ際シ同規則中通話區間、料金ニ關スル規定等必要ノ改正ヲ爲シ同年十二月十二日ヨリ之ヲ施行セリ

加入申込者所在等届出 加入申込者所在不明等ノ爲電話規則第五十條ニ依リ加入申込ノ取消ヲ要スルモノニ對シ官報ニ公示シ尙催告期間ハ加入事務規程ニ依レハ官報公示ノ翌日ヨリ起算シ十五日間トナリ居レルモ本加入申込ハ何レモ長年月ヲ經過セルヲ以テ約一ヶ月トシ六月三十日迄トシテ處理セリ尙本公示期間中ノ加入申込者所在等判明セシモノハ九年度以降ノ工事トシ開通セシメ八年度順番開通割當數ノ殘數ハ補充セサルコトトス

電話特別開通申請受理及開通 昭和九年度電話特別開通申請受付及開通狀況ノ概要下記ノ如シ

(一) 申請受付期間

自五月一日 但シ本年度新ニ交換業務ヲ開始スベキ局所(町村役場ノミヲ收容セル既設交換局所ニ一般加入者又至五月十五日ハ町村役場ヲ増設スルモノニシテ新規交換開始ノ例ニ依リ提案シタル分ヲ含ム)ニ於ケル受付ハ事務開始ノ決定後トシ其ノ期間ハ逡信局長限リ適當ニ定メシム

(二) 設備費及寄附金

區 別	單 獨 加 入	共 同 線 加 入	連 接 加 入
東 京	500	130	
大 阪	450	130	
京 都、神 戶、名 古 屋、横 濱	400	100	
福 岡、廣 島 及 戊 地	270		
巳 地	240		
庚 地	210		
辛 地	180		
壬 地	150		
		50	40

(三) 土地種別

設備費又ハ寄附金加入登記料ハ本年四月一日現在(新=交換業務ヲ開始スル局所ハ申請受付當時)ノ土地種別ニ依ル

(四) 増設豫定數

逓信局名	増設豫定數		合計	備考
	六大都市	其ノ他		
東京	東京	4,800	6,115	11,185
	横濱	270		
名古屋	名古屋	1,000	2,030	3,030
	大阪	3,200		
大阪	京都	930	4,425	9,555
	神戸	1,000		
広島			2,180	2,180
熊本			2,615	2,615
仙臺			755	755
札幌			280	280
計	11,200	18,400		29,600
土地交換開始				2,400
合計				32,000

(五) 「戊地以下」負擔金收入額

前號ノ特別開通増設豫定數ニ對スル「戊地以下」負擔金收入ハ一加入平均220圓(東京、広島、熊本、札幌)、210圓(名古屋、大阪)、200圓(仙臺)ヲ下ラシメサル様割當ツルコト尙右ニ依リ難キ場合ハ豫メ本省ノ承認ヲ受クルト

(六) 申請受付數ト受理決定數

(イ) 六大都市

局名	申請受付數(1)	受理決定數(2)	(2)ノ(1)ニ對スル割合
東京	64,996	4,480	14.51
大阪	38,132	3,070	12.41
京都	5,165	840	6.15
神戸	5,728	935	6.13
名古屋	6,133	930	6.59
横濱	1,130	259	4.36
計	121,284	10,514	11.54

(ロ) 六大都市以外ノ地

逓信局名	申請受付數(1)	受理決定數(2)	(2)ノ(1)ニ對スル割合
東京	21,420	5,971	3.59
名古屋	5,429	1,982	2.74
大阪	16,370	4,472	3.66
広島	5,125	1,576	3.25
熊本	4,893	2,258	2.17
仙臺	1,556	735	2.12
札幌	1,251	252	4.96
計	56,044	17,246	3.25

電話擴張及改良計畫改定 昭和九年度電話擴張計畫實施ノ結果ニ徴スルニ電話加入申請者ハ激増シ爲ニ昭和十年度ニ於テハ既定計畫ヲ以テシテハ到底社會ノ要望ニ應ジ得サルヘキニ至リタルヲ以テ之ヲ改定スルコトトシ加入者増設數、市外架設里程ヲ増加シ昭和十年度ヨリ昭和十四年度ニ至ル五ケ年間ノ繼續計畫トシ第六十七議會ノ協賛ヲ經タリ

電話擴張及改良計畫實施

(イ) 加入者及市外線新增設工程

區別	計畫工程	實施工程			
		單	獨	共	同
東京	4,800		4,902		150
大阪	3,200		3,226		31
京都、名古屋、神戸、横濱	3,200		3,264		22
広島、熊本、仙臺、札幌	18,400		957		5
計	18,400		18,330		502
交換開始	2,400		2,225		67
計	32,000		32,904		777

局名	計畫工程	實施工程			
		單	獨	共	同
市外線新增設	6,000				8,588

(ロ) 電話事務開始

逓信局別	通話事務	電話交換
東京	44	51
名古屋	24	49
大阪	32	39
広島	32	46
熊本	58	46
仙臺	46	57
札幌	25	25
計	261	313

備考 請願通話事務開始ヲ含マス

(ハ) 公衆電話増設

逓信局名	増設数
東京	179
名古屋	35
大阪	145
広島	5
熊本	5
仙臺	5
札幌	2
計	376

備考 請願ヲ含マス

(ニ) 請願通信施設

(一) 事務開始

逓信局名	電話通話事務開始		公衆電話所新設
	呼出事務併始	呼出事務不扱	
東京	-	-	12
名古屋	-	-	-
大阪	-	-	12
広島	1	-	3
熊本	1	-	1
仙臺	1	-	-
札幌	-	-	-
計	3	-	8

(二) 維持費免除

逓信局名	電話通話事務開始		公衆電話所新設
	呼出事務併始	呼出事務不扱	
東京	1	1	4
名古屋	-	2	-
大阪	4	10	7
広島	6	-	1
熊本	2	1	-
仙臺	-	-	-
札幌	2	1	-
計	15	15	12

(ホ) 電話土地種別ノ改定

(一) 広島、福岡ヲ昭和九年四月一日ヨリ丁地ニ變更シ度敷料金制ヲ採用セリ

(二) 昭和八年度加入者増設ノ結果標準加入者數ニ達シタルニ依リ下記各局ノ土地種別ヲ變更セリ

(昭和九年四月一日實施)

戊地ニ變更 天下茶屋、久留米、小倉、佐世保

- 己地=變更 田園調布、松澤、旭、平野、岡町、戸畑
- 庚地=變更 大宮(静岡)、和泉大津、伊丹、加古川、柳井、倉吉、諫早、日田
- 辛地=變更 玉川、東小松川、今市、真岡、磯濱、國府津、三崎、茅ヶ崎、井波、金石、山中、土岐津、高濱、木曾川、三河新田、加悦、小松島、龜開、庄原、益田、安田、有田

(三) 交換方式變更ノ結果土地種別ヲ變更セルモノ下記ノ如シ

- 己地=變更 川口(昭和九年四月一日實施)
- 大宮(埼玉)(昭和九年十月一日實施)

(四) 土地種別改定方針ノ改定

従来ハ標準加入者數=達セサルモ交換方式變更ヲ機會=土地種別ヲ改正スル場合アリタルモ將來ハ専ラ標準加入者數ノミ=依ルコトトシ尙加入者減少セル爲メ標準加入者數=達セサル=至リタルトキハ事情=依リ土地ノ種別ヲ下級ノモノ=變更シ得ルコトトセリ

(ハ) 電話交換方式變更

逓信局名	方式變更局名			計
	自働式	共電式	簡易直複式	
東京	浦和、浪花、鶴見、王子	大宮	館林	6
名古屋	岡谷、瀬戸		小濱	3
大阪	池田、岸和田		豊岡	3
広島				
熊本	久留米		佐伯	2
仙臺				
札幌			岩見澤、留萌	2
計	9	1	6	10

局分課設置

電話業務ノ膨脹=伴ヒ局分課ヲ設置シ又ハ通信事務官、通信技師ヲ配置セルモノ下記ノ如シ

- (一) 東京中央電話局=國際交換課ヲ設置シ課長=通信技師ヲ配置シ九年六月二十日ヨリ實施セリ
- (二) 広島電話局(一等)ヲ設置シ局長=通信事務官ヲ配置シ九年六月二十一日ヨリ實施セリ
- (三) 姫路郵便局電話課長ヲ通信技師=組替シ九年六月二十一日ヨリ實施セリ

岸壁等ニ繫留スル船舶ト陸上トノ電話

公衆通話ノ用=供スル爲岸壁又棧橋ニ繫留スル船舶ト陸上トノ間ノ電話連絡ノ施設場所及受持局長ヲ下記ノ通り定メ昭和九年四月三日ヨリ之ヲ施行セリ

施設場所、横濱港内貿易棧橋(第一號、第二號)。受持局所、横濱中央電話局。

小自働式交換電話取扱

昭和九年四月八日ヨリ静岡縣増築局=小自働式交換ヲ實施シ昭和八年九月電業第二五一〇號通牒=依リ制定ノ取扱手續ヲ設備ノ變更=順應シ試驗通話ヲ開始セリ

都市、近接地間市外電話改善

都市ト其ノ近接地トノ間ノ關係ハ益々緊密ノ度ヲ加ヘ殊=高速度交通機關ノ普及=伴ヒ電話通話=於テモ舊來ノ設備=ヨリテハ到底其ノ使命ヲ全シ得サル=付市外通話即時接続法ヲ實施シ銳意之ヲ擴張ヲ企圖シ居ルモ經費ノ關係上未ダ即時通話ヲ實施シ得ル區間=ハ即時通話法=進ムル階梯トシテ準即時市外通話法ヲ採用スルコトトセリ而シテ本年度=於テハ東京王子間=即時通話法ヲ大阪平野間外二十八區間=準即時通話法ヲ實施セリ

第十章 電話線路

Section 10. Telephone Routes,

内地電話

Length of Inland

種別 Description	陸上線 Land Lines キロメートル(Km)				地下線 Underground Routes
	架空線 Aerial Lines		架空ケーブル * Over head Cables		
	線路 Routes	線路 Lines	線路 Routes	心線 Cores	
昭和九年 1935 年度	58,867	595,595	6,023	1,783,115	3,595
昭和八年 1934 年度	57,515	588,378	5,165	1,658,551	3,370
昭和七年 1933 年度	54,515	592,894	4,006	1,510,181	3,115
昭和六年 1932 年度	52,986	583,896	3,305	1,418,141	2,946
昭和五年 1931 年度	51,811	591,641	2,401	1,318,921	2,624
昭和四年 1930 年度	50,493	597,177	1,459	1,218,018	2,247
昭和三年 1929 年度	46,926	584,601	807	1,065,197	1,913
昭和二年 1928 年度	44,484	554,645	437	938,000	1,457
昭和元年 1927 年度	39,246	524,270	361	802,086	1,210
大正十四年 1926 年度	36,500	492,975	271	672,542	1,033

備考 架空「ケーブル」中架空線=添架シタル部分ノ線路ハ計上セズ
Note. Exclusive of parts of cables laid along with aerial lines.

障碍及機械

Faults and Apparatus

線路

Telephone Lines

ケーブル Cables キロメートル(Km)	合計 Total キロメートル(Km)		百平方軒ニ付 Per 100 Square(Km)		水底ケーブル Submarine Cables キロメートル(Km)	
	線路 Routes	線路 Lines	線路 Routes	線路 Lines	線路 Lines	心線 Cores
3,944,504	68,495	6,323,214	18	1,654	1,064	8,493
3,791,777	66,050	6,038,706	17	1,580	970	7,278
3,552,307	61,636	5,655,382	16	1,479	867	6,565
3,424,264	59,237	5,426,301	15	1,420	803	5,948
3,358,543	56,836	5,269,105	15	1,379	788	5,911
3,079,316	54,199	4,894,511	14	1,282	673	5,487
2,839,065	49,646	4,488,863	13	1,125	443	2,753
2,554,020	46,378	4,046,665	12	1,061	397	3,625
2,158,028	40,817	3,484,384	11	912	295	3,024
1,840,355	37,804	3,005,872	10	775	185	2,039

内地市内電話

Frequencies of Faults of

種別 Description	年次	昭和九年 1934-35	昭和八年 1933-34	昭和七年 1932-33	昭和六年 1931-32
	Year	1934-35	1933-34	1932-33	1931-32
交換局内 Fault in Exchange Office	交換機 Switch Board	378,126	395,586	368,094	404,788
	配線盤 Distributing Board	33,257	40,416	35,834	39,733
	繼電器架 Relay Rack	51,583	42,561	40,976	42,088
	可熔片盤及中繼線輪架 Fuso Board and Repeating Coil Rack	13,159	13,887	14,821	17,190
	發電裝置 Power Plant	5,342	1,886	1,581	2,216
	局内線其ノ他 Office Wires etc.	30,697	34,568	31,326	41,641
	計 Total	512,164	528,904	492,632	547,650
加入者宅内 Fault in Subscriber's Station	電話機 Telephones	431,221	419,742	401,400	387,541
	保安器 Protective Devices	50,043	54,341	44,264	44,718
	電池 Cells	20,388	21,225	20,012	21,110
	室内線 Wires	11,831	11,518	12,244	12,430
	轉換機 Switches	9,419	9,380	10,262	11,219
	加入者不注意其ノ他 Subscriber's Carelessness etc.	55,814	60,361	50,767	53,990
	計 Total	578,716	576,567	538,949	531,008
線路 Fault on Routes	架空線 Aerial Lines	131,488	137,130	107,205	119,570
	架空ケーブル Over-head Cables	28,980	26,392	24,313	22,358
	地下ケーブル Underground Cables	5,836	6,041	5,398	7,182
	加入者引込線 Subscriber's Leading-in	72,164	73,627	65,462	71,738
	中繼線 Trunk Line	125	233	336	668
	配線箱 Distributing Box	28,592	33,699	30,769	33,603
綵線 Bridle Wire	4,823	4,218	3,732	3,963	
其ノ他 Others	41,578	40,222	39,164	43,692	
	計 Total	313,586	321,562	276,379	302,774
合 Grand Total	計	1,404,466	1,427,033	1,307,960	1,381,438

障礙長度數

Inland Urban Telephones

種別 Description	昭和五年 1930-31	昭和四年 1929-30	昭和三年 1928-29	昭和二年 1927-28	昭和元年 1926-27	大正四年 1925-26	
	1930-31	1929-30	1928-29	1927-28	1926-27	1925-26	
交換局内 Fault in Exchange Office	交換機 Switch Board	454,195	468,285	516,062	443,375	440,024	436,844
	配線盤 Distributing Board	47,360	51,268	54,268	59,100	72,548	69,294
	繼電器架 Relay Rack	48,206	49,987	60,215	52,522	64,145	65,559
	可熔片盤及中繼線輪架 Fuso Board and Repeating Coil Rack	20,253	18,059	24,227	34,137	28,871	19,422
	發電裝置 Power Plant	5,975	7,277	5,068	4,375	2,281	2,350
	局内線其ノ他 Office Wires etc.	35,338	39,664	43,763	49,674	49,404	60,921
	計 Total	611,327	631,540	703,603	643,183	657,273	654,390
加入者宅内 Fault in Subscriber's Station	電話機 Telephones	379,941	380,307	358,335	326,986	305,115	265,005
	保安器 Protective Devices	46,545	46,428	44,090	41,971	37,745	32,881
	電池 Cells	23,264	25,072	24,358	29,371	29,425	23,823
	室内線 Wires	12,326	12,706	13,740	13,905	12,447	12,627
	轉換機 Switches	12,406	-	-	-	-	-
	加入者不注意其ノ他 Subscriber's Carelessness etc.	57,078	77,857	68,666	46,154	39,923	32,924
	計 Total	531,560	542,370	509,189	458,387	424,655	372,260
線路 Fault on Routes	架空線 Aerial Lines	133,894	145,316	155,435	155,543	152,104	124,335
	架空ケーブル Over-head Cables	21,751	20,511	16,612	15,997	17,419	14,034
	地下ケーブル Underground Cables	6,453	8,990	11,510	8,772	7,669	9,988
	加入者引込線 Subscriber's Leading-in	78,728	85,975	88,087	75,636	77,880	68,298
	中繼線 Trunk Line	765	1,379	1,273	-	-	-
	配線箱 Distributing Box	37,458	41,126	45,907	47,254	47,083	42,310
綵線 Bridle Wire	4,752	5,464	6,659	6,951	6,574	5,534	
其ノ他 Others	48,082	50,572	51,100	59,218	55,532	52,489	
	計 Total	331,883	359,333	376,583	369,371	364,261	316,988
合 Grand Total	計	1,474,770	1,516,213	1,589,375	1,470,941	1,416,189	1,343,638

內地市外電話障
Frequencies and Hours of Faults

種別 Description	年次 Year	昭和	八年度	七年度	六年度	五年度	四年度	三年度	二年度	元年度	大正
		九年度 1934-35	1933-34	1932-33	1931-32	1930-31	1929-30	1928-29	1927-28	1926-27	十四年度 1925-26
混 Contact	度 Frequency	5,947	5,318	4,394	4,356	5,634	5,386	5,799	5,816	6,179	5,795
	時 Hours	35,721	27,338	19,487	17,927	32,838	26,771	30,227	29,449	35,984	31,465
地 Earth	度 Frequency	5,327	4,846	3,639	3,603	4,788	4,945	4,754	5,290	5,192	4,355
	時 Hours	31,098	26,184	16,648	15,242	27,132	25,518	25,308	28,672	29,558	26,340
斷 Disconnection	度 Frequency	4,539	5,658	4,282	3,794	3,947	4,098	3,519	4,007	3,726	3,008
	時 Hours	27,723	19,674	15,163	13,700	20,554	17,847	16,524	21,137	22,541	14,901

內地郵便電信電話機
Number of Telephone Apparatuses
Post, Telegraph and

種別 Description	年度末 On March 31st of:—	昭和	八年度	七年度
		九年度 1935	1934	1933
並列複式 Parallel Multiple System	共電式 Common Battery System	956	1,113	1,156
	磁石式 Magneto System	-	-	14
直列複式 Series Multiple System	式	357	343	324
	單式 Metallic Single Board	6,173	6,284	6,085
公共電話 Public Telephones	用	248	-	-
	手交換式 Manual Telephone Exchange	中繼臺 Trunk Board	383	399
無繩 Cordless		32	32	26
市外線用 Toll Board	共電式 Common Battery System	1,236	1,144	1,118
	大型磁石式 Large Magneto A	417	406	428
肥 Recording Board	小型磁石式 Small Magneto B	2,069	2,112	2,184
	臺	172	159	173
合 Total	計	12,043	11,992	11,949

碍度數及時數
of Inland Suburban Telephones

種別 Description	年次 Year	昭和	八年度	七年度	六年度	五年度	四年度	三年度	二年度	元年度	大正
		九年度 1934-35	1933-34	1932-33	1931-32	1930-31	1929-30	1928-29	1927-28	1926-27	十四年度 1925-26
漏 Leakage	度 Frequency	40	1	26	20	9	8	30	26	44	91
	時 Hours	70	2	3,268	618	51	119	641	229	747	781
其 Others	度 Frequency	728	789	682	616	665	600	522	700	873	604
	時 Hours	5,449	2,720	2,584	2,039	2,648	2,122	2,015	2,557	3,570	2,646
合 Total	度 Frequency	16,581	16,612	13,023	12,389	15,043	15,037	14,624	15,839	16,014	13,853
	時 Hours	100,061	75,918	57,150	49,526	83,223	72,377	74,715	82,044	92,400	76,133

械及電池數
and Batteries used at Inland
Telephone Offices

六年度	五年度	四年度	三年度	二年度	元年度	大正
1932	1931	1930	1929	1928	1927	十四年度 1926
1,073	1,302	1,022	1,022	935	844	728
14	15	13	13	32	70	119
320	357	360	356	357	295	290
5,603	5,432	5,243	4,840	4,284	3,843	3,421
-	-	-	-	-	-	-
413	420	445	457	437	453	408
26	26	26	21	11	-	-
937	870	694	559	-	-	-
421	470	468	431	765	662	503
2,240	2,104	2,023	1,664	1,446	1,388	1,230
141	106	99	89	65	46	50
11,314	10,991	10,563	9,610	8,473	7,671	6,796

内地郵便電信 電話機
Number of Telephone Apparatuses
Post, Telegraph and

種 別 Description	年 度 末 On March 31st of:-	昭和	八 年 度	七 年 度	
		九 1935	1934	1933	
自 備 式 交換機 Automatic Tele- phone Exchange	ラインスイッチボード (コネクタ付) Line Switch Board	515	431	419	
	両面ラインスイッチボード Lineswitch board equipped with 200 line switches	353	325	304	
	セレクターボード Selector Board	373	329	279	
	レピーターボード Repeater Board	53	50	54	
	ストロジャ式 Outgoing Secondary Line Switch Board	114	111	108	
	コネクタボード Connector Board	219	126	111	
	ラインファインダーフレーム Line Finder Frame	110	57	41	
	コネクタフレーム Connector Frame	126	97	41	
	セレクターフレーム Selector Frame	8	4	-	
	小自備交換機 Rural Automatic Telephone Exchange	1	-	-	
S & H 式(上) S. B. 式(下) Siemens and Halske System (Above) Siemens Broth- er System (Under)	一次ラインスイッチボード Primary Line Switch Board	527	466	372	
	二次ラインスイッチボード Secondary Line Switch Board	86	77	59	
	コネクタボード Connector Board	198	198	196	
	セレクターボード Selector Board	249	251	250	
	レピーターボード Repeater Board	69	52	40	
合 計	3,001	2,574	2,274		
電 話 機 Telephones	通 常 Wall set	共 電 Common Battery System 式	255,005	248,103	247,282
	自 備 Automatic System 式	磁 石 Magneto System 式	390,265	375,335	376,970
		自 備 Automatic System 式	167,866	146,856	116,915
	卓 上 Desk set	共 電 Common Battery System 式	47,997	53,794	54,177
		磁 石 Magneto System 式	34,282	31,616	34,553
	公 衆 Public 用	自 備 Automatic System 式	36,097	32,948	27,885
		合 計	3,627	3,539	3,152
	合 計	935,139	892,191	860,934	
電 池 Batteries	一 次 Primary 次	880,610	882,219	860,085	
	二 次 Secondary 次	8,606	18,257	16,741	
	合 計	889,216	900,476	876,826	

械 及 電 池 數
and Batteries used at Inland
Telephone Offices

(續)
(Continued)

六 年 度	五 年 度	四 年 度	三 年 度	二 年 度	元 年 度	大 正 四 年 度
1932	1931	1930	1929	1928	1927	1926
430	393	351	312	301	269	269
290	258	247	164	94	34	-
261	239	232	203	164	96	77
48	44	44	41	35	20	14
107	102	104	99	97	49	44
117	94	84	64	80	3	-
24	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
358	357	347	249	160	120	120
61	56	54	40	21	12	12
197	194	190	141	92	60	60
249	249	241	150	114	65	64
38	36	38	23	15	4	4
2,180	2,022	1,932	1,486	1,173	732	664
222,013	226,390	216,813	219,607	211,744	196,957	176,425
375,470	379,690	375,803	352,406	328,845	314,516	291,454
106,581	96,420	88,952	69,969	59,883	35,016	21,386
53,157	45,925	40,250	41,524	40,182	40,363	38,040
31,831	35,308	34,669	32,839	31,426	32,412	31,601
26,092	22,944	20,821	18,346	15,909	6,747	3,023
2,936	2,790	2,775	2,565	2,231	1,877	1,670
818,080	809,467	780,083	737,256	690,220	627,888	563,599
865,568	874,915	847,034	785,844	746,163	703,831	650,943
13,967	12,219	7,416	5,988	4,430	3,853	2,971
879,535	887,134	854,450	791,832	750,593	707,684	653,914

第十一章 電話加入者及電話通話數

Section 11. Number of Telephone Subscribers and Messages

内地電話加入者

Number of Inland Telephone Subscribers

年次 Year	種別 Description	單獨加入 Individual Subscription	共同線加入 Party Line Subscription	連接加入 Extention Line Subscription	合計 Total	加入申込者 Applicants for the telephone subscription
昭和九年	1934-35	811,830	15,210	3,001	830,041	154,345
八	1933-34	778,751	14,649	3,108	796,508	161,357
七	1932-33	743,958	13,925	3,253	761,136	167,276
六	1931-32	710,916	13,673	3,325	727,914	172,150
五	1930-31	693,199	13,386	3,535	715,020	175,900
四	1929-30	673,615	12,809	3,619	690,043	182,217
三	1928-29	640,981	11,130	3,610	655,721	195,332
二	1927-28	595,049	10,350	3,747	609,146	200,001
元	1926-27	538,764	9,690	4,103	552,557	202,351
六十	1925-26	481,495	8,961	4,337	494,793	210,238

内地電話通話數

Number of Inland Telephone Messages

年次 Year	種別 Description	同一加入區域内 In the Same Subscription District			加入區域外 With Other District	
		加入者相互間 通話度數(推算) Number of mes- sages between Subscribers	局所及公衆電話 ニテ通話時數 Hours of Conver- sation of Office and by Public Telephone	呼出請求件數 Requests of Call	通話時數 Hours of Conversation	呼出請求件數 Requests of Call
昭和九年	1934-35	3,783,991,018	40,202,841	42,124	236,789,514	2,110,144
八	1933-34	3,564,536,772	36,949,570	43,165	211,604,540	2,003,246
七	1932-33	3,208,443,375	35,444,101	38,537	190,635,368	1,929,063
六	1931-32	3,111,359,022	34,755,091	37,131	180,033,609	1,954,216
五	1930-31	2,992,928,336	34,242,737	37,399	167,168,858	1,962,930
四	1929-30	2,881,123,698	34,057,430	38,829	155,614,560	2,083,377
三	1928-29	2,730,238,110	31,860,452	39,567	138,036,070	2,026,950
二	1927-28	2,439,878,924	26,703,234	36,488	119,466,774	2,042,051
元	1926-27	2,195,600,413	22,707,408	36,062	102,722,430	1,984,941
六十	1925-26	1,866,159,780	20,102,056	42,886	86,685,649	1,958,690

備考 一通話時數ハ三分間トス
Note: Unit time of conversation is 3minutes.

第十二章 無線電信無線電話業務ニ關スル施設

Section 12. Institutions for Wireless Telegraph and Wireless Telephone Services.

無線電信無線電話業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

日滿電話通話規則制定 國際間電話通話ノ皮切リトシテ東京、新京間ニ無線ニ依ル直通電話連絡ヲ開設シテ日滿間ニ於ケル電話通話ノ取扱ヲ開始スルコトトシ、昭和九年七月十九日滿洲電信電話株式會社トノ間ニ之ニ關スル協定ヲ締結シテ日滿電話通話規則ヲ制定シ、同年八月二日ヨリ之ヲ施行シテ通話ヲ開始セリ

國際電話通話規則等制定 滿洲以外主要外國ノ直通電話業務ノ開始ニ關シテハ國際通話カ我國最初ノ事業ナルニ鑑ミ關係局課ヨリ成ル國際電話實施準備委員會ヲ設ケ、外國ノ諸制度並ニ之ヲ本邦ノ對外電話ニ採用ノ適否等ニ關シ慎重調査ヲ爲ス一方、豫定對手國タル比律賓、蘭領印度、米國、歐洲ノ各關係電話主管廳及會社トノ間ニ業務開始ニ必要ナル協定ノ締結、試驗通話ノ施行等對外交渉ヲ進メタリ。昭和九年八月先ヅ比律賓ニ於ケル「アール・シー・エー」通信社トノ間ニ日比間無線電話業務開始ノ協議ヲマリタルヲ以テ同年八月十六日ヨリ同月十八日マデ各選信局及主要現業局ノ主任者ヲ召集シテ國際電信通話開始ニ關スル事務打合せヲ開催シ國際電話通話規則、國際電話通話取扱規程等ヲ制定シ同年九月二十七日ヨリ實施セリ。而シテ今年度ニ於テハ下記ノ諸方面ト國際電話通話ヲ開始セリ。

- (1) 對比律賓通話、(2) 對蘭領印度通話、(3) 對米國通話、(4) 對歐洲通話

私設無線電信無線電話規則中改正 B電波ヲ發射スル陸上無線電信ハ現行規定上昭和九年十二月末日限り廢止スルヲ要スル處一方船舶ニ施設スルモノニ付テハB電波ノ特性上將來ト雖モ一定條件ノ下ニ之ガ使用ヲ認メラレル等關係モアルニ付陸上ニ施設スルモノト雖モ實驗用無線電信殊ニ海上無線通信士ノ養成ヲ目的トスル學校等ニ於テ施設スルモノ及大學專門學校等ニ於テ眞ニ無線科學ノ研究ノ爲施設スルモノニシテ特ニ其ノ必要ヲ認メラレルモノニ限り必ス擬似空中線ヲ使用セシムルコトノ制限ヲ附シ特ニ之ヲ認ムルコトトシ私設無線電信無線電話規則中必要ナル條項ヲ改正シ昭和十年一月一日ヨリ實施セリ

那霸鹿兒島間無線電話連絡 沖繩縣ト本土トノ間ノ無線電話連絡ニ付テ豫テ關係官民ノ熾烈ナル要望モアリ同地方產業開發上等ニ資スル爲昭和九、十兩年度電信電話設備擴張改良及補充費ヨリ所要經費約三十三萬圓ヲ差繰リ那霸及鹿兒島兩局ニ無線電話ヲ施設シ内地沖繩間通話業務ヲ取扱ハシムルコトニ決裁セラレ之ガ實施方措置セリ

船舶無線電信局ノ設置替 日本郵船所屬さいべりや丸無線電信局ヲ秩父丸ニ、大阪商船香港丸無線電信局ヲさんとす丸ニ孰レモ設置替セリ

船舶遭難通信措置 本年度中船舶、航空機遭難通信措置ニ關スル電報報告ニ依リ管船局又ハ關係船主ヘ通報其ノ他機宜ノ措置ヲ執リタル件數下記ノ如シ

種別	無事避難	船體放棄人命無事	沈没又ハ行衛不明	計
内國船舶	41	9	9	59
航空機	-	1	2	3
外國船舶	6	2	-	8
計	47	12	11	70

短波私設無線電話ニ依ル滿洲並臺灣向放送ノ認可 日本放送協會ヨリ東京中央放送局ノ放送ノ主要部分ヲ毎日滿洲及臺灣ヘ向ケ放送希望ニ付曩ニ施設許可ヲ得タル短波無線電話設備ヲ使用シタキ旨申請アリ使用送信機及周波數ヲ指定シ認可セリ尙右ハ昭和九年六月一日ヨリ實施セラレタリ

對外無線電信連絡開始 本年度ニ於ケル對外無線電信連絡ヲ下記各國ト開始セリ

- (1) 對伊太利國、(2) 對中華民國、(3) 對メキシコ國、(4) 對北美合衆國、(5) 對和蘭國、(6) 對ブラジル國

本年は、無線電信の設備が著しく進歩し、海外との連絡が容易となつた。本年度は、伊太利國、中華民國、メキシコ國、北美合衆國、和蘭國、ブラジル國に對して無線電信の連絡を開始せり。これにより、海外との連絡が更に便利となり、貿易の促進に大いに寄与するものと見られる。

開始年月	相手國	電報局名
1924年10月	伊太利國	東京無線電信局
1924年11月	中華民國	上海無線電信局
1925年1月	メキシコ國	東京無線電信局
1925年2月	北美合衆國	東京無線電信局
1925年3月	和蘭國	東京無線電信局
1925年4月	ブラジル國	東京無線電信局

以上は、本年度に開始した無線電信の連絡先である。今後も、海外との連絡を更に便利にするため、他の國々にも無線電信の設備を進めようとする。

郵便爲替貯金
POSTAL MONEY ORDER
AND POSTAL SAVINGS

第三編 郵便爲替及貯金

Chapter 3. Postal Money Order and Postal Savings

貯金局沿革略誌

明治八年

- 一月 明治六年郵便爲替創設ノ件漸ク諸ノ上リ七年九月郵便爲替規則ヲ發布シ八年一月ヨリ内務省驛遞寮ノ下ニ開始ス而シテ爲替種類ハ一種トシ證書一枚ノ金額制限ヲ參拾圓以下トシ其ノ料金ハ五圓迄參錢、拾圓迄五錢、貳拾圓迄十錢、參拾圓迄十五錢トシ證書ノ有効期間ヲ六箇月トス
- 四月 貯金預規則ヲ發布シ翌月ヨリ實施ス、預金ハ一人年拾錢以上百圓迄總額五百圓迄トシ利子ハ年三分トス
- 七月 繰替爲替法ヲ設ケ資金運用ニ便ス

明治九年

- 一月 爲替料金ヲ改正ス
- 三月 貯金利子ヲ年四分ニ改ム
- 同 郵便受取所ニ於テ貯金ヲ取扱ハシメ之ヲ貯金預所ト稱ス
- 七月 府縣上納金繰替法ヲ設ケ上納金ヲ爲替資金ト共ニ運用スルコトトス
- 十二月 郵便爲替證書ノ有効期間ヲ三箇月ニ改ム

明治十年

- 一月 驛遞寮ヲ廢シ更ニ驛遞局ヲ置ク
- 同 貯金利子ヲ年五分ニ改ム
- 同 貯金預所ヲ驛遞局貯金預所ト改稱ス
- 九月 貯金預所ノ設ケナキ地ニ於テ貯金ヲ爲サムトスル者ノ爲ニ其ノ預入手續ヲ定ム
- 十二月 貯金預規則ヲ改正シテ最低預高ヲ參錢トシ小額貯金預入ニ便ス

明治十一年

- 一月 貯金利子ヲ年六分ニ改ム

明治十二年

- 十二月 英領香港郵政廳ト郵便爲替條約ヲ締結シ翌月一日ヨリ實施ス之ヲ外國郵便爲替條約締結ノ嚆矢トス

明治十三年

- 一月 驛遞局貯金(従前ハ單ニ貯金ト稱ス)ト改稱ス
- 同 大阪外五局ニ貯金繰替拂ノ方法ヲ設ケ貯金拂戻ノ捷路ヲ開ク
- 十二月 一人一箇月ノ預金額ヲ拾錢以上參拾圓迄トシ同時ニ預金總額ニ對スル制限ヲ解キ翌年一月ヨリ實施ス

明治十四年

- 三月 京都外五市内ノ貯金預所ニ貯金拂戻ヲ取扱ハシム
- 四月 貯金利子ヲ年七分二厘ニ改ム
- 同 農商務省ヲ置カレ驛遞事務ハ同省ノ所管ニ移ル
- 八月 英國ト郵便爲替條約ヲ締結シ十月ヨリ實施ス

明治十五年

- 一月 爲替料金ヲ改正ス

- 十月 出納局預金ト各府縣預爲替超過金トノ振替順序及送金法ヲ設ク
- 十一月 東京府防火線及屋上制限建物改修積立金ヲ貯金ニ預入ノ取扱ヲ開始ス
- 十二月 郵便條約ヲ制定シ其ノ一部タル爲替及貯金制度ニ改正ヲ加ヘ爲替證書ノ有効期間ヲ百二十日トナシ又貯金一人一度ノ預金額ヲ拾錢以上一日ノ預金額ヲ五拾圓迄トシ特ニ認可ヲ受ケタルモノハ五十圓以上ノ預入ヲ爲スコトヲ得セシメ翌年一月ヨリ實施ス

明治十六年

- 一月 英國ノ媒介ニヨリ日耳曼ト郵便爲替ヲ開始ス
- 二月 郵便切手、驛遞局經費等ノ爲ニ各局間振替爲替法ヲ定メ四月ヨリ實施ス
- 十一月 府縣上納金繰替法ヲ廢ス

明治十七年

- 四月 貯金利子ヲ千圓未満ハ年六分トシ翌年一月ヨリ、千圓以上ハ年四分トシテ七月ヨリ之ヲ施行ス
- 七月 貯金差繼拂規則ヲ修正シテ貯金即時拂規則ト改稱シ拂戻ノ利便ヲ進ム
- 同 大藏省ト預金ノ約定ヲ改正シ驛遞局ヨリ貯金預入ニ拂渡スヘキ利子、貯金事業經費ハ別ニ國庫ヨリ交付ヲ受ケ貯金運轉利殖ノコトハ舉テ大藏省ニ移ス
- 十二月 佛國ト郵便爲替條約ヲ締結シ翌年三月ヨリ實施ス

明治十八年

- 一月 貯金ノ業務ハ大藏、農商務兩省ノ共管ニ屬ス
- 二月 英國ノ媒介ニヨリ歐米諸國及英領各植民地ト郵便爲替ヲ開始ス
- 三月 萬國聯合郵便爲替條約ニ加盟ス
- 五月 北米合衆國ト郵便爲替條約ヲ締結シ十月ヨリ實施ス
- 六月 東京、大阪、横濱、神戸、長崎及上海郵便局ニ銀貨貯金ヲ施行シ翌月前記各局ニ外國人貯金ノ取扱ヲナサシメ又九月金貨貯金ヲ開始ス
- 九月 電信爲替及小爲替法ヲ設ケ十月ヨリ施行ス
- 同 全國郵便局ニ於テ總テ貯金ノ取扱ヲナサシム
- 十二月 逓信省ヲ置カレ驛遞局ハ同省ノ所管トナル

明治十九年

- 二月 逓信省官制公布セラレ爲替貯金事務ハ驛遞局第四部(外國爲替事務ハ第三部外國爲替課)ニテ掌理ス
- 五月 千圓以下ニ付スヘキ貯金利子ヲ年五分四厘ニ改ム
- 九月 貯金利子ノ割合ヲ更メ預金千圓迄ハ年四分二厘、千圓以上ハ年三分トス
- 同 歐米諸國ニ對シ萬國郵便爲替約定ニヨリ郵便爲替又ハ電信爲替ヲ實施シ又郵便爲替條約ヲ締結シタルモノ多シ

明治二十年

- 三月 逓信省官制ヲ改正シ爲替貯金局ヲ置キ局中ニ第一課(爲替事務分掌)第二課(貯金事務分掌)ヲ設ク
- 同 驛遞局貯金ヲ郵便貯金ト改稱ス
- 十二月 兌換銀券ノ發行ニヨリ銀紙價格ノ差ナキニ至レルヲ以テ銀貨貯金預方法ヲ廢ス

明治二十一年

- 十二月 布哇本邦出稼人ノ爲同國日本領事館ニ貯金事務ヲ開始シ及其ノ内地ニ送金スル郵便爲替法ヲ定ム

明治二十三年

- 二月 金貨貯金及外國人貯金取扱ヲ廢ス

- 六月 郵便爲替貯金局ヲ本省ヨリ分離シ、官制ヲ定メ郵便爲替貯金局ヲ置ク
- 八月 郵便貯金條例ヲ公布シ預金總額ニ對スル制限ヲ元利合セテ五百圓迄トシ翌年一月ヨリ實施ス

明治二十四年

- 一月 貯金預所ニテハ貯金預入ノ外其ノ拂戻請求ノミヲ取扱ハシムルコトトス
- 八月 官制ヲ改正シ郵便爲替貯金局ヲ廢シ郵便爲替貯金管理所ヲ置キ同所ニ於テハ主トシテ現業事務ヲ掌理シ規畫、監督事務ハ明治四十二年七月郵便貯金局設置ニ至ル迄郵務局或ハ通信局ニ於テ掌理ス

明治二十六年

- 十月 天災其ノ他非常ノ場合ニ於テ貯金拂戻ノ手續ヲ簡單ニス

明治二十七年

- 八月 非常召集ニ應スヘキ軍人ニ對シ郵便爲替ノ振出、拂渡ノ特別扱ヲ爲スコトトス
- 同 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ布哇外數國ト郵便爲替交換ヲ開始ス
- 十二月 戰地郵便局ニ爲替振出事務ヲ開始ス

明治二十八年

- 四月 野戰郵便局ニ貯金預入事務ヲ開始ス
- 六月 外國宛郵便爲替料ヲ改正ス

明治二十九年

- 四月 郵便爲替、郵便貯金ニ關スル規定ヲ新領土臺灣ニ施行ス
- 十二月 郵便貯金非常拂ノ制ヲ定ム

明治三十一年

- 四月 貯金利子ヲ年四分八厘ニ改メ翌年四月ヨリ施行ス
- 五月 天災其ノ他非常ノ場合ニハ電報ヲ以テ貯金ノ拂戻ヲナシ得ル手續ヲ設ク
- 十二月 郵便爲替締結國間ニ於ケル郵便爲替事務約定ヲ公布シ翌年一月ヨリ施行ス

明治三十二年

- 二月 郵便爲替證書一枚ノ金額制限參拾圓ヲ五拾圓ニ高メ次テ爲替料金(小爲替ヲ除ク)ヲ改メ四月ヨリ實施ス
- 五月 郵便貯金出張取扱ノ制ヲ設ク
- 十一月 郵便住宅拂ノ制ヲ設ケ翌年一月ヨリ施行ス

明治三十三年

- 三月 郵便切手貯金規則ヲ制定シ學童婦女等ノ貯金ヲ獎勵ス
- 九月 始メテ本所ニ女子雇員ヲ採用シ次テ各支所ニモ亦之ヲ採用ス
- 同 爲替資金及過超金ハ從來通運會社又ハ小包郵便ニヨリタルヲ通常價格表記郵便ニヨリ取扱フコトトシ賜金送金ノ敏活ヲ期セリ
- 十月 郵便爲替法、郵便爲替規則、郵便爲替取扱規程ヲ實施ス

明治三十四年

- 三月 郵便爲替證書線引讓渡ノ制ヲ設ケ爲替證書讓渡ノ途ヲ開キ且手形交換所ニ於テ爲替金拂渡ノ便法ヲ設ケ四月一日ヨリ施行ス
- 同 證券貯金規則ヲ設ケ國債、縣債、市債等ノ證券又ハ其ノ利札ハ郵便貯金ニ預入シ得ルコトトシ四月一日ヨリ施行ス
- 七月 在外本邦出稼人ノ爲郵便爲替貯金預入ノ便利ヲ圖リ特別郵便貯金規則ヲ制定シ十月ヨリ施行ス

八月 郵便取立金取立済通知書線引讓渡ノ途ヲ開キ郵便爲替證書讓渡ノ例ニ準シ取扱フコトトス

明治三十五年

五月 貯金即時拂戻ハ一箇月一回ナリシヲ二回トシ一回ノ金額貳拾圓迄ナリシヲ參拾圓迄ニ擴張シ同時ニ特別即時拂戻ニ關スル規定ヲ設ケ豫メ認可ヲ受ケタル預入ニ對シテ金額及回數ニ制限ナク即時拂ノ取扱ヲ爲シ得ルノ途ヲ開ク

明治三十六年

二月 高額郵便爲替振出ノ制ヲ設ケ特ニ逓信大臣ノ認可ヲ受ケタル者ニ限り高額ノ郵便爲替ヲ振出シ得ルコトトス
四月 通信官署ノ歳入金歳出金ハ爲替貯金等ノ現金ト共ニ一團トシテ取扱ヒ交互振替及繰替受拂ヲナスノ制ヲ實施ス
十二月 規約貯金ノ制ヲ設ケ多數團結シテ實行スル貯金ニ便ス

明治三十七年

二月 日露ノ開戦ニ伴ヒ軍事郵便爲替貯金規則ヲ制定シ野戰郵便局ニ於テ爲替金ノ受入及ヒ貯金預入ノ事務ヲ開始シ専ラ出征者ノ便利ヲ圖ル
三月 俘虜郵便爲替規則ヲ制定シ俘虜ノ爲無料特別送金ノ方法ヲ設ケ
七月 郵便集配人取集郵便貯金ノ制ヲ設ケ八月ヨリ實施ス
九月 貯金利子ヲ年五分四毛ニ改ム
同 戰地特別郵便貯金規則ヲ制定シ出征者ヲシテ軍事爲替ニ依リ預入シ得ル途ヲ開ク
十月 貯金即時拂一箇月ノ回數制限ヲ廢シ一日一回金參拾圓以內一箇月總額六拾圓迄ヲ限リ即時拂ノ取扱ヲ爲スコトトシ十一月ヨリ實施ス
十一月 郵便局國庫債券取扱規則ヲ制定シ國庫債券應募申込、應募金ノ拂込及債券交付ノ手續ヲ定ム
同 据置貯金ヲ實施ス
十二月 逓信省構内郵便局ノ設置ニ伴ヒ郵便貯金直接拂ノ法ヲ開始ス
同 貯蓄債券購買媒介ノ制ヲ設ケ

明治三十八年

七月 郵便貯金及郵便貯金規則並郵便貯金取扱規程ヲ實施ス、其ノ要旨ハ一人貯金總額ヲ千圓ニ高メ（公共團體等ニハ制限ヲ置カス）即時拂ヲ便ニシ、特別即時拂、非常拂、海外在留人特別貯金拂戻ノ方法ヲ擴メ、預入ノ所有スル證券ヲ保管スルコト等ナリ

明治三十九年

三月 郵便振替貯金規則ヲ創設シ其ノ加入者ノ口座ニ對スル拂込、口座相互ノ振替及口座ヨリ拂出ヲナシ其ノ口座現在金ニ對シテハ年三分六厘ノ利子ヲ付スルコトトス
五月 郵便振替貯金拂出證書線引讓渡ノ途ヲ開ク
七月 女子通信手ヲ任用ス之レ本邦ニ於ケル女子判任官ノ嚆矢トス
八月 明治三十七八年戰役ニ關スル行賞賜金ノ現金ハ郵便貯金トシ特別郵便貯金通帳ヲ以テ交付シ又公債證書ハ郵便官署ニ保管シ特別證券保管通帳ヲ以テ交付スルノ制ヲ設ケ

明治四十年

五月 勸業債券購買媒介郵便規則ヲ制定シ、貯蓄債券購買媒介郵便規則ヲ廢ス
九月 羅馬郵便爲替約定實施ニ伴ヒ外國郵便爲替規則等ヲ改正シ十月一日ヨリ施行ス

明治四十一年

四月 郵便局國庫債券償還及引換取扱規則ヲ制定シ無記名第一回國庫債券償還事務ノ取扱ヲナス

五月 郵便官署保管國庫債券引換規則ヲ制定シ引換公債證書ハ其ノ儘保管シ得ルノ途ヲ開ク
十月 振替貯金規則ヲ改正シ十二月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ二箇以上ノ口座ニ加入シ得ルコト及別名登記ノ制ヲ認メタルコト、拂出料金ヲ改正シ現金拂ノ場合ニ於テモ無料通信ヲ爲シ得ルモノトシタルコト等トス
十二月 郵便爲替規則ヲ改正シ通常及電信爲替ノ金額制限ヲ百圓ニ高メ爲替料金ヲ改メ翌年一月ヨリ施行ス

明治四十二年

一月 日本勸業銀行賣出ノ勸業債券ヲ郵便貯金ヲ以テ購入保管シ得ル方法ヲ設ケ
四月 市公金拂ノ爲ニスル郵便振替貯金特別取扱規則ヲ制定シ翌五月始テ大阪市内郵便局ニ於テ之カ取扱ヲ開始ス
同 從來郵便貯金預入ノ都度發送セル登記済通知書ヲ廢止ス
七月 官制ヲ改正シ郵便爲替貯金管理所及同支所ヲ廢シ郵便貯金局及之カ支局ヲ置ク
十一月 居室拂ハ在來一、二等局及主ナル三等局ニ限ラレタルヲ廣ク各局ニ及ホス

明治四十三年

一月 郵便振替貯金口座受拂事務ヲ朝鮮總督府通信管理局ニモ開始ス
二月 貯金利子ヲ年四分二厘ニ改メ四月一日ヨリ施行ス
三月 郵便貯金局官制ヲ改正シ郵便貯金局職員官名ヲ改ム
同 從來大藏省及各地方廳ニ於テ取扱ヒタル國庫支辨ニ屬スル年金恩給、遺族扶助料及退職料支給事務ヲ逓信省管掌ニ移シ四月一日ヨリ施行ス
同 郵便振替貯金口座受拂事務ヲ臺灣總督府通信局ニ開始ス
六月 郵便貯金規則ヲ改正シ即時拂ノ制限ヲ寬ニシ、通帳ニ現在高證明ヲ付スル場合ヲ制限シ七月一日ヨリ施行ス
七月 郵便振替貯金小切手拂込規則ヲ制定シ持參人拂ノ小切手ヲ以テ郵便振替貯金ノ拂込ニ充用スルヲ得セシメ東京外五市内各郵便局ニ於テ之カ取扱ヲ開始ス
同 郵便保險年金制度調査委員會ヲ設ケ小口保險ニ關スル調査ニ著手ス
十月 福岡市ニ郵便貯金支局ヲ設ケ十一月一日ヨリ振替貯金口座受拂事務ヲ開始ス
同 私立貯蓄銀行ノ預金者ヲ郵便貯金ニ引繼クノ先例ヲ拓ク
十一月 臺灣、樺太、朝鮮及清國相互間及同地方ト内地間ノ電信爲替料ヲ改正ス
同 郵便集金規則ヲ制定シ振替貯金制度ヲ利用シ石川縣下及鳥取市ニ於ケル日本赤十字社釀金ノ取集ニ對シテ之ヲ施行ス

明治四十四年

三月 郵便電信電話官署現金出納計算規程ヲ改正シ四十四年度分ヨリ施行ス
四月 從來郵便貯金ニ預入スルコトヲ得ル郵便切手ハ五厘、壹錢、貳錢ノ三種ナリシカ更ニ壹錢五厘、參錢ノ二種ヲ加ヘ又將來本省發行ノ切手貯金臺紙ニハ切手印面ヲ印刷セシ預入ノ請求ニ依リ無料交付ノコトトシ四月一日ヨリ施行ス
同 滿洲ニ屬スル爲替貯金及取立金等ノ計算管理事務ハ四月一日ヨリ關東都督府通信管理局ニ於テ掌理スルコトナレリ
九月 集金郵便振替金拂込規則ヲ制定ス
十一月 郵便貯金通帳ノ形式ヲ改メ冊子式ヲ折疊式トナシ且設備ヲ半減シテ取扱ノ簡便ト用紙ノ經濟トヲ圖リ翌年一月ヨリ施行ス
十二月 府縣稅納入郵便振替貯金特別取扱規則ヲ制定シ翌年一月ヨリ施行ス

明治四十五年
大正元年

- 二月 振替貯金規則ヲ改正シ三月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ基本金ヲ半減シ、自己口座ニ對スル受拂料金ヲ減免シ、住宅拂及電報局待拂ヲ新設シタルコト等トス
- 同 電信爲替證書留置ノ制ヲ設ケ又直配達區内ニ在ル受取人ニ對シテハ證書ヲ受信電報ノ例ニヨリ配達スルコトトス
- 五月 郵便振替貯金ニ依ル債券募集元利金支拂並貸付事務特別取扱規則及同取扱規程ヲ制定シ、四十年五月發布ノ勸業債券購買媒介郵便規則ヲ廢止ス
- 十一月 線引郵便爲替證書便宜拂ノ制ヲ設ケ
- 十二月 朝鮮ニ於ケル一般金利ノ高率ニ鑑ミ同地郵便貯金ニ限リ利子ヲ年五分四毛ニ改ム

大正二年

- 一月 郵便貯金規則及郵便貯金取扱規程ヲ改正シ三月一日ヨリ施行ス、其ノ要點ハ即時拂ノ方法ヲ擴張シ現在高證明又ハ自局所預入レノモノノ金額制限ヲ撤廢シ、拂戻豫告ノ制ヲ設ケ、他局預入ニシテ現在高證明ナキモノハ一定額ヲ限リ確認即時拂ノ方法ヲ設ケタルコト等ナリ
- 三月 日英郵便爲替業務約定ノ追加條款ヲ締結シ二十一日ヨリ日英兩國間ニ電信爲替ノ交換ヲ開始ス
- 四月 日露郵便爲替交換約定ヲ締結シ本邦ト露國(芬蘭ヲ除ク)及在北滿洲露國郵便局トノ間ニ郵便爲替ノ直接交換ヲナスコトトシ五月一日ヨリ施行ス
- 六月 官制改正ノ結果郵便貯金局官制ハ廢止セラレ新ニ爲替貯金局官制ヲ制定シ十三日ヨリ施行ス、其ノ改定要點ハ郵便貯金局及同支局ノ事務ハ爲替貯金局及同支局ニ於テ之ヲ繼承シ、高等官、判任官ノ官名ヲ改メ本局ニ於ケル貯金部及爲替部ヲ併合シテ業務部トナシ、人事課ヲ廢シテ庶務課ヲ設ケ、大阪又下關ノ各支局ニ於ケル計理、原簿ノ二課ヲ併合シテ何レモ貯金課ヲ置キタルコト等トス
- 同 土耳古ト郵便爲替ノ直接交換ヲ開始シ七月一日ヨリ實施ス

大正三年

- 八月 日獨及日埃間國交斷絶ト共ニ本邦ト兩國間ノ郵便爲替關係亦停止トナリタルモ翌九月以降瑞西郵政廳ノ媒介ニヨリ獨逸トハ通常郵便爲替ノ交換ヲ開始シ次テ十月ニ至リ之ヲ廢止セリ
- 同 日獨開戦ニ伴ヒ山東省方面野戰郵便局及艦船郵便所ニ於テ軍事爲替貯金事務ノ取扱ヲ開始ス
- 十二月 郵便爲替規則ヲ改正シ爲替證書一枚ノ制限金額ヲ擴張シ、爲替料金ヲ改定シ又爲替金額改捕防止ノ爲證書樣式ヲ改メ翌年一月ヨリ施行ス

大正四年

- 一月 從來金庫及收入官吏ニ於テ取扱ヒタル國庫金受拂事務ヲ開始シ一定ノ金種目ニ對シテ其ノ取扱ヲ認メ三月一日ヨリ施行ス
- 三月 貯金利子ヲ年四分八厘ニ改ム、但シ臺灣總督府及關東都督府所管原簿ニ登記ノモノハ朝鮮總督府所管ノモノト等シク年五分四毛トシ四月一日ヨリ施行セリ
- 十一月 大禮記念トシテ郵便切手貯金臺紙二種ヲ發行シ十日(御即位大禮當日)以降各郵便局ニ於テ貯金預入ノ請求ニ應ジ之ヲ交付セシム

大正五年

- 一月 郵便爲替證書ノ有効期間ヲ統一シ四月一日ヨリ實施ス
- 同 香港郵政廳ノ媒介ニ依リ「サモア」英領「ソロモン」群島「ギルバート」及「エリス」群島並「トンガ」ノ各英領地ト通常爲替ノ交換ヲ開始ス

- 同 中米古西多利加及「サルヴァドール」トハ墨西哥郵政廳ノ媒介ニ依リ爲替ヲ交換スルコトトナリ居タルモ墨西哥ニ於テ國際爲替交換ヲ停止シタル結果英國ノ媒介ニヨルコトトシ施行ス
- 七月 小樽ニ爲替貯金支局ヲ設ケ八月一日ヨリ貯金及振替貯金ニ關スル事務ヲ開始ス
- 同 郵便取立金ハ郵便爲替金トシテ計理スルコトニ改メ八月ヨリ施行ス
- 九月 英國郵政廳ノ媒介ニ依リ南「エクアドール」共和國ト通常爲替ノ交換ヲ開始ス
- 同 西班牙ト通常及電信爲替ノ直接交換又同國郵政廳ノ媒介ニ依リ在「モロツコ」西班牙郵便局ト通常爲替ノ交換ヲ開始シ十月一日ヨリ施行ス

大正六年

- 十一月 帝國占領南洋諸島ニ於テ十二月一日ヨリ電信爲替事務ヲ開始ス
- 十二月 日米郵便爲替約定ニ依リ米領「サモア」ト郵便爲替ノ交換又羅馬約定ニヨリ澳門、葡萄牙植民地ト通常及電信爲替ノ直接交換ヲ執レモ七年一月一日ヨリ開始ス

大正七年

- 四月 郵便爲替證書線引讓渡規則ヲ廢止シ、郵便官署手形交換所參加規則ヲ制定シ同時ニ郵便爲替規則及郵便振替貯金規則中手形交換所組合銀行トノ交換計算ニ關スル條項等ニ改正ヲ加ヘ五月一日ヨリ施行ス
- 八月 郵便官署國債募集取扱規則ヲ制定施行ス

大正八年

- 一月 埃及郵政廳ノ媒介ニ依リ在「パレスティン」英國郵便局ト通常爲替ノ交換ヲ開始ス
- 五月 官制及分課規程ニ改正ヲ加ヘ監理、業務、保險ノ各部ヲ廢止シ庶務外十五課ヲ置キ又支局ノ庶務課ヲ廢止シ貯金、振替貯金ノ二課ヲ置キ十五日ヨリ實施ス
- 六月 平和記念トシテ郵便切手貯金臺紙ヲ發行シ七月一日以降各郵便局ニ於テ貯金預ケ人ノ請求ニ依リ交付ス
- 同 金澤市ニ爲替貯金支局ヲ設置ス
- 八月 仙臺市ニ爲替貯金支局ヲ設置ス
- 同 國債募集、賣出及元利金支拂郵便振替貯金特別取扱規則及取扱規程ヲ制定施行スルト共ニ從來各種ノ國債證書及其ノ利札ハ證券貯金トシテ預入スルコトヲ得タルモ之ヲ廢止セリ

大正九年

- 一月 郵便爲替、外國郵便爲替、郵便貯金、振替貯金等ニ關スル各種料金ヲ改正シ四月一日ヨリ實施ス
- 四月 樺太、青島地方、南洋群島又ハ支那ヲ表示セル記號ヲ付シタル原簿ニ登記ノモノハ貯金利子ヲ年五分四毛ニ改正ス
- 五月 獨逸ト爲替ノ交換ヲ再開ス
- 六月 貯金規則ヲ改正施行ス、其ノ要旨ハ通帳二冊以上ヲ所持シ得ル場合ヲ明示シ、切手貯金ノ種類ヲ制限シ、利子記入請求ヲ任意トシタルコト等トス
- 同 郵便爲替規則ヲ改正シ證書制限金額ヲ高メ八月一日ヨリ施行ス
- 同 郵便切手貯金臺紙ニシテ切手印面一枚ヲ印刷シタルモノハ十四日限リ使用ヲ禁止ス
- 八月 郵便貯金法ヲ改正シ貯金總額ヲ貳千圓ニ高メ十月一日ヨリ實施ス
- 十月 逓信省官制ヲ改正シ貯金局ヲ置キ、爲替貯金局官制ヲ廢シ簡易保險事務ハ簡易保險局ノ所管ニ移ル而シテ貯金局ニ於ケル改定要點ハ高等官及判任官官名及分課規程等ノ改正ナリ
- 十一月 名古屋市ニ貯金支局ヲ設置ス

大正十年

- 一月 本邦比律賓群島間郵便爲替ハ從來米本國郵政廳ノ媒介ニ依リ交換ヲ爲シ來リシモ本邦ト同群島兩郵政廳間ニ郵便爲替約定ヲ締結シ三月一日ヨリ兩國間ニ郵便爲替直接交換ヲ實施ス
- 六月 貯金局吏員養成ノ爲メ本支局ニ講習所ヲ設置シ七月一日ヨリ實施ス
- 八月 長野市ニ貯金支局ヲ設置ス
- 同 西班牙馬德里締結郵便爲替業務約定實施ニ伴ヒ外國郵便爲替規則同取扱規程ヲ改正シ翌年一月一日ヨリ施行ス

大正十一年

- 二月 馬德里締結郵便振替業務約定實施ニ伴ヒ外國郵便振替規則ヲ制定ス
- 三月 會計規則ノ改正ニ伴ヒ郵便官署ニ於ケル各業入及歳出取扱規則同取扱規程ヲ改正シ四月一日ヨリ實施ス
- 四月 會計法規ノ改正ニ伴ヒ關係諸法規ヲ改正シ四月一日ヨリ實施ス
- 六月 大正十一年法律第十八號ニ依ル増加恩給等ノ増加金額支給規則同取扱規程ヲ制定實施ス
- 七月 爲替貯金等ノ執務時間ヲ改正ス
- 八月 据置貯金利子ノ割合ヲ年五分四毛ニ引上グ
- 十二月 在支本邦郵便局撤廢ニ伴ヒ十二月二十日限リ在支本邦郵便官署ヲ拂渡局所トスル郵便爲替ノ振出及外國郵便爲替ノ交換事務並郵便貯金拂戻證書、郵便振替貯金拂出證書及外國郵便爲替券ノ發行事務ヲ停止シ、在留邦人ニハ其ノ貯金ヲ海外貯金ニ組替ヲ爲スコトヲ得セシム

大正十二年

- 一月 日本帝國及支那共和國間郵便爲替交換ニ關スル約定締結ニ伴ヒ外國郵便爲替規則同取扱規程ヲ改正シ一月一日ヨリ實施ス
- 二月 郵便振替貯金ニ依ル債券募集、元利金支拂並貸付事務、集金郵便振替貯金拂込事務、外國郵便爲替事務ハ無集配三等郵便局ニ於テハ本月限リ取扱ハサルコトトス
- 同 郵便取立金ニ對スル通常爲替ノ受取人ノナシタル居宅請求ノ制ヲ廢止シ三月一日ヨリ實施ス
- 同 産業組合中央金庫法實施ニ伴ヒ郵便貯金法ニ改正ヲ加ヘ産業組合中央金庫ニ對シ預入金ノ金額制限ヲ適用セサルコトトス
- 四月 大阪、下關、福岡、仙臺及名古屋ノ各支局ニ於ケル庶務會計ヲ庶務課ニ改ム
- 五月 皇后陛下行啓アラセラル
- 八月 日支條約締結ニ伴ヒ爲替課ヲ内國外國兩爲替課ニ分割ス
- 九月 震災ノ爲局舎燒失セシニ付假事務所ヲ麻布區富士見町内閣統計局ニ設ク
- 同 震災ノ爲郵便切手在庫品燒失ニ付切手貯金ヲ當分ノ内停止ス
- 同 恩給法改正ニ伴ヒ恩給法附則ニヨル増額恩給更正規則同取扱規程ヲ制定シ翌十月一日ヨリ實施ス
- 十月 郵便貯金、郵便振替貯金、保管證券又ハ郵便爲替ニ關スル大正十二年九月一日現在ノ權利ニシテ之ヲ證明スヘキ郵便貯金通帳其ノ他ノ證據書類ヲ亡失シタルモノニ對シ其ノ權利ヲ申告スルノ途ヲ開キ翌月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 震災ノ爲郵便貯金、郵便爲替等ノ權利ノ申告ニ關スル勅令公布ニ伴ヒ臨時郵便貯金及郵便爲替確認規則ヲ制定シ十一月一日ヨリ之ヲ實施ス
- 十一月 年金恩給支給規則ヲ規定シ、郵便貯金證券保管及振替貯金臨時取扱規則ヲ制定シ震災ノ爲停止シタル本局所管爲替貯金各種業務ハ十一月二十六日ヨリ其ノ取扱ヲ復舊セリ
- 十二月 臨時分課規程ヲ定メ臨時確認、規則ニ依ル申告ノ確認、大正十二年九月一日以前交付ノ貯金通帳及證券保管通

- 帳ニ對スル受拂高確認並大正十二年九月一日以前ノ各種業務ノ整理事務ヲ掌理セシム
- 同 上記臨時分課規程制定ニ伴ヒ貯金局及同支局分課規程ヲ改正シ本局經理課及原簿課ヲ貯金課ニ改ム
- 同 京橋區本挽町ニ建築中ナリシ假廳舎落成ニ付移轉ス

大正十三年

- 四月 行賞賜金事務取扱廢止ノ結果貯金局賜金課規程ヲ廢止ス
- 同 震災前發行ニ係ル貯金本局所管通帳中行賞賜金ニ屬スルモノ及貯金本局所管ノ貯金通帳ニ附屬スル證券保管通帳ニ對シ預ケ人ノ任意ニ依リ確認ノ爲ニスル通帳提出ノ受付ヲ開始ス
- 五月 東京及神奈川縣内ノ一、二等郵便局ヲシテ集團臨時住宅、簡易宿泊所及工場ニ貯金契勵ノ爲メ郵便貯金ノ特別出張取扱ヲ爲シメ六月十日ヨリ實施ス
- 同 五月十日ヨリ當分ノ内貯金局構内郵便局ニ於テ確認通帳ノ所持者及大正十二年九月二日以降ノ新規預入者ニ對シ其ノ貯金ノ全部又ハ一部ノ局待拂ヲ取扱フコトトス
- 七月 爲替貯金等ノ執務時間ヲ改正ス
- 同 震災ノ爲停止中ナリシ額面二十圓以下ノ勸業債券ノ賣却事務ヲ復舊ス
- 九月 馬來半島「トレンガヌ」州ト香港郵政廳ノ媒介ニ依リ郵便爲替ノ交換ヲ開始ス
- 同 震災ノ爲停止中ナリシ貯蓄債券ノ賣却事務ヲ復舊シ同時ニ復興貯蓄債券ノ購入保管交付賣却事務ヲ取扱フ
- 十月 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「チエツコ、スロヴアキア」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 十一月 行政整理ノ爲メ在來ノ庶務課、規畫課、監督課ノ事務分合ヲ行ヒ之ヲ庶務課、業務課、經理課トナン内國爲替課及外國爲替課、第一貯金整理課及第二貯金整理課ヲ各併合シ講習所ヲ廢止ス
- 十一月 南洋廳ニ於テ外國郵便爲替事務ノ取扱ヲ開始ス

大正十四年

- 一月 郵便爲替及振替貯金ノ居宅拂制度ヲ廢止ス
- 二月 外國郵便爲替居宅拂制度ヲ廢止ス
- 同 「チエツコ、スロヴアキア」國ニ於テ英國郵政廳ノ媒介ニヨリ本邦向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 同 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「ブルガリヤ」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 三月 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「地地利國」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 四月 南洋廳所管郵便局ニ於テ年金恩給ノ支給事務ヲ開始ス
- 同 震災前ノ本局所管貯金通帳ニ對スル引上及即時拂等停止ノ件ヲ公布シ五月以降改印轉居等届出ノトキハ通帳ヲ提出スルコトトシ更ニ十月以降ハ之等ノ通帳ニ對スル特殊拂戻ヲ爲サルコトトス
- 同 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「阿弗利加洲」地方ト郵便爲替ノ交換ヲ開始ス
- 同 芬蘭國ト通常郵便爲替ノ直接交換ヲ開始ス
- 五月 勃爾瓦利國ニ於テハ英國郵政廳ノ媒介ニヨリ本邦向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 七月 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「ハンガリー」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 九月 震災ノ爲停止中ナリシ額面二十圓以下ノ勸業債券ノ購入保管事務ノ取扱ヲ開始ス
- 同 七十五圓以後發行ノ額面二十圓以下ノ勸業債券ノ交付事務ヲ開始ス
- 同 「ストックホルム」締結郵便爲替約定及郵便振替約定並同約定施行規則ヲ公布ス
- 十月 復興貯蓄債券ノ募集事務ヲ無集配三等局ニ於テモ取扱ハシム
- 十一月 郵便貯金創業滿五十周年ニ際シ多年郵便貯金獎勵ニ盡瘁シタル部内者及部外功勞者ヲ表彰ス

大正十五年
昭和元年

- 四月 資本利子税法制定=伴ヒ關係法規類ヲ改正シ資本利子税免稅=關スル取扱方ヲ制定施行ス
- 同 英國郵政廳ノ媒介=ヨリ「エストニア」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 九月 郵便取扱所爲替貯金取扱規程ヲ制定ス

昭和二年

- 三月 英國郵政廳ノ媒介=ヨリ「ラトヴィア」國「リシアニア」國及「ルクセンプルグ」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 四月 勤儉獎勵婦人團體ノ主唱=係ル愛國貯金(六ヶ年据置ノ郵便貯金)=對シ通帳表面=「愛國貯金マーク」ヲ添付スルコトトセリ
- 五月 金鷄勳章年金令中改正ノ結果功五級以下ノ年額ヲ増加セラレ又旭日章年金=於テモ勳 等以下ノ年額ヲ増加セラレタルヲ以テ省令第十五號ヲ以テ之カ増額年金更正規則ヲ制定シ新證書交付方法等ヲ定メタリ
- 七月 郵便貯金規則中ヲ改正ス其ノ要旨ハ從來郵便貯金ハ預入ノ月及拂戻ノ月=利子ヲ附セザリシモ十五日以前=預入シタルモノ=對シテハ預入ノ月ヨリ利子ヲ附スルコト=改正シ七月一日ヨリ施行ス
- 十月 「ラトヴィア」國=於テハ英國郵政廳ノ媒介=依リ本邦向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 十二月 郵便貯金規則中ヲ改正シ集金ノ方法=依ル月掛貯金制度ヲ創設シ昭和三年二月一日ヨリ實施ス

昭和三年

- 二月 恩給受給權消滅並年金支給廢止ノ場合=於ケル給與金=付テハ支給期月及期日=拘ラス支給スヘキ明文ヲ設ケルノ要ヲ認メ規則=相當改正ヲ加ヘ二月一日ヨリ實施セリ
- 四月 外國電信爲替ノ爲替電報=後廻電報利用ノ途ヲ開ク
- 九月 御大禮記念ノ爲新規預入スル規約貯金、据置貯金及月掛貯金=對シ通帳表面=「大禮記念マーク」ヲ添付スルコトトセリ
- 十月 御大禮休日=於テハ一般=爲替貯金等ノ現金受拂事務ヲ取扱ハサルコトトシ所轄逓信局長=於テ必要ト認メタル場合ハ局前=揭示ノ上其ノ取扱ヲ爲ス旨告示セリ
- 十二月 支出官ノ再發行=係ル歳出金支拂通知書=對スル拂渡方ヲ新=規定シ十二月二十四日ヨリ實施セリ

昭和四年

- 一月 「ルーマニア」國トノ郵便爲替ノ交換ヲ停止ス
- 同 貯金規則及同取扱規程ヲ改正シ公共團體、社寺、學校等ノ貯金拂戻=拾錢未滿壹錢以上ノ端數ヲ認ムルコトトシ二月一日ヨリ施行ス
- 同 臨時郵便貯金及郵便爲替確認規則並同規程ヲ改正シ證券保管通帳ノ一般ノ檢査請求ヲ受理スルコト=復舊シ一月二十八日ヨリ施行セリ
- 三月 貯金規則及同取扱規程ヲ改正シ据置貯金ノ据置期間ノ延伸ヲ認ムルト共=特別通帳ヲ廢シ一般通帳ヲ使用スルコト=改メ四月一日ヨリ施行ス
- 七月 貯金局及同支局分課規程ヲ改正シ本局貯金課ヲ第一貯金課、第二貯金課=分割シ七月二日ヨリ實施セリ
- 八月 「ヴァテイカン」ハ萬國郵便聯合爲替約定及振替約定等=加入セリ
- 九月 皇太神宮遷御ノ休日=於テハ一般=爲替貯金等ノ現金受拂事務ヲ取扱ハサルコトトシ所轄逓信局長=於テ必要ト認メタル場合ハ局前=揭示ノ上其ノ取扱ヲ爲ス旨告示セリ
- 十二月 据置貯金預ケ人ヨリ其ノ貯金ヲ國債償還資金獻納出願ノ理由=依リ期間内拂戻ノ請求アリタルトキハ特=之カ拂戻方ヲ認可スルコトトセリ
- 同 「イエメン」國ハ萬國郵便聯合爲替約定等=加入セリ

昭和五年

- 二月 「ヴァテイカン」ト郵便爲替ノ直接交換ヲ開始ス
- 三月 徳島市=貯金支局ヲ設置ス
- 同 集金郵便振替貯金拂込規則ヲ改正シ集金書中=加入者ノ住所ヲモ印刷セシメ取立不能ノ場合ハ直接加入者=返送スルコトトシ本月三十一日ヨリ實施ス
- 六月 倫敦締結郵便爲替約定及同郵便振替約定ヲ公布ス
- 同 英國郵政廳ノ媒介=依リ「ペルー」國及「ポーランド」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 七月 聯合ノ爲替ノ約定及中華民國トノ爲替約定=依ル爲替券ノ有効期間ヲ定ム
- 九月 勅令第八十二號ヲ以テ郵便貯金利子割合ノ件ヲ改正シ普通貯金ハ年四分二厘、据置及月掛貯金ハ年四分四厘四毛トシ十月一日ヨリ實施ス

昭和六年

- 二月 麻布區飯倉町=新築中ノ貯金局廳舎落成=付二月二十日移轉ス
- 三月 外國郵便振替規則及同取扱規程ヲ定メ四月一日ヨリ逸逸、瑞西、白耳義、瑞典、和蘭、丁抹及「ダンチツヒ」自由市ト、五月一日ヨリ佛蘭西及「アルジェリー」ト振替ノ交換ヲ開始ス
- 同 振替貯金規則ヲ改正シ在外居住者ノ振替貯金加入ヲ認ムルコトトシ四月一日ヨリ實施ス
- 同 郵便貯金規則ヲ改正シ局所外預入ノ取扱ヲ四月一日限り廢止ス
- 四月 郵便爲替規則、貯金規則及振替貯金規則ヲ改正シ各種證書ノ九十日ノ特別有効期間ヲ廢止シ且樺太=對スル冬季不算入期間ヲ削除ス
- 六月 各廳歳入金及同歳出金規則ヲ改正シ煙草專賣官署ノ收入金ヲ各廳歳入金トシテ郵便局=於テ受入ルルコトトシ七月一日ヨリ實施ス
- 七月 英國ノ媒介=依リ「ユーゴスラヴィア」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 同 郵便爲替規則ヲ改正シ布米通常爲替ハ振替貯金ノ利用=依リ其ノ必要ナキニ到リタルヲ以テ七月三十一日限り廢止ス
- 九月 日本勸業銀行法中改正ヲ加ヘラレ貯金局カ從來日本銀行=保管ヲ託シタル日本勸業銀行關係證券ハ九月七日全部同行ヘ移管セリ
- 同 「ユーゴスラヴィア」國ハ英國ノ媒介=依リ本邦向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 十月 爲替相場不安定等ノ爲昭和六年十月ヨリ同七年九月迄一年間=外國郵便爲替ノ振出ヲ制限 又ハ停止シタル國「ハンガリー」、埃地利、希臘、「チリ」、諾威、獨逸、「ユーゴスラヴィア」、「ポルトガル」領「ギニア」、「アルゼンティン」ノ九國ヲ算ス
- 十二月 金輸出禁止=伴フ邦貨暴落ノ結果トシテ海外多額送金ノ激増スルヲ防グ爲外國郵便爲替=振出制限ヲ設ク

昭和七年

- 七月 資本逃避防止法ノ施行=伴ヒ從前ノ外國郵便爲替ノ振出制限ノ範圍ヲ擴張シ更=外國郵便振替ノ拂出=制限ヲ設ク
- 同 獨逸國及蘭領東印度ト交換スル電信爲替=無線電信ヲ又蘭領東印度ト交換スル電信爲替=書信電報ヲ利用シ得ルコトトス
- 七月 昭和七年法律第十三號=依ル恩給更生規則及同取扱規程ヲ制定シ八月一日ヨリ施行ス
- 八月 勅令第二百二十七號ヲ以テ郵便貯金利子割合ノ件ヲ改正シ普通貯金ハ年三分、据置及月掛貯金ハ年三分二厘四毛、振替貯金ハ年二分四厘トシ十月一日ヨリ施行ス

- 九月 外國電信爲替ノ拂渡事務ヲ外國郵便爲替交換局又ハ外國電信爲替局ノ存スル市ニ於ケル他ノ外國郵便爲替取扱局ニモ取扱ハシムルコトトシ十月一日ヨリ施行ス
- 十月 勅令第三百六號ヲ以テ新ニ東京市ニ編入セラレタル地域ニアル郵便官署ハ當分ノ内該地域トニ於テ支拂ヲ要スル各廳歳出金ノ繰替拂渡ニ關スル事務ヲ編入前ノ例ニ依リ取扱フコトトシ十月五日ヨリ施行ス
- 十二月 「サルヴァドル」國ハ萬國郵便聯合爲替約定ニ加入セリ

昭和八年

- 三月 米國金融恐慌ノ影響ヲ受ケ米國ハ本月七日ヨリ本邦向爲替ノ振出ヲ「カナダ」ハ同六日ヨリ本邦トノ爲替交換ヲ停止シタルカ米國ハ同十六日ヨリ「カナダ」ハ四月七日ヨリ之ヲ再開セリ
- 同 三陸地方ノ震災ニ因リ亡失、毀損、汚斑ノ爲替證書、貯金通帳、證券保管通帳、貯金拂戻證書、振替貯金拂出證書ニ對シ五月三十一日迄再度通帳及再度證書ノ請求料金を免除スルコトトセリ
- 五月 本月一日ヨリ「ポーランド」國ト通常郵便爲替ノ直接交換ヲ開始ス
- 同 本月三十日省令第二六號ヲ以テ滿洲駐屯部隊ノ軍人軍屬ニ宛テタル爲替證書、貯金拂戻證書及振替貯金拂出證書ニシテ關東廳管内郵便局所ニ於テ拂渡スルモノハ當分ノ内有効期間ヲ證書發行ノ日ヨリ百二十日トセリ
- 七月 本月一日ヨリ「チェコスロヴァキア」國ト外國郵便振替ノ交換ヲ開始ス
- 十月 瑞西及「リヒテンスタイン」ト交換スル電信爲替ニ無線電信ヲ使用スルコトトシ十一月一日ヨリ之ヲ實施スルコトトセリ
- 十一月 「カナダ」振出滿洲國宛爲替ノ媒介ニ任スルコトトナレリ

昭和九年

- 四月 「チェッコ、スロヴァキア」トハ從來英國ノ媒介ニ依リ爲替ヲ交換シ來リタル處四月一日ヨリ聯合約定ニ依リ郵便爲替ノ直接交換ヲ開始ス
- 五月 北海道廳及府縣(東京府ニ在リテハ警視廳)ニ於テ收納スル健康保險ニ關スル諸收入金ヲ郵便官署ニ於テ取扱フコトトシ各廳歳入金及歳出金取扱規則及同取扱規程ヲ改正五月二十五日ヨリ實施ス
- 七月 日本國及滿洲國間小爲替交換ニ關スル約定ヲ公布シ八月一日ヨリ兩國間ニ小爲替業務ヲ開始ス
- 九月 九月二十一日ニ於ケル近畿、中國及四國地方ノ風水害ニ因リ亡失、毀損若ハ汚斑シタル爲替證書、貯金通帳、證券保管通帳、貯金拂戻證書、振替貯金拂出證書ニ對シ十一月三十日迄再度通帳及再度證書ノ請求料金を免除スルコトトシ省令第六二號ヲ以テ公布シ九月二十七日ヨリ施行ス
- 十月 英國郵政廳ノ媒介ニ依リ希臘ト郵便爲替ノ交換ヲ再開ス
- 十二月 「カイロ」締結郵便爲替約定及郵便振替約定ヲ公布シ昭和十年一月一日ヨリ實施ス
- 同 「エジプト」ト交換スル電信爲替ニ無線電信ヲ使用スルコトヲ協定シ昭和十年一月一日ヨリ實施ス
- 同 貯金預ケ人所持ニ係ル證券ノ保管ハ大正十二年震災以來停止中ノ處各種內國債證券ニ限リ之ヲ取扱フ再開ノコトトシ昭和十年一月十五日ヨリ施行ス
- 同 郵便貯金規則及同取扱規程ヲ改正ス其ノ要旨ハ證券保管通帳(行賞ニ依ル特別保管通帳ヲ除ク)ヲ廢シテ單票式ノ證券保管證ニ改メ證券ノ購入、保管、賣却ノ料金を均一ニシ公共團體、神社ヨリ其ノ所有證券保管ノ場合料金を徴收スルコトトシ尙貯金預入申込書ニハ預入者職業ノ記載ヲ要セサルコトニ改メ昭和十年一月十五日ヨリ施行ス

第一章 郵便爲替業務ニ關スル施設

Section 1. Institutions for Postal Money Order

郵便爲替業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

「チェッコ、スロヴァキア」ト郵便爲替ノ直接交換開始 「チェッコ、スロヴァキア」トノ爲替ハ從來英國ノ媒介ニ依リ交換シ來リタル處聯合約定ニ依リ直接交換ヲ開始スルコトニ協定成リ最高額ヲ三千佛貨「フラン」ト定メ四月一日ヨリ實施スルコトトセリ

日滿小爲替業務開始 日本國及滿洲國小爲替交換ニ關スル約定公布セラレ八月一日ヨリ兩國間ニ小爲替業務ヲ開始ス 再度證書請求料金を免除 昭和九年九月二十七日省令第六二號ヲ以テ同月二十一日ニ於ケル近畿中國及四國地方ノ風水害ニ因リ亡失、毀損若ハ汚斑シタル爲替證書ニ對シ十一月三十日迄再度證書ノ請求料金を免除セリ

希臘ト郵便爲替交換再開 英國郵政廳ノ媒介ニ依リ十一月三十日ヨリ希臘ト郵便爲替ノ交換ヲ再開ス

「カイロ」締結郵便爲替約定ノ公布及實施ニ伴フ諸法規ノ改正 千九百三十四年三月「カイロ」ニ於テ締結セラレタル郵便爲替約定及同施行規則ヲ昭和九年十二月二十六日公布シ同時ニ外國郵便爲替關係國內諸法規類ノ改正ヲ行ヒ昭和十年一月一日ヨリ實施セリ新約定及外國郵便爲替規則改正ノ要點ヲ舉クレハ下記ノ如シ

一、郵便爲替約定

- (イ) 爲替證書ノ有効期間ハ從來遠國トノ關係ニ於テ振出ノ月ノ翌月末日ヨリ四月ヲ延長シタル處振出ノ月ノ翌月末日ヨリ六月ヲ延長スルコトトセリ
- (ロ) 連続爲替ニ關スル取調請求料金を爲替一口毎ニ徴收スルコトトセリ
- (ハ) 取調請求ノ内賠償金ノ請求ヲ目的トセサル單ナル通報ノ請求ヲ認メ該請求カ爲替振出後二年内ニ相手郵政廳ニ到着スル見込アル期間内ハ之ヲ受理スルコトトセリ
- (ニ) 郵便旅行小爲替業務ヲ創設シ之ニ關スル規定ヲ本約定ノ追加書トセリ

二、外國郵便爲替規則

- (イ) 爲替證書ノ別配達料ヲ四十錢ヨリ二十八錢ニ引下ケタルコト
- (ロ) 爲替差出ノ際請求スル拂渡通知ノ料金十六錢ヲ十錢ニ、差出後請求スル拂渡通知、著否取調、日附認證及拂渡認可書ノ料金三十二錢ヲ二十錢ニ夫々引下ケタルコト
- (ハ) 聯合約定又ハ中華民國トノ約定ニ依ル爲替ノ著否取調請求期間ヲ爲替差出ノ日ヨリ一年トシ單ナル通報ノ請求ニ付テハ之ニ關スル照會カ爲替振出後二年内ニ拂渡國郵政廳ニ到着スル見込アル期間内ニ於テ受理スルコトトシ尙之ニ伴ヒ其ノ他ノ條約ニ依ル爲替ノ著否取調及拂渡濟否取調ノ請求期間ヲ右ノ單ナル通報ノ請求期間ト一致セシメタルコト
- (ニ) 連続爲替ノ著否取調又ハ拂渡濟否取調ノ料金を爲替一口毎ニ徴收スルコトトシタルコト
- (ホ) 留置爲替ニ對スル保管料ヲ廢止シタルコト

萬國郵便聯合爲替約定加入五十周年記念 聯合爲替約定加入五十周年ニ付昭和十年三月二十一日ノカ記念祝典ヲ開催シ尙同日ヨリ四日間外國郵便爲替交換局ニ於テ記念日附印ヲ使用セシメタル外記念繪葉書及世界地圖等ヲ發行シ廣ク關係ノ向ニ配付シタリ

郵便爲替受拂高

Number and Amount of Postal Money Orders Issued and Paid

種 別 Description	内 國 爲 替 Domestic Money Order		外 國 爲 替 International Money Order		合 計 Total		
	振 出 Issued	拂 渡 Paid	振 出 Issued	拂 渡 Paid	振 出 Issued	拂 渡 Paid	
九 年 度 1934-35	口 No. 數	42,446,683	42,403,465	64,124	291,037	42,510,807	42,694,502
	金 額 (円) Amount (En)	948,632,069	948,247,224	2,409,355	8,666,740	951,041,424	956,913,964
八 年 度 1933-34	口 No. 數	39,728,249	39,655,886	44,675	171,410	39,772,924	39,827,296
	金 額 (円) Amount (En)	880,047,559	878,903,184	1,843,846	5,716,170	881,891,405	884,619,354
七 年 度 1932-33	口 No. 數	37,607,642	37,577,591	39,167	107,339	37,646,809	37,684,930
	金 額 (円) Amount (En)	824,157,339	823,476,749	1,562,547	4,992,594	825,719,886	828,469,343
六 年 度 1931-32	口 No. 數	36,070,000	36,065,846	59,809	90,488	36,129,809	36,156,334
	金 額 (円) Amount (En)	783,692,189	783,917,340	2,320,684	3,722,529	786,012,873	787,639,869
五 年 度 1930-31	口 No. 數	36,326,612	36,366,340	70,240	109,828	36,396,852	36,476,168
	金 額 (円) Amount (En)	830,988,397	832,410,281	2,499,775	4,580,734	833,488,172	836,991,015
四 年 度 1929-30	口 No. 數	38,193,070	38,198,215	67,688	126,939	38,260,758	38,325,154
	金 額 (円) Amount (En)	963,460,800	963,792,783	2,708,948	5,788,487	966,169,748	969,581,270
三 年 度 1928-29	口 No. 數	37,832,737	37,888,967	62,646	141,490	37,895,383	38,030,457
	金 額 (円) Amount (En)	983,599,605	933,256,676	2,560,092	6,317,066	986,159,697	989,573,742
二 年 度 1927-28	口 No. 數	36,692,523	36,592,913	57,721	141,585	36,750,244	36,734,498
	金 額 (円) Amount (En)	989,907,263	990,298,211	2,455,520	6,769,577	992,362,783	997,067,788
元 年 度 1926-27	口 No. 數	35,180,467	35,112,844	58,065	140,731	35,238,532	35,253,575
	金 額 (円) Amount (En)	933,491,219	933,440,989	2,516,306	6,600,175	936,007,525	940,041,164
大 正 十 四 年 度 1925-26	口 No. 數	34,762,956	34,717,308	44,886	140,578	34,807,842	34,857,886
	金 額 (円) Amount (En)	949,365,449	949,827,965	2,176,154	7,104,474	951,541,603	956,932,439

第二章 郵便貯金業務ニ關スル施設

Section 2. Institutions for Postal Savings

郵便貯金業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

再度通帳等請求料金ノ免除 昭和九年九月二十七日省令第六二號ヲ以テ同月二十一日近畿、中國及四國地方ノ風水害ニ因リ亡失、毀損若ハ汚斑シタル貯金通帳、貯金拂戻證書等ニ對シ十一月三十日迄再度通帳又ハ再度證書ノ請求料金ヲ免除セリ

郵便貯金原簿所管廳ノ増設 昭和十年一月熊本市ニ貯金支局設置セラレタルヲ以テ同支局ヲシテ三月一日ヨリ從來福岡貯金支局ノ受持タリシ熊本、沖繩兩縣ノ貯金預ケ人原簿ヲ管理センメ貯金預ケ人ノ便益ニ寄與セリ

郵 便 貯 金
Postal Savings

種 別 Description	昭 和 九 年 度 1934-35			八 年 度	七 年 度
	内 地 局 Inland Offices	在 中 華 民 國 局 Offices in Middle Republic	合 計 Total	1933-34	1932-33
新 規 預 入 人 員 No. of Accounts Opened	5,612,115	1	5,612,116	5,336,365	4,817,954
全 額 拂 戻 人 員 No. of Accounts Closed	4,034,164	1,784	4,035,948	3,967,605	4,288,845
年 度 末 現 在 預 ケ 入 No. of Accounts remaining open at the End of the Fiscal Year	37,755,669	2,570	37,758,239	36,189,771	34,821,640
預 入 口 數 No. of Deposits	122,281,775	2,706	122,284,481	115,093,756	105,922,139
拂 戻 口 數 No. of Withdrawals	44,327,567	3,108	44,330,675	40,854,223	40,259,308
預 入 金 額 Amount of Deposits	1,880,176,647	70,949	1,880,247,596	1,799,540,704	1,809,487,983
拂 戻 金 額 Amount of Withdrawals	1,750,771,520	85,921	1,750,857,441	1,662,789,905	1,853,300,470
年 度 末 現 在 貯 金 額 Amount standins to the credit of all open accounts at the End of the Fiscal Year	2,929,687,918	209,194	2,929,897,112	2,801,078,357	2,664,872,940
平 均 一 人 貯 金 額 Average amount one of depositor	77.60	81.40	77.60	77.40	76.53

尙本年度中ニ於ケル預拂ノ狀況ヲ地方別ニ依リ示セハ次ノ如シ
The Postal savings transaction in the Present Year is as follows according to prefectures.

預 拂 及 現 況 表
Transactions

六 年 度 1931-32	五 年 度 1930-31	四 年 度 1929-30	三 年 度 1928-29	二 年 度 1927-28	元 年 度 1926-27	大 正 十 四 年 度 1925-26
4,595,230	4,325,963	4,589,115	4,769,327	4,673,023	3,488,859	3,712,020
3,909,829	4,077,160	3,190,683	2,868,897	2,770,247	2,722,765	2,595,449
34,279,844	31,537,980	33,319,632	31,895,042	29,942,813	27,953,509	27,126,269
103,636,697	103,585,074	105,113,127	98,086,896	89,286,623	80,606,107	82,975,438
36,233,397	33,390,480	29,057,373	26,257,150	24,413,846	21,138,380	20,550,790
1,794,312,581	1,691,299,098	1,540,235,665	1,335,949,165	1,465,724,118	847,084,582	815,856,027
1,435,520,254	1,392,471,604	1,206,989,335	1,111,137,106	1,089,351,272	759,450,223	784,526,727
2,709,181,810	2,100,695,455	2,111,443,700	1,786,221,726	1,567,577,745	1,196,643,485	1,113,103,751
79.93	71.47	63.37	56.00	52.35	42.80	41.03

郵便貯金地方別

Postal Savings Transactions by Prefectures

昭和九年度
1934-35

通信局 Direction of Commu- nications	地 Prefectures under Jurisdiction	新規預入人員 No. of Accounts Opened	全額拂戻人員 No. of Accounts Closed	預入口数 No. of Deposits	拂戻口数 No. of Withdrawals	預入金額 Amount of Deposits	拂戻金額 Amount of Withdrawals	
札幌 Sapporo	北海道 Hokkaido	235,780	159,016	5,132,489	1,890,657	79,839,712	75,428,799	
	青森 Aomori	53,047	39,888	1,356,674	507,236	23,308,287	21,865,394	
	岩手 Iwate	57,371	33,134	1,231,918	531,502	23,149,966	22,013,987	
	宮城 Miyagi	66,275	72,123	1,466,141	591,378	16,610,650	16,834,236	
	秋田 Akita	50,933	38,566	1,215,425	422,369	10,250,315	9,593,290	
	仙臺 Sendai	山形 Yamagata	57,438	47,575	1,663,132	435,214	10,461,537	10,837,138
	福島 Fukushima	93,453	69,643	2,134,485	837,751	38,251,705	37,779,092	
	新潟 Niigata	77,614	64,787	1,835,407	572,523	18,332,258	17,998,284	
	計 Total	461,131	365,716	10,903,182	3,897,973	140,364,718	136,926,421	
	茨城 Ibaraki	80,943	56,072	1,791,310	621,410	24,439,420	23,133,630	
	栃木 Totigi	63,993	42,214	1,348,879	555,799	25,503,765	24,378,195	
	群馬 Gunma	72,858	47,566	1,546,647	483,320	17,707,230	16,912,246	
	埼玉 Saitama	64,736	40,431	1,334,825	516,784	25,278,800	24,378,168	
千葉 Chiba	92,742	63,259	2,265,758	701,169	29,274,257	27,481,437		
東京 Tokyo	東京 Tokyo	756,346	472,402	14,603,226	7,247,633	297,601,185	280,404,470	
神奈川 Kanagawa	171,943	102,742	3,805,674	1,441,547	63,417,897	53,561,380		
山梨 Yamanashi	38,748	23,853	855,522	289,612	11,167,337	10,922,455		
静岡 Shizuoka	149,681	86,373	4,308,468	953,091	33,942,761	30,573,475		
計 Total	1,191,990	934,912	31,860,309	12,815,415	528,332,652	496,745,456		
富山 Toyama	49,870	38,501	998,811	308,354	12,207,858	11,047,160		
石川 Ishikawa	56,358	43,108	1,322,645	407,682	18,265,823	16,688,727		
福井 Fukui	53,661	43,990	1,317,972	331,576	20,146,602	18,028,867		
長野 Nagano	139,100	95,258	3,542,920	1,092,991	38,932,813	37,494,081		
名古屋 Nagoya	岐阜 Gifu	88,132	65,099	2,204,558	726,147	35,923,587	34,981,437	
愛知 Aichi	272,011	169,437	6,427,492	2,200,064	125,034,596	118,159,167		
三重 Mie	100,029	81,028	2,844,647	731,119	34,350,338	33,415,686		
計 Total	759,161	536,421	18,659,048	5,797,933	284,861,617	269,715,125		

郵便貯金地方別 (續)

Postal Savings Transactions by Prefectures (Continued)

昭和九年度
1934-35

通信局 Direction of Commu- nications	地 Prefectures under Jurisdiction	新規預入人員 No. of Accounts Opened	全額拂戻人員 No. of Accounts Closed	預入口数 No. of Deposits	拂戻口数 No. of Withdrawals	預入金額 Amount of Deposits	拂戻金額 Amount of Withdrawals
大阪 Osaka	澁賀 Siga	49,033	53,867	1,528,209	384,235	16,097,251	15,913,494
	京都 Kyoto	216,030	177,372	4,306,464	1,602,544	74,620,679	67,667,518
	大阪 Osaka	560,841	401,949	8,630,259	3,865,116	167,930,587	148,598,868
	兵庫 Hyogo	300,381	227,420	5,644,435	2,228,349	107,285,040	94,759,800
	奈良 Nara	60,816	58,436	1,626,346	422,672	18,828,856	18,547,328
	和歌山 Wakayama	83,253	61,523	1,776,749	621,434	39,880,887	37,441,123
	徳島 Tokushima	51,355	41,961	1,116,222	387,069	18,845,284	13,593,622
	高知 Kochi	47,097	35,221	1,177,472	319,121	14,031,998	12,582,658
	計 Total	1,368,806	1,037,749	25,806,156	9,830,540	457,520,582	414,104,411
	鳥取 Tottori	33,948	23,475	763,378	215,009	7,912,750	7,129,841
	島根 Simane	40,711	41,654	1,230,136	304,936	9,229,642	8,702,650
	岡山 Okayama	103,582	74,978	2,536,892	624,586	25,285,213	22,952,066
	広島 Hirosima	184,468	142,143	5,488,915	1,446,535	55,617,264	51,133,670
	山口 Yamaguchi	101,496	77,817	2,460,510	811,828	31,735,052	29,257,512
香川 Kagawa	57,266	49,780	1,443,514	407,518	17,126,296	16,019,720	
愛媛 Ehime	70,250	50,824	1,603,959	441,014	17,049,978	15,141,522	
計 Total	591,721	460,671	15,527,304	4,251,426	161,956,198	150,336,981	
福岡 Fukuoka	237,952	179,715	5,025,170	2,103,817	77,531,116	72,567,981	
佐賀 Saga	49,326	42,299	1,259,286	410,649	11,715,189	13,482,620	
長崎 Nagasaki	101,182	71,043	1,935,660	805,516	30,427,647	27,488,677	
熊本 Kumamoto	82,556	58,910	1,696,520	745,087	34,939,080	32,621,321	
大分 Oita	59,483	41,490	1,220,508	506,557	22,815,304	20,845,664	
宮崎 Miyazaki	57,332	31,215	973,145	403,874	16,511,632	14,714,732	
鹿児島 Kagoshima	88,129	75,965	1,962,896	708,712	23,386,588	21,149,144	
沖縄 Okinawa	27,566	19,042	270,105	154,411	4,974,565	4,644,188	
計 Total	703,526	519,679	14,393,290	5,843,623	225,301,171	207,514,327	
合 Total	5,612,115	4,034,164	122,281,775	44,327,567	1,880,176,647	1,750,771,520	
在中華民國局所 Offices in Middle Republic		1	1,784	2,706	3,108	70,949	85,921
總 Grand Total	計	5,612,116	4,035,948	122,284,481	44,330,675	1,880,247,596	1,750,857,441

本表ノ外野戰郵便局ニ於テ交付シタル貯金通帳ニ對スルモノ及海外在留本邦人ノ貯金等ヲ示セバ次ノ如シ

In addition to the list, the savings entered in the pass bonds issued at the Field Post Office and those belonged of Japanese abroad are as follows:—

種 別	新規預入人員 No. of Accounts opened	全額拂戻人員 No. of Accounts closed	預入口數 No. of Deposits	拂戻口數 No. Withdrawals	預入金額 Amount of Deposits	拂戻金額 Amount of withdrawals
明治二十七八年戰役行賞賜金郵便貯金 Postal Savings granted for rewards in connection with the war. of 27 th and 28 th year of Meiji	-	16	112	138	6,522	5,017
明治三十七八年戰役軍事郵便貯金 Field Post Office Savings in the war of 37 th and 38 th year of Meiji.	-	5	-	-	21	148
大正三四年戰役野戰郵便貯金 Field Post Office Savings in the war of 3 rd and 4 th year of Taisyo.	1	2,181	2,369	3,759	50,902	53,002
同戰地特別郵便貯金 Special Postal Savings deposited at the front in the said war.	-	-	-	-	-	-
同行賞賜金郵便貯金 Postal Savings granted for rewards in connection with the said war.	-	1,453	59,230	41,124	2,702,291	2,734,880
大正四年乃至九年西比利亞野戰郵便貯金 Field Post Office Savings in Siberia in the war of 4 th -9 th year of Taisyo.	-	1,053	103	2,058	4,273	7,514
同戰地特別郵便貯金 Special Postal Savings deposited at the front in the said war.	-	-	-	-	-	-
濟南事件野戰郵便貯金 Field Post Office Savings in the Tsinan Trouble	-	251	3,346	1,307	35,505	29,950
上海事變海軍軍用郵便所貯金 Naval Post Office Savings at the Shanghai Incident	1,548	1,294	16,519	8,457	208,211	199,802
海外在留本邦人特別郵便貯金 Special Postal Savings of Japanese abroad	6	23	664	295	21,247	12,004
臺 Formosa 滬	79,993	47,654	1,563,169	693,839	23,158,706	21,100,539
樺 Saghalien 太	24,381	13,132	437,607	194,977	10,539,297	9,950,988
朝 Koréa 鮮	635,780	323,250	9,654,636	2,596,837	115,657,146	108,302,545
關東州及滿鐵附屬地 Kwantung and the Attached Zone of the Manchurian Railway	124,871	49,720	1,643,348	697,885	43,212,762	37,609,326
南 South Seas 洋	4,318	1,247	49,927	23,924	2,006,265	1,931,292
持 Special 殊	-	-	19,298	15,398	1,247,689	1,037,704
合 Total 計	870,898	441,279	13,445,738	4,289,004	198,850,837	182,974,702

第三章 證券業務ニ關スル施設

Section 3. Institutions for public Bonds

證券業務ニ關シ本年度中ニ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

證券所持保管事務一部復舊 貯金預ケ人ノ所持ニ係ル證券ノ保管ハ大正十二年關東地方大震災以後停止中ナリシ處各
種内國債證券ニ限リ昭和十年一月十五日ヨリ之ヲ取扱ヲ再開セリ

保管證券
Custody of Public Bonds

種 別	人 員	枚 數	金 額
Description	Number	No. of Bonds	Amount
昭和九年度末 March 31, 1935	723,429	3,694,928	68,828,430
八年度末 March 31, 1934	752,481	3,871,464	68,829,915
七年度末 March 31, 1933	790,710	4,105,010	72,578,695
六年度末 March 31, 1932	834,046	4,345,123	74,853,795
五年度末 March 31, 1931	877,233	4,592,233	77,809,370
四年度末 March 31, 1930	946,351	4,878,044	82,076,165
三年度末 March 31, 1929	989,705	5,140,678	89,186,830
二年度末 March 31, 1928	1,034,548	5,425,503	96,776,725
元年度末 March 31, 1927	1,093,622	5,805,743	109,638,720
大正十四年度末 March 31, 1926	1,207,991	6,454,265	120,078,085

備考 本計數中ニハ轉記受拂ノ人員、枚數、金額ヲ包含セズ
Note: Figures for transfer of accounts and number and amount of bonds are not given in this table.

第四章 國庫金業務ニ關スル施設

Section 4. Institutions for transacting service of

Treasury receipts and discharges

國庫金業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

健康保險歳入金ノ取扱 健康保險特別會計ノ歳入金ヲ各廳歳入金ノ受入ト同様郵便官署ニ於テ取扱フヲ適當ト認メ昭和九年五月省令第四八號ヲ以テ關係規定ヲ改正シ同月二十五日ヨリ施行セリ

事項	内容
健康保險歳入金ノ取扱	健康保險特別會計ノ歳入金ヲ各廳歳入金ノ受入ト同様郵便官署ニ於テ取扱フヲ適當ト認メ昭和九年五月省令第四八號ヲ以テ關係規定ヲ改正シ同月二十五日ヨリ施行セリ

第五章 郵便振替貯金業務ニ關スル施設

Section 5. Institutions for Postal Check and Transfer

郵便振替貯金業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

「カイロ」締結郵便振替約定ノ公布及實施ニ伴フ諸法規ノ改正 千九百三十四年三月「カイロ」ニ於テ締結セラレタル郵便振替約定及同施行規則ヲ昭和九年十二月二十六日公布シ同時ニ外國郵便振替關係國內諸法規類ノ改正ヲ行ヒ昭和十年一月一日ヨリ實施セリ新約定及外國郵便振替規則ノ改正ノ要點ヲ擧クレハ下記ノ如シ

一、郵便振替約定

(イ) 電信振替ノ制定ヲ創設シ之ニ關スル詳細ノ規定ヲ設ケタルコト

(ロ) 取調請求ノ内賠償金ノ請求ヲ目的トセサル單ナル通報ノ請求ヲ認メ該請求カ振替請求ノ日ヨリ二年内ニ相手郵政廳ニ到着スル見込アル期間内ハ之ヲ受理スルコトトセリ

二、外國郵便振替規則

(イ) 振替ノ處理ニ關スル取調請求ノ料金三十二錢ヲ二十錢ニ引下ケタルコト

(ロ) 振替ノ處理ニ關スル單ナル通報ノ請求ヲ認メ該請求カ振替請求ノ日ヨリ二年内ニ相手郵政廳ニ到着スル見込アル期間内ニ之ヲ受理スルコトトセリ

口座所管廳ノ増設 熊本市ニ貯金支局ヲ設置シ昭和十年一月十日開局ノ日ヨリ振替貯金口座所管廳事務取扱ヲ開始シ加入者ノ便益ニ資セリ

郵便振替貯金口座加入者及受拂高
Number of Subscribers Receipts and Payments in connection with the Postal Check and Transfer

種 別 Description	人 員 Subscriber			口 數 No.		金 額 Amount		年度末現在 At the end of the fiscal year
	新規加入 No. of Accounts Opened	脱 退 No. of Accounts Closed	年度末現在 At the end of the fiscal year	受 入 Receipts	拂 出 Payments	受 入 Receipts	拂 出 Payments	
昭和九年 1934-35 年度	23,823	10,351	306,838	44,395,721	15,561,181	2,223,831,092	2,221,561,229	77,170,982
八 年 1933-34 年度	19,976	8,728	293,475	40,843,301	14,953,832	2,108,054,912	2,108,562,833	74,901,150
七 年 1932-33 年度	18,846	10,205	282,231	37,107,800	15,007,510	1,857,928,095	1,847,871,126	75,409,071
六 年 1931-32 年度	18,690	15,820	273,588	35,714,024	14,547,486	1,569,342,071	1,580,612,576	65,352,102
五 年 1930-31 年度	18,319	15,878	269,689	36,233,056	14,697,182	1,638,365,181	1,633,214,241	76,615,288
四 年 1929-30 年度	19,535	26,384	267,249	36,527,843	14,485,977	1,754,651,002	1,741,380,620	70,071,582
三 年 1928-29 年度	18,753	7,555	274,077	35,008,674	14,369,851	1,650,108,724	1,646,392,268	55,828,350
二 年 1927-28 年度	20,382	7,791	262,881	33,421,221	14,530,566	1,538,025,948	1,531,486,944	51,108,992
元 年 1926-27 年度	17,460	7,014	250,255	31,253,153	14,352,634	1,322,768,969	1,318,723,697	43,685,851
大正十四年 1925-26 年度	18,526	6,594	239,769	29,015,389	14,183,860	1,306,587,457	1,305,592,402	38,897,442

備考 大正十四年度末現在人員ハ未確認ノモノ15,334人ヲ含ム
Note. The number of Subscribers at the end of 14th fiscal year of Taisyo includes 15,334 respectively, whose accounts as stood at time of the earthquake-fire are not yet recognised by the Post office

第六章 年金恩給
Section 6. Annuity and Pension

年金恩給給與金拂渡高
Payments of Annuities, Pensions and Other Grants

種 別 Description	各 局 拂 渡 Payment		郵便貯金 = 振替預入 Transfer to Postal Savings Deposits		合 計 Total	
	口 數 No.	金 額 Amount	口 數 No.	金 額 Amount	口 數 No.	金 額 Amount
昭和九年 1931-35 年度	1,646,979	160,718,724	56,201	8,227,260	1,703,180	168,945,984
八 年 1930-34 年度	1,635,725	156,930,927	44,637	6,350,091	1,680,362	163,281,018
七 年 1929-33 年度	1,610,450	153,065,909	43,437	6,069,323	1,653,887	159,135,232
六 年 1928-32 年度	1,578,117	147,098,673	42,790	5,012,927	1,620,907	152,011,600
五 年 1927-31 年度	1,551,842	143,077,212	41,829	5,537,771	1,593,671	148,614,983
四 年 1926-30 年度	1,531,705	139,539,581	40,979	5,282,921	1,572,684	144,822,502
三 年 1925-29 年度	1,519,035	136,149,149	40,499	5,124,138	1,559,534	141,573,587
二 年 1924-28 年度	1,557,371	133,343,260	41,551	4,928,344	1,598,922	138,271,604
元 年 1923-27 年度	1,470,773	127,624,329	38,795	4,688,086	1,509,568	132,312,415
大正十四年 1925-26 年度	1,448,050	124,971,831	38,086	4,465,747	1,486,136	129,437,628

POST OFFICE LIFE INSURANCE
AND POST OFFICE LIFE ANNUITIES

Age	Rate	Rate	Rate
15			
20			
25			
30			
35			
40			
45			
50			
55			
60			
65			
70			
75			
80			
85			
90			

簡易保險及郵便年金
POST OFFICE LIFE INSURANCE
AND POST OFFICE LIFE ANNUITIES

第四編 簡易生命保險及郵便年金

Chapter 4. Post Office Life Insurance and Post Office Life Annuities

簡易保險局沿革略誌

我國簡易生命保險制度ハ其ノ端ヲ遠ク日清戰役終了後ニ發セリ即チ當時逕信省ニ小口保險創始ノ議起リ明治三十八年郵便貯金法制定ノ際其ノ中ニ郵便保險年金ニ關スル條項ヲ規定スルノ議アリシモ時期尙早ノ故ヲ以テ中止シ更ニ其ノ調査ヲ繼續スルコトナレリ、然ルニ其ノ後世態ノ變遷著シク殊ニ日露戰後産業ノ發展ニ伴ヒ小口保險實施ノ必要一層緊切ヲ加フルニ到リシヲ以テ明治四十三年七月郵便貯金局内ニ郵便保險年金制度調査委員會ヲ設ケ内外保險事業ノ調査ニ著手セリ然モ簡易保險制度施行ノ曉ニ於テハ社會各般ニ及ホス影響ノ大ナルヘキハ明ニシテ其ノ調査ニ就テモ萬全ヲ期セサルヘカラサルヲ慮リ翌四十四年一月其ノ調査機關ヲ擴張シテ逕信省内ニ郵便保險年金制度調査會ヲ組織シ且之ニ關係アル學者、實業家ヲ加ヘテ討議研鑽スル所アリ、一方ニ於テハ大正三年時ノ内閣ハ小口保險ノ實施ヲ施政方針ノ一トナシ同年五月内閣ニ小口保險制度調査委員會ヲ設置シ委員長ニ法制局長官ヲ、内務、大藏、文部、農商務及逕信ノ各省ヨリ夫々委員ヲ選任シテ六月ヨリ十一月ニ亙リ數十回ノ委員總會及特別委員會ヲ開キ調査審議スル所アリ同年十二月其ノ決定要領及法律、勅令並規則草案ヲ公表スルト共ニ一面地方長官、商業會議所各種學會又ハ協會等各方面ニ諮問シ、且内外斯業ノ實況ヲ參酌シテ遂ニ簡易生命保險法案及簡易生命保險特別會計法ノ成案ヲ見ルニ至リ大正五年二月第三十七議會ニ提出セリ、議會ハ保險金額ノ最高限度參百圓ヲ貳百五十圓ニ修正ノ上之ヲ協贊シ茲ニ簡易生命保險法案及簡易生命保險特別會計法案ノ成立ヲ見ルニ至レリ

以上ハ簡易生命保險制度調査ノ經過ヲ略述セルモノナルカ更ニ本法制定後ノ重ナル事項ヲ摘録スレハ次ノ如シ

大 正 五 年

- 三月 爲替貯金局内ニ簡易生命保險事業準備部ヲ置キ之カ實施ニ關スル諸般ノ調査ヲナシ其ノ草案成ル
- 四月 逕信省内ニ簡易生命保險事務準備委員會ヲ設置シ各種規程ヲ其ノ審査ニ附ス
- 七月 簡易生命保險法及簡易生命保險特別會計法ヲ公布ス
- 八月 簡易生命保險法及簡易生命保險特別會計法ノ實施期日ヲ前者ハ大正五年十月一日後者ハ同年八月二十日ト定ム
- 九月 爲替貯金局及地方逕信官署官制ヲ改正シ爲替貯金局内ニ保險部ヲ、逕信局内ニハ總務部ニ保險課ヲ分掌局ニハ第四課ヲ設ケテ簡易生命保險ニ關スル事務ヲ掌理ス
- 同 簡易生命保險令、簡易生命保險審査會規程、簡易生命保險特別會計規則、簡易生命保險規則、簡易生命保險特別會計事務規程等ヲ制定公布ス
- 同 簡易生命保險取扱規程、簡易生命保險團體特別取扱規則、簡易生命保險團體特別取扱規程等ヲ制定ス
- 十月 一日ヨリ簡易生命保險事業ヲ開始ス

大 正 六 年

- 七月 簡易生命保險積立金運用規則ヲ公布ス
- 九月 簡易生命保險ノ保險契約者ニ對スル貸付ノ利率ヲ保險料振替貸付ニアリテハ年四分八厘、普通貸付ニアリテハ年六分ト定ム

大 正 七 年

- 四月 簡易生命保險審査會規程施行細則ヲ制定ス
- 同 簡易生命保險規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ保險料前拂方法ヲ設ケ、延滞料免除ノ場合ヲ規定シ、小額保險金ノ簡易支拂手續ヲ制定シ、植民地等ヨリ保險料拂込並再度保險證書無料交付ニ關スル規定ヲ制定シ、保險證書訂正

料金ノ徴收ヲ廢止シタルコト等トス

- 九月 簡易生命保險規則中ヲ改正シ短期拂込養老保險ヲ設ケ、法域外住居者ニ對スル保險金及還付金支拂方法ヲ定ム
- 十二月 簡易生命保險團體特別取扱規程ヲ改正シ八年一月一日ヨリ施行ス

大正八年

- 五月 爲替貯金局及地方逓信官署官制ヲ改正シ爲替貯金局ニ於ケル保險部ヲ廢止シ從來監理課及調度課ニ於テ取扱タル庶務、規畫、監督、經理ニ關スル事務ハ爲替貯金ニ關スル夫レ等ノ事務ト同一課ニ於テ取扱フコトトナリ外ニ保險契約、保險支拂、保險原簿、積立金運用、保險統計ノ五課ヲ置キ又從來ノ各逓信局及事務分掌局ヲ七逓信局トシ各逓信局ニ保險課ヲ設ク
- 六月 簡易生命保險審査會規程ヲ改正シ委員十人ヲ十二人ニ改ム
- 八月 簡易生命保險積立金貸付規則ヲ制定シ十九日ヨリ之ヲ施行ス
- 十一月 簡易生命保險規則ヲ改正シ現役軍人又ハ召集中ノ軍人ノ申込ニ對シ簡易手續ヲ制定ス

大正九年

- 三月 簡易生命保險規則ヲ改正シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ契約ノ申込又ハ復活申込ニ際シ申込人ト被保險者ト所在地ヲ異ニスル場合ニ受付局以外ノ郵便局ニ於テ被保險者ノ面接ヲ爲シ得ルノ方法ヲ設ケ、保險料前拂ノ制度ヲ保險料豫納ノ形式ニ改メ、保險金還付金ノ局待拂及普通貸付金ノ局待付付ノ途ヲ開キ、復活利息金ノ徴收ヲ廢止シ、保險料振替貸付期間ヲ二箇年ニ延長シタルコト等トス
- 十月 簡易保險局官制制定セラレ新ニ簡易保險局ヲ設ケテ從來爲替貯金局ニ於テ掌理シタル簡易生命保險ニ關スル事務ヲ受繼キ庶務、監理、契約、支拂、原簿、醫務、積立金運用、統計ノ八課ヲ置キ其ノ事務ヲ管掌ス
- 十二月 簡易生命保險積立金貸付規則ヲ改正シ翌十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ借入申込書用紙ヲ正副二通トシ逓信局ヲ經由シテ逓信大臣ニ提出セシムルニ在リ

大正十年

- 四月 簡易生命保險特別會計法ヲ改正シ支拂上ノ餘裕金ヲ大藏省預金部ニ預入スルコトヲ得セシム
- 九月 簡易保險局官制ヲ改正シ從來ノ八課ヲ改メテ庶務、規畫、監督、積立金運用、契約、支拂、第一原簿、第二原簿、醫務、統計ノ十課トシ別ニ講習所ヲ設ケテ吏員ノ養成ニ任ス

大正十一年

- 二月 一日ヨリ南洋廳管内ニ於テ簡易生命保險事務ノ取扱ヲ開始ス
- 四月 簡易生命保險法中ヲ改正シ保險金額二百五十圓ヲ三百五十圓ニ増額シ九月一日ヨリ實施ス
- 六月 團體特別取扱規則ヲ改正シ團體員ノ箇數十箇未滿トナリタルトキハ團體トシテノ取扱ヲ廢止セリ
- 八月 簡易生命保險規則中ヲ改正シ保險料ノ併合拂込ヲ認メ、長期繼續ノ契約者ニ對スル保險料還付ノ途ヲ開ク
- 九月 簡易保險健康相談所規則及簡易保險健康相談所取扱規程ヲ制定ス
- 十一月 關東廳管内郵便官署ニ於テ郵便振替貯金ノ特別取扱ノ方法ニヨリ簡易生命保險ノ保險料集金其ノ他ノ事務ノ取扱ヲ開始ス
- 十二月 新ニ計理課ヲ置キ從來第一原簿課及第二原簿課ニ於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ取扱フ

大正十二年

- 三月 簡易生命保險特別會計ニ於ケル土地建物ノ買入又ハ建物ノ建設ニ關スル法律ヲ公布シ大正十二年度ヨリ施行ス
- 九月 一日ニ於ケル關東地方ノ激震ト之ニ伴フ火災ノ爲災禍ヲ被リタル者多カリシヲ以テ五日ヨリ東京市芝區日出町簡易保險局構内、東京中央郵便局出張所ニ於テ保險金及還付金ノ非常局待拂並保險契約者ニ對スル貸付金ノ非常局待付付ヲ取扱ヒ罹災者ニ對シテハ保險料ノ拂込ニ就キ特別拂込猶豫期間ヲ設定ス

- 十月 非常局待扱ハ五日限り之ヲ廢止シ六日ヨリ普通局待扱及局待付付ヲ取扱フ
- 同 罹災契約者ニ對スル貸付利率ヲ振替貸付三分六厘、普通貸付四分八厘ニ低下ス

大正十三年

- 三月 大正十二年九月ニ於ケル罹災契約者ニ對シテハ保險料ノ拂込ニ付キ特別拂込猶豫期間一箇月ヲ追加設定ス
- 六月 監督課ヲ業務課ト改メ從來規畫課ニテ取扱ヒタル歳入歳出ノ豫算及決算ニ關スル事項並事業用物品ノ經理ニ關スル事項ヲ移管ス
- 同 簡易生命保險規則中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ廢疾被保險者ノ契約ニ對スル保險料免除ノ特例ヲ開キ、長期繼續契約者ニ對スル還付保險料ヲ増額シタルコト等トス
- 同 簡易保險健康相談所規則中ヲ改メ相談所ニ於ケル取扱事務範圍ヲ擴張シ、特殊ノ施設ヲ要スル診察検査又ハ試驗ヲモ行ヒ又書面ニヨル健康相談ヲ取扱フコトトス
- 十一月 行政整理ノ爲メ在來ノ庶務課、規畫課、監督課ノ事務ノ分合ヲ行ヒ之ヲ庶務課、業務課及經理課トナシ計理課ヲ司計課ト改メ醫務課及講習所ヲ廢止シ原簿事務膨脹ニ付第三原簿課ヲ特設ス

大正十四年

- 五月 二十三日但馬地方ニ於ケル震火災ノ爲メ、兵庫縣豐岡、同城崎及京都府久美濱局ニ於テ保險金ノ局待拂及契約者ニ對スル貸付金ノ局待付付ヲ取扱フ
- 九月 新ニ規畫課ヲ置キ業務課及經理課ニ於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ取扱フ

大正十五年

昭和元年

- 三月 簡易生命保險法中ヲ改正シ保險金額三百五十圓ヲ四百五十圓ニ増額シ五月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 四月 簡易保險局内ニ郵便年金事務準備部ヲ設ケケカ實施ニ關スル諸般ノ調査ヲナシ其ノ草案成ル
- 同 郵便年金法及郵便年金特別會計法ヲ公布ス
- 五月 二十四日十勝岳ノ爆發ニヨル災禍ノ爲メ石狩國上富良野、何美瑛及同東中局ニ於テ保險金ノ局待拂及契約者ニ對スル貸付金ノ局待付付ヲ取扱フ
- 六月 簡易生命保險積立金運用規則中ヲ改正シ年賦及半年賦償還貸付ノ貸付期間二十年内ヲ二十五年内ニ改ム
- 八月 第四原簿課ヲ新設ス
- 同 郵便年金令、郵便年金特別會計規則、郵便年金規則、郵便年金取扱規程ヲ公布ス
- 九月 郵便年金特別會計事務規程ヲ定ム
- 同 年金課ヲ新設シ年金事業ニ關スル事務ヲ掌理セシム
- 十月 一日ヨリ郵便年金事業ヲ開始ス
- 同 關東廳管内郵便官署ニ於テ郵便振替貯金特別取扱ノ方法ニ依リ郵便年金事務ノ取扱ヲ開始ス
- 同 簡易生命保險規則中ヲ改正シ長期契約繼續ニ依ル保險料還付額ノ増加並保險料前納制度ヲ認メ且之ニ對スル保險料割引制度ヲ制定ス
- 同 樺太廳管内郵便官署ニ於テ郵便振替貯金ノ特別取扱ノ方法ニ依リ簡易生命保險ノ保險料集金其ノ他ノ事務ノ取扱ヲ開始ス

昭和二年

- 三月 京都府及兵庫縣下ニ激震ト之ニ伴フ火災ノ爲災禍ヲ被リタルモノ多カリシヲ以テ十二日ヨリ京都府網野郵便局

外六局 = 於テ保險金ノ非常局待拂並貸付金ノ非常局待貸付ヲ取扱ヒ且罹災者 = 對シテハ保險料ノ拂込 = 付キ特別猶豫期間ヲ設定ス

四月 財界ノ混亂 = 因リ私法上ノ金錢債務ノ支拂延期等 = 關スル法律公布セラレタル爲簡易生命保險契約及郵便年金契約 = 於テモ月掛保險料拂込期間、保險料若ハ掛金拂込猶豫期間又ハ保險契約者 = 對スル貸付期間滿了スルモノ並掛金拂込期間ノ到來スルモノ = 對シ二十一日ノ猶豫ヲナセリ

六月 簡易生命保險審査會規程及同施行細則ヲ改正シ新 = 郵便年金 = 關スル爭議ヲモ民事訴訟提起前 = 簡易生命保險審査會 = 提出セシメ其ノ審査ヲ經ルコトトセリ

八月 簡易保險局分課規程ヲ改正シ支拂課ヲ分チテ第一支拂課、第二支拂課ヲ置キ第五原簿課ヲ新設ス

九月 熊本縣下 = 於テ風水害 = 罹リタル者多カリシ爲小島郵便局外一局 = 於テ保險金ノ局待拂並貸付金ノ非常局待貸付ヲ取扱フ

十月 臺灣總督府管内郵便官署 = 於テ郵便振替貯金特別取扱ノ方法 = 依リ簡易生命保險及郵便年金事務ノ取扱ヲ開始ス

昭和三年

一月 保險料及延滞料ノ領收證ノ書式ヲ改正ス

四月 公債市價ノ昂騰 = 伴ヒ掛金一時拂ノ場合 = 於ケル豫定利率年六分ヲ年五分七厘五毛 = 改定ス

八月 簡易保險局分課規程ヲ改正シ第三支拂課ヲ新設シ且ツ年金課ヲ非現業事務 = 當ル年金監理課ト現業事務 = 當ル年金契約課 = 分課ス

十月 樺太廳管内郵便官署 = 於テ郵便振替貯金特別取扱ノ方法 = 依リ郵便年金事務ノ取扱ヲ開始ス

昭和四年

一月 一等郵便局、電信局及電話局分課規程中ヲ改正シ神戸、長崎、新潟、札幌、小樽、鹿兒島、静岡及岐阜ノ各郵便局 = 保險課ヲ設ク

三月 公債市價ノ昂騰 = 伴ヒ掛金一時拂ノ場合 = 於ケル豫定利率年五分七厘五毛ヲ年五分五厘 = 改定ス

七月 簡易保險局官制中ヲ改正シ新 = 理事(專任一人勅任)ヲ置ク
同分課規程中ヲ改正シ業務課ヲ監督課ト改メ新 = 第六原簿課ヲ設ケ第五原簿課 = 於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ取扱フ
簡易保險局 = 業務長(理事)ヲ置キ契約課、各支拂課、司計課、各原簿課及年金契約課ノ事務ヲ統理ス

十月 郵便年金規則中ヲ改正シ分割拂第二回以降掛金ノ集金制度ヲ設ケ同時 = 拂込期間十五日ヲ置ク

昭和五年

七月 簡易生命保險規則及同取扱規程、簡易生命保險團體特別取扱規則及同取扱規程中ヲ改正ス

九月 簡易保險局分課規程ヲ改正シ新 = 第四支拂課ヲ設ケ從來各支拂課 = 於テ取扱ヒ來リタル保險契約者 = 對スル貸付事務ヲ掌理スルコトトセリ

十月 郵便年金規則中ヲ改正ス

十二月 簡易生命保險規則及同取扱規程中ヲ改正ス

昭和六年

三月 簡易生命保險特別會計法中ヲ改正シ歳出科目中 = 營繕費ヲ加ヘ昭和六年度ヨリ施行ス

四月 簡易生命保險法中ヲ改正シ新 = 小兒保險ヲ加フルト共 = 消滅期間ヲ短縮スル等ノ改正アリ十月一日ヨリ施行ス

六月 簡易生命保險令中簡易生命保險法改正 = 伴フ事項ヲ改正ス

八月 簡易生命保險規則ヲ改正シ小兒保險、曆月集金制ノ採用等ヲ規定ス

九月 簡易生命保險團體特別取扱規則ヲ改正ス

同 簡易保險局分課規程ヲ改正シ第四支拂課ヲ廢止シ新 = 第一貸付課及第二貸付課ヲ設ク

十月 簡易保險局分課規程ヲ改正シ新 = 醫務課ヲ設ケ中央健康相談所 = 關スル事項並一般醫務 = 關スル事項ヲ掌理ス

同 郵便年金規則ヲ改正シ年金併合支拂ノ制ヲ設ケタル外二三改正ヲ加ヘタリ

昭和七年

十月 簡易保險局分課規程中ヲ改正シ新 = 第七原簿課ヲ設ケ第一原簿課 = 於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ取扱フ

十一月 北海道地方 = 於ケル水災被害契約者救済ノ爲簡易生命保險北海道水災非常取扱規則及同取扱規程ヲ制定ス

十二月 簡易生命保險規則及郵便年金規則中ヲ改正シ保險料及掛金ノ集金ヲ取扱ハサル期間ヲ一月一日ヨリ一月五日迄 = 改ム

昭和八年

五月 東北地方 = 於ケル震災被害契約者救済ノ爲簡易生命保險東北地方震災非常取扱規則及同取扱規程ヲ制定シ昭和八年九月三十日迄二箇月間ノ保險料特別拂込猶豫期間ヲ設定シ且貸付金ノ辨済ヲ一箇年間猶豫ス

八月 公債市價ノ昂騰 = 伴ヒ掛金一時拂ノ場合 = 於ケル豫定利率年五分五厘ヲ年五分二厘五毛 = 改定ス

十月 公債市價ノ昂騰 = 伴ヒ掛金一時拂ノ場合 = 於ケル豫定利率年五分二厘五毛ヲ年四分二厘五毛 = 改定ス

十一月 簡易生命保險規則及同取扱規程中保險金即時拂及療疾承認適用範圍ノ擴張、契約者貸付條項等ヲ改正ス

昭和九年

三月 福岡市 = 簡易保險支局ヲ設置ス

同 簡易保險局及同支局分課規程ヲ制定シ、從來ノ第一、第二貸付課ヲ貸付及辨済課 = 又原簿課ヲ徵收課 = 夫々改稱シ、第七徵收課ヲ削リ同支局 = 庶務契約及徵收ノ三課ヲ設ク

同 函館市火災ノ爲函館郵便局 = 於テ保險金ノ局待拂ヲ實施セリ

四月 簡易生命保險規則中ヲ改正シ從來再度保險證書、契約變更等ヲ請求ノ場合ノ手数料ハ郵便切手ヲ以テ納付セシメタルヲ收入印紙 = 改ム

同 簡易生命保險函館市火災非常取扱規則及同取扱規程 = 制定ス

同 大正七年日本醫師會トノ間 = 締結セル被保險者診療費輕減協定ヲ廢棄シ新 = 日本醫師會トノ間 = 被保險者診療法約ヲ締結シ本月一日ヨリ實施ス

五月 簡易保險局及同支局分課規程中ヲ改正シ第二支拂課、第三支拂課、第五徵收課及第六徵收課ノ事務ノ一部ヲ變改セリ

六月 簡易保險局及同支局分課規程中ヲ改正シ新 = 第四支拂課ヲ設ケ從來第二支拂課 = 於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ掌理セシム

七月 簡易生命保險規則及同取扱規程中ヲ改正シ天災其ノ他避クヘカラサル事變ノ場合 = 於ケル非常取扱制度、契約者貸付遲滞金ハ已ムヲ得サル事由アル場合免除スルノ制度及保險證書 = 保險料拂込證明ヲ爲スノ制度等ヲ制定ス

同 石川、富山兩縣下水害罹災契約者救済ノ爲非常取扱規則ヲ適用シ保險料特別拂込猶豫期間ノ設定及契約者貸付遲滞金ノ免除ヲ爲セリ

- 九月 簡易生命保險健康相談所規則及同取扱規程中ヲ改正ス
- 同 關西地方風水害罹災契約者救済ノ爲非常取扱規則ヲ適用シ保險金非常即時拂保險料特別拂込猶豫期間ノ設定及契約者貸付遲滞金ノ免除ヲ爲セリ
- 十月 最近ニ於ケル金利就中公債利廻リノ著シキ低落ニ因リ郵便年金令中掛金分割拂還利率年五分ヲ年四分ニ改定シ本月一日以降效力發生ノモノニ適用ス
- 十二月 東北地方冷害罹災契約者救済ノ爲非常取扱規則ヲ適用シ保險料特別拂込猶豫期間ノ設定及契約者貸付遲滞金ノ免除ヲ爲セリ
- 同 簡易生命保險積立金ノ自作農創設維持資金ニ對スル貸付ニ關シ年賦及半年賦償還ニ付四年内ノ据置期間ノ延伸ヲ認ムルコトセリ

第一章 簡易生命保險事務ニ關スル施設

Section 1. Institutions for Post Office Life Insurance Services

簡易生命保險事務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

被保險者ニ對スル保險施設 被保險者ノ健康ノ保持ト増進トヲ圖ラムカ爲大正十一年九月簡易保險健康相談所規則及同取扱規程ヲ制定以來全國主要都市ニ百五十五ヶ所ノ健康相談所ヲ設置シタルカ本年度ニ於テハ更ニ中野、大崎、王子、神奈川、朽木、半田、押切、京都、西陣、大阪港、大阪天下茶屋、神戸林田、神戸葺合、新宮、徳山、普通寺、若津、名瀬、柏崎、八戸、網走ノ二十ヶ所ニ之ヲ増設セリ又日本醫師會トノ間ニ被保險者診療協約ヲ締結シ廉費ヲ以テ全國各地開業醫中ノ指定醫ニ付診療ヲ受クルコトヲ得セシムル途ヲ講シ本年四月一日ヨリ實施セリ

函館市ニ於ケル火災罹災契約者救済施設 昭和九年三月二十四日告示第六九三號ヲ以テ三月二十一日ノ函館市火災ニ因ル死亡被保險者ニ對シ函館郵便局ニ於テ保險金ノ局待拂ヲ實施セリ又昭和九年四月十三日省令第四五號竝公達第三〇二號ヲ以テ簡易生命保險函館市火災非常取扱規則及同規程ヲ制定シ昭和九年三月同市ニ於ケル火災罹災契約者ニ對シ下記施設ヲ爲セリ

- 一、昭和八年十二月分ヨリ同九年四月分迄ノ保險料ニ付各三ヶ月間特別ノ拂込猶豫期間ヲ認メタリ
- 二、契約者貸付ヲ受ケタルモノニ對シテハ昭和九年六月三十日迄ニ貸付金ノ辨済、貸付期間更新及年賦償還請求ヲ爲スモノニ對シ昭和九年三月二十一日以後ノ遲滞金ヲ免除セリ

石川、富山兩縣下水害罹災契約者救済施設 昭和九年七月石川、富山兩縣下水害ニ因ル石川縣美川郵便局外二十五局受持ノ罹災契約者ニ對シ非常取扱規則ヲ適用シ下記施設ヲ爲セリ

- 一、昭和九年四月分ヨリ同年八月分迄ノ保險料ニ付各三ヶ月間ノ特別拂込猶豫期間ヲ認メタリ
- 二、契約者貸付ヲ受ケタルモノニ對シテハ昭和九年十二月三十一日迄ニ辨済、貸付期間更新及年賦償還請求ヲ爲スモノニ對シ昭和九年七月十一日以後ノ遲滞金ヲ免除セリ

關西地方ニ於ケル風水害罹災契約者救済施設 昭和九年九月關西地方ニ於ケル風水害罹災契約者ニ對シ非常取扱規則ヲ適用シ下記施設ヲ爲セリ

- 一、大阪、京都、兵庫、徳島、高知及岡山ノ各府縣下ニ於テ大阪中央郵便局外四十一局受持ノ罹災加入者ニ對シ保險金ノ非常即時拂ヲ實施セリ
- 二、大阪、京都、滋賀、和歌山、兵庫、徳島、高知、岡山、島根及鳥取ノ各府縣下ニ於テ大阪中央郵便局外六百七十五局受持ノ罹災契約者ニ對シ昭和九年六月分ヨリ同年九月分迄ノ保險料ニ付各二ヶ月間ノ特別拂込猶豫期間ヲ認メタリ
- 三、前記保險料拂込猶豫期間ノ延伸適用局受持罹災契約者ニシテ契約者貸付ヲ受ケタルモノニ對シテハ昭和九年十二月三十一日迄ニ貸付金ノ辨済、貸付期間更新及年賦償還請求ヲ爲スモノニ對シ昭和九年九月二十一日以後ノ遲滞金ヲ免除セリ

東北地方ニ於ケル冷害罹災契約者救済施設 東北六縣及新潟縣下水害ニ因ル青森郵便局外七百四十一局受持ノ罹災契約者ニ對シ非常取扱規則ヲ適用シ下記施設ヲ爲セリ

- 一、昭和九年八月分ヨリ同年七月分迄ノ保險料ニ付各二ヶ月間ノ特別拂込猶豫期間ヲ認メタリ
- 二、契約者貸付ヲ受ケタルモノニ對シテハ昭和十年十二月三十一日迄ニ貸付金ノ辨済、貸付金ノ辨済ニ代ヘ保險金ノ減額、貸付期間更新及年賦償還請求ヲ爲スモノニ對シ昭和九年十一月一日以後ノ遲滞金ヲ免除セリ

簡易生命保險積立金ノ自作農創設維持資金ニ對スル貸付ニ關スル施設 昭和九年十二月二十八日省令第八〇號ヲ以テ簡易生命保險積立金ノ自作農創設維持資金ニ對スル貸付ニ於テ昭和九年中ニ於ケル風水害、旱害及冷害ニ因ル被害ノ爲必要アル場合ハ年賦及半年賦償還ニ付昭和十三年度迄ノ間ニ於テ据置期間ヲ四年内延伸スルヲ得ルコトセリ

第二章 保 險

Section 2. Summary of Post

簡 易 生 命 保

Summary of Post Office

種 別 Description	新 契 約 New Contracts			契 約 Death		
	件 數 No.	保 險 料 Premium	保 險 金 額 Sum insured	件 數 No.	保 險 料 Premium	
終身保險 Whole Life Policies	個人契約 Individual Contracts	480,869	414,764.3	79,525,387.9	104,380 (628)	78,952.4 (545.0)
	團體契約 Collective Contracts	1,551	898.7	224,379.7	1,454 (2)	603.4 (1.0)
	計 Total	482,420	415,663.0	79,749,767.6	105,834 (630)	79,555.8 (546.0)
養老保險 Endowment Policies	個人契約 Individual Contracts	1,963,844	1,928,627.6	279,379,835.7	138,798 (1,843)	128,155.9 (1,766.6)
	團體契約 Collective Contracts	6,323	4,277.4	635,541.3	1,478 (9)	716.4 (5.8)
	計 Total	1,970,167	1,932,905.0	280,015,377.0	140,276 (1,852)	128,872.3 (1,772.4)
合 計 Grand Total	個人契約 Individual Contracts	2,444,713	2,343,391.9	358,905,223.6	243,178 (2,471)	207,108.3 (2,311.6)
	團體契約 Collective Contracts	7,874	5,176.1	859,921.0	2,932 (11)	1,319.8 (6.8)
	計 Total	2,452,587	2,348,568.0	359,765,144.6	246,110 (2,482)	208,428.1 (2,318.4)
小 兒 保 險 Infantile Policies	698,294	478,674.8	93,541,575.0	11,789 (1,933)	8,077.8 (1,328.4)	
總 計 Grand Total	3,150,881	2,827,242.8	453,306,719.6	257,899 (4,415)	216,505.9 (3,646.8)	
年 度 Year						
八 年 1933-34	度	3,096,872	2,647,666.6	417,989,685.9	238,634 (3,703)	201,423.1 (3,068.9)
七 年 1932-33	度	2,883,356	2,412,634.4	371,027,787.2	213,314 (3,042)	178,651.1 (2,536.3)
六 年 1931-32	度	2,800,819	2,453,427.3	388,633,808.1	200,888	168,269.8
五 年 1930-31	度	2,434,292	2,303,475.1	357,792,091.3	186,446	153,736.0
四 年 1929-30	度	2,157,554	2,305,921.1	355,829,270.6	170,551	136,190.7
三 年 1928-29	度	2,502,585	2,332,353.4	369,607,993.1	150,617	116,572.0
二 年 1927-28	度	2,453,705	1,397,368.8	313,045,665.5	129,540	99,122.7
元 年 1926-27	度	2,507,116	1,998,996.8	339,637,009.3	107,082	80,124.0
大 正 十 四 年 1925-26	度	2,500,093	2,000,779.6	333,308,373.5	84,181	61,234.1

事 業 成 績

Office Life Insurance Business

險 事 業 成 績

Life Insurance Business

昭和九年度
1934-35

保 險 金 額 Sum insured	約 滿 期 Contracts Terminated				消 滅 Surrender	
	件 數 No.	保 險 料 Premium	保 險 金 額 Sum insured	件 數 No.	保 險 料 Premium	保 險 金 額 Sum insured
15,014,460.8 (114,139.2)				56,608	33,181.9	7,998,173.6
15,2789.9 (193.5)				1,483	552.6	184,595.3
15,167,250.7 (114,332.7)				58,091	33,734.5	8,182,768.9
18,728,378.5 (260,402.2)	200,122	247,880.6	25,155,567.3	239,728	221,687.1	32,677,321.1
118,825.6 (910.2)	2,160	1,239.5	128,285.6	2,872	1,508.7	248,470.0
18,847,204.1 (261,372.4)	202,282	249,120.1	25,283,852.9	242,600	223,195.8	32,925,791.1
33,742,839.3 (371,601.4)	200,122	247,880.6	25,155,567.3	296,336	254,869.0	40,675,494.7
271,615.5 (1,103.7)	2,160	1,239.5	128,285.6	4,355	2,061.3	433,065.3
31,014,454.8 (375,705.1)	202,282	249,120.1	25,283,852.9	300,691	256,930.3	41,108,560.0
1,593,652.3 (259,289.0)				14,504	9,616.6	1,876,158.4
35,688,107.1 (634,994.1)	202,282	249,120.1	25,283,852.9	315,195	266,516.9	42,984,718.4
33,086,753.8 (531,930.1)	133,608	144,527.9	14,808,891.6	357,600	304,010.5	49,655,205.7
29,538,679.3 (442,430.1)	113,022	105,125.1	10,719,540.4	518,096	434,735.7	71,202,026.5
27,915,316.5	55,302	43,466.4	4,487,420.0	563,040	493,025.5	80,326,593.8
25,691,414.7	25,413	19,962.3	1,918,265.5	428,622	388,830.9	63,058,106.8
23,168,603.3	19,560	13,505.7	1,293,450.5	206,398	184,105.3	30,287,103.2
20,092,943.9	21,461	12,891.2	1,251,261.5	162,242	132,173.4	22,386,899.2
17,342,696.8	17,032	8,750.3	851,818.3	152,643	127,691.5	21,448,011.8
14,188,784.9	10,235	6,137.7	589,757.1	126,996	113,019.0	18,709,973.1
11,062,187.2				97,787	86,053.7	14,185,295.9

簡易生命保

Summary of Post Office

種別 Description	契約消滅 Contracts Terminated			契約復 Revival of Contracts		
	件数 No.	保険料 Premium	保険金額 Sum insured	件数 No.	保険料 Premium	
						失効 Lapse
養身保險 Whole Life Policies	個人契約 Individual Contracts	82,638	61,453.4	13,732,234.4	18,587	12,953.6
	團體契約 Collective Contracts	488	162.1	54,689.9	73	28.5
	計 Total	83,126	61,615.5	13,786,924.3	18,660	12,982.1
療老保險 Endowment Policies	個人契約 Individual Contracts	348,161	316,470.4	45,509,417.3	53,649	48,170.8
	團體契約 Collective Contracts	1,272	677.7	106,327.3	168	85.6
	計 Total	349,433	317,148.1	45,615,744.6	53,817	48,256.4
合計 Grand Total	個人契約 Individual Contracts	430,799	377,923.8	59,241,651.7	72,235	61,121.4
	團體契約 Collective Contracts	1,760	839.8	161,017.2	241	114.1
	計 Total	432,559	378,763.6	59,402,668.9	72,477	61,235.5
小兒保險 Infantile Policies	50,194	31,503.3	6,224,405.4	6,319	4,165.1	
總計 Grand Total	482,753	410,671.9	65,627,074.3	78,796	65,403.6	
昭和八年 1933-34	601,233	495,765.0	78,021,464.1	114,736	93,231.0	
七 1932-33	821,989	671,028.4	106,452,700.8	177,317	139,218.3	
六 1931-32	976,614	802,932.4	131,275,667.3	166,531	129,941.1	
五 1930-31	822,797	742,451.0	119,960,794.7	131,351	103,096.1	
四 1929-30	640,744	568,183.9	92,926,172.7	104,827	79,282.0	
三 1928-29	623,550	470,768.6	79,662,113.0	97,080	71,460.0	
二 1927-28	625,518	456,387.2	79,340,017.2	88,363	63,433.0	
元 1926-27	586,836	444,104.3	76,794,661.6	64,185	44,844.5	
大正十 四 1925-26	576,341	462,688.5	78,453,252.7	51,861	35,221.5	

備考、死亡欄中括弧内ノ数字ハ災害又ハ傳染病豫防法第一條第一項ノ傳染病ニ因リ契約締結後一年六箇月以内ニ死亡シタルモノヲ示ス
 Note:—The figures in parenthesis in the column under the heading "Deaths" signify the deaths occurred, within one year and the Law relating to the Prevention of Infectious Diseases, and those in the brackets in the last line of the column under with the Disability Provision.

險事業成績 (續)

Life Insurance Business

(Continued)

昭和九年度
1934-35

活 保險金額 Sum insured	其ノ他ノ事由ニ因ル増減 Increase or Decrease from Other Causes			年度末現在契約 Contracts in force at the End of the Fiscal Year		
	件数 No.	保険料 Premium	保險金額 Sum insured	件数 No.	保險料 Premium	保險金額 Sum insured
2,797,279.5	34,667	33,159.0	8,728,691.1	4,576,694	2,980,000.8	647,008,492.6
9,253.2	339	184.9	69,162.8	103,782	37,075.2	11,566,341.9
2,806,532.7	35,006	33,343.9	8,797,853.9	4,680,476	3,017,076.0	658,574,834.5
7,202,825.8	29,581	47,556.3	11,504,819.4	14,791,617	13,177,327.8	1,931,643,122.0
13,802.4	339	33.8	30,367.7	163,900	79,458.2	13,348,781.6
7,216,628.2	29,920	47,522.5	11,535,187.1	14,955,517	13,256,786.0	1,947,991,903.6
10,000,105.3	5,036	80,715.3	20,233,510.5	19,368,311	16,157,328.6	2,581,651,614.6
23,055.6	-	151.1	99,530.5	267,682	116,533.4	24,915,123.5
10,023,160.9	5,036	80,866.4	20,333,011.0	19,635,993	16,273,862.0	2,606,566,738.1
819,452.6	1,609	4,309.5	834,548.2	2,386,546	1,642,017.2	321,094,600.3
10,842,613.5	6,695 (1,004)	85,235.9 (822.7)	21,167,589.2 (134,864.2)	22,022,539	17,915,879.2	2,927,661,338.4
15,618,364.5	6,034 (727)	69,890.4 (566.0)	16,646,269.1 (96,247.6)	20,057,686	16,251,313.5	2,654,183,347.2
23,617,173.6	4,550 (60)	69,038.6 (41.8)	17,074,449.8 (8,454.4)	18,183,187	14,726,032.8	2,412,793,951.1
22,318,260.0	4,721	66,139.0	15,176,393.1	16,793,485	13,632,759.0	2,253,136,387.1
17,871,493.0	3,684	63,406.4	13,607,297.0	15,626,700	12,623,223.7	2,101,365,709.7
14,027,873.0	3,270	37,634.5	10,977,154.3	14,528,019	11,580,039.1	1,949,938,004.1
12,808,560.9	2,587	23,127.9	7,616,470.5	13,305,661	10,134,461.1	1,737,833,349.5
11,580,250.4	2,357	17,699.7	5,724,788.0	11,666,433	8,486,171.8	1,486,426,483.6
8,305,391.4	2,385	15,035.2	4,931,216.2	10,051,455	7,235,071.4	1,286,507,899.8
6,639,432.0	3,073	13,480.1	4,116,818.8	8,313,688	5,849,650.3	1,053,779,892.4

シ、其ノ他ノ事由ニ因ル増減欄中末段ノ括弧内数字ハ概括條項ニ因ル契約高ヲ示ス。
 half after the date of issue of Policies, from an accident and from any disease prescribed in the first paragraph of Article of the heading "Increase or Decrease from other Causes," indicate the contracts, of which premiums are exempted in accordance

簡易生命保險

Classification of Post Office Life

Table with columns for Direction of Communications, Prefecture, New Contracts (件数, 保険料, 保険金額), Contracts Terminated (死亡, 満期, 解約), and Total. Rows include Hokkaido, Sendai, Tokyo, and Nagoya.

事業成績地方別

Insurance Business by Prefectures

昭和九年度 1931-35

Table with columns for Revival of Contracts, Decrease from Other Causes, and Contracts in Force at the End of the Fiscal Year. Rows include various prefectures and a total row.

簡易生命保險
Classification of Post Office

Table with columns for Direction of Communications, Prefecture, New Contracts, Death, Endowment, and Surrender. Includes sub-totals for Osaka, Hiroshima, Kumamoto, and Grand Total.

事業成績地方別
Insurance Business by Prefectures

(續) (Continued)

昭和九年度 1934-35

Table with columns for Revival of Contracts, Decrease from Other Causes, and Contracts in Force at the End of the Fiscal Year. Includes sub-totals for Grand Total.

被保險者職業別

Classification of Number of Policies by Occupations of the Insured 昭和七年度末 March 31, 1932-33

Table with columns for Direction of communications (Tokyo, Nagoya, Osaka, Hiroshima, Kumamoto, Sendai, Sapporo, Manchuria, Saghalien, Formosa) and Total. Rows include Agriculture, Aquatic Products Industry, Mining Industry, Manufacturing Industry, Commerce, Transportation Industry, Civil Services & Liberal Professions, Domestic Affairs, and No Industry.

備考 一、本表ハ正式ノ調査ニ依ラズ次ノ簡便法ニ據リタリ。即チ昭和七年度末成人保險現在契約ノ保險證書末尾ニ五百二番ノ端数...

Notes- I. The above tabulation was made, not by the regular process, but by the Method of Sampling as mentioned below: (A) About 1/100 sample Policies of all were taken, by selecting those having the figures 502 at the end of their Policy-number.

第三章 審査會

Section 3. Meeting of Investigation

審査會ノ審査

保險契約者及保險金受取人カ簡易生命保險ニ關スル事項ニ付政府ニ對シ民事訴訟ヲ提起セムトスルキハ簡易生命保險審査會ノ審査ヲ經ルコトヲ要スルモノトス

審査會ノ審査狀況

本年度ニ於テ審査會ノ審査ヲ請求シ來リタル數ハ一件ニシテ請求人ノ請求ヲ容レラザル旨ノ裁決アリタリ

第四章 積立金ノ運用

Section 4. Investment of the Fund

積立金ノ運用範圍

積立金ハ逓信大臣ノ管理ニ屬シ保險契約者ニ貸付ヲ爲ス場合ヲ除クノ外簡易生命保險積立金運用委員會ニ諮問シ公共ノ利益ノ爲ニ之ヲ運用スルモノトス

積立金ノ運用狀況

積立金ハ主トシテ之ヲ社會公共事業ニ投資スル趣旨ノ下ニ本年度ニ於テハ共同宿泊所、簡易食堂、小賣市場、實費診療事業、産院、公立結核療養所、公設職業紹介所、公設質屋、公設託兒所、公益浴場、授産及職業輔導事業、隣保事業、自作農創設維持、地方改善地區整理、就職旅費貸付資金及日傭労働者賃金立替資金、災害復舊小額生業資金、小口産業資金、産業共同施設、公設屠場、卸賣市場、住宅、傳染病院、衛生試驗所、細菌検査所、下水道、汚物掃除施設、公設火葬場、公營兒童保健施設、公營體育施設、小學校、實業補習學校、上水道、公立病院、水利事業、公設防火設備、道路、農村電氣事業、公營共同墓地、河川改修事業、港灣修築事業、公立圖書館、耕地整理事業、北海道土功組合事業、市町村融合、公會堂、三等郵便局舎、府縣農會府縣水産會及商工會議所事務所用建物、國內移住獎勵補助資金、公立中等學校、公營自動車事業、其ノ他地方自治團體ノ各種公共事業等五十一種ノ事業名ヲ掲ケ中産以下薄資者階級ノ福祉ノ増進、保健衛生、教育、産業ノ振興及其ノ他一般ノ公共施設ニ對シ貸付ヲ行ヘリ而シテ積立金貸付狀況及年度末現在ニ於ケル運用狀況ヲ示セハ次表ノ如シ

積立金貸付狀況
Statement for the Loans of the Insurance Fund

貸付種別 Classification.	年度末 At the 31st March of:—	九年度	八年度	七年度	六年度	五年度	四年度	三年度	二年度
	1935	1934	1933	1932	1931	1930	1929	1928	
共同宿泊所 Loans for Establishment of Free Lodging Houses.	409,657	538,941	571,561	599,584	624,952	643,202	666,754	539,548	
簡易食堂 Loans for Establishment of Popular Restaurants.	32,608	128,415	133,668	141,248	147,582	157,664	164,196	304,004	
小賣市場 Loans for Establishment of Retail Markets.	4,734,121	5,031,143	4,312,180	5,190,858	5,428,214	5,546,761	3,905,717	3,972,419	
卸賣市場 Loans for Establishment of Wholesale Markets.	194,800								
商業共同施設 Loans for Services for Lowering Cost of Living	332,281	18,015	23,297	24,336	4,514	4,684	878,297	3,052	
實費診療事業 Loans for Establishment of Dispensaries.	1,105,803	2,230,101	2,356,451	2,438,280	2,305,582	2,167,377	1,476,122	954,365	
產院 Loans for Establishment of Maternity Hospitals.	228,152	242,554	248,309	252,184	255,831	243,966	56,911	59,720	
公立結核療養所 Loans for Establishment of Public Sanatorium.	922,710	1,643,152	1,114,544	1,129,213	301,940	307,865	259,030	285,899	
公設職業紹介所 Loans for Establishment of Labour Exchanges.	206,314	225,549	242,211	255,416	304,542	351,770	397,580	377,154	
公設質屋 Loans for Public Pawn-Shop Funds.	1,231,910	1,582,612	1,650,923	1,614,743	1,507,660	1,237,917	1,197,476	806,409	
公設託兒所 Loans for Day Nurseries.	193,680	222,123	240,959	258,922	268,308	284,547	304,280	318,250	
公益浴場 Loans for Establishment of Public Utility Bathing Houses.	101,760	90,984	101,030	95,227	101,263	114,565	107,311	119,676	
授產及職業輔導事業 Loans for Giving Employment and Vocational Training Works.	5,598	6,637	7,727	8,718	9,664	10,565			
自作農創設維持 Loans for Creation and Maintenance of Peasant Proprietorship.	124,294,493	110,788,263	97,407,642	85,068,173	72,993,015	57,800,932	44,710,522	30,829,723	
地方改善地區整理 Loans for Local Districts Improvement and Boundary Adjustment Services.	1,852,775	1,913,123	1,594,312	1,624,908	603,057	449,987	488,448	498,416	
就職旅費及日傭労働者貸金立替 Loans for Traveling Expenses for Employment and Advances for Day-Labourers' Wages.	3,512	3,963	4,180	504,600	505,000	505,000	500,000	500,000	
小額生業資金 Loans for Petty Funds for means of Livelihood	127,561	133,306	139,185	140,085	127,915	114,816	19,764		
住宅 Loans for Supply of Public Dwelling Houses.	6,303,541	8,424,217	9,400,922	10,021,386	10,765,885	11,141,288	11,928,008	12,474,547	
傳染病院 Loan for Establishment of Isolation Hospitals.	1,754,615	2,214,258	3,281,308	3,415,918	3,645,370	3,282,802	2,833,621	1,950,319	

積立金貸付狀況 (續)
Statement for the Loans of Insurance Fund (Continued)

貸付種別 Classification.	年度末 At the 31st March of:—	九年度	八年度	七年度	六年度	五年度	四年度	三年度	二年度
	1935	1934	1933	1932	1931	1930	1929	1928	
下水 Loans for Construction of Sewage Works	11,347,278	14,905,991	21,475,683	21,054,315	20,310,009	18,282,384	15,987,334	12,064,844	
汚物掃除施設 Loans for Garbage-Disposal Establishments.	446,484	613,968	1,477,951	1,321,748	1,215,470	1,154,530	722,058	160,500	
農業共同施設 Loans for Cooperative Undertaking of Agricultural Industry	1,244,861	2,124,705	2,127,529	2,113,861	2,300,863	2,155,731	2,314,445	1,822,757	
公設火葬場 Loans for Establishment of Public Crematoria.	89,147	252,870	323,102	215,454	204,288	214,585	86,500		
公營兒童保健施設 Loans for Childrens Health Conservation Works on Public Management	16,855								
小學校 Loans for Building of Primary Schools.	13,914,558	20,959,879	37,203,368	40,517,262	46,258,882	46,648,860	48,127,273	39,108,964	
實業補習學校 Loans for Establishment of Technical Continuation Schools.	76,308	42,843	48,666	28,837	36,800	50,680	99,359	126,916	
公立病院 Loans for Establishment of Public Hospitals.	549,348	558,163	719,778	627,417	627,278	715,270	725,340	591,747	
上水道 Loans for Service Water-Supply Works.	8,421,714	16,818,484	52,639,185	51,696,599	43,847,288	32,798,435	18,576,049	19,064,702	
水産共同施設 Loans for Establishment of Cooperative Plants for Aquatic Industry.	179,282	1,525,937	1,339,670	1,219,122	1,180,489	1,149,913	1,120,726	243,867	
耕地整理事業 Loans for Readjustment Works of Arable Lands.	122,369	79,507	85,217	243,853	355,995	511,429	383,468	124,900	
水利事業 Loans for Water-Utilization Works.	101,017	124,932	115,836	181,347	130,662	83,800			
市町村廳會 Loans for Establishment of City, Town and Village Offices.	246,682	378,095	407,266	319,862	337,512	361,933	154,776	49,400	
三等郵便局會 Loans for Building 3rd. Class Post Offices.	79,865	90,487	87,359	91,443	91,310	94,942	67,394		
道路 Loans for Construction of Public Roads.	1,628,290	1,155,564	1,976,513	788,344	1,180,940	722,124	95,700		
公立中等學校 Loans for Building Public Middle-Schools.	566,753	328,932	518,355	485,703	481,604	527,247	302,600		
公營共同墓地 Loans for General Cemeteries on Public management	50,000								
公營自動車事業 Loans for Public Traffic Works by Motor Cars.			59,712	63,359	70,000				
農村電氣事業 Loans for Electrification Works in the Agricultural Districts.	331,837	1,595,979	1,096,888	410,893	314,722	230,000			

積立金貸付状況 (續)
Statement for the Loans of the Insurance Fund (Continued)

貸付種別 Classification	年度末 At the 31st March of—	昭和 九年度	八年度	七年度	六年度	五年度	四年度	三年度	二年度
		1935	1934	1933	1932	1931	1930	1929	1928
小口産業資金 Loans for Industries on Small Scale.		824,504	1,077,879	933,324	578,048	80,000	—	—	—
公會堂 Loans for Establishment in of Public Halls.		12,819	18,414	15,887	20,540	24,905	—	—	—
畜産共同施設 Loans for Cooperative Improvement and Promotion Works for Producing the Live-Stock.		46,366	36,021	42,433	27,900	—	—	—	—
公設防火設備 Loans for Fire-Proof Equipment.		2,500	4,853	38,169	39,372	—	—	—	—
林業共同施設 Loans for Cooperative Measures of the Forestry Industry.		8,025	3,964	5,777	9,300	—	—	—	—
工業共同施設 Loans for Cooperative Improvement and Promotion Works of Manufacturing Industry.		28,745	49,615	31,869	31,869	—	—	—	—
河川改修 Loans for Rivers Improvement Works.		72,734	139,805	422,041	231,500	—	—	—	—
港灣修築事業 Loans for Harbour Improvement Works		620,834	637,740	635,097	—	—	—	—	—
府縣農會府縣水産會及商工會議所事務所用建物 Loans for the Building Prefectural Agricultural Associations, Fishery Associations, Chambers of Commerce and Industry.		54,400	—	—	—	—	—	—	—
公設屠場 Loans for Establishment of Public Butcheries		4,301	8,886	64,000	—	—	—	—	—
公營體育施設 Loans for Physical Training Facilities under Public Management.		20,766	22,752	—	—	—	—	—	—
其他地方自治團體ノ各種公共事業(土地購入) Loans for Various Public Welfare Enterprises of Local Self-Governments other than the Above (Purchase of Lands).		206,300	40,000	—	—	—	—	—	—
計 Total.		186,966,372	197,613,671	247,721,136	235,101,747	218,948,761	190,067,572	158,657,359	127,352,100
契約者貸付 Loans on Policies.		107,977,639	97,525,840	85,452,269	67,871,575	50,046,822	32,791,655	20,480,719	12,667,737
合 Grand Total.		294,944,061	295,139,511	333,173,405	302,973,322	268,995,583	222,859,227	179,138,078	140,019,837

積立金府縣別貸付状況
Loans of the Insurance Fund, Specifying Prefectures
昭和九年度末現在
As at March 31, 1935

逓信局 Direction of Communications	府 Prefectures	縣	貨 付 金 額 Amt. of Loans Given
札幌 Sapporo	幌 北	海 道 Hokkaido	8,444,590.41
		青 森 Aomori	2,482,402.45
		岩 手 Iwate	2,733,964.62
		宮 城 Miyagi	4,781,851.17
		秋 田 Akita	3,358,114.95
		山 形 Yamagata	2,666,597.74
		福 島 Fukushima	3,937,158.38
		新 潟 Niigata	4,452,037.88
		計 Total	24,412,127.19
		東京 Tokyo	東 京
栃 木 Tochigi	3,120,447.03		
群 馬 Gunma	4,563,654.08		
埼 玉 Saitama	2,265,120.75		
千 葉 Chiba	2,574,566.06		
東 京 Tokyo	14,915,271.56		
神 奈 川 Kanagawa	2,574,144.58		
山 梨 Yamanashi	2,898,211.60		
静 岡 Shizuoka	3,746,838.81		
計 Total	39,244,885.66		
名古屋 Nagoya	東 海	富 山 Toyama	2,738,319.59
		石 川 Ishikawa	2,157,269.44
		福 井 Fukui	2,378,244.91
		長 野 Nagano	4,811,108.77
		岐 阜 Gifu	3,989,488.79
		愛 知 Aichi	3,182,064.98
		三 重 Mie	4,710,880.45
		計 Total	23,967,376.93

積立金府縣別貸付狀況
Loans of the Insurance Fund, Specifying Prefectures

(續)
(Continued)

逓信局 Direction of Communications	府 Prefectures	縣	貸付金 Amt. of Loans Given	額			
大 Osaka	阪	滋賀	Siga	賀	2,854,491.72		
		京都	Kyoto	都	5,244,106.16		
		大阪	Osaka	阪	8,962,187.27		
		兵庫	Hyogo	庫	7,351,242.77		
		奈良	Nara	良	2,045,235.56		
		和歌山	Wakayama	山	2,469,703.37		
		徳島	Tokushima	島	2,597,238.36		
		高知	Koti	知	1,445,901.95		
		計	Total		32,970,107.16		
		廣 Hirosima	島	鳥取	Tottori	取	2,206,449.35
島根	Simane			根	2,343,433.03		
岡山	Okayama			山	4,027,629.31		
広島	Hirosima			島	4,202,725.34		
山口	Yamaguti			口	4,345,297.78		
香川	Kagawa			川	3,223,638.52		
愛媛	Ehime			媛	4,084,840.65		
計	Total				24,434,013.98		
熊 Kumamoto	本			福岡	Hukuoka	岡	6,329,225.43
				佐賀	Saga	賀	2,272,160.19
		長崎	Nagasaki	崎	3,429,130.49		
		熊本	Kumamoto	本	4,246,059.50		
		大分	Oita	分	2,825,575.60		
		宮崎	Miyazaki	崎	3,271,661.46		
		鹿児島	Kagoaima	島	3,250,136.12		
		沖縄	Okinawa	縄	620,845.71		
		計	Total		26,244,794.50		
		逓信局外 Beyond the above Ds.	外	關東州及滿鐵附屬地 Kwantung and the Attached Zone of the Manchurian Rialway.			1,555,774.14
樺太	Saghalien			太	930,407.39		
臺灣	Formosa.			灣	4,762,295.04		
合	Grand Total	計			186,966,372.40		

積立金運用狀況
Condition of Investment of the Insurance Fund

昭和九年度末現在
As at March 31, 1935

運用種別 Kind of Investments	金額 Amount
公共貸付額 Loans for Public Welfare Enterprises.	187,828,394
帝國政府公債證券放資額 National Bonds.	140,585,131
其ノ他ノ有價證券放資額 Other Securities.	406,895,647
保險契約者ニ對スル貸付額 Loans on Policies.	107,977,689
預金部預金額 Deposit at the Deposit Section of Treasury.	37,315,003
現金 Cash	475,000
計 Total	881,076,864

備考 一、昭和九年度末積立金總額ハ 1,006,138,069.99圓ナルモ右ノ同年度收支決算ノ關係上昭和十年五月末ニ於テ始メテ積立金トシテ運用シ得ルニ至ルモノナルヲ以テ本表ニハ便宜昭和七年度末積立金ニ依リ之ヲ計上セリ。
二、本表中「公共貸付額」ノ大部分ハ地方自治團體ニ對スル貸付ナリ。

Note:— 1. The total amount of the fund at the end of the Present fiscal year, i.e., the year ending 31 March 1934 is 881,076,864 yen 40 sen 8 rin which sum, however, does not appear in the above table; the reason is that as the settlement of the account of the Treasury is usually completed in May of next fiscal years, the amount that should be available as investment up to the end of the Present fiscal year is applied with that at the end of the preceding fiscal year.
2. The most part of the above-mentioned Loans for public Welfare Enterprises is advanced on loan to the Local Self-Governments.

郵便年金事
Classification of Post Office Life

逓信局 Direction of Communi- cations	地方 Prefecture	種別 Description 年金種別 Kinds of Annuities	新契約 Now Contracts.			契約 Contracts			
			件数 No.	掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities	死亡 Deaths.			件数 No.
						件数 No.	掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities	
札幌 Sapporo	北海道 Hokkaido	即時 Immediate Annuities.	107	136,797.93	9,876.00	7	6,680.04	656.00	-
		据置一時拂 Defered Annuities under the Single Premium Plan.	433	163,146.28	30,364.00	41	3,058.44	1,800.00	55
		据置分割拂 Defered Annuities under the Instalment Premium Plan.	2,381	125,111.38	356,606.00	29	878.55	3,566.28	299
	宮城 Miyagi	即時 Immediate Annuities.	56	52,246.51	3,512.00	13	11,037.03	1,120.00	-
		据置一時拂 Defered Annuities under the Single Premium Plan.	212	28,471.18	6,031.00	12	960.17	718.00	51
		据置分割拂 Defered Annuities under the Instalment Premium Plan.	400	18,119.74	63,170.00	16	762.80	1,907.86	120
新潟 Niigata	即時 Immediate Annuities.	100	60,322.68	4,451.00	34	36,247.72	3,577.00	-	
	据置一時拂 Defered Annuities under the Single Premium Plan.	393	70,971.47	15,031.00	56	9,457.76	2,475.00	80	
	据置分割拂 Defered Annuities under the Instalment Premium Plan.	782	26,354.44	100,176.00	32	711.13	3,055.84	174	
福島 Fukushima	即時 Immediate Annuities.	111	98,981.90	6,847.00	16	18,587.74	1,504.38	-	
	据置一時拂 Defered Annuities under the Single Premium Plan.	315	71,425.30	15,054.00	28	6,679.43	1,804.00	43	
	据置分割拂 Defered Annuities under the Instalment Premium Plan.	646	35,652.12	91,974.00	13	552.41	1,430.14	81	
仙台 Sendai	岩手 Iwate	即時 Immediate Annuities.	25	20,101.23	1,472.00	8	2,500.36	251.00	-
		据置一時拂 Defered Annuities under the Single Premium Plan.	151	22,700.15	5,462.00	27	3,568.25	1,089.00	17
		据置分割拂 Defered Annuities under the Instalment Premium Plan.	361	16,834.39	49,975.00	7	153.23	735.44	43
青森 Aomori	即時 Immediate Annuities.	30	31,925.23	2,275.00	5	2,552.49	221.00	-	
	据置一時拂 Defered Annuities under the Single Premium Plan.	132	29,423.54	6,101.00	9	903.44	408.00	19	
	据置分割拂 Defered Annuities under the Instalment Premium Plan.	282	14,046.74	41,910.00	8	195.69	768.05	42	

業成績地方別
Annuities Business by Prefectures

昭和九年度
1934-35

消滅 Terminated					其ノ他ノ事由ニ因リ増減 Increase or Decrease from Other Causes.			年度末現在契約 Contracts in Force at the End of the Present Fiscal Year.		
約 Surrenders.		法 定 解 除 Cancellation of Contracts by Statute.			件数 No.	掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities	件数 No.	掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities
掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities	件数 No.	掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities						
-	-	-	-	-	3	13,959.60	942.31	524	868,471.87	68,946.41
5,098.56	2,613.00	-	-	-	3	13,959.60	1,587.88	4,297	877,857.00	255,469.09
9,379.33	36,692.12	147	4,072.23	18,530.00	-	13,975.64	14,722.94	6,061	244,007.32	828,508.08
-	-	-	-	-	3	1,327.95	84.03	484	578,100.79	44,786.25
8,251.26	2,677.00	-	-	-	1	1,014.09	94.09	3,267	413,851.80	167,608.34
4,143.84	15,335.64	129	2,709.92	16,510.00	2	2,490.09	9,273.75	2,086	70,695.27	250,297.55
-	-	-	-	-	6	1,108.10	788.51	771	555,142.10	44,722.05
9,756.66	3,331.00	-	-	-	4	11,853.81	2,607.42	6,243	763,618.72	300,849.15
4,829.06	20,843.16	82	1,619.54	9,960.00	3	3,163.70	10,852.97	2,968	90,303.52	359,500.31
-	-	-	-	-	2	953.12	74.76	825	929,424.01	71,339.56
8,117.06	2,160.00	-	-	-	1	560.24	100.00	4,430	716,248.05	249,454.33
2,335.53	8,424.31	22	546.24	2,760.00	1	1,804.42	5,405.69	2,415	105,137.95	313,682.44
-	-	-	-	-	-	-	-	197	137,660.47	10,785.43
1,334.88	742.00	-	-	-	-	-	-	2,242	230,481.72	104,572.06
1,488.29	5,056.23	31	1,161.68	3,840.00	-	694.32	1,875.36	1,153	43,653.94	141,657.23
-	-	-	-	-	3	1,004.78	71.19	200	173,135.09	13,637.11
1,970.32	968.00	-	-	-	1	212.71	23.00	2,184	248,851.07	104,529.20
1,247.20	5,784.17	13	240.73	1,600.00	2	1,641.78	4,180.52	973	37,816.59	122,153.27

郵便年金事

Classification of Post Office Life

逓信局 Direction of Communi- cations	地方 Prefecture	種類 Description 年金種別 Kinds of Annuities	新 契 約 Now Contracts.			契 約 Contracts			
						死 亡 Deaths		解 約 Termination	
			件数 No.	掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities	件数 No.	掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities	件数 No.
山形 Yamagata		即時 Immediate Annuities.	43	26,969.52	1,835.00	13	9,932.66	989.00	-
		据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan.	184	33,560.75	7,607.00	31	712.94	512.00	100
		据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan.	424	18,029.57	57,400.00	5	136.93	760.00	97
秋田 Akita		即時 Immediate Annuities.	17	57,169.81	3,428.00	6	4,434.73	343.69	-
		据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan.	104	17,478.25	4,387.00	9	1,504.11	968.00	32
		据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan.	265	12,103.78	37,510.00	4	37.99	510.00	65
計 Total		即時 Immediate Annuities.	382	347,716.88	23,820.00	95	85,292.73	8,006.07	-
		据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan.	1,491	274,430.64	60,573.00	172	23,786.10	7,974.00	342
		据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan.	3,220	141,140.78	442,115.00	85	2,550.18	9,167.33	622
東京 Tokyo		即時 Immediate Annuities.	679	964,978.81	68,605.00	72	99,332.49	9,144.12	-
		据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan.	705	476,368.27	81,828.00	80	16,705.84	5,155.00	120
		据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan.	3,047	218,523.55	475,629.00	68	2,388.84	8,414.95	915
神奈川 Kanagawa		即時 Immediate Annuities.	117	163,932.42	11,914.00	14	22,879.75	2,508.00	-
		据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan.	288	97,349.46	18,149.00	20	2,657.79	952.00	38
		据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan.	682	43,083.14	105,025.00	19	477.88	2,073.29	201
埼玉 Saitama		即時 Immediate Annuities.	94	76,810.20	5,244.00	8	4,617.41	406.00	-
		据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan.	223	55,258.79	12,749.00	14	2,616.22	752.00	25
		据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan.	372	20,227.73	52,735.00	8	194.34	778.77	91

業成績地方別 (續)

Annuities Business by Prefectures (Continued)

昭和九年度
1934-35

消 滅 Terminated		消 滅 Terminated		其ノ他ノ事由ニ因ル増減 Increase or Decrease from Other Causes.			年度末現在契約 Contracts in Force at the End of the Present Fiscal Year.				
約 Surrenders.		法 定 解 除 Cancellation of Contracts by Statute.									
掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities	件数 No.	掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities	件数 No.	掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities	件数 No.	掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities	
-	-	-	-	-	-	2	2,076.57	149.81	457	362,886.42	27,446.71
8,458.80	4,794.00	-	-	-	-	2	2,076.57	300.00	4,702	433,725.60	184,229.13
2,415.33	9,871.62	57	1,410.85	6,980.00	-	-	1,819.12	7,546.98	1,620	52,822.75	188,228.18
-	-	-	-	-	-	1	331.20	25.81	159	186,337.34	13,212.22
2,599.96	1,212.00	-	-	-	-	-	302.19	176.00	2,061	215,347.60	97,799.30
1,849.53	7,412.42	40	1,238.05	5,280.00	-	1	1,104.18	5,287.97	1,244	37,954.78	152,947.06
-	-	-	-	-	-	17	16,801.72	1,194.11	3,093	2,922,686.22	225,929.33
40,488.94	15,884.00	-	-	-	-	9	16,019.61	3,300.51	25,129	3,072,124.56	1,209,041.51
18,304.78	72,728.55	374	8,927.01	46,930.00	-	9	12,717.61	44,423.24	12,459	438,381.80	1,528,466.04
-	-	-	-	-	-	35	33,851.54	2,343.00	3,411	5,260,900.68	410,846.13
34,625.55	8,442.00	-	-	-	-	11	9,568.22	1,304.79	7,929	2,812,353.54	790,307.05
35,321.28	119,167.29	186	4,460.30	23,070.00	-	27	29,354.69	42,483.17	11,214	533,749.88	1,551,038.19
-	-	-	-	-	-	2	10,105.92	566.40	688	910,136.35	71,416.06
10,119.80	2,754.00	-	-	-	-	4	3,981.30	468.07	3,162	734,488.18	213,189.94
6,369.52	23,801.39	45	1,167.54	5,750.00	-	1	4,017.42	5,332.15	2,961	125,854.92	388,477.42
-	-	-	-	-	-	1	1,320.87	97.53	451	460,325.14	36,284.80
1,856.93	784.00	-	-	-	-	-	-	-	2,871	397,601.42	145,651.89
2,321.25	10,647.17	20	775.84	2,400.00	-	-	1,087.43	2,762.25	1,839	72,175.41	234,860.58

郵便年金事

Classification of Post Office Life

逓信局 Direction of Communications	地方 Prefecture	種別 Description 年金種別 Kinds of Annuities	新契約 New Contracts			契約 Contracts			
						死 Deaths		亡 解	
			件数 No.	掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities	件数 No.	掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities	件数 No.
東京 Tokyo	群馬 Gunma	即時 Immediate Annuities	48	41,553.47	2,860.00	10	8,098.50	730.00	-
		据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan	121	36,466.29	7,289.00	11	981.88	500.00	15
		据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan	403	18,871.68	55,025.00	5	98.78	600.00	71
	千葉 Chiba	即時 Immediate Annuities	52	43,530.27	2,932.00	15	5,450.47	479.90	-
		据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan	201	37,501.09	9,912.00	23	2,004.01	865.00	17
		据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan	321	16,190.31	43,036.00	7	212.76	920.00	67
	茨城 Ibaraki	即時 Immediate Annuities	48	32,663.42	2,259.00	7	4,747.01	428.00	-
		据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan	212	41,532.83	10,728.00	20	1,382.49	549.00	46
		据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan	469	21,156.78	67,110.00	7	363.87	1,233.46	73
	栃木 Tochigi	即時 Immediate Annuities	42	41,092.18	2,926.00	10	9,334.73	1,524.00	-
		据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan	170	47,921.64	9,156.00	13	1,899.19	770.00	26
		据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan	320	15,910.20	44,170.00	7	374.46	840.00	67
静岡 Shizuoka	即時 Immediate Annuities	116	124,867.28	8,511.00	11	10,887.52	840.44	-	
	据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan	401	103,787.81	23,726.00	44	5,893.47	2,839.00	38	
	据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan	667	35,385.82	100,100.00	14	477.99	1,596.54	139	
山梨 Yamanashi	即時 Immediate Annuities	26	15,680.53	1,098.00	5	3,369.44	269.40	-	
	据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan	97	14,707.05	3,756.00	6	825.74	256.00	17	
	据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan	196	7,866.78	25,360.00	4	120.50	660.00	39	

業成績地方別 (續)

Annuities Business by Prefectures

(Continued)

昭和九年度
1934-35

消滅 Terminated		消滅 Cancellation of Contracts by Statute			其ノ他ノ事由ニ因ル増減 Increase or Decrease from Other Causes			年度末現在契約 Contracts in Force at the End of the Present Fiscal Year		
約 Surrenders		法定解除 Cancellation of Contracts by Statute			其ノ他ノ事由ニ因ル増減 Increase or Decrease from Other Causes			年度末現在契約 Contracts in Force at the End of the Present Fiscal Year		
掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities	件数 No.	掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities	件数 No.	掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities	件数 No.	掛金額 Premiums	年金額 Amt. of Annuities
-	-	-	-	-	-	-	-	359	358,327.37	26,234.98
2,082.19	1,031.00	-	-	-	-	-	82.01	2,044	341,906.78	118,824.62
1,521.64	7,018.47	23	706.15	2,760.00	-	1,317.48	3,780.73	1,542	56,514.16	197,548.93
-	-	-	-	-	1	195.79	12.53	384	397,624.67	32,457.22
1,519.40	612.00	-	-	-	2	2,384.64	400.00	2,336	374,935.13	141,446.15
2,168.69	7,174.13	15	366.90	2,040.00	-	848.84	2,190.74	1,570	59,419.13	192,162.96
-	-	-	-	-	6	3,765.63	265.52	349	325,543.30	27,189.74
4,536.33	1,950.00	-	-	-	2	867.06	200.00	2,641	253,048.25	102,851.14
1,831.68	8,371.32	40	829.84	5,060.00	1	997.42	2,763.78	1,588	54,232.63	204,407.96
-	-	-	-	-	1	877.77	82.26	333	317,003.76	23,925.83
5,711.56	1,640.00	-	-	-	-	-	-	2,220	358,762.36	119,914.16
1,253.69	6,592.84	11	162.46	1,400.00	1	638.91	1,960.02	1,396	60,929.47	177,059.66
-	-	-	-	-	12	12,227.68	841.28	757	798,345.07	60,008.98
6,314.56	2,769.00	-	-	-	7	8,913.26	1,317.65	6,038	844,566.55	317,641.27
4,555.82	16,089.38	32	1,183.81	4,370.00	6	3,471.69	5,814.38	2,581	101,070.26	331,889.02
-	-	-	-	-	2	522.64	37.33	151	148,588.53	11,527.90
1,834.48	812.00	-	-	-	-	-	20.66	1,084	109,130.83	45,100.79
1,100.75	3,634.63	11	258.26	1,320.00	2	926.00	2,737.47	676	25,200.25	83,918.77

郵便年金事

Classification of Post Office Life

逋信局 Direction of Communi- cations	地方 Prefecture	種別 Description 年金種別 Kinds of Annuities	新 契 約 New Contracts.			契 約 Contracts			
			件 數 No.	掛 金 額 Premiums	年 金 額 Amt. of Annuities	死 No.	亡		解 No.
							掛 金 額 Premiums	年 金 額 Amt. of Annuities	
計 Total	愛 知 Aiti	即時 Immediate Annuities.	1,222	1,505,108.58	106,349.00	152	168,717.32	16,329.86	-
		据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan.	2,418	910,893.23	177,293.00	231	34,966.63	12,638.09	342
		据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan.	6,486	397,218.99	968,190.00	139	4,709.42	17,117.01	1,663
	三 重 Mie	即時 Immediate Annuities.	324	339,983.87	22,840.00	41	41,348.00	3,824.40	-
		据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan.	571	203,999.81	39,420.00	68	11,593.71	3,554.00	53
		据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan.	1,215	74,680.28	181,510.00	31	1,236.18	3,545.14	120
	岐 阜 Gifu	即時 Immediate Annuities.	154	113,667.58	7,809.00	20	9,851.31	795.96	-
		据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan.	398	92,894.72	20,129.00	71	6,558.08	2,235.00	48
		据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan.	617	31,268.98	88,130.00	27	1,237.99	4,307.17	105
	名 古 屋 Nagoya	即時 Immediate Annuities.	136	77,526.61	5,376.00	24	13,266.76	1,158.00	-
		据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan.	376	97,507.35	21,700.00	28	2,562.46	1,120.00	32
		据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan.	573	27,614.91	81,945.00	8	316.87	1,127.21	52
	長 野 Nagano	即時 Immediate Annuities.	207	158,094.04	11,143.00	21	21,577.97	1,770.92	-
		据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan.	387	108,515.67	22,594.00	28	1,971.24	799.00	45
		据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan.	773	38,145.98	105,415.00	17	634.24	2,023.70	117
福 井 Fukui	即時 Immediate Annuities.	121	89,752.96	6,349.00	21	12,810.80	1,164.30	-	
	据置一時拂 Deferred Annuities under the Single Premium Plan.	201	54,229.32	11,584.00	31	1,575.23	741.67	33	
	据置分割拂 Deferred Annuities under the Instalment Premium Plan.	307	12,481.71	39,460.00	8	192.52	960.00	41	

業 成 績 地 方 別 (續)

Annuities Business by Prefectures (Continued)

昭和九年度
1934-35

消 滅 Terminated					其ノ他ノ事由ニ因リ増減 Increase or Decrease from Other Causes			年度末現在契約 Contracts in Force at the End of the Present Fiscal Year.		
約 Surrenders.		法 定 解 除 Cancellation of Contrates by Statute								
掛 金 額 Premiums	年 金 額 Amt. of Annuities	件 數 No.	掛 金 額 Premiums	年 金 額 Amt. of Annuities	件 數 No.	掛 金 額 Premiums	年 金 額 Amt. of Annuities	件 數 No.	掛 金 額 Premiums	年 金 額 Amt. of Annuities
68,600.80	20,691.00	-	-	-	26	25,714.48	3,793.18	30,325	6,226,793.04	1,994,927.01
56,494.32	202,496.62	383	9,911.10	48,170.00	38	42,659.88	69,824.69	25,367	1,089,146.11	3,361,363.49
-	-	-	-	-	21	12,995.03	1,028.56	1,659	1,899,595.59	145,940.99
12,333.85	3,068.00	-	-	-	8	9,868.22	1,625.60	10,158	1,807,079.18	613,733.20
4,110.95	13,689.10	35	711.24	4,200.00	13	8,451.27	11,779.41	4,228	177,527.48	559,301.05
-	-	-	-	-	1	1,245.94	95.13	594	497,846.13	38,043.31
5,264.78	1,919.00	-	-	-	1	1,245.94	154.85	7,802	764,884.90	321,756.69
3,074.99	13,343.71	28	644.57	3,440.00	-	1,336.89	5,053.99	2,618	82,749.74	320,784.42
-	-	-	-	-	2	1,867.89	127.41	786	554,958.13	42,027.59
1,493.57	664.00	-	-	-	1	1,627.29	211.44	6,263	759,949.97	273,504.07
1,795.30	5,704.25	38	1,193.02	4,720.00	1	1,255.33	4,637.64	1,820	68,457.12	232,622.62
-	-	-	-	-	1	434.55	32.40	953	84,331.88	65,436.95
7,215.77	1,965.00	-	-	-	-	1,138.95	161.35	5,376	727,792.68	246,687.46
3,034.35	12,545.49	52	1,633.24	6,330.00	1	2,243.24	6,363.53	3,022	99,522.85	358,832.42
-	-	-	-	-	1	171.76	15.00	664	522,852.96	41,955.34
5,669.45	2,199.00	-	-	-	1	605.63	300.00	3,051	358,318.55	135,281.24
1,362.16	5,434.30	17	334.14	2,040.00	-	585.26	1,174.05	1,060	33,449.70	123,499.73

郵便年金事
Classification of Post Office Life

Table with columns: 逋信局 (Direction of Communications), 地方 (Prefecture), 種別 (Description), 新契約 (New Contracts), 契約 (Contracts), 死亡 (Deaths), 解 (Surrenders). Rows include Isikawa, Toyama, Totla, Osaka, Kyoto, Hiogo.

業成績地方別 (續)
Annuities Business by Prefectures (Continued)

昭和九年度
1934-35

Table with columns: 消滅 (Terminated), 減除 (Surrenders), 法定解除 (Cancellation of Contracts by Statute), 其ノ他ノ事由ニ因ル増減 (Increase or Decrease from Other Causes), 年度末現在契約 (Contracts in Force at the End of the Present Fiscal Year). Rows include numerical data for various categories.